

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4813275号
(P4813275)

(45) 発行日 平成23年11月9日 (2011. 11. 9)

(24) 登録日 平成23年9月2日 (2011. 9. 2)

(51) Int. Cl.

F 1

A 6 3 F 7/02 (2006. 01)

A 6 3 F 7/02 3 2 0

請求項の数 1 (全 128 頁)

(21) 出願番号	特願2006-191091 (P2006-191091)	(73) 特許権者	000144153
(22) 出願日	平成18年7月12日 (2006. 7. 12)		株式会社三共
(65) 公開番号	特開2008-17960 (P2008-17960A)		東京都渋谷区渋谷三丁目2 9 番 1 4 号
(43) 公開日	平成20年1月31日 (2008. 1. 31)	(74) 代理人	100103090
審査請求日	平成19年9月21日 (2007. 9. 21)		弁理士 岩壁 冬樹
		(74) 代理人	100124501
			弁理士 塩川 誠人
		(74) 代理人	100134692
			弁理士 川村 武
		(74) 代理人	100135161
			弁理士 眞野 修二
		(72) 発明者	澤井 明彦
			群馬県桐生市境野町6丁目4 6 0 番地 株
			式会社三共内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置を備え、前記複数の可変表示部にて可変表示の表示結果として導出表示された識別情報の組み合わせが特定表示結果になったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に移行させ、特殊表示結果になったときに前記可変表示装置における識別情報の可変表示中に特別な演出を実行する遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御用マイクロコンピュータと、

前記可変表示装置の表示状態を制御する演出制御用マイクロコンピュータと、を備え、

前記遊技制御用マイクロコンピュータは、

前記特定遊技状態に移行させるか否かと、識別情報の可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの可変表示パターンとを表示結果の導出表示以前に決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定にもとづいて、少なくとも前記特定遊技状態に移行させるか否かと前記可変表示パターンとを特定可能なコマンドを送信するコマンド送信手段と、を含み、

前記演出制御用マイクロコンピュータは、

前記コマンドにもとづいて、前記可変表示装置における前記複数の可変表示部に表示結果として導出表示する識別情報を複数種類の中から決定する識別情報決定手段と、

前記コマンドにもとづいて、前記可変表示装置において識別情報の可変表示を開始させ

10

20

、前記可変表示パターンから特定可能な可変表示時間が経過したときに前記識別情報決定手段により決定された識別情報を導出表示する可変表示制御手段と、

前記複数の可変表示部のうちの最後に導出表示される最終停止識別情報を表示する可変表示部以外の特定の可変表示部に所定期間中に特定の識別情報を導出表示する指令を遊技者に提示し、該提示した指令が前記所定期間中に達成されたときに前記特定遊技状態に移行させる指令演出を実行する指令演出実行手段と、を含み、

前記識別情報決定手段は、

前記コマンドにもとづいて、前記特定遊技状態に移行されることを特定したときは、前記複数の可変表示部に表示結果として導出表示される識別情報の組み合わせとして前記特定表示結果となる識別情報の組み合わせを決定し、

10

前記コマンドにもとづいて、前記特殊表示結果とするか否かを判定し、

前記特殊表示結果とすると判定されたときに、前記複数の可変表示部に表示結果として導出表示される識別情報の組み合わせとして前記特殊表示結果となる識別情報の組み合わせを決定し、

前記コマンドにもとづいて、リーチとなりかつ前記特定遊技状態に移行されないことを特定したときは、前記複数の可変表示部における前記最終停止識別情報と該最終停止識別情報以外の識別情報との差分を差分決定用テーブルを用いて決定し、前記最終停止識別情報以外の識別情報との差分によって前記最終停止識別情報を決定し、

前記コマンドにもとづいて、リーチとならずかつ前記特定遊技状態に移行されないことを特定したときは、前記所定期間中は前記特定の可変表示部に導出表示される識別情報が前記特定の識別情報とならないように設定されたテーブルを用いて前記特定の可変表示部に導出表示される識別情報を決定し、前記複数の可変表示部に表示結果として導出表示される識別情報の組み合わせが前記特殊表示結果とならないように設定されたリーチ無時テーブルを用いて前記最終停止識別情報を決定する

20

ことを特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置を備え、可変表示の表示結果として識別情報の組み合わせが所定の有効ライン上にて特定表示結果になったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に移行させ、可変表示の表示結果として識別情報の組み合わせが所定の有効ライン上にて特殊表示結果になったときに可変表示装置における識別情報の可変表示中に特別な演出を実行する特別演出状態に移行させる遊技機に関する。

30

【背景技術】

【0002】

遊技機として、遊技球などの遊技媒体を発射装置によって遊技領域に発射し、遊技領域に設けられている入賞口などの入賞領域に遊技媒体が入賞すると、所定個の賞球が遊技者に払い出されるものがある。さらに、識別情報を可変表示（「変動」ともいう。）可能な可変表示装置が設けられ、可変表示装置において識別情報の可変表示の表示結果が特定表示結果となった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能になるように構成されたものがある。

40

【0003】

特定遊技状態とは、所定の遊技価値が付与された遊技者にとって有利な状態を意味する。具体的には、特定遊技状態は、例えば特別可変入賞装置の状態を打球が入賞しやすい遊技者にとって有利な状態（大当たり遊技状態）、遊技者にとって有利な状態になるための権利が発生した状態、景品遊技媒体払出の条件が成立しやすくなる状態などの所定の遊技価値が付与された状態である。

【0004】

そのような遊技機では、識別情報としての図柄を表示する可変表示装置の表示結果があ

50

らかじめ定められた特定の表示態様の組合せ（特定表示結果）になることを、通常、「大当たり」という。大当たりが発生すると、例えば、大入賞口が所定回数開放して打球が入賞しやすい大当たり遊技状態に移行する。そして、各開放期間において、所定個（例えば10個）の大入賞口への入賞があると大入賞口は閉成する。そして、大入賞口の開放回数は、所定回数（例えば15ラウンド）に固定されている。なお、各開放について開放時間（例えば29.5秒）が決められ、入賞数が所定個に達しなくても開放時間が経過すると大入賞口は閉成する。また、大入賞口が閉成した時点で所定の条件（例えば、大入賞口内に設けられているVゾーンへの入賞）が成立していない場合には、大当たり遊技状態は終了する。

【0005】

また、遊技機には、可変表示装置において識別情報の可変表示の表示結果が特定表示結果のうちの特別な特定表示結果（特別表示結果）となるなどの特別の条件が成立すると、以後、大当たりが発生する確率が高くなる高確率状態（確変状態ともいう。）に移行するように構成されたものもある。

【0006】

下記の特許文献1には、大当たり判定の結果がはずれの場合は、第1停止図柄と第2停止図柄（左右図柄）を決定した後、リーチとなるとときとリーチとならないときとで異なるテーブルを用いて特定の図柄に対する差分値（第1停止図柄または第2停止図柄に対するズレ数）を決定し、最終停止図柄を第2停止図柄に差分値を加算することにより決定する遊技機が開示されている。

【0007】

【特許文献1】特開2003-164613号公報（段落0048-0057、図8-図10）

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

ところで、遊技機には、チャンス目（特殊表示結果）と呼ばれる特殊な組み合わせの図柄を可変表示装置に停止表示することにより、遊技者に何らかの特典（小当たり等の遊技者にとって有利な状態に変化する特典のほか、演出がスーパーリーチに発展する等の演出上の特典も含む）が付与されることを報知するものがある。チャンス目として、通常は、大当たり図柄（左中右の図柄が同一図柄となる組み合わせになること）やリーチ図柄（左右の図柄が同一図柄となる組み合わせ）とは異なる図柄の組み合わせとされている。このようなチャンス目を停止表示する遊技機において、特許文献1に記載された方法により図柄を決定すると、特典が付与されないときにも停止図柄がチャンス目になってしまうおそれがある。

【0009】

そこで、本発明は、可変表示の表示結果として識別情報の組み合わせが特殊表示結果にならないと判定されたときに、特殊表示結果が導出表示されるのを防止することができる遊技機を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0010】

本発明による遊技機では、各々を識別可能な複数種類の識別情報（例えば左・中・右の飾り図柄）を可変表示可能な複数の可変表示部（例えば、左・中・右の表示領域）を有する可変表示装置（例えば可変表示装置9）を備え、複数の可変表示部にて可変表示の表示結果として導出表示された識別情報の組み合わせが特定表示結果（例えば大当たり図柄）になったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば大当たり遊技状態）に移行させ、特殊表示結果（例えば、チャンス目A、チャンス目B、突確用のチャンス目（突然確変図柄）、小当たり用のチャンス目（小当たり図柄））になったときに可変表示装置における識別情報の可変表示中に特別な演出を実行する（例えば、チャンス目A、Bになったときにスーパーリーチに発展させ、突確用のチャンス目になったときに2ラウンドの突然確変大当たり遊技を実行した後にチャンスモード中の演出を実行し、小当たり用のチャンス目になった

ときに２ラウンドの小当り遊技を実行した後にチャンスモード中の演出を実行する）遊技機（例えばパチンコ遊技機１）であって、遊技の進行を制御する遊技制御用マイクロコンピュータ（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０）と、可変表示装置の表示状態を制御する演出制御用マイクロコンピュータ（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００）と、を備え、遊技制御用マイクロコンピュータは、特定遊技状態に移行させるか否か（例えば大当たりとするか否か）と、識別情報の可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの可変表示パターン（例えば変動パターン）とを表示結果の導出表示以前に決定する事前決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０におけるステップＳ５７，Ｓ５８，Ｓ６１，Ｓ６２，Ｓ２０１～Ｓ２１２を実行する部分）と、事前決定手段の決定にもとづいて、少なくとも特定遊技状態に移行させるか否かと可変表示パターンとを特定可能なコマンド（例えば、変動パターンコマンド、図柄情報指定コマンド）を送信するコマンド送信手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０における飾り図柄コマンド制御処理（ステップＳ２８）のうち変動パターンコマンドおよび図柄情報指定コマンドを送信する制御を実行する部分）と、を含み、演出制御用マイクロコンピュータは、コマンドにもとづいて、可変表示装置における複数の可変表示部に表示結果として導出表示する識別情報を複数種類の中から決定する識別情報決定手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ６２１，Ｓ６２６，Ｓ６３２を実行する部分）と、コマンドにもとづいて（例えばステップＳ６１６のＹ）、可変表示装置において識別情報の可変表示を開始させ、可変表示パターンから特定可能な可変表示時間（例えば変動時間）が経過したときに識別情報決定手段により決定された識別情報を導出表示する可変表示制御手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００における演出制御プロセス処理（ステップＳ７０５）のうちステップＳ８００～Ｓ８０３を実行する部分）と、複数の可変表示部のうちの最後に導出表示される最終停止識別情報を表示する可変表示部以外の特定の可変表示部に所定期間中に特定の識別情報を導出表示する指令を遊技者に提示し、該提示した指令が所定期間中に達成されたときに特定遊技状態に移行させる指令演出を実行する指令演出実行手段と、を含み、識別情報決定手段は、コマンドにもとづいて、特定遊技状態に移行されることを特定したときは、複数の可変表示部に表示結果として導出表示される識別情報の組み合わせとして特定表示結果となる識別情報の組み合わせを決定し（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００がステップＳ６５８，Ｓ６６１，Ｓ６７３，Ｓ６７６，Ｓ６８１～Ｓ６８３を実行し）、コマンドにもとづいて、特殊表示結果とするか否かを判定し（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００がステップＳ６５９，Ｓ６７４，Ｓ６７７，Ｓ６８２，Ｓ１０２３，Ｓ１０２６，Ｓ１０４０，Ｓ１０５１，Ｓ１１１２，Ｓ１１１７，Ｓ１１３９，Ｓ１１４４を実行し）、特殊表示結果とすると判定されたときに、複数の可変表示部に表示結果として導出表示される識別情報の組み合わせとして特殊表示結果となる識別情報の組み合わせを決定し（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００がステップＳ６６３，Ｓ６７９，Ｓ６８０Ｂ，Ｓ６８４，Ｓ１０２５，Ｓ１０２８，Ｓ１０４２，Ｓ１０５３，Ｓ１１１４，Ｓ１１１９，Ｓ１１４１，Ｓ１１４６を実行し）、コマンドにもとづいて、リーチとなりかつ特定遊技状態に移行されないことを特定したときは（例えば、ステップＳ６５１のＹ，Ｓ６５３のＹ）、複数の可変表示部における最終停止識別情報（例えば中図柄）と該最終停止識別情報以外の識別情報（例えばリーチ図柄）との差分（例えばリーチ図柄に対する図柄差）を差分決定用テーブル（例えばノーマルはずれ時中図柄選択テーブルまたはスーパー発展時中図柄選択テーブル）を用いて決定し、最終停止識別情報以外の識別情報との差分によって最終停止識別情報を決定し（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００がステップＳ６５５のリーチ有ハズレ決定処理を実行し）、コマンドにもとづいて、リーチとならずかつ特定遊技状態に移行されないことを特定したときは（例えば、ステップＳ６５１のＹ，Ｓ６５３のＮ）、所定期間中は特定の可変表示部に導出表示される識別情報が特定の識別情報とならないように設定されたテーブルを用いて特定の可変表示部に導出表示される識別情報を決定し、複数の可変表示部に表示結果として導出表示される識別情報の組み合わせが特殊表示結果とならないように設定されたリーチ無時テーブル（例えば中

10

20

30

40

50

図柄選択用テーブル）を用いて最終停止識別情報を決定する（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００がステップＳ６５４のリーチ無ハズレ決定処理を実行する）ことを特徴とする。

【発明の効果】

【００１６】

請求項１記載の発明では、識別情報決定手段が、コマンドにもとづいて、特殊表示結果とするか否かを判定し、特殊表示結果とすると判定されたときに、複数の可変表示部に表示結果として導出表示される識別情報の組み合わせとして特殊表示結果となる識別情報の組み合わせを決定し、コマンドにもとづいて、リーチとならずかつ特定遊技状態に移行されないことを特定したときは、複数の可変表示部における最終停止識別情報と該最終停止識別情報以外の識別情報との差分を差分決定用テーブルを用いて決定し、最終停止識別情報以外の識別情報との差分によって最終停止識別情報を決定し、コマンドにもとづいて、リーチとならずかつ特定遊技状態に移行されないことを特定したときは、所定期間中は特定の可変表示部に導出表示される識別情報が特定の識別情報とならないように設定されたテーブルを用いて特定の可変表示部に導出表示される識別情報を決定し、複数の可変表示部に表示結果として導出表示される識別情報の組み合わせが特殊表示結果とならないように設定されたリーチ無時テーブルを用いて最終停止識別情報を決定するように構成されている。従って、可変表示の表示結果として識別情報の組み合わせが特殊表示結果（チャンス目）にならないと判定されたときに、特殊表示結果が導出表示されるのを確実に防止することができる。さらに、リーチとならずかつ特定遊技状態に移行されないことを特定したときには、差分を用いずに最終停止識別情報を決定するので、リーチとならない非特定表示結果（ドハズレ図柄）における識別情報の組み合わせが多彩となる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００２２】

以下、本発明の一実施形態を図面を参照して説明する。

【００２３】

実施の形態１．

まず、遊技機の一例であるパチンコ遊技機の全体の構成について説明する。図１はパチンコ遊技機を正面からみた正面図である。なお、以下の実施の形態では、パチンコ遊技機を例に説明を行うが、本発明による遊技機はパチンコ遊技機に限られず、スロット機などの他の遊技機に適用することもできる。

【００２４】

パチンコ遊技機１は、縦長の方形状に形成された外枠（図示せず）と、外枠の内側に開閉可能に取り付けられた遊技枠とで構成される。また、パチンコ遊技機１は、遊技枠に開閉可能に設けられている額縁状に形成されたガラス扉枠２を有する。遊技枠は、外枠に対して開閉自在に設置される前面枠（図示せず）と、機構部品等が取り付けられる機構板と、それらに取り付けられる種々の部品（後述する遊技盤を除く。）を含む構造体である。

【００２５】

図１に示すように、パチンコ遊技機１は、額縁状に形成されたガラス扉枠２を有する。ガラス扉枠２の下部表面には打球供給皿（上皿）３がある。打球供給皿３の下部には、打球供給皿３に収容しきれない遊技球を貯留する余剰球受皿４と遊技球を発射する打球操作ハンドル（操作ノブ）５が設けられている。ガラス扉枠２の背面には、遊技盤６が着脱可能に取り付けられている。なお、遊技盤６は、それを構成する板状体と、その板状体に取り付けられた種々の部品とを含む構造体である。また、遊技盤６の前面には、打ち込まれた遊技球が流下可能な遊技領域７が形成されている。

【００２６】

遊技領域７の中央付近には、所定の始動条件の成立（例えば、打球が始動入賞口１４に入賞したこと）にもとづいて各々を識別可能な複数種類の演出用の飾り図柄を可変表示し表示結果を導出表示する可変表示装置９が配置されている。この実施の形態では、可変表

示装置 9 は液晶表示装置 (LCD) により構成され、左・中・右の 3 列の表示領域 (飾り図柄表示エリア) に飾り図柄が上下方向 (この実施の形態では、上から下) に可変表示されるように構成されている。左・中・右の各列の表示領域は、飾り図柄の可変表示が停止しているときに連続した 3 コマの飾り図柄が停止表示される (図 3 等参照)。

【0027】

なお、入賞とは、入賞口などのあらかじめ入賞領域として定められている領域に遊技球が入ったことである。また、表示結果を導出表示するとは、図柄を停止表示させることである (いわゆる再抽選演出実行前の仮停止、救済演出実行前の仮停止を除く。)。

【0028】

この実施の形態では、可変表示装置 9 の 3 つの表示領域に表示される飾り図柄として、図 2 に示すように、「1」～「8」の数字の図柄と、数字の図柄間のブランクを示す「＊」の記号の図柄とを用いている。飾り図柄の可変表示 (変動) 中、原則として、左の表示領域は、「8」「＊」「7」・・・「＊」の飾り図柄が番号順に表示され、中及び右の表示領域は、「1」「＊」「2」・・・「＊」の飾り図柄が番号順に表示される。なお、左の表示領域に表示される飾り図柄を「左図柄」といい、中の表示領域に表示される飾り図柄を「中図柄」といい、右の表示領域に表示される飾り図柄を「右図柄」ということがある。

【0029】

可変表示装置 9 の上部には、識別情報としての特別図柄を可変表示する特別図柄表示器 (特別図柄表示装置) 8 が設けられている。この実施の形態では、特別図柄表示器 8 は、例えば「0」～「9」の数字を可変表示可能な簡易で小型の表示器 (例えば 7 セグメント LED) で実現されている。特別図柄表示器 8 は、遊技者に特定の停止図柄を把握しづらくさせるために、「0」～「99」など、より多種類の数字を可変表示するように構成されていてもよい。

【0030】

可変表示装置 9 は、特別図柄表示器 8 による特別図柄の可変表示期間中に、装飾用 (演出用) の図柄としての飾り図柄の可変表示を行う。飾り図柄の可変表示を行う可変表示装置 9 は、演出制御基板に搭載されている演出制御用マイクロコンピュータによって制御される。特別図柄の可変表示を行う特別図柄表示器 8 は、遊技制御基板に搭載されている遊技制御用マイクロコンピュータによって制御される。

【0031】

可変表示装置 9 の下部には、始動入賞口 14 に入った有効入賞球数すなわち保留記憶 (始動記憶または始動入賞記憶ともいう。) 数を表示する 4 つの表示器からなる特別図柄保留記憶表示器 18 が設けられている。有効始動入賞がある毎に、1 つの表示器の表示色を変化させる。そして、特別図柄表示器 8 の可変表示が開始される毎に、1 つの表示器の表示色をもとに戻す。この例では、特別図柄表示器 8 と特別図柄保留記憶表示器 18 とが別個に設けられているので、可変表示中も保留記憶数が表示された状態にすることができる。なお、可変表示装置 9 の表示領域内に、保留記憶数を表示する 4 つの表示領域からなる特別図柄保留記憶表示領域を設けるようにしてもよい。また、この実施の形態では、保留記憶数の上限値を 4 とするが、上限値をより大きい値にしてもよい。さらに、上限値を、遊技状態に応じて変更可能であるようにしてもよい。

【0032】

可変表示装置 9 の下方には、遊技球が入賞可能な始動入賞口 14 が設けられている。始動入賞口 14 に入賞した遊技球は、遊技盤 6 の背面に導かれ、始動口スイッチ 14a によって検出される。また、始動入賞口 14 には開閉動作を行う可変入賞球装置 15 が設けられている。可変入賞球装置 15 は、ソレノイド 16 (図 1 では図示せず) によって開状態とされる。可変入賞球装置 15 が開状態になることによって、遊技球が始動入賞口 14 に入賞し易くなり (始動入賞し易くなり)、遊技者にとって有利な状態になる。

【0033】

始動入賞口 14 の下方には、大当り遊技状態または小当り遊技状態においてソレノイド

10

20

30

40

50

21によって開状態とされる特別可変入賞装置が設けられている。特別可変入賞装置は、開閉板20を備え、大入賞口を形成する。大入賞口に入った遊技球はカウントスイッチ23で検出される。

【0034】

可変表示装置9の真上には、普通図柄表示器10が設けられている。普通図柄表示器10は、普通図柄と呼ばれる複数種類の識別情報（例えば、「○」および「×」）を可変表示する。

【0035】

ゲート32に遊技球が入賞しゲートスイッチ32aで検出されると、普通図柄表示器10の表示の可変表示が開始される。この実施の形態では、左右のランプ（点灯時に図柄が視認可能になる）が交互に点灯することによって可変表示が行われ、例えば、可変表示の終了時に左側のランプが点灯すれば当たりとなる。そして、普通図柄表示器10における停止図柄が所定の図柄（当たり図柄）である場合に、可変入賞球装置15が所定回数、所定時間だけ開状態になる。すなわち、可変入賞球装置15の状態は、普通図柄の停止図柄が当たり図柄である場合に、遊技者にとって不利な状態から有利な状態に変化する。普通図柄表示器10の近傍には、ゲート32を通過した入賞球数を表示する4つのLEDによる表示部を有する普通図柄保留記憶表示器41が設けられている。ゲート32への遊技球の通過がある毎に、普通図柄保留記憶表示器41は点灯するLEDを1増やす。そして、普通図柄表示器10の可変表示が開始される毎に、点灯するLEDを1減らす。

【0036】

遊技盤6には、複数の入賞口29, 30, 33, 39が設けられ、遊技球の入賞口29, 30, 33, 39への入賞は、それぞれ入賞口スイッチ29a, 30a, 33a, 39aによって検出される。各入賞口29, 30, 33, 39は、遊技球を受け入れて入賞を許容する領域として遊技盤6に設けられる入賞領域を構成している。なお、始動入賞口14や大入賞口も、遊技球を受け入れて入賞を許容する入賞領域を構成する。遊技盤6の遊技領域7の左右周辺には、遊技中に点滅表示される装飾ランプ25が設けられ、下部には、入賞しなかった打球が取り込まれるアウト口26がある。また、遊技領域7の外側の左右上部には、所定の音声出力として効果音や音声を発声する2つのスピーカ27が設けられている。遊技領域7の外周には、天枠ランプ28a、左枠ランプ28bおよび右枠ランプ28cが設けられている。さらに、遊技領域7における各構造物（大入賞口等）の周囲には装飾LEDが設置されている。天枠ランプ28a、左枠ランプ28b、右枠ランプ28cおよび装飾用LEDは、遊技機に設けられている装飾発光体の一例である。

【0037】

また、左側のスピーカ27の下方には、賞球払出中に点灯する賞球LED51が設けられ、右側のスピーカ27の下方には、補給球が切れたときに点灯する球切れLED52が設けられている。さらに、プリペイドカードが挿入されることによって球貸しを可能にするプリペイドカードユニットが、パチンコ遊技機1に隣接して設置されている（図示せず）。また、遊技機内部の遊技状態（後述する通常遊技状態、確変状態、時短状態）を遊技者に報知するための状態表示灯が、遊技盤6の所定の箇所に設けられている（図示せず）。

【0038】

遊技機には、遊技者が打球操作ハンドル5を操作することに応じて駆動モータを駆動し、駆動モータの回転力を利用して遊技球を遊技領域7に発射する打球発射装置（図示せず）が設けられている。打球発射装置から発射された遊技球は、遊技領域7を囲むように円形状に形成された打球ルールを通過して遊技領域7に入り、その後、遊技領域7を下りてくる。遊技球が始動入賞口14に入り始動口スイッチ14aで検出されると、特別図柄の可変表示を開始できる状態であれば（例えば、大当たり遊技終了または前回の可変表示の終了）、特別図柄表示器8において特別図柄の可変表示（変動）が開始されるとともに、可変表示装置9において飾り図柄の可変表示が開始される。特別図柄の可変表示を開始できる状態でなければ、特別図柄保留記憶表示器18についての保留記憶数を1増やす。

【0039】

特別図柄表示器8における特別図柄および可変表示装置9の飾り図柄の可変表示は、所定時間が経過したときに停止する。停止時の停止図柄が大当たり図柄のうちの確変図柄（後述する突然確変図柄を除く。）または非確変図柄になると、大当たり遊技状態（確変大当たりまたは非確変大当たり（通常大当たりともいう））に移行する。すなわち、一定時間（例えば29秒）が経過するまで、または、所定個数（例えば、10個）の遊技球が大入賞口に入賞するまで特別可変入賞装置が開放される。なお、特別可変入賞装置が開放されてから一定期間経過するまで、または、所定個数（例えば、10個）の打球が大入賞口に入賞するまでが大当たり遊技状態における1ラウンドである。この実施の形態では、停止図柄が確変図柄（後述する突然確変図柄を除く。）または非確変図柄になったことにもとづいて大当たり遊技状態に移行されたときは、大当たり遊技状態が15ラウンド継続される。

10

【0040】

また、停止時の停止図柄が特別な確変図柄（以下、突然確変図柄という。）になると、遊技状態が確変状態に突然移行されたように遊技者に認識させる特別な大当たり遊技状態（以下、突然確変大当たりという。）に移行する。突然確変大当たりでは、特別可変入賞装置が短い期間（例えば5秒）だけ2回開放される。突然確変大当たりにおいて、特別可変入賞装置が開放されてから閉鎖されるまでが1ラウンドであり、突然確変大当たりの遊技状態が2ラウンドだけ継続されることになる。なお、突然確変大当たりでは、特別可変入賞装置が開放される期間が短く、特別可変入賞装置の開放中に10個の遊技球が入賞しないので、10個の遊技球が大入賞口に入賞するまでを1ラウンドと定義する必要はない。突然確変大当たりが発生したときは、15ラウンドの大当たりの場合と異なり、可変表示装置9において各ラウンドの演出が順に進行していくのではなく、突然、遊技状態が確変状態に移行したように遊技者に見せるための特別な演出が実行される。

20

【0041】

また、停止時の停止図柄が小当たり図柄になると、大当たり遊技状態よりも遊技者に付与される遊技価値が小さい小当たり遊技状態に移行する。すなわち、短い期間（例えば5秒）だけ特別可変入賞装置が2回開放される遊技状態に移行する。このように、小当たり遊技状態では、突然確変大当たりが発生したときに遊技者に付与される遊技価値と同じ遊技価値が付与されることになる。しかし、突然確変大当たりの場合と異なり、小当たり遊技状態の終了後に遊技状態が確変状態に移行されない。このことから、遊技者は、小当たりよりも突然確変大当たりの発生を期待する。なお、小当たりが発生したときも、突然確変大当たりのときと同様の特別な演出が実行される。このような特別な演出を2ラウンド用演出という。2ラウンド用演出としては、突然確変大当たりが発生したときに実行される突確専用の演出と、突然確変大当たりおよび小当たりのいずれが発生したときにも実行される突確・小当たり兼用の演出とがある。

30

【0042】

この実施の形態では、特別図柄表示器8における特別図柄の可変表示と、可変表示装置9における飾り図柄の可変表示とは同期している。ここで、同期とは、可変表示の期間（可変表示時間）が同じであることをいう。また、特別図柄表示器8における表示結果（特別図柄の停止図柄）と可変表示装置9における表示結果（飾り図柄の停止図柄）とは対応している。なお、両図柄の対応関係については後述する。

40

【0043】

次に、遊技状態の種類および遊技状態の遷移について説明する。

【0044】

確変状態（確率変動状態）とは、大当たり（つまり図柄が大当たり図柄）となる確率が通常遊技状態および時短状態よりも高い遊技者にとって有利な遊技状態のことをいう。なお、この実施の形態において、「確変状態」というときは、明示した場合を除き後述する確変時短状態を含まないものとする。

【0045】

また、時短状態（時間短縮状態）とは、特別図柄表示器8における特別図柄および可変

50

表示装置 9 における飾り図柄の可変表示時間（変動時間）が通常遊技状態および確変状態よりも短縮される遊技状態のことをいう。このように可変表示時間が短縮されることにより、頻繁に図柄の可変表示が実行され、単位時間当たりの大当りの発生確率が向上する結果、遊技者にとって有利な状態となる。また、時短状態では、普通図柄表示器 10 において、停止図柄が当り図柄になる確率が通常遊技状態および確変状態より高められるとともに、可変入賞球装置 15 における開放時間と開放回数とのうちの一方または双方が通常遊技状態および確変状態よりも高められ、遊技者にとってさらに有利な状態になる。また、時短状態では、普通図柄表示器 10 における普通図柄の可変表示時間（変動時間）が通常遊技状態および確変状態よりも短縮されることによって、遊技者にとってさらに有利な状態になる。なお、この実施の形態において、「時短状態」というときは、明示した場合を除き後述する確変時短状態を含まないものとする。

10

【0046】

確変時短状態とは、確変状態でかつ時短状態である遊技状態のことをいう。確変時短状態は、遊技者にとってきわめて有利な状態である。

【0047】

この実施の形態では、以下のように遊技状態が遷移する。

【0048】

（１）通常遊技状態および時短状態のときに確変図柄（突然確変図柄を除く）で大当たりになり、その大当たり遊技が終了すると、遊技状態が通常遊技状態および時短状態から確変時短状態に移行される。これによって、特別図柄および普通図柄の停止図柄が当り図柄になる確率が高められ、特別図柄および普通図柄等の変動時間が短縮され、可変入賞球装置 15 における開放時間や開放回数も高められる。

20

【0049】

（２）確変状態および確変時短状態のときに確変図柄（突然確変図柄を除く）で大当たりになり、その大当たり遊技が終了すると、遊技状態が確変状態であったときは確変時短状態に移行され、遊技状態が確変時短状態であったときは確変時短状態が変化しないで維持される。これによって、特別図柄および普通図柄の停止図柄が当り図柄になる確率が高められ、特別図柄および普通図柄の変動時間が短縮され、可変入賞球装置 15 における開放時間や開放回数も高められる。

【0050】

30

（３）通常遊技状態および時短状態のときに突然確変図柄で大当たりになり、その大当たり遊技が終了すると、遊技状態が通常遊技状態および時短状態から確変状態に移行される。このとき、特別図柄の停止図柄が当り図柄になる確率は高められるが、普通図柄の停止図柄が当り図柄になる確率は高められず、特別図柄および普通図柄の変動時間も短縮されず、可変入賞球装置 15 における開放時間や開放回数も高められない。なお、突然確変大当たり遊技の終了後は、演出モードが確変状態に移行されたことを期待させる演出モード（チャンスモード）に変更される。

【0051】

（４）確変状態および確変時短状態のときに突然確変図柄で大当たりになり、その大当たり遊技が終了すると、遊技状態が確変状態であったときは確変状態が変化しないで継続され、遊技状態が確変時短状態であったときは確変状態に移行される。このとき、特別図柄の停止図柄が当り図柄になる確率は高められるが、普通図柄の停止図柄が当り図柄になる確率は高められず、特別図柄および普通図柄の変動時間も短縮されず、可変入賞球装置 15 における開放時間や開放回数も高められない。また、突然確変大当たり遊技の終了後は、演出モードが確変状態に移行されたことを期待させる演出モード（チャンスモード）に変更される。

40

【0052】

（５）通常遊技状態および時短状態のときに非確変図柄で大当たりになり、その大当たり遊技が終了すると、大当たり終了後の所定の変動回数（例えば 100 回）だけ時短状態に制御される。すなわち、遊技状態が通常遊技状態であったときは通常遊技状態から時短状態に所

50

定の変動回数だけ移行され、遊技状態が時短状態であったときは所定の変動回数だけ時短状態が継続される。このとき、特別図柄および普通図柄の変動時間が短縮され、可変入賞球装置15における開放時間や開放回数も高められる。そして、所定の変動回数の変動が開始されるときに遊技状態が時短状態から通常遊技状態に移行される。

【0053】

(6) 確変状態および確変時短状態のときに非確変図柄で大当たりになり、その大当たり遊技が終了すると、大当たり終了後の所定の変動回数(例えば100回)だけ時短状態に制御される。すなわち、確変状態および確変時短状態から時短状態に所定の変動回数だけ移行される。このとき、特別図柄および普通図柄の変動時間が短縮され、可変入賞球装置15における開放時間や開放回数も高められる。そして、所定の変動回数の変動が開始されるときに遊技状態が時短状態から通常遊技状態に移行される。

10

【0054】

(7) 通常遊技状態および確変状態のときに小当たり図柄で小当たりになり、その小当たり遊技が終了すると、通常遊技状態および確変状態が変化しないで継続される。なお、小当たり遊技の終了後は、演出モードが確変状態に移行されたことを期待させる演出モード(チャンスモード)に変更される。

【0055】

(8) 時短状態および確変時短状態のときに小当たり図柄で小当たりになり、その小当たり遊技が終了すると、時短状態および確変時短状態が変化しないで継続される。なお、小当たり遊技の終了後は、演出モードが確変状態に移行されたことを期待させる演出モード(チャンスモード)に変更される。

20

【0056】

なお、以上のような遊技状態の遷移は一例であって、このような構成に限られるわけではない。

【0057】

次に、リーチ表示態様(リーチ)について説明する。図3は、リーチ図柄の配列パターンを示す説明図である。図3に示すように、可変表示装置9は、左・中・右の表示領域に分けられている。そして、各列の表示領域には、連続した3コマの飾り図柄が停止表示される。従って、可変表示装置9には、3行×3列(=9図柄)の飾り図柄が停止表示され、遊技者に視認される。

30

【0058】

可変表示装置9において、左・中・右の飾り図柄が可変表示され、その後に導出表示された左・中・右の飾り図柄(「*」の図柄を除く。)の組み合わせが有効ライン上にて同一図柄で揃ったときに大当たりとなる。この実施の形態では、有効ラインとして、「上段」、「中段」、「下段」、「右下がり」および「右上がり」の5ラインが設けられている。

【0059】

この実施の形態では、左図柄と右図柄(「*」の図柄を除く。)が所定の有効ライン上にて同一図柄で揃ったときにリーチが成立する。例えば、図3に示すように、左図柄と右図柄が上段のラインにおいて同一図柄「1」で揃ったとき(「1UH」)、左図柄と右図柄が下段のラインにおいて同一図柄「1」で揃ったとき(「1LH」)、左図柄と右図柄が中段のラインにおいて同一図柄「1」で揃ったとき(「1CH」)、左図柄と右図柄がダブルライン(右下がりおよび右上がり)において同一図柄「1」「8」で揃ったときに(「1WH」)、リーチが成立する。

40

【0060】

なお、各リーチ図柄に付されている記号(1UH、1LHなど)は、3桁目が図柄番号(「1」「2」「3」・・・)を示し、2桁目がライン表示(「上段」、「中段」、「下段」、「ダブルライン」)を示し、1桁目「H」が「はずれ」(H a z u r e)の状態を示している。また、2桁目のライン表示において、「U」は「上段」U p p e rの略であり、「C」は「中段」C e n t e rの略であり、「L」は「下段」L o w e rの略であり、「W」は「ダブルライン」を示している。例えば、「7CH」は、図柄が「7」で「中

50

段のライン」で「はずれ」という意味である。

【0061】

この実施の形態では、リーチが成立した際に、通常と異なる演出がランプや音で行われる。その演出と可変表示装置9におけるリーチ表示態様とをリーチ演出という。また、リーチの際に、キャラクタ（人物等を模した演出表示であり、図柄（飾り図柄等）とは異なるもの）を表示させたり、可変表示装置9の背景の表示態様（例えば、色等）を変化させたりすることがある。

【0062】

次に、特別図柄の停止図柄と飾り図柄の停止図柄の対応関係（両図柄のはずれ図柄、確変図柄、非確変図柄、突然確変図柄および小当り図柄）について説明する。

10

【0063】

（1）特別図柄の停止図柄：

上述したように、特別図柄表示器8にて可変表示される特別図柄は「0」～「9」である。このうち、「0」～「3」、「8」、「9」がはずれ図柄であり、「7」が確変図柄であり、「6」が非確変図柄であり、「5」が突然確変図柄であり、「4」が小当り図柄である。

【0064】

（2）飾り図柄の停止図柄：

上述したように、左中右の飾り図柄は、それぞれ、「1」「*」「2」・・・「*」の図柄である。

20

【0065】

（2-1）飾り図柄のはずれ図柄は、左中右の飾り図柄の組み合わせが全ての有効ライン上にて同一図柄で揃っていない状態の図柄（例えば、「358」など：なお後述する突然確変図柄および小当り図柄を除く。）である。なお、左右の飾り図柄が有効ライン上にて同一図柄で揃っているが（リーチとなっているが）、中の飾り図柄だけ有効ライン上にて揃っていない状態もはずれ図柄である。

【0066】

（2-2）飾り図柄の大当り図柄は、左中右の飾り図柄の組み合わせが所定の有効ライン上にて同一図柄で揃った状態の図柄である。図4は、大当り図柄の配列パターンを示す説明図である。図4に示すように、左中右の飾り図柄（「*」の図柄を除く。）の組み合わせが有効ライン上にて同一図柄で揃った状態となっている。例えば、図4に示すように、左中右の飾り図柄の組み合わせが上段のラインにおいて同一図柄「1」で揃ったとき（「1UF」）、左中右の飾り図柄の組み合わせが下段のラインにおいて同一図柄「1」で揃ったとき（「1LF」）、左中右の飾り図柄の組み合わせが中段のラインにおいて同一図柄「1」で揃ったとき（「1CF」）、左中右の飾り図柄の組み合わせが右下がりのラインにおいて同一図柄「1」で揃ったとき（「1SF」）、左中右の飾り図柄の組み合わせが右上がりのラインにおいて同一図柄「1」で揃ったときに（「1AF」）、大当りとなる。

30

【0067】

なお、各大当り図柄に付されている記号（1UF、1LFなど）は、3桁目が図柄番号（「1」「2」「3」・・・）を示し、2桁目がライン表示（「上段」、「中段」、「下段」、「右下がり」、「右上がり」）を示し、1桁目「F」が「大当り」（Fever）の状態を示している。また、2桁目のライン表示において、「U」は「上段」Upperの略であり、「C」は「中段」Centerの略であり、「L」は「下段」Lowerの略であり、「S」は「右下がり」SAGARIの頭文字であり、「A」は「右上がり」AGARIの頭文字である。例えば、「7AF」は、図柄が「7」で「右上がりのライン」で「大当り」という意味である。

40

【0068】

図4に示す大当り図柄のうち、左中右の飾り図柄の組み合わせが有効ライン上にて特定の図柄（「1」「3」「5」「7」「8」）で揃った状態の図柄が確変図柄である。具体

50

的には、図4において、「1UF」「1LF」「1CF」「1SF」「1AF」、「3UF」「3LF」「3CF」「3SF」「3AF」、「5UF」「5LF」「5CF」「5SF」「5AF」、「7UF」「7LF」「7CF」「7SF」「7AF」、「8UF」「8LF」「8CF」「8SF」「8AF」の図柄が確変図柄である。また、図4に示す大当り図柄のうち、左中右の飾り図柄の組み合わせが有効ライン上にて特定の図柄以外の図柄（「2」「4」「6」）で揃った状態の図柄が非確変図柄である。具体的には、図4において、「2UF」「2LF」「2CF」「2SF」「2AF」、「4UF」「4LF」「4CF」「4SF」「4AF」、「6UF」「6LF」「6CF」「6SF」「6AF」の図柄が非確変図柄である。

【0069】

10

なお、この実施の形態では、大当り後再抽選を行う場合は、変動停止時に導出表示される停止図柄が特別図柄と飾り図柄とで対応しない。例えば、変動停止時に導出表示される特別図柄の停止図柄が確変図柄「7」であったとしても、大当り後に再抽選演出を実行する場合には、変動停止時に導出表示される飾り図柄の停止図柄は非確変図柄「2UF」等となる。この場合は、大当り後の再抽選演出にて飾り図柄の停止図柄として確変図柄が導出表示されることになる。

【0070】

（2-3）この実施の形態では、大当りとなること又は大当りとなる可能性が高いことを遊技者に報知（予告）するために、飾り図柄の変動の途中で、左中右の飾り図柄の特殊な組み合わせを停止表示する演出を実行する。このような左中右の飾り図柄の特殊な組み合わせを、演出上のチャンス目と呼んでいる。この実施の形態では、演出上のチャンス目として、チャンス目Aとチャンス目Bとが設けられている。

20

【0071】

図5に示すように、チャンス目Aとして、40種類のチャンス目（「1C」～「40C」）が設けられている。また、図6に示すように、チャンス目Bとして、32種類のチャンス目（「41C」～「72C」）が設けられている。なお、各チャンス目に付されている記号（C）は、Chanceの略である。図5に示す演出上のチャンス目Aが停止表示されると、その後にスーパーリーチに発展する。また、図6に示す演出上のチャンス目Bが停止表示されると、その後にスーパーリーチに発展し又はリーチに発展せずに大当りとなる。従って、遊技者は、チャンス目A、Bが停止表示されることにより、大当りの発生を期待するようになる。

30

【0072】

はずれ図柄を決定したときに、決定したはずれ図柄が偶然にチャンス目Aまたはチャンス目Bになってしまうことが起こり得る。この場合、チャンス目Aまたはチャンス目Bが導出表示されると、スーパーリーチに発展しないのに遊技者にスーパーリーチに発展する（大当りの可能性が高い）との誤解を与えてしまうおそれがある。このような誤解を回避するために、この実施の形態では、チャンス目Aまたはチャンス目Bと同じ図柄をはずれ図柄として導出表示するのを禁止する制御が実行される。

【0073】

（2-4）飾り図柄の突然確変図柄は、左中右の飾り図柄の組み合わせが中段のライン上にて各々異なる特定の図柄（「1」「3」「5」「7」「8」）で停止表示された状態の図柄である。この実施の形態では、図7に示すように、突然確変図柄として、10種類の図柄（太枠で囲われた図柄：「73C」「78C」「113C」「118C」「123C」「128C」「133C」「138C」「143C」「148C」）が設けられている。具体的には、中段のライン上に「135」「571」「185」「318」「387」「578」「753」「783」「835」「873」が停止表示された状態の図柄が突然確変図柄である。なお、突然確変図柄のことを突確用のチャンス目ともいう。

40

【0074】

突然確変図柄も大当り図柄の一種であるが、突然、確変状態に移行されたように見せるためには、突然確変図柄によって大当りの発生を容易に認識させないようにするのが望ま

50

しい。このため、上記のように、突然確変図柄を他の大当たり図柄とは異なる図柄としている。

【0075】

はずれ図柄を決定したときに、決定したはずれ図柄が偶然に突然確変図柄になってしまふことが起こり得る。この場合、突然確変図柄が導出表示されると、確変状態に移行されないのに遊技者に確変状態に移行されたとの誤解を与えてしまうおそれがある。このような誤解を回避するために、この実施の形態では、突然確変図柄と同じ図柄をはずれ図柄として導出表示するのを禁止する制御が実行される。

【0076】

図7には、突然確変図柄以外の図柄（「74C」～「77C」など；以下、「突確類似図柄」という。）も示している。これらの突確類似図柄は、突然確変図柄と数字の並び（組み合わせ）は同じであるが、突然確変図柄が停止表示されるラインとは異なるラインに停止表示されている。すなわち、「135」の例では、突然確変図柄は中段のラインに停止表示されるが、突確類似図柄は上段や下段などのラインに停止表示されている。このような図柄は突然確変図柄に似ているので、はずれ図柄として導出表示すると、遊技者に突然確変図柄が導出表示されたとの誤解を与えてしまうおそれがある。このため、突然確変図柄と同様に、突確類似図柄をはずれ図柄として導出表示するのを禁止する制御が実行される。

【0077】

（2-5）飾り図柄の小当たり図柄も、突然確変図柄と同じように、左中右の飾り図柄の組み合わせが中段のライン上にて各々異なる特定の図柄（「1」「3」「5」「7」「8」）で停止表示された状態の図柄である。但し、小当たり図柄は、突然確変図柄と数字の並び（組み合わせ）が異なる。この実施の形態では、図8に示すように、小当たり図柄として、10種類の図柄（太枠で囲われた図柄：「83C」「88C」「153C」「158C」「163C」「168C」「173C」「178C」「183C」「188C」）が設けられている。具体的には、中段のライン上に「531」「175」「317」「357」「378」「518」「713」「815」「853」「875」が停止表示された状態の図柄が小当たり図柄である。なお、小当たり図柄のことを小当たり用のチャンス目ともいう。

【0078】

このように、飾り図柄の小当たり図柄を突然確変図柄と似ている図柄としているので、遊技者が飾り図柄の停止図柄から突然確変大当たりが発生したのか小当たりが発生したのかを認識し難いことになる。また、上述したように、突然確変大当たり状態のときと小当たり状態のときは同じ特別な演出（突確専用の演出を除く）が実行されるので、遊技者は演出の内容からも突然確変大当たりが発生したのか小当たりが発生したのかを認識できないことになる。さらに、突然確変大当たりおよび小当たりの終了後において確変状態または通常遊技状態のいずれかに制御された場合、確変状態および通常遊技状態のいずれの場合も、特別図柄および飾り図柄の変動時間は短縮されず、可変入賞球装置15における開放時間や開放回数も向上されず、普通図柄の変動時間も短縮されないため、遊技者は遊技状態がどの状態に移行されたかについて認識することもできない。よって、突然確変大当たりまたは小当たりの終了後に、遊技者による確変状態への移行に対する期待を持続させることができることとなる。なお、特別図柄に関しては、突然確変図柄が「5」で小当たり図柄が「4」であり、異なる図柄である。

【0079】

はずれ図柄を決定したときに、決定したはずれ図柄が偶然に小当たり図柄になってしまうことが起こり得る。この場合、小当たり図柄が導出表示されると、遊技者に突然確変が発生したかもしれない（確変状態に移行されたかもしれない）と誤解を与えてしまうおそれがある。このような誤解を回避するために、この実施の形態では、小当たり図柄と同じ図柄をはずれ図柄として導出表示するのを禁止する制御が実行される。

【0080】

図8には、小当たり図柄以外の図柄（「84C」～「87C」など；以下、「小当たり類似

10

20

30

40

50

図柄」という。)も示している。これらの小当り類似図柄は、小当り図柄と数字の並び(組み合わせ)は同じであるが、小当り図柄が停止表示されるラインとは異なるラインに停止表示されている。すなわち、「5 3 1」の例では、小当り図柄は中段のラインに停止表示されるが、小当り類似図柄は上段や下段などのラインに停止表示されている。このような図柄は小当り図柄に似ているので、はずれ図柄として導出表示すると、遊技者に小当り図柄と似ている突然確変図柄が導出表示されたと誤解を与えてしまうおそれがある。このため、小当り図柄と同様に、小当り類似図柄をはずれ図柄として導出表示するのを禁止する制御が実行される。

【0081】

図9は、主基板(遊技制御基板)31における回路構成の一例を示すブロック図である。なお、図9には、払出制御基板37および演出制御基板80等も示されている。主基板31には、プログラムに従ってパチンコ遊技機1を制御する基本回路(遊技制御手段に相当)53が搭載されている。基本回路53は、ゲーム制御(遊技進行制御)用のプログラム等を記憶するROM54、ワークメモリとして使用される記憶手段としてのRAM55、およびプログラムに従って制御動作を行うCPU56を有する遊技制御用マイクロコンピュータ560と、I/Oポート部57とを含む。この実施の形態では、ROM54およびRAM55は遊技制御用マイクロコンピュータ560に内蔵されている。すなわち、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、1チップマイクロコンピュータである。1チップマイクロコンピュータは、少なくともRAM55が内蔵されていればよく、ROM54は外付けであっても内蔵されていてもよい。また、I/Oポート部57は、遊技制御用マイクロコンピュータ560に内蔵されていてもよい。その場合には、遊技制御用マイクロコンピュータ560に、I/Oポート部も含まれる。

【0082】

なお、遊技制御用マイクロコンピュータ560においてCPU56がROM54に格納されているプログラムに従って制御を実行するので、以下、遊技制御用マイクロコンピュータ560が実行する(または、処理を行う)ということは、具体的には、CPU56がプログラムに従って制御を実行することである。このことは、主基板31以外の他の基板に搭載されているマイクロコンピュータについても同様である。また、遊技制御手段は、遊技制御用マイクロコンピュータ560を含む基本回路53で実現されている。

【0083】

また、ゲートスイッチ32a、始動口スイッチ14a、カウントスイッチ23、および入賞口スイッチ29a、30a、33a、39aからの検出信号を基本回路53に与える入力ドライバ回路58も主基板31に搭載され、特別可変入賞装置(開閉板20)を開閉するソレノイド21および可変入賞装置15を開閉するソレノイド16を基本回路53からの指令に従って駆動するソレノイド回路59も主基板31に搭載され、電源投入時に遊技制御用マイクロコンピュータ560をリセットするためのシステムリセット回路(図示せず)や、基本回路53から与えられるデータに従って、大当り遊技状態の発生を示す大当り情報等の情報出力信号をホールコンピュータ等の外部装置に対して出力する情報出力回路64も主基板31に搭載されている。

【0084】

この実施の形態では、遊技制御用マイクロコンピュータ560が、特別図柄を可変表示する特別図柄表示器8の表示制御を行うとともに、普通図柄を可変表示する普通図柄表示器10の表示制御も行う。さらに、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、特別図柄保留記憶表示器18の表示状態の制御を行うとともに、普通図柄保留記憶表示器41の表示状態の制御も行う。

【0085】

遊技球を打撃して発射する打球発射装置は、発射モータ94が回転することによって遊技球を遊技領域7に向けて発射する。発射モータ94を駆動するための電源信号は、電源基板(図示せず)に搭載されている電源からタッチセンサ基板90を介して発射モータ94に供給される。なお、カードユニット50から接続信号(VL信号)がインタフェース

基板 66 を介してタッチセンサ基板 90 に入力される。また、遊技者が操作ノブ（打球ハンドル）5 に触れていることはタッチセンサ基板 90 に搭載されているタッチセンサで検出される。そして、タッチセンサからの検出信号と電源からの信号とがタッチセンサ基板 90 上の一の AND 回路に入力され、当該一の AND 回路の出力信号とカードユニット 50 からの VL 信号とがタッチセンサ基板 90 上の他の AND 回路に入力され、他の AND 回路から発射モータ 94 に信号が出力される。従って、カードユニット 50 からの VL 信号がタッチセンサ基板 90 に出力されていなかったり、遊技者が操作ノブ 5 に触れていないことによりタッチセンサから検出信号が出力されていないときは、発射モータ 94 の駆動が停止される。

【0086】

10

この実施の形態では、演出制御基板 80 に搭載されている演出制御手段（演出制御用マイクロコンピュータで構成される。）が、中継基板 77 を介して遊技制御用マイクロコンピュータ 560 からの演出制御コマンドを受信し、飾り図柄を可変表示する可変表示装置 9 の表示制御を行う。

【0087】

図 10 は、中継基板 77、演出制御基板 80、ランプドライバ基板 35 および音声出力基板 70 の回路構成例を示すブロック図である。なお、図 10 に示す例では、ランプドライバ基板 35 および音声出力基板 70 には、マイクロコンピュータは搭載されていないが、マイクロコンピュータを搭載してもよい。また、ランプドライバ基板 35 および音声出力基板 70 を設けずに、演出制御に関して演出制御基板 80 のみを設けてもよい。

20

【0088】

演出制御基板 80 は、演出制御用 CPU 101 および RAM を含む演出制御用マイクロコンピュータ 100 を搭載している。なお、RAM は外付けであってもよい。演出制御基板 80 において、演出制御用マイクロコンピュータ 100 は、内蔵または外付けの ROM（図示せず）に格納されたプログラムに従って動作し、中継基板 77 を介して入力される主基板 31 からのストロブ信号（演出制御 INT 信号）に応じて、入力ドライバ 102 および入力ポート 103 を介して演出制御コマンドを受信する。また、演出制御用マイクロコンピュータ 100 は、演出制御コマンドにもとづいて、VDP（ビデオディスプレイプロセッサ）109 に、LCD を用いた可変表示装置 9 の表示制御を行わせる。

【0089】

30

演出制御コマンドおよび演出制御 INT 信号は、演出制御基板 80 において、まず、入力ドライバ 102 に入力する。入力ドライバ 102 は、中継基板 77 から入力された信号を演出制御基板 80 の内部に向かう方向にしか通過させない（演出制御基板 80 の内部から中継基板 77 への方向には信号を通過させない）信号方向規制手段としての単方向性回路でもある。

【0090】

中継基板 77 には、主基板 31 から入力された信号を演出制御基板 80 に向かう方向にしか通過させない（演出制御基板 80 から中継基板 77 への方向には信号を通過させない）信号方向規制手段としての単方向性回路が搭載されている。単方向性回路として、例えばダイオードやトランジスタが使用される。図 10 には、ダイオードが例示されている。また、単方向性回路は、各信号毎に設けられる。

40

【0091】

さらに、演出制御用マイクロコンピュータ 100 は、入出力ポート 105 を介してランプドライバ基板 35 に対してランプを駆動する信号を出力する。また、演出制御用マイクロコンピュータ 100 は、入出力ポート 104 を介して音声出力基板 70 に対して音番号データを出力する。

【0092】

ランプドライバ基板 35 において、ランプを駆動する信号は、入出力ドライバ 351 を介してランプドライバ 352 に入力される。ランプドライバ 352 は、ランプを駆動する信号を増幅して天枠ランプ 28a、左枠ランプ 28b、右枠ランプ 28c などの枠側に設

50

けられている各ランプに供給する。また、枠側に設けられている装飾ランプ25に供給する。

【0093】

音声出力基板70において、音番号データは、入出力ドライバ702を介して音声合成用IC703に入力される。音声合成用IC703は、音番号データに応じた音声や効果音を発生し増幅回路705に出力する。増幅回路705は、音声合成用IC703の出力レベルを、ボリューム706で設定されている音量に応じたレベルに増幅した音声信号をスピーカ27に出力する。音声データROM704には、音番号データに応じた制御データが格納されている。音番号データに応じた制御データは、所定期間（例えば飾り図柄の変動期間）における効果音または音声の出力態様を時系列的に示すデータの集まりである。

10

【0094】

なお、ランプを駆動する信号および音番号データは、演出制御用マイクロコンピュータ100とランプドライバ基板35および音声出力基板70との間で、双方向通信（信号受信側から送信側に応答信号を送信するような通信）によって伝達される。

【0095】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した演出制御コマンドに従ってキャラクタROM（図示せず）から必要なデータを読み出す。キャラクタROMは、可変表示装置9に表示される画像の中でも使用頻度の高いキャラクタ画像データ、具体的には、人物、文字、図形または記号等（飾り図柄を含む）をあらかじめ格納しておくためのものである。演出制御用マイクロコンピュータ100は、キャラクタROMから読み出したデータをVDP109に出力する。VDP109は、演出制御用マイクロコンピュータ100から入力されたデータにもとづいて可変表示装置9の表示制御を実行する。

20

【0096】

この実施の形態では、可変表示装置9の表示制御を行うVDP109が演出制御基板80に搭載されている。VDP109は、演出制御用マイクロコンピュータ100とは独立したアドレス空間を有し、そこにVRAMをマッピングする。VRAMは、VDPによって生成された画像データを展開するためのバッファメモリである。そして、VDP109は、VRAM内の画像データを可変表示装置9に出力する。

【0097】

次に遊技機の動作について説明する。図11は、主基板31における遊技制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ560：CPU56およびROM54，RAM55等の周辺回路）が実行するメイン処理を示すフローチャートである。遊技機に対して電源が投入され、リセット端子の入力レベルがハイレベルになると、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ステップS1以降のメイン処理を開始する。メイン処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、まず、必要な初期設定を行う。

30

【0098】

初期設定処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、まず、割込禁止に設定する（ステップS1）。次に、割込モードを割込モード2に設定し（ステップS2）、スタックポインタにスタックポインタ指定アドレスを設定する（ステップS3）。そして、内蔵デバイスレジスタの初期化を行う（ステップS4）。また、内蔵デバイス（内蔵周辺回路）であるCTC（カウンタ／タイマ）およびPIO（パラレル入出力ポート）の初期化（ステップS5）を行った後、RAMをアクセス可能状態に設定する（ステップS6）。なお、割込みモード2は、遊技制御用マイクロコンピュータ560が内蔵する特定レジスタ（Iレジスタ）の値（1バイト）と内蔵デバイスが出力する割込みベクタ（1バイト：最下位ビット0）から合成されるアドレスが、割込み番地を示すモードである。

40

【0099】

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、入力ポートを介して入力されるクリアスイッチ（図示せず）の出力信号の状態を1回だけ確認する（ステップS7）。その確認においてオンを検出した場合には、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、通常

50

の初期化処理を実行する（ステップS 1 1～ステップS 1 4）。

【0 1 0 0】

クリアスイッチがオンの状態でない場合には、遊技機への電力供給が停止したときにRAM 5 5のバックアップRAM領域のデータ保護処理（例えばパリティデータの付加等の電力供給停止時処理）が行われたか否か確認する（ステップS 8）。そのような保護処理が行われていないことを確認したら、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は初期化処理を実行する。バックアップRAM領域にバックアップデータがあるか否かは、例えば、電力供給停止時処理においてバックアップRAM領域に設定されるバックアップフラグの状態によって確認される。この例では、バックアップフラグ領域に「5 5 H」が設定されていればバックアップあり（オン状態）を意味し、「5 5 H」以外の値が設定されてい

10

【0 1 0 1】

バックアップありを確認したら、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、バックアップRAM領域のデータチェック（この例ではパリティチェック）を行う（ステップS 9）。ステップS 9では、算出したチェックサムと、電力供給停止時処理にて同一の処理によって算出され保存されているチェックサムとを比較する。不測の停電等の電力供給停止が生じた後に復旧した場合には、バックアップRAM領域のデータは保存されているはずであるから、チェック結果（比較結果）は正常（一致）になる。チェック結果が正常でないということは、バックアップRAM領域のデータが、電力供給停止時のデータとは異なっていることを意味する。そのような場合には、内部状態を電力供給停止時の状態に戻す

20

【0 1 0 2】

チェック結果が正常であれば、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、遊技制御手段の内部状態と演出制御手段等の電気部品制御手段の制御状態を電力供給停止時の状態に戻すための遊技状態復旧処理を行う（ステップS 1 0）。そして、バックアップRAM領域に保存されていたPC（プログラムカウンタ）の退避値がPCに設定され、そのアドレスに復帰する。

【0 1 0 3】

なお、この実施の形態では、バックアップフラグとバックアップデータとの双方を用いてバックアップRAM領域のデータが正常に保存されているか否かを確認しているが、いずれか一方のみを用いてもよい。すなわち、バックアップフラグとバックアップデータのいずれかを、状態復旧処理を実行するための契機としてもよい。

30

【0 1 0 4】

初期化処理では、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、まず、RAMクリア処理を行う（ステップS 1 1）。また、所定の作業領域（例えば、普通図柄判定用乱数カウンタ、普通図柄判定用バッファ、特別図柄バッファ、特別図柄プロセスフラグ、払出コマンド格納ポインタ、賞球中フラグ、球切れフラグ、払出停止フラグなど制御状態に応じて選択的に処理を行うためのフラグ）に初期値を設定する作業領域設定処理を行う（ステップS 1 2）。さらに、サブ基板（この実施の形態では払出制御基板3 7および演出制御基板8 0）を初期化するための初期化コマンドを各サブ基板に送信する処理を実行する（ステップS 1 3）。初期化コマンドとして、可変表示装置9に表示される飾り図柄の初期図柄を示すコマンド等がある。

40

【0 1 0 5】

そして、2 m s 毎に定期的にタイマ割込がかかるように遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0に設けられているCTCのレジスタの設定が行われる（ステップS 1 4）。すなわち、初期値として2 m s に相当する値が所定のレジスタ（時間定数レジスタ）に設定される。

【0 1 0 6】

初期化処理の実行（ステップS 1 1～S 1 4）が完了すると、メイン処理で、表示用乱

50

数更新処理（ステップS 1 7）および初期値用乱数更新処理（ステップS 1 8）が繰り返し実行される。表示用乱数更新処理および初期値用乱数更新処理が実行されるときには割込禁止状態とされ（ステップS 1 6）、表示用乱数更新処理および初期値用乱数更新処理の実行が終了すると割込許可状態とされる（ステップS 1 9）。表示用乱数とは、特別図柄表示器8に表示される特別図柄のはずれ図柄を決定するための乱数や、図柄の変動パターンを決定するための乱数であり、表示用乱数更新処理とは、表示用乱数を発生するためのカウンタのカウント値を更新する処理である。また、初期値用乱数更新処理とは、初期値用乱数を発生するためのカウンタのカウント値を更新する処理である。初期値用乱数とは、大当たりとするか否かを判定するための乱数を発生するためのカウンタ（大当たり判定用乱数発生カウンタ）等の、カウント値の初期値を決定するための乱数である。後述する遊技制御処理において、大当たり決定用乱数発生カウンタのカウント値が1周すると、そのカウンタに初期値が設定される。

10

【0107】

なお、表示用乱数更新処理および初期値用乱数更新処理が実行されるときには割込禁止状態とされるのは、表示用乱数更新処理および初期値用乱数更新処理が後述するタイマ割込処理でも実行されることから、タイマ割込処理における処理と競合してしまうのを避けるためである。すなわち、ステップS 1 7やステップS 1 8の処理中にタイマ割込が発生してタイマ割込処理中で表示用乱数を発生するためのカウンタのカウント値や初期値用乱数を発生するためのカウンタのカウント値を更新してしまったのでは、カウント値の連続性が損なわれる場合がある。しかし、ステップS 1 7およびステップS 1 8の処理中では

20

【0108】

次に、遊技制御処理について説明する。図12は、タイマ割込処理を示すフローチャートである。メイン処理の実行中に、具体的には、ステップS 1 6～S 1 9のループ処理の実行中における割込許可になっている期間において、タイマ割込が発生すると、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、図12に示すステップS 2 0～S 3 7のタイマ割込処理を実行する。タイマ割込処理において、まず、電源断信号が出力されたか否か（オン状態になったか否か）を検出する電源断処理を実行する（ステップS 2 0）。電源断信号は、例えば電源基板上に搭載されている電源監視回路が、遊技機に供給される電源の電圧の低下を検出した場合に出力する。そして、電源断処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、電源断信号が出力されたことを検出したら、必要なデータをバックアップRAM領域に保存するための電力供給停止時処理を実行する。次いで、入力ドライバ回路58を介して、ゲートスイッチ32a、始動口スイッチ14a、カウントスイッチ23および入賞口スイッチ29a, 30a, 33a, 39aの検出信号を入力し、それらの状態判定を行う（スイッチ処理：ステップS 2 1）。

30

【0109】

次に、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、特別図柄表示器8、普通図柄表示器10、特別図柄保留記憶表示器18、普通図柄保留記憶表示器41および状態表示灯（図示せず）の表示制御を行う表示制御処理を実行する（ステップS 2 2）。特別図柄表示器8、普通図柄表示器10および状態表示灯については、ステップS 3 4～S 3 6で設定された出力バッファの内容に応じて各表示器に対して駆動信号を出力する制御を実行する。

40

【0110】

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、遊技制御に用いられる大当たり判定用の乱数等の各判定用乱数を生成するための各カウンタのカウント値を更新する処理を行う（判定用乱数更新処理：ステップS 2 3）。遊技制御用マイクロコンピュータ560は、さらに、初期値用乱数および表示用乱数を生成するためのカウンタのカウント値を更新する処理を行う（初期値用乱数更新処理、表示用乱数更新処理：ステップS 2 4, S 2 5）。

【0111】

各乱数は、以下のように使用される。

50

- (1) ランダム 1：大当りを発生させるか否か（および小当りを発生させるか否か）決定する（大当り判定用）
- (2) ランダム 2：大当りの種別を決定する（大当り種別決定用）
- (3) ランダム 3：特別図柄のはずれ図柄を決定する（はずれ図柄決定用）
- (4) ランダム 4：特別図柄の変動パターンを決定する（変動パターン決定用）
- (5) ランダム 5：普通図柄にもとづく当りを発生させるか否か決定する（普通図柄当り判定用）
- (6) ランダム 6：ランダム 1 の初期値を決定する（ランダム 1 初期値決定用）
- (7) ランダム 7：ランダム 5 の初期値を決定する（ランダム 5 初期値決定用）

【0112】

図 12 に示された遊技制御処理におけるステップ S 23 では、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、(1) の大当り判定用乱数、(2) の大当り種別決定用乱数、(5) の普通図柄当り判定用乱数を生成するためのカウンタのカウントアップ（1 加算）を行う。すなわち、それらが判定用乱数であり、それら以外の乱数が表示用乱数または初期値用乱数である。なお、遊技効果を高めるために、上記 (1) ～ (7) の乱数以外の乱数も用いられている。

10

【0113】

次に、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、特別図柄プロセス処理を行う（ステップ S 26）。特別図柄プロセス処理では、遊技状態に応じて特別図柄表示器 8 や特別可変入賞装置（大入賞口）を所定の順序で制御するための特別図柄プロセスフラグに従って該当する処理を実行する。遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、特別図柄プロセス

20

【0114】

また、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、普通図柄プロセス処理を行う（ステップ S 27）。普通図柄プロセス処理では、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、普通図柄表示器 10 の表示状態を所定の順序で制御するための普通図柄プロセスフラグに従って該当する処理を実行する。遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、普通図柄プロセスフラグの値を、遊技状態に応じて各処理中に更新する。普通図柄プロセス処理を実行することにより普通図柄表示器 10 の表示制御および可変入賞球装置 15 の開閉制御が実行される。

【0115】

30

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、可変表示装置 9 における飾り図柄の表示制御に関する演出制御コマンドなどを送出する処理を行う（飾り図柄コマンド制御処理：ステップ S 28）。

【0116】

さらに、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、例えばホール管理用コンピュータに供給される大当り情報、始動情報、確率変動情報などのデータを出力する情報出力処理を行う（ステップ S 29）。

【0117】

また、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、始動口スイッチ 14a、カウントスイッチ 23 および入賞口スイッチ 29a, 30a, 33a, 39a の検出信号にもとづく賞球個数の設定などを行う賞球処理を実行する（ステップ S 30）。具体的には、始動口スイッチ 14a、カウントスイッチ 23 および入賞口スイッチ 29a, 30a, 33a, 39a のいずれかがオンしたことにもとづく入賞検出に応じて、払出制御基板 37 に搭載されている払出制御用マイクロコンピュータに賞球個数を示す払出制御コマンドを出力する。払出制御用マイクロコンピュータは、賞球個数を示す払出制御コマンドに応じて球払出装置 97 を駆動する。

40

【0118】

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 は、遊技機の制御状態を遊技機外部で確認できるようにするための試験信号を作成し出力する処理である試験端子処理を実行する（ステップ S 31）。さらに、所定の条件が成立したときにソレノイド回路 59 に駆動

50

指令を行う（ステップS 3 2：出力処理）。可変入賞球装置 1 5 または開閉板 2 0 を開状態または閉状態とするために、ソレノイド回路 5 9 は、駆動指令に応じてソレノイド 1 6、2 1 を駆動する。

【0 1 1 9】

また、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、保留記憶数の増減をチェックする記憶処理を実行する（ステップS 3 3）。

【0 1 2 0】

また、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、特別図柄プロセスフラグの値に応じて特別図柄の演出表示を行うための特別図柄表示制御データを特別図柄表示制御データ設定用の出力バッファに設定する特別図柄表示制御処理を行う（ステップS 3 4）。例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、変動速度が 1 コマ / 0. 2 秒であれば、0. 2 秒が経過する毎に、出力バッファに設定される表示制御データの値を + 1 する。また、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、出力バッファに設定された表示制御データに応じて、ステップS 2 2 において駆動信号を出力することによって、特別図柄表示器 8 における特別図柄の可変表示を実行する。

【0 1 2 1】

また、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、普通図柄プロセスフラグの値に応じて普通図柄の演出表示を行うための普通図柄表示制御データを普通図柄表示制御データ設定用の出力バッファに設定する普通図柄表示制御処理を行う（ステップS 3 5）。例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、普通図柄の変動速度が 0. 2 秒ごとに表示状態（「○」および「×」）を切り替えるような速度であれば、0. 2 秒が経過する毎に、出力バッファに設定される表示制御データの値（例えば、「○」を示す 1 と「×」を示す 0）を切り替える。また、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、出力バッファに設定された表示制御データに応じて、ステップS 2 2 において駆動信号を出力することによって、普通図柄表示器 1 0 における普通図柄の演出表示を実行する。

【0 1 2 2】

さらに、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、遊技状態に応じて状態表示灯の表示を行うための状態表示制御データを状態表示制御データ設定用の出力バッファに設定する状態表示灯表示処理を行う（ステップS 3 6）。遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、出力バッファに設定された表示制御データに応じて、ステップS 2 2 において駆動信号を出力することによって、状態表示灯の表示を実行する。

【0 1 2 3】

その後、割込許可状態に設定し（ステップS 3 7）、処理を終了する。

【0 1 2 4】

以上の制御によって、この実施の形態では、遊技制御処理は 2 m s 毎に起動されることになる。なお、遊技制御処理は、タイマ割込処理におけるステップS 2 1 ~ S 3 6 の処理に相当する。また、この実施の形態では、タイマ割込処理で遊技制御処理が実行されているが、タイマ割込処理では例えば割込が発生したことを示すフラグのセットのみがなされ、遊技制御処理はメイン処理において実行されるようにしてもよい。

【0 1 2 5】

図 1 3 および図 1 4 は、主基板 3 1 に搭載される遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 が実行する特別図柄プロセス処理（ステップS 2 6）のプログラムの一例を示すフローチャートである。上述したように、特別図柄プロセス処理では特別図柄表示器 8 を制御するための処理が実行される。

【0 1 2 6】

遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、特別図柄プロセス処理を行う際に、遊技盤 6 に設けられている始動入賞口 1 4 に遊技球が入賞したことを検出するための始動口スイッチ 1 4 a がオンしていたら、すなわち遊技球が始動入賞口 1 4 に入賞する始動入賞が発生していたら（ステップS 3 1 1）、保留記憶数（始動入賞記憶数）が上限値（保留記憶数 = 4）に達しているかどうかを確認する（ステップS 3 1 2）。

【0127】

保留記憶数が上限値に達していないときは（ステップS312のN）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ソフトウェア乱数（当たり判定用乱数等を作成するためのカウンタの値等）を抽出し、それらを、抽出した乱数値として保留記憶数カウンタの値に対応する保留記憶バッファにおける保存領域に格納する処理を実行する（ステップS313）。乱数を抽出するとは、乱数を作成させるためのカウンタからカウント値を読み出して、読み出したカウント値を乱数値とすることである。ステップS313では、上記の各乱数のうち、ランダム1～ランダム4が抽出される。保留記憶バッファにおいて、保存領域は、保留記憶数の上限値と同数確保されている。また、当たり判定用乱数等を作成するためのカウンタや保留記憶バッファは、RAM55に形成されている。「RAMに形成されている」とは、RAM内の領域であることを意味する。

10

【0128】

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、保留記憶数を示す保留記憶カウンタの値を1増やす（ステップS314）。なお、図13には示していないが、保留記憶数カウンタの値を1増やしたときは、始動入賞記憶指定コマンド（このときの始動入賞記憶指定コマンドは始動入賞が発生したことにより始動入賞記憶数が+1されたことを示すコマンドである）が送信される。その後、内部状態（具体的には、特別図柄プロセスフラグの値）に応じて、ステップS300～S310のうちのいずれかの処理を行う。

【0129】

特別図柄通常処理（ステップS300）：遊技制御用マイクロコンピュータ560は、特別図柄の可変表示が開始できる状態になると、保留記憶バッファに記憶される数値データの記憶数（保留記憶数）を確認する。保留記憶バッファに記憶される数値データの記憶数は保留記憶カウンタのカウント値により確認できる。そして、保留記憶カウンタのカウント値が0でなければ、当たりとするか否か（特別図柄の可変表示の表示結果を特定表示結果とするか否か）を決定する。当たりとする場合には、当たりフラグをセットし、当たりの種別（非確変当たり、確変当たり、突然確変当たりなど）を決定する。当たりとしない場合には、小当たりとするか否かを決定する。小当たりとする場合には、小当たりフラグをセットする。そして、内部状態（特別図柄プロセスフラグ）をステップS301に応じた値に更新する。

20

【0130】

変動パターン設定処理（ステップS301）：特別図柄の可変表示の変動パターン（図柄変動中の演出態様：なお、変動パターンによって変動時間も特定される。）を、始動入賞発生時に抽出した変動パターン決定用乱数（表示用乱数の一つ）の値に応じてあらかじめ定められた複数種類の変動パターンの中から選択する。また、決定された変動パターンにもとづいて、特別図柄が可変表示され導出表示されるまでの可変表示時間（変動時間）を特別図柄プロセスタイマにセットした後、特別図柄プロセスタイマをスタートさせる。そして、内部状態（特別図柄プロセスフラグ）をステップS302に応じた値に更新する。

30

【0131】

特別図柄変動中処理（ステップS302）：変動パターン設定処理で選択された変動パターンの変動時間が経過（ステップS301でセットされた特別図柄プロセスタイマがタイムアウト）すると、内部状態（特別図柄プロセスフラグ）をステップS303に応じた値に更新する。

40

【0132】

特別図柄停止処理（ステップS303）：特別図柄表示器8における可変表示を停止して停止図柄を表示させる。また、可変表示装置9における飾り図柄の可変表示の停止を指定する演出制御コマンド（飾り図柄停止指定コマンド）を演出制御基板80に送信する。当たりフラグがセットされている場合には、当たり図柄を停止表示してから当たり遊技を開始するまでの時間（当たり表示時間）を大入賞口制御タイマにセットした後、大入賞口制御タイマをスタートさせる。また、当たり図柄を停止表示した後に当たり遊技が開始さ

50

れることを示す合図の演出（ファンファーレ演出）を演出制御用マイクロコンピュータ100に実行させるための演出制御コマンド（ファンファーレコマンド）を演出制御基板80に送信する。そして、内部状態（特別図柄プロセスフラグ）をステップS304に応じた値に更新する。小当りフラグがセットされている場合には、小当り図柄を停止表示してから小当り遊技を開始するまでの時間（小当り表示時間）を大入賞口制御タイマにセットした後、大入賞口制御タイマをスタートさせる。また、小当り図柄を停止表示した後に小当り遊技における特別な演出（2ラウンド用演出；なお、2ラウンド用演出は突然確変大当りが発生した場合に実行される演出（突確専用の演出を除く）と同じ演出である）を演出制御用マイクロコンピュータ100に実行させるための演出制御コマンド（ファンファーレコマンド）を演出制御基板80に送信する。そして、内部状態（特別図柄プロセスフラグ）をステップS308に応じた値に更新する。大当りフラグおよび小当りフラグがセットされていない場合には、内部状態をステップS300に応じた値に更新する。

10

【0133】

大入賞口開放前処理（ステップS304）：大当り表示時間が経過したときに、大入賞口を開放する制御を開始する。具体的には、ソレノイド21を駆動して特別可変入賞装置を開状態にして大入賞口を開放する。また、カウンタによってラウンド数をカウントする。また、大入賞口制御タイマに大入賞口開放中処理の実行時間（ラウンド時間）を設定し、内部状態（特別図柄プロセスフラグ）をステップS305に応じた値に更新する。

【0134】

大入賞口開放中処理（ステップS305）：大入賞口の閉成条件の成立を確認する処理等を行う。大入賞口の閉成条件が成立したら、ソレノイド21を駆動して特別可変入賞装置を閉状態にして大入賞口を閉鎖する。また、ラウンドが終了してから次のラウンドが開始するまでの時間（インターバル時間）を大入賞口制御タイマに設定し、内部状態（特別図柄プロセスフラグ）をステップS306に応じた値に更新する。

20

【0135】

大入賞口開放後処理（ステップS306）：インターバル時間が経過したときに、残りラウンドがあるかどうかを確認する。残りラウンドがある場合には、大入賞口を開放する制御を開始する。具体的には、ソレノイド21を駆動して特別可変入賞装置を開状態にして大入賞口を開放する。また、カウンタによってラウンド数をカウントする。また、大入賞口制御タイマに大入賞口開放中処理の実行時間（ラウンド時間）を設定し、内部状態（特別図柄プロセスフラグ）をステップS305に応じた値に更新する。一方、全てのラウンドを終えた場合には、大当り遊技状態が終了したことを遊技者に報知する演出（エンディング演出）を演出制御用マイクロコンピュータ100に行わせるための演出制御コマンド（エンディングコマンド）を演出制御基板80に送信し、大入賞口制御タイマに大当り終了処理の実行時間（大当り終了時間）を設定した後、内部状態をステップS307に応じた値に更新する。

30

【0136】

大当り終了処理（ステップS307）：大当り遊技状態を終了させるための所定のフラグのセット・リセットの処理等を行う。そして、内部状態をステップS300に応じた値に更新する。

40

【0137】

小当り開放前処理（ステップS308）：小当り表示時間またはインターバル時間が経過したときに、残りラウンドがあるかどうかを確認する。残りラウンドがある場合には、大入賞口を開放する制御を開始する。具体的には、ソレノイド21を駆動して特別可変入賞装置を開状態にして大入賞口を開放する。また、カウンタによってラウンド数をカウントする。また、大入賞口制御タイマに小当り開放中処理の実行時間（ラウンド時間）を設定し、内部状態（特別図柄プロセスフラグ）をステップS309に応じた値に更新する。一方、全てのラウンドを終えた場合には、小当り遊技状態が終了したことを遊技者に報知する演出（エンディング演出）を演出制御用マイクロコンピュータ100に行わせるための演出制御コマンド（エンディングコマンド）を演出制御基板80に送信し、大入賞口制

50

御タイマに小当り終了処理の実行時間（小当り終了時間）を設定した後、内部状態をステップS 3 1 0に応じた値に更新する。

【0 1 3 8】

小当り開放中処理（ステップS 3 0 9）：大入賞口の閉成条件の成立を確認する処理等を行う。大入賞口の閉成条件が成立したら、ソレノイド2 1を駆動して特別可変入賞装置を閉状態にして大入賞口を閉鎖する。そして、ラウンドが終了してから次のラウンドが開始するまでの時間（インターバル時間）を大入賞口制御タイマに設定し、内部状態をステップS 3 0 8に応じた値に更新する。

【0 1 3 9】

小当り終了処理（ステップS 3 1 0）：小当り遊技状態を終了させるための所定のフラグのセット・リセットの処理等を行う。そして、内部状態をステップS 3 0 0に応じた値に更新する。

【0 1 4 0】

図1 5および図1 6は、演出制御基板8 0に送出される演出制御コマンドの内容の一例を示す説明図である。この実施の形態では、演出制御コマンドは2 バイト構成である。1 バイト目はMODE（コマンドの分類）を表し、2 バイト目はEXT（コマンドの種類）を表す。MODEデータの先頭ビット（ビット7）は必ず「1」とされ、EXTデータの先頭ビット（ビット7）は必ず「0」とされる。なお、そのようなコマンド形態は一例であって他のコマンド形態を用いてもよい。例えば、1 バイトや3 バイト以上で構成される制御コマンドを用いてもよい。

【0 1 4 1】

図1 5に示す例において、コマンド8 0 0 0（H）～8 0 6 A（H）は、特別図柄の可変表示に対応して可変表示装置9において可変表示される飾り図柄の変動パターンを指定する演出制御コマンド（変動パターンコマンド）である。なお、変動パターンを指定する演出制御コマンドは、変動開始を指定するためのコマンドでもある。

【0 1 4 2】

コマンド8 C 0 0（H）～8 C 0 6（H）は、可変表示装置9における飾り図柄の停止図柄（表示結果）の内容を指定する演出制御コマンドである。なお、この実施の形態では、コマンド8 C 0 0（H）～8 C 0 6（H）を図柄情報指定コマンドという。

【0 1 4 3】

コマンド8 C 0 0（H）は、特別図柄の停止図柄（表示結果）がはずれ図柄と決定されたことを指定する演出制御コマンド（はずれ指定コマンド）である。コマンド8 C 0 1（H）は、特別図柄の停止図柄が非確変図柄と決定されたこと（つまり非確変大当り（通常大当りともいう。）と決定されたこと）を指定する演出制御コマンド（通常大当り指定コマンド）である。

【0 1 4 4】

コマンド8 C 0 2（H）は、特別図柄の停止図柄が確変図柄と決定され（つまり確変大当りと決定され）、かつ大当り遊技開始後に再抽選演出を実行しないと決定されたことを指定する演出制御コマンド（確変大当り1 指定コマンド）である。コマンド8 C 0 3（H）は、特別図柄の停止図柄が確変図柄と決定され、かつ大当り遊技中に再抽選演出を実行すると決定されたことを指定する演出制御コマンド（確変大当り2 指定コマンド）である。コマンド8 C 0 4（H）は、特別図柄の停止図柄が確変図柄と決定され、かつ大当り遊技の終了後（エンディング演出中）に再抽選演出を実行すると決定されたことを指定する演出制御コマンド（確変大当り3 指定コマンド）である。

【0 1 4 5】

コマンド8 C 0 5（H）は、特別図柄の停止図柄が突然確変図柄と決定されたこと（つまり突然確変大当りと決定されたこと）を指定する演出制御コマンド（突然確変大当り指定コマンド）である。コマンド8 C 0 6（H）は、特別図柄の停止図柄が小当り図柄と決定されたこと（つまり小当りと決定されたこと）を指定する演出制御コマンド（小当り指定コマンド）である。

【0146】

ここで、「再抽選演出」とは、可変表示装置9において大当り図柄を停止表示させた後に大当り図柄を再抽選して導出表示するように見せかける演出のことをいう。具体的には、可変表示装置9に大当り図柄（非確変図柄または確変図柄）が導出表示されることが事前に決定されている場合において、可変表示装置9において左中右の飾り図柄を同一の非確変図柄で停止表示し、その後に非確変図柄を再変動させてから大当り図柄（非確変図柄または確変図柄）を導出表示する演出である（図106参照）。再抽選演出としては、非確変図柄から確変図柄に昇格させる場合（非確変図柄を停止表示した後に確変図柄を導出表示する場合）と、非確変図柄から確変図柄に昇格させない場合（非確変図柄を停止表示した後に再び非確変図柄を導出表示する場合）とがある。なお、非確変図柄から確変図柄に昇格させる再抽選演出のことを「昇格演出」または「成り上がり演出」という。

10

【0147】

この実施の形態では、再抽選演出を実行するタイミングを「図柄の変動中」、「大当り遊技中」、「大当り遊技の終了後」としている。遊技制御用マイクロコンピュータ560は、「図柄の変動中」に再抽選演出を演出制御用マイクロコンピュータ100に実行させる場合は、変動パターンコマンドで再抽選演出の実行を指定する。また、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、「大当り遊技中」または「大当り遊技の終了後」に再抽選演出を演出制御用マイクロコンピュータ100に実行させる場合は、図柄情報指定コマンドで「大当り遊技中」または「大当り遊技の終了後」の再抽選演出の実行を指定する。演出制御用マイクロコンピュータ100は、変動パターンコマンドまたは図柄情報指定コマンドの内容にもとづいて、所定のタイミングで再抽選演出を実行する。

20

【0148】

コマンド8F00（H）は、可変表示装置9における飾り図柄の可変表示（変動）の停止を指定する演出制御コマンド（飾り図柄停止指定コマンド）である。

【0149】

コマンド9500（H）～9503（H）は、可変表示装置9における遊技状態に応じた背景表示を指定する演出制御コマンド（背景指定コマンド）である。コマンド9500（H）は、可変表示装置9における通常遊技状態のときの背景表示を指定する演出制御コマンド（通常状態背景指定コマンド）である。コマンド9501（H）は、可変表示装置9における確変状態（高確率状態）のときの背景表示を指定する演出制御コマンド（高確率状態背景指定コマンド）である。コマンド9502（H）は、可変表示装置9における時短状態のときの背景表示を指定する演出制御コマンド（時短状態背景指定コマンド）である。コマンド9503（H）は、可変表示装置9におけるチャンスモード状態のときの背景表示を指定する演出制御コマンド（チャンス状態背景指定コマンド）である。なお、チャンスモードは、突然確変大当りおよび小当りの終了後に確変状態への移行に対する期待を持たせる演出モードである。

30

【0150】

コマンド9F00（H）は、客待ちデモンストレーション時の表示を指定する演出制御コマンド（客待ちデモ指定コマンド）である。

【0151】

40

図16に示す例において、コマンドA000（H）～A004（H）は、大当り遊技が開始されることを指定する演出制御コマンド（ファンファーレ指定コマンド）である。コマンドA000（H）は、通常大当り（非確変大当り）が決定されたときの大当りの開始を指定する演出制御コマンド（ファンファーレ1指定コマンド）である。コマンドA001（H）は、確変大当りが決定され、かつ大当り遊技開始後に再抽選演出を実行しないと決定されたときの大当りの開始を指定する演出制御コマンド（ファンファーレ2指定コマンド）である。コマンドA002（H）は、確変大当りが決定され、かつ大当り遊技中に再抽選演出を実行すると決定されたときの大当りの開始を指定する演出制御コマンド（ファンファーレ3指定コマンド）である。コマンドA003（H）は、確変大当りが決定され、かつ大当り遊技の終了後（エンディング演出中）に再抽選を実行すると決定されたとき

50

きの大当りの開始を指定する演出制御コマンド（ファンファーレ4指定コマンド）である。コマンドA004（H）は、突然確変大当りの開始を指定する演出制御コマンド（ファンファーレ5指定コマンド）である。

【0152】

コマンドA1XX（H）は、15ラウンド大当り遊技におけるラウンド中の表示を指定する演出制御コマンド（大入賞口開放中指定コマンド）である。コマンドA2XX（H）は、15ラウンド大当り遊技におけるラウンド後の表示（ラウンド間のインターバルの表示）を指定する演出制御コマンド（大入賞口開放後指定コマンド）である。なお、「XX」に表示するラウンド数が設定される。

【0153】

コマンドA301（H）～A305（H）は、大当り遊技が終了することを指定する演出制御コマンド（エンディング指定コマンド）である。コマンドA301（H）は、通常大当り遊技の終了（大当り遊技の終了後に時短状態に移行する旨を表示すること）を指定する演出制御コマンド（エンディング1指定コマンド）である。コマンドA302（H）は、確変大当りが決定され、かつ大当り遊技開始後に再抽選演出を実行しないと決定されたときの大当りの終了を指定する演出制御コマンド（エンディング2指定コマンド）である。コマンドA303（H）は、確変大当りが決定され、かつ大当り遊技の終了後（エンディング演出中）に再抽選を実行すると決定されたときの大当りの終了を指定する演出制御コマンド（エンディング3指定コマンド）である。コマンドA304（H）は、大当り遊技の終了後（エンディング演出中）の再抽選演出にて確変図柄に昇格させ、確変大当りになることを指定する演出制御コマンド（エンディング4指定コマンド）である。コマンドA305（H）は、突然確変大当りの終了を指定する演出制御コマンド（エンディング5指定コマンド）である。

【0154】

コマンドA4XX（H）は、2ラウンド大当り遊技（突然確変大当り遊技）におけるラウンド中の表示を指定する演出制御コマンド（大入賞口開放中指定コマンド）である。コマンドA5XX（H）は、2ラウンド大当り遊技（突然確変大当り遊技）におけるラウンド後の表示（ラウンド間のインターバルの表示）を指定する演出制御コマンド（大入賞口開放後指定コマンド）である。なお、「XX」にはラウンド数が設定される。

【0155】

コマンドA600（H）は、小当り遊技が開始されることを指定する演出制御コマンド（小当り用ファンファーレ指定コマンド）である。

【0156】

コマンドC0XX（H）は、XXで示される数の始動入賞記憶数を指定する演出制御コマンド（始動入賞記憶指定コマンド）である。

【0157】

演出制御基板80に搭載されている演出制御用マイクロコンピュータ100は、主基板31に搭載されている遊技制御用マイクロコンピュータ560から上述した演出制御コマンドを受信すると図15および図16に示された内容に応じて可変表示装置9の表示状態を変更するとともに、ランプの表示状態を変更し、音声出力基板70に対して音番号データを出力する。なお、図15および図16に示された演出制御コマンド以外の演出制御コマンドも主基板31から演出制御基板80に送信される。例えば、可変表示装置9に大当り中の入賞球数を表示する場合はカウントスイッチ23のカウント数を指定する演出制御コマンドなども主基板31から演出制御基板80に送信される。

【0158】

図17および図18は、この実施の形態で用いられる変動パターンの一例を示す説明図である。図17および図18において、「ライン」の「S」はシングルリーチ（図3の1UH～8UH、1LH～8LH、1CH～8CHのいずれか）が成立することを示し、「ライン」の「W」はダブルリーチ（図3の1WH～8WHのいずれか）が成立することを示し、「ライン」の「S&W」はシングルリーチまたはダブルリーチのどちらかが成立す

10

20

30

40

50

ることを示す。また、「通常選択テーブル」は、通常モード（チャンスモード以外の状態）のときに選択される飾り図柄決定用のテーブルのテーブル番号を示し、「チャンスモード選択テーブル」は、チャンスモードのときに選択される飾り図柄決定用のテーブルのテーブル番号を示す。

【0159】

この例では、各変動パターンは、飾り図柄の停止図柄が「はずれ図柄」となる場合の変動パターン（はずれ専用の変動パターン）と、飾り図柄の停止図柄（大当り前の変動停止時の停止図柄）が「非確変図柄」または「確変図柄」となる場合の変動パターン（確変大当り／通常大当り兼用の変動パターン）と、飾り図柄の停止図柄（大当り前の変動停止時の停止図柄）が「確変図柄」となる場合の変動パターン（確変大当り専用の変動パターン）と、飾り図柄の停止図柄（大当り前の変動停止時の停止図柄）が「非確変図柄」となる場合の変動パターン（通常大当り専用の変動パターン）と、飾り図柄の停止図柄が「突然確変図柄」となる場合の変動パターン（突然確変大当り専用の変動パターン）と、飾り図柄の停止図柄が「突然確変図柄」または「小当り図柄」となる場合の変動パターン（突然確変大当り／小当り兼用の変動パターン）とに区別されている。

10

【0160】

はずれ専用の変動パターンとして、通常遊技状態のときのリーチを伴わない通常変動の変動パターンと、時短状態（確変時短状態を含む）のときのリーチを伴わない時短時通常変動の変動パターンと、ノーマルリーチ（単純なリーチ態様）を伴う変動パターンと、スーパーリーチAを伴う変動パターンと、スーパーリーチBを伴う変動パターンと、スーパーリーチCを伴う変動パターンと、スーパーリーチDを伴う変動パターンとが設けられている。また、チャンス目Aが仮停止表示されてからスーパーリーチBなどに発展する変動パターンや、チャンス目Bが仮停止表示されてからスーパーリーチDに発展する変動パターンも設けられている。

20

【0161】

ここで、「ノーマルリーチ」は、リーチ成立前の通常変動と同様にリーチ成立後も中図柄が高速変動する場合や、リーチ成立後に中図柄の変動速度・変動方向が変化する場合や、リーチ成立後にキャラクタが登場する場合や、リーチ成立後に背景が変化する場合などがある。但し、ノーマルリーチの場合は、演出の態様は比較的単純である。これに対し、「スーパーリーチ」は、ノーマルリーチの演出を複数組み合わせたり、ノーマルリーチから別の演出に発展させたり、ストーリー性のある演出を実行したりする。スーパーリーチの場合は、ノーマルリーチよりも大当りの発生を期待させる演出が行われる。一般に、ノーマルリーチよりもスーパーリーチの方が変動時間は長く設定されている。

30

【0162】

通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンとして、ノーマルリーチを伴う変動パターンと、スーパーリーチAを伴う変動パターンと、スーパーリーチBを伴う変動パターンと、スーパーリーチCを伴う変動パターンと、スーパーリーチDを伴う変動パターンとが設けられている。また、チャンス目Aが仮停止表示されてからスーパーリーチCなどに発展する変動パターンや、チャンス目Bが仮停止表示されてからスーパーリーチDに発展する変動パターンも設けられている。また、ダブルリーチが成立した場合において、先に来る図柄（例えば「1」「2」の図柄でダブルリーチになったときの「1」）で大当りになる場合（先当り）と後に来る図柄（例えば「1」「2」の図柄でダブルリーチになったときの「2」）で大当りになる場合（後当り）とで、同じ内容の変動パターンが分けられている。なお、この実施の形態では、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンは、図柄の変動中に常に「再抽選」演出が実行される。

40

【0163】

確変大当り専用の変動パターンとして、ノーマルリーチを伴う変動パターンと、スーパーリーチAを伴う変動パターンと、スーパーリーチBを伴う変動パターンと、スーパーリーチCを伴う変動パターンと、スーパーリーチDを伴う変動パターンとが設けられている。また、チャンス目Aが仮停止表示されてからスーパーリーチCなどに発展する変動パタ

50

ーンや、チャンス目Bが仮停止表示されてからスーパーリーチDに発展する変動パターンも設けられている。また、リーチはずれではずれ図柄が仮停止表示された後に「救済」演出を実行して大当たり図柄を導出表示する変動パターンも設けられている。また、ダブルリーチが成立した場合において、先に来る図柄で大当たりになる場合（先当り）と後に来る図柄で大当たりになる場合（後当り）とで、同じ内容の変動パターンが分けられている。

【0164】

通常大当たり専用の変動パターンとして、ノーマルリーチを伴う変動パターンと、スーパーリーチAを伴う変動パターンと、スーパーリーチCを伴う変動パターンとが設けられている。

【0165】

突然確変大当たり専用の変動パターンとして、突然確変突入演出を実行する変動パターンが設けられている。突然確変大当たり／小当たり兼用の変動パターンとして、タイムミッション突入演出を実行する変動パターンと、突然確変・小当たり共通突入演出を実行する変動パターンとが設けられている。

【0166】

ここで、「突然確変突入演出」は、突然確変に突入することを示す特別な演出である。遊技者は、突然確変突入演出が実行されたことにより確変状態に突入したことを認識することができる。「タイムミッション突入演出」は、タイムミッション（ミッションを提示し所定時間中にミッションが達成されると大当たりとする演出）に突入することを示す特別な演出である。「突然確変・小当たり共通突入演出」は、突然確変または小当りに突入することを示す特別な演出である。遊技者は、タイムミッション突入演出や突然確変・小当たり共通突入演出が実行されただけでは、確変状態に移行されたかどうか判断することができない。

【0167】

この実施の形態では、「突然確変突入演出」が実行されたときは、突然確変図柄（突確用のチャンス目）が導出表示され、その後に2ラウンド用演出が実行され、突然確変に突入したときの演出（チャンスモード中の演出の一種）を実行する状態に移行される。また、「タイムミッション突入演出」が実行されたときは、突然確変図柄または小当たり図柄（小当たり用のチャンス目）が導出表示され、その後にミッション提示中の演出（チャンスモード中の演出の一種）を実行する状態に移行される。また、「突然確変・小当たり共通突入演出」が実行されたときは、突然確変図柄または小当たり図柄が導出表示され、その後に突然確変になったか小当たりになったか判別不可能な演出（チャンスモード中の演出の一種）を実行する状態に移行される。

【0168】

なお、この実施の形態において、ミッション突入演出が実行されてチャンス目（突然確変図柄または小当たり図柄）が導出表示された後に、「所定の出目（例えば、左の表示領域の中段に「7」、特定のリーチ、図3～図8に示した所定のチャンス目など）を所定時間内に出せ」というミッション（指令）を提示し、ミッション中の演出において、そのミッションが達成されたとき（時間内に所定の出目が導出表示されたとき）に遊技者にとって有利な状態に制御する（例えば大当たりとしたり、確変状態に移行させたり、スーパーリーチに発展させたりする）ようにしている。

【0169】

なお、図17および図18には示していないが、変動パターン毎に所定の変動時間が予め設定されており、演出制御用マイクロコンピュータ100は、変動パターンコマンドにもとづいて変動パターンとともに変動時間を特定することが可能である。また、各変動パターンには、2バイト構成の演出制御コマンドにおける2バイト目のEXTデータが割り当てられている。例えば、変動番号1の変動パターンには「EXTデータ」として「00（H）」が割り当てられ、変動番号91の変動パターンには「EXTデータ」として「6A（H）」が割り当てられている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、変動パターンコマンドに割り当てられている「EXTデータ」によって変動パターンの内容（変動

番号)を認識する。

【0170】

図19～図21は、特別図柄プロセス処理における特別図柄通常処理(ステップS300)を示すフローチャートである。特別図柄通常処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、特別図柄の変動を開始することができる状態(特別図柄プロセスフラグの値がステップS300を示す値となっている場合、つまり、特別図柄表示器8において特別図柄の変動表示がなされておらず、かつ、大当り遊技中・小当り遊技中でもない場合)には(ステップS51)、始動入賞記憶数(保留記憶数)を確認する(ステップS52)。具体的には、保留記憶カウンタのカウント値を確認する。

【0171】

始動入賞記憶数が0でなければ、始動入賞記憶数=1に対応する保存領域に格納されている各乱数値を読み出してRAM55の乱数格納バッファに格納するとともに(ステップS53)、始動入賞記憶数の値を1減らし、かつ、各保存領域の内容をシフトする(ステップS54)。すなわち、始動入賞記憶数=n(n=2, 3, 4)に対応する保存領域に格納されている各乱数値を、始動入賞記憶数=n-1に対応する保存領域に格納する。

【0172】

次に、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、現在の遊技状態(通常遊技状態、確変状態、時短状態など)を確認し、遊技状態に応じた背景指定コマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットする(ステップS55)。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、後述するコマンドセット処理(図35)を実行する(ステップS56)。なお、現在の遊技状態が通常遊技状態であれば、通常状態背景指定コマンドを送信し、現在の遊技状態が確変時短状態であれば、確変状態背景指定コマンドを送信し、現在の遊技状態が時短状態であれば、時短状態背景指定コマンドを送信する。また、この実施の形態では、突然確変大当りや小当りの遊技の終了後にチャンスモードに移行したときは、チャンス状態背景指定コマンドを送信する。

【0173】

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、乱数格納バッファから大当り判定用乱数を読み出し(ステップS57)、大当り判定処理モジュールを実行する(ステップS58)。大当り判定モジュールは、あらかじめ決められている大当り判定値と大当り判定用乱数値とを比較し、それらが一致したら大当りとすることに決定する処理を実行するプログラムである。ここで、大当り判定では、遊技状態が高確率状態(確変状態、確変時短状態)の場合は、遊技状態が低確率状態(通常遊技状態および時短状態)の場合よりも、大当りとなる確率が高くなるように構成されている。具体的には、あらかじめ大当り判定値の数が多く設定されている高確率大当り判定テーブルと、大当り判定値の数が高確率大当り判定テーブルよりも少なく設定されている低確率大当り判定テーブルとを設けておく。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、遊技状態が高確率状態であるか否かを確認し、遊技状態が高確率状態であるときは、高確率大当り判定テーブルを使用して大当りの判定処理を行い、遊技状態が低確率状態であるときは、低確率大当り判定テーブルを使用して大当りの判定処理を行う。このような構成により、高確率状態のときの方が低確率状態のときよりも大当りとなる確率が高くなる。

【0174】

なお、現在の遊技状態が高確率状態(確変状態および確変時短状態)であるか否かの確認は、遊技状態が確変状態および確変時短状態であることを示す確変フラグがセットされているか否かにより行われる。

【0175】

大当り判定モジュールで大当りとしないうちに決定した場合には(ステップS59のN)、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、図20のステップS64の処理に移行する。

【0176】

大当り判定モジュールで大当りとするに決定した場合には(ステップS59のY)

10

20

30

40

50

、大当たりフラグをセットする（ステップS 6 0）。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、乱数格納バッファから大当たり種別決定用乱数を読み出し（ステップS 6 1）、大当たりの種別（通常大当たり、確変大当たり、大当たり遊技中に再抽選演出を実行する確変大当たり、大当たり遊技終了後に再抽選演出を実行する確変大当たり、突然確変大当たり）を決定する処理を実行する（ステップS 6 2）。

【0 1 7 7】

大当たり種別の決定処理は、図2 2に示すような大当たり種別決定テーブルを用いて行う。大当たり種別決定テーブルには、大当たりの種別ごとに所定数の大当たり種別決定用乱数値が予め振り分けられている。遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、ステップS 6 1で読み出した大当たり種別決定用乱数値がどの範囲に属するかによって、大当たり種別、すなわち、通常大当たり、確変大当たり、確変大当たり（大当たり中昇格）、確変大当たり（エンディング昇格）および突然確変大当たりのいずれかを決定する。このように、大当たり種別の決定処理によって、大当たりを通常大当たり、確変大当たり、突然確変大当たりにするかだけでなく、再抽選演出（昇格演出）を実行するかどうかと、再抽選演出をどのようなタイミングで実行するかについても決定されることになる。

10

【0 1 7 8】

図1 9には示していないが、大当たり図柄は大当たり種別に応じて各々一種類しか設けられていないので、大当たりの種別が決定されることによって、大当たり図柄も自動的に決定される。具体的には、通常大当たり（非確変大当たり）のときは非確変図柄「6」が決定され、確変大当たりのときは確変図柄「7」が決定され、突然確変大当たりのときは突然確変図柄「5」が決定されることになる。

20

【0 1 7 9】

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、ステップS 6 2にて決定した大当たり種別に応じた飾り図柄情報を飾り図柄情報バッファにストア（格納）し（ステップS 6 3）、図2 1のステップS 7 2の処理に移行する。

【0 1 8 0】

なお、ステップS 6 3において、飾り図柄情報バッファに大当たり種別に応じた飾り図柄情報がストアされた後に、タイマ割込みの発生に応じて飾り図柄コマンド制御処理（ステップS 2 8、図3 4）が実行され、コマンドセット処理（図3 5）が実行され、コマンド送信処理（図3 6）が実行される。これにより、大当たり種別に応じた図柄情報指定コマンド（通常大当たり指定コマンド、確変大当たり1指定コマンド、確変大当たり2指定コマンド、確変大当たり3指定コマンド、突然確変大当たり指定コマンド）が送信される。詳しい内容は後述する。

30

【0 1 8 1】

図2 0のステップS 6 4において、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、ステップS 5 7で読み出した大当たり判定用乱数の値にもとづいて小当たりとするか否かを決定する小当たり判定モジュールを実行する（ステップS 6 4）。小当たり判定モジュールは、あらかじめ決められている小当たり判定値と大当たり判定用乱数値とを比較し、それらが一致したら小当たりとすることに決定する処理を実行するプログラムである。

【0 1 8 2】

小当たり判定モジュールで小当たりとすることに決定した場合には（ステップS 6 5のY）、小当たりに応じた飾り図柄情報を飾り図柄情報バッファにストアし（ステップS 6 6）、小当たりフラグをセットする（ステップS 6 7）。そして、特別図柄プロセスフラグの値を変動パターン設定処理に対応した値に更新する（ステップS 6 8）。なお、図2 0には示していないが、小当たりになると決定されたときは小当たり図柄「4」が自動的に決定されることになる。

40

【0 1 8 3】

なお、ステップS 6 6において、飾り図柄情報バッファに小当たりに応じた飾り図柄情報がストアされた後に、タイマ割込みの発生に応じて飾り図柄コマンド制御処理（ステップS 2 8、図3 4）が実行され、コマンドセット処理（図3 5）が実行され、コマンド送信

50

処理（図 3 6）が実行される。これにより、小当りを指定する図柄情報指定コマンド（小当り指定コマンド）が送信される。詳しい内容は後述する。

【0184】

小当り判定モジュールで小当りとしないうことに決定した場合には（ステップ S 6 5 の N）、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、乱数格納バッファからはずれ図柄決定用乱数（表示用乱数の一つ）を読み出し（ステップ S 6 9）、読み出したはずれ図柄決定用乱数の値にもとづいて、特別図柄のはずれ図柄を決定する処理を実行する（ステップ S 7 0）。特別図柄のはずれ図柄として、「0」～「3」、「8」、「9」のいずれかの図柄が決定される。

【0185】

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、はずれに応じた飾り図柄情報を飾り図柄情報バッファにストアする（ステップ S 7 1）。そして、特別図柄プロセスフラグの値を変動パターン設定処理に対応した値に更新する（ステップ S 6 8）。

【0186】

図 2 1 のステップ S 7 2 において、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、ステップ S 6 2 で決定した大当り種別が確変大当りであるかどうかを確認し、確変大当りでなかったときは（ステップ S 7 2 の N）、大当りの種別を示すフラグのセットを行わずに、ステップ S 8 2 の処理に移行する。

【0187】

確変大当りであったときは（ステップ S 7 2 の Y）、確変大当りが発生することを示す確変大当りフラグをセットする（ステップ S 7 3）。そして、確変大当りが突然確変大当りであるかどうかを確認する（ステップ S 7 4）。突然確変大当りであったときは（ステップ S 7 4 の Y）、突然確変大当りが発生することを示す突然確変フラグをセットし（ステップ S 7 5）、ステップ S 8 2 の処理に移行する。

【0188】

突然確変大当りでなかったときは（ステップ S 7 4 の N）、再抽選演出が実行されるかどうかを確認する（ステップ S 7 6）。再抽選演出が実行されないときは（ステップ S 7 6 の N）、ステップ S 8 2 の処理に移行し、再抽選演出が実行されるときは（ステップ S 7 6 の Y）、再抽選演出が実行されることを示す再抽選実行フラグをセットして（ステップ S 7 7）、再抽選演出が大当り中に実行されるかどうかを確認する（ステップ S 7 8）。大当り中に再抽選演出が実行されるときは（ステップ S 7 8 の Y）、大当り中に再抽選演出が実行されることを示す大当り中実行フラグをセットし（ステップ S 7 9）、ステップ S 8 2 の処理に移行する。大当り中に実行されないときは（ステップ S 7 8 の N）、再抽選演出がエンディング中に実行されるかどうかを確認する（ステップ S 8 0）。エンディング中に再抽選演出が実行されるときは（ステップ S 8 0 の Y）、エンディング中に再抽選演出が実行されることを示すエンディング実行フラグをセットし（ステップ S 8 1）、ステップ S 8 2 の処理に移行する。ステップ S 8 2 では、特別図柄プロセスフラグの値を変動パターン設定処理（ステップ S 3 0 1）に対応した値に更新する（ステップ S 8 2）。

【0189】

図 2 3 は、特別図柄プロセス処理における変動パターン設定処理（ステップ S 3 0 1）を示すフローチャートである。変動パターン設定処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、まず、大当りフラグがセットされているか否かを確認する（ステップ S 2 0 1）。大当りフラグがセットされているときは（ステップ S 2 0 1 の Y）、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 は、突然確変フラグがセットされているか否かを確認する（ステップ S 2 0 2）。突然確変フラグがセットされているときは（ステップ S 2 0 2 の Y）、突然確変大当りが発生することになるので、突然確変用変動パターン決定テーブルを用いることに決定する（ステップ S 2 0 3）。

【0190】

突然確変用変動パターン決定テーブルには、予め図 1 8 に示した突然確変大当りのとき

10

20

30

40

50

に選択される変動パターン（変動番号「８９」～「９１」）が設定され、各変動パターンに複数の判定値が割り当てられている。

【０１９１】

突然確変フラグがセットされていないときは（ステップＳ２０２のＮ）、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０は、確変大当りフラグがセットされているか否かを確認する（ステップＳ２０４Ａ）。確変大当りフラグがセットされているときは（ステップＳ２０４ＡのＹ）、再抽選実行フラグがセットされているか否かを確認する（ステップＳ２０４Ｂ）。確変大当りフラグがセットされ、再抽選実行フラグがセットされていないときは（ステップＳ２０４ＢのＮ）、大当り遊技開始後に再抽選演出を実行しない確変大当りが発生することになるので、確変大当り用変動パターン決定テーブルを用いることに決定する（ステップＳ２０５）。 10

【０１９２】

確変大当り用変動パターン決定テーブルには、予め図１７および図１８に示した確変大当りのときに選択される変動パターン（変動番号「２０」～「８４」）が設定され、各変動パターンに複数の判定値が割り当てられている。

【０１９３】

確変大当りフラグがセットされていないときは（ステップＳ２０４ＡのＮ）、通常大当り（非確変大当り）が発生することになるので、通常大当り用変動パターン決定テーブルを用いることに決定する（ステップＳ２０６）。また、確変大当りフラグがセットされているが、再抽選実行フラグもセットされているときは（ステップＳ２０４ＢのＹ）、大当り遊技開始後に再抽選演出を実行する確変大当りが発生することになる。この場合は、飾り図柄の変動停止時において非確変図柄が導出表示されるので、通常大当り用の変動パターンを選択する必要がある。従って、通常大当り用変動パターン決定テーブルを用いることに決定する（ステップＳ２０６）。 20

【０１９４】

通常大当り用変動パターン決定テーブルには、予め図１７および図１８に示した通常大当りのときに選択される変動パターン（変動番号「６２」～「８８」）が設定され、各変動パターンに複数の判定値が割り当てられている。

【０１９５】

遊技制御用マイクロコンピュータ５６０は、乱数格納バッファから変動パターン決定用乱数を読み出し、読み出した変動パターン決定用乱数の値にもとづいて、突然確変用変動パターン決定テーブル、確変大当り用変動パターン決定テーブルまたは通常大当り用変動パターン決定テーブルを用いて図柄の変動パターンを決定する（ステップＳ２０７）。具体的には、変動パターン決定用乱数値と一致する判定値に対応した変動パターンが次に可変表示される図柄の変動パターンと決定される。そして、ステップＳ２１３の処理に移行する。 30

【０１９６】

ステップＳ２０１において、大当りフラグがセットされていないと判定されたときは（ステップＳ２０１のＮ）、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０は、小当りフラグがセットされているか否かを確認する（ステップＳ２０８）。小当りフラグがセットされているときは（ステップＳ２０８のＹ）、小当りが発生することになるので、小当り用変動パターン決定テーブルを用いることに決定する（ステップＳ２０９）。 40

【０１９７】

小当り用変動パターン決定テーブルには、予め図１８に示した小当りのときに選択される変動パターン（変動番号「８９」，「９０」）が設定され、各変動パターンに複数の判定値が割り当てられている。

【０１９８】

小当りフラグがセットされていないときは（ステップＳ２０８のＮ）、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０は、時短フラグがセットされているか否かを確認する（ステップＳ２１０）。時短フラグがセットされていないときは（ステップＳ２１０のＮ）、通常遊 50

技状態のときに使用する通常時はずれ用変動パターン決定テーブルを用いることに決定する（ステップS 2 1 1）。

【0 1 9 9】

通常時はずれ用変動パターン決定テーブルには、予め図 1 7 に示した通常遊技状態においてはずれのときに選択される変動パターン（変動番号「1」, 「3」～「1 9」）が設定され、各変動パターンに複数の判定値が割り当てられている。

【0 2 0 0】

一方、時短フラグがセットされているときは（ステップS 2 1 0 のY）、時短状態のときに使用する時短時はずれ用変動パターン決定テーブルを用いることに決定する（ステップS 2 1 2）。

10

【0 2 0 1】

時短時はずれ用変動パターン決定テーブルには、予め図 1 7 に示した時短状態（確変時短状態も含む）においてはずれのときに選択される変動パターン（変動番号「2」～「1 9」）が設定され、各変動パターンに複数の判定値が割り当てられている。

【0 2 0 2】

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0 は、上述したように、乱数格納バッファから変動パターン決定用乱数を読み出し、読み出した変動パターン決定用乱数の値にもとづいて、小当り用変動パターン決定テーブル、通常時はずれ用変動パターン決定テーブルまたは時短時はずれ用変動パターン決定テーブルを用いて図柄の変動パターンを決定する（ステップS 2 0 7）。そして、ステップS 2 1 3 の処理に移行する。

20

【0 2 0 3】

なお、確変状態のときは、通常遊技状態のときと同様に、通常時はずれ用変動パターン決定テーブルが用いられ、確変時短状態のときは、時短状態のときと同様に、時短時はずれ用変動パターン決定テーブルが用いられて、変動パターンが決定される。

【0 2 0 4】

ステップS 2 1 3 では、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0 は、ステップS 2 0 7 において決定した変動パターンに応じた変動パターンコマンドデータを変動パターンバッファにストアする（ステップS 2 1 3）。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0 は、特別図柄プロセスタイマに変動時間をセットする（ステップS 2 1 4）。次に、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0 は、変動コマンド送信テーブルのアドレスを飾り図柄コマンド送信ポインタにストアする（ステップS 2 1 5）。この処理が行われたことに
30
応じて、飾り図柄コマンド制御処理（図 1 2 のステップS 2 8、図 3 4）において変動パターンコマンドを送信する制御が実行される。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0 は、変動回数監視処理を実行する（ステップS 2 1 6）。

【0 2 0 5】

変動回数監視処理では、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0 は、大当り遊技の終了後に時短状態（確変時短状態を除く）に移行された場合（時短フラグがセットされた場合）、大当り遊技終了後の特別図柄の変動回数を変動回数カウンタでカウントする。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0 は、変動回数カウンタのカウント値が時短状態を継続可能な所定の変動回数（例えば1 0 0 回）を示す値となったかどうかを確認し、カ
40
ウント値が所定の変動回数を示す値になったときに、時短フラグをリセットする。これにより、大当り遊技終了後の特別図柄の変動回数が所定の変動回数になったときに時短状態から通常遊技状態に移行されることになる。

【0 2 0 6】

その後、特別図柄プロセスフラグの値を特別図柄変動中処理（ステップS 3 0 2）に対応した値に更新する（ステップS 2 1 7）。

【0 2 0 7】

図 2 4 は、特別図柄プロセス処理における特別図柄変動中処理（ステップS 3 0 2）を示すフローチャートである。特別図柄変動中処理において、まず、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0 は、特別図柄プロセスタイマの値を－1 する（ステップS 3 5 1）。そ
50

して、特別図柄プロセスタイマがタイムアップしているかどうかを確認（すなわち特別図柄プロセスタイマの値が0であるか否かを確認）し（ステップS 3 5 2）、タイムアップしていなければ（ステップS 3 5 2のN）、そのまま処理を終了する。特別図柄プロセスタイマがタイムアップしていれば（ステップS 3 5 2のY）、特別図柄プロセスフラグの値を特別図柄停止処理（ステップS 3 0 3）に対応した値に更新する（ステップS 3 5 3）。

【0208】

図25は、特別図柄プロセス処理における特別図柄停止処理（ステップS 3 0 3）を示すフローチャートである。特別図柄停止処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、特別図柄表示器8における特別図柄の変動を止めて、停止図柄を導出表示する（ステップS 3 6 1）。また、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、飾り図柄停止指定コマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS 3 6 2）、コマンドセット処理を実行する（ステップS 3 6 3）。これによって、飾り図柄停止指定コマンドを送信する制御が実行される。

10

【0209】

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大当たりフラグがセットされているか否かを確認する（ステップS 3 6 4）。大当たりフラグがセットされていれば（ステップS 3 6 4のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口の開放／閉鎖を制御するための時間を計測する大入賞口制御タイマに、大当たり図柄を停止表示してから大入賞口を開放するまでの時間（大当たり表示時間）をセットする（ステップS 3 6 5）。なお、大当たり表示時間において、大当たり遊技が開始されることを遊技者に報知する演出（ファンファーレ演出）が実行される。

20

【0210】

なお、15ラウンドの大当たりのときと2ラウンドの大当たりのときとで異なる大当たり表示時間をセットするように構成されていてもよい。この場合、例えば、15ラウンドの大当たりのときは大当たり表示時間が3秒で、2ラウンドの大当たりのときは大当たり表示時間が5秒とされる。

【0211】

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大当たり種別に応じたファンファーレコマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS 3 6 6）、コマンドセット処理を実行する（ステップS 3 6 7）。これによって、大当たり種別に応じたファンファーレコマンドを送信する制御が実行される。なお、大当たり種別は、確変大当たりフラグがセットされているか、突然確変フラグがセットされているか、再抽選実行フラグがセットされているか、大当たり中実行フラグがセットされているか、エンディング実行フラグがセットされているかどうかにもとづいて確認することができる。その後、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、特別図柄プロセスフラグの値を大入賞口開放前処理（ステップS 3 0 4）に対応した値に更新する（ステップS 3 6 8）。

30

【0212】

大当たりフラグがセットされていなければ（ステップS 3 6 4のN）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、小当たりフラグがセットされているか否かを確認する（ステップS 3 6 9）。小当たりフラグがセットされていれば（ステップS 3 6 9のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマに、小当たり図柄を停止表示してから大入賞口を開放するまでの時間（小当たり表示時間）をセットする（ステップS 3 7 0）。

40

【0213】

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、小当たりのファンファーレコマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS 3 7 1）、コマンドセット処理を実行する（ステップS 3 7 2）。これによって、小当たり用のファンファーレコマンドを送信する制御が実行される。その後、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、特別図柄プロセスフラグの値を小当たり開放前処理（ステップS 3 0 8）に対応した値に更新する（ステップS 3 7 3）。

50

【0214】

小当りフラグがセットされていなければ（ステップS369のN）、特別図柄プロセスフラグの値を特別図柄通常処理（ステップS300）に対応した値に更新する（ステップS374）。

【0215】

図26は、特別図柄プロセス処理における大入賞口開放前処理（ステップS304）を示すフローチャートである。大入賞口開放前処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマの値を-1し（ステップS401）、大入賞口制御タイマの値が0であるか否かを確認する（ステップS402）。大入賞口制御タイマの値が0になっていなければ（ステップS402のN）、そのまま処理を終了する。大入賞口制御タイマの値が0になっていれば（ステップS402のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大当りのラウンド数が15ラウンドであるか2ラウンドであるかを判定する（ステップS403）。なお、確変大当りフラグがセットされていない場合および確変大当りフラグがセットされているが突然確変フラグがセットされていない場合は、15ラウンドの大当りであると判断することができ、確変大当りフラグおよび突然確変フラグがセットされている場合は、2ラウンドの大当りであると判断することができる。

【0216】

15ラウンドの大当りであれば（ステップS403のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、15ラウンド大当り用の大入賞口開放中コマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS404）、コマンドセット処理を実行する（ステップS405）。これによって、大入賞口の開放中（ラウンド中）におけるラウンド数に応じた表示状態を指定する15ラウンド用の大入賞口開放中コマンドを送信する制御が実行される。なお、ラウンド数は、大当り遊技中のラウンド数をカウントするラウンド数カウンタの値を確認することにより認識する。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ソレノイド21を駆動して大入賞口（開閉板20）を開放する制御を行う（ステップS406）。なお、この実施の形態では、出力ポートの出力状態に対応したRAM領域（出力ポートバッファ）が設けられており、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ステップS406において出力ポートの出力状態に応じたRAM領域におけるソレノイドのオン／オフに関する内容を、駆動するソレノイドの開閉状態に応じて設定する。そして、ステップS32の出力処理において出力ポートの出力状態に応じたRAM領域に設定された内容を出力ポートに出力する。これにより、駆動指令の信号が出力ポートからソレノイド回路59に出力される。ソレノイド回路59は、駆動指令の信号に応じてソレノイドを駆動するための駆動信号をソレノイドに出力して、ソレノイドを駆動させる。以下、ソレノイドを開閉駆動させる処理では、このような動作が行われる。

【0217】

そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ラウンド数カウンタの値を+1する（ステップS407）。なお、ステップS407においてラウンド数カウンタの値が+1されるので、ステップS404、S405では、ラウンド数カウンタの値が0のときに第1ラウンドを示す大入賞口開放中コマンドが送信されるが、ステップS407の処理をステップS404の処理の前に実行し、ラウンド数カウンタの値が1のときに第1ラウンドを示す大入賞口開放中コマンドが送信されるようにしてもよい。

【0218】

また、大入賞口制御タイマに、15ラウンドの大当りにおける各ラウンドにおいて大入賞口が開放可能な最大時間（15ラウンド用のラウンド時間）をセットする（ステップS408）。なお、15ラウンド用のラウンド時間は、例えば29.5秒とされる。そして、特別図柄プロセスフラグの値を大入賞口開放中処理（ステップS305）に対応した値に更新する（ステップS414）。

【0219】

ステップS403において2ラウンドの大当りであったときは（ステップS403のN）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、2ラウンド大当り用の大入賞口開放中コ

10

20

30

40

50

マンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS409）、コマンドセット処理を実行する（ステップS410）。これによって、大入賞口の開放中（ラウンド中）におけるラウンド数に応じた表示状態を指定する2ラウンド用の大入賞口開放中コマンドを送信する制御が実行される。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ソレノイド21を駆動して大入賞口を開放するとともに（ステップS411）、ラウンド数カウンタの値を+1する（ステップS412）。また、大入賞口制御タイマに、2ラウンドの大当りにおける各ラウンドにおいて大入賞口が開放可能な最大時間（2ラウンド用のラウンド時間）をセットする（ステップS413）。なお、2ラウンド用のラウンド時間は短い時間であり、例えば5秒とされている。従って、2ラウンドの大当りでは、ラウンド中に大入賞口へ10個の遊技球（入賞可能な最大個数の遊技球）が入賞することはない。そして、特別図柄プロセスフラグの値を大入賞口開放中処理（ステップS305）に対応した値に更新する（ステップS414）。 10

【0220】

図27は、特別図柄プロセス処理における大入賞口開放中処理（ステップS305）を示すフローチャートである。大入賞口開放中処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、まず、大入賞口制御タイマの値を-1する（ステップS421）。そして、大当りのラウンド数が15ラウンドであるかどうか（15ラウンドの大当りであるか2ラウンドの大当りであるか）を確認する（ステップS422）。 20

【0221】

15ラウンドの大当りであれば（ステップS422のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマの値が0であるかどうかを確認する（ステップS423）。大入賞口制御タイマの値が0になっていないときは（ステップS423のN）、カウントスイッチ23がオンしたか否かを確認することにより、大入賞口への遊技球の入賞があったかどうかを確認する（ステップS424）。カウントスイッチ23がオンしていなければ（ステップS424のN）、そのまま処理を終了する。カウントスイッチ23がオンしていれば（ステップS424のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口への遊技球の入賞個数をカウントする入賞個数カウンタの値を+1する（ステップS425）。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、入賞個数カウンタの値が所定数（例えば10個）になっているか否かを確認する（ステップS426）。入賞個数カウンタの値が所定数になっていないければ（ステップS426のN）、そのまま処理を終了する。 30

【0222】

大入賞口制御タイマの値が0になっているとき（ステップS423のY）、または入賞個数カウンタの値が所定数になっているとき（ステップS426のY）は、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ソレノイド21を駆動して大入賞口（開閉板20）を閉鎖する制御を行う（ステップS427）。そして、入賞個数カウンタの値をクリアする（0にする）（ステップS428）。 40

【0223】

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、15ラウンド大当り用の大入賞口開放後コマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS429）、コマンドセット処理を実行する（ステップS430）。これによって、大入賞口の開放後（ラウンドの終了後）におけるラウンド数に応じた表示状態を指定する15ラウンド用の大入賞口開放後コマンドを送信する制御が実行される。 50

【0224】

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマに、15ラウンドの大当り中においてラウンドが終了してから次のラウンドが開始するまでの時間（15ラウンド用のインターバル時間）をセットし（ステップS431）、特別図柄プロセスフラグの値を大入賞口開放後処理（ステップS306）に応じた値に更新する（ステップS432）。なお、15ラウンド用のインターバル時間は、例えば5秒とされる。

【0225】

2ラウンドの大当たりであれば（ステップS422のN）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマの値が0であるかどうかを確認し（ステップS433）、大入賞口制御タイマの値が0になっていないときは（ステップS433のN）、そのまま処理を終了する。大入賞口制御タイマの値が0になっているときは（ステップS433のY）、ソレノイド21を駆動して大入賞口（開閉板20）を閉鎖する制御を行う（ステップS434）。

【0226】

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、2ラウンド用の大入賞口開放後表示コマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS435）、コマンドセット処理を実行する（ステップS436）。これによって、大入賞口の開放後（ラウンドの終了後）におけるラウンド数に応じた表示状態を指定する2ラウンド用の大入賞口開放後コマンドを送信する制御が実行される。次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマに、2ラウンドの大当たり中においてラウンドが終了してから次のラウンドが開始するまでの時間（2ラウンド用のインターバル時間）をセットし（ステップS437）、特別図柄プロセスフラグの値を大入賞口開放後処理（ステップS306）に応じた値に更新する（ステップS432）。なお、2ラウンド用のインターバル時間は、15ラウンド用のインターバル時間と同じで、例えば5秒とされている。

【0227】

図28および図29は、特別図柄プロセス処理における大入賞口開放後処理（ステップS306）を示すフローチャートである。大入賞口開放後処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、まず、大入賞口制御タイマの値を-1し（ステップS441）、大入賞口制御タイマの値が0であるか否かを確認する（ステップS442）。大入賞口制御タイマの値が0になっていなければ（ステップS442のN）、そのまま処理を終了する。大入賞口制御タイマの値が0になっていれば（ステップS442のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大当たりのラウンド数が15ラウンドであるかどうか（15ラウンドの大当たりか2ラウンドの大当たりか）を判定する（ステップS443）。

【0228】

15ラウンドの大当たりであれば（ステップS443のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ラウンド数カウンタの値が15になっているかどうかを確認する（ステップS444）。ラウンド数カウンタの値が15になっていなければ（ステップS444のN）、15ラウンド大当たり用の大入賞口開放中コマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS445）、コマンドセット処理を実行する（ステップS446）。これによって、大入賞口の開放中（ラウンド中）におけるラウンド数に応じた表示状態を指定する15ラウンド用の大入賞口開放中コマンドを送信する制御が実行される。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ソレノイド21を駆動して大入賞口（開閉板20）を開放する制御を行うとともに（ステップS447）、ラウンド数カウンタの値を+1する（ステップS448）。

【0229】

また、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマに15ラウンド用のラウンド時間をセットする（ステップS449）。そして、特別図柄プロセスフラグの値を大入賞口開放中処理（ステップS305）に対応した値に更新する（ステップS450）。

【0230】

ラウンド数カウンタの値が15になっていれば（ステップS444のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大当たり種別に応じたエンディングコマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS451）、コマンドセット処理を実行する（ステップS452）。これによって、大当たり種別に応じたエンディングコマンドを送信する制御が実行される。

【0231】

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマに、大当たり終

10

20

30

40

50

了を遊技者に報知する大当り終了時間（エンディング演出の実行時間）をセットし（ステップS 4 5 3）、特別図柄プロセスフラグの値を大当り終了処理（ステップS 3 0 7）に応じた値に更新する（ステップS 4 5 4）。

【0 2 3 2】

ステップS 4 4 3において2ラウンドの大当りであったときは（ステップS 4 4 3のN）、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、ラウンド数カウンタの値が2になっているかどうかを確認する（図2 9のステップS 4 5 5）。ラウンド数カウンタの値が2になっていなければ（ステップS 4 5 5のN）、2ラウンド大当り用の大入賞口開放中コマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS 4 5 6）、コマンドセット処理を実行する（ステップS 4 5 7）。これによって、大入賞口の開放中（ラウンド中）におけるラウンド数に応じた表示状態を指定する2ラウンド用の大入賞口開放中コマンドを送信する制御が実行される。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、ソレノイド2 1を駆動して大入賞口を開放するとともに（ステップS 4 5 8）、ラウンド数カウンタの値を+1する（ステップS 4 5 9）。また、大入賞口制御タイマに2ラウンド用のラウンド時間をセットする（ステップS 4 6 0）。そして、特別図柄プロセスフラグの値を大入賞口開放中処理（ステップS 3 0 5）に対応した値に更新する（ステップS 4 6 1）。

10

【0 2 3 3】

ラウンド数カウンタの値が2になっていれば（ステップS 4 5 5のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、突然確変大当り用のエンディングコマンド送信テーブルのアドレスをポインタにセットし（ステップS 4 6 2）、コマンドセット処理を実行する（ステップS 4 6 3）。これによって、突然確変大当り用のエンディングコマンドを送信する制御が実行される。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、大入賞口制御タイマに大当り終了時間をセットし（ステップS 4 6 4）、特別図柄プロセスフラグの値を大当り終了処理（ステップS 3 0 7）に応じた値に更新する（ステップS 4 6 5）。

20

【0 2 3 4】

図3 0は、特別図柄プロセス処理における大当り終了処理（ステップS 3 0 7）を示すフローチャートである。大当り終了処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、まず、大入賞口制御タイマの値を-1する（ステップS 4 7 1）。そして、大入賞口制御タイマの値が0であるか否かを確認する（ステップS 4 7 2）。大入賞口制御タイマの値が0でなければ（ステップS 4 7 2のN）、そのまま処理を終了する。大入賞口制御タイマの値が0になっていれば（ステップS 4 7 2のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、大当り後遊技状態設定処理を実行する（ステップS 4 7 3）。

30

【0 2 3 5】

大当り後遊技状態設定処理では、大当り遊技終了後の遊技状態に応じた確変フラグ・時短フラグのセット・リセットの処理が実行される。具体的には、大当り遊技終了後に遊技状態が時短状態に移行されるときは、時短フラグのみセットし、大当り遊技終了後に遊技状態が確変状態に移行されるときは、確変フラグのみセットし、大当り遊技終了後に遊技状態が確変時短状態に移行されるときは、確変フラグおよび時短フラグをセットする。

【0 2 3 6】

次に、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、大当りフラグをリセットし（ステップS 4 7 4）、確変大当りフラグがセットされている場合は確変大当りフラグをリセットし（ステップS 4 7 5）、突然確変フラグがセットされている場合は突然確変フラグをリセットし（ステップS 4 7 6）、再抽選実行フラグがセットされている場合は再抽選実行フラグをリセットし（ステップS 4 7 7）、大当中実行フラグがセットされている場合は大当中実行フラグをリセットする（ステップS 4 7 8）。さらに、エンディング実行フラグがセットされている場合はエンディング実行フラグをリセットする（ステップS 4 7 9）。

40

【0 2 3 7】

その後、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0は、特別図柄プロセスフラグの値を特

50

別図柄通常処理（ステップS300）に対応する値に更新する（ステップS480）。

【0238】

図31は、特別図柄プロセス処理における小当り開放前処理（ステップS308）を示すフローチャートである。小当り開放前処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマの値を-1し（ステップS501）、大入賞口制御タイマの値が0であるか否かを確認する（ステップS502）。大入賞口制御タイマの値が0になっていなければ（ステップS502のN）、そのまま処理を終了する。大入賞口制御タイマの値が0になっていれば（ステップS502のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ラウンド数カウンタの値が2になっているかどうかを確認する（ステップS503）。ラウンド数カウンタの値が2になっていなければ（ステップS503のN）、ソレノイド21を駆動して大入賞口（開閉板20）を開放する制御を行うとともに（ステップS504）、ラウンド数カウンタの値を+1する（ステップS505）。

10

【0239】

また、大入賞口制御タイマに、小当りにおける各ラウンドにおいて大入賞口が開放可能な最大時間（小当り用のラウンド時間）をセットする（ステップS506）。なお、小当り用のラウンド時間は、2ラウンド用のラウンド時間と同じ時間（例えば5秒）とされる。そして、特別図柄プロセスフラグの値を小当り開放中処理（ステップS309）に対応した値に更新する（ステップS507）。

【0240】

ラウンド数カウンタの値が2になっていれば（ステップS503のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマに、小当り終了を遊技者に報知する小当り終了時間をセットし（ステップS508）、特別図柄プロセスフラグの値を小当り終了処理（ステップS310）に応じた値に更新する（ステップS509）。

20

【0241】

なお、小当り遊技中では、大入賞口開放中コマンドを送信するための制御は実行されない。

【0242】

図32は、特別図柄プロセス処理における小当り開放中処理（ステップS309）を示すフローチャートである。小当り開放中処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、まず、大入賞口制御タイマの値を-1する（ステップS511）。大入賞口制御タイマの値が0であるかどうかを確認する（ステップS512）。大入賞口制御タイマの値が0になっていないときは（ステップS512のN）、そのまま処理を終了する。大入賞口制御タイマの値が0になっているときは（ステップS512のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ソレノイド21を駆動して大入賞口（開閉板20）を閉鎖する制御を行う（ステップS513）。

30

【0243】

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、大入賞口制御タイマに、2ラウンドの小当り中においてラウンドが終了してから次のラウンドが開始するまでの時間（小当り用のインターバル時間）をセットし（ステップS514）、特別図柄プロセスフラグの値を小当り開放前処理（ステップS308）に応じた値に更新する（ステップS515）。なお、小当り用のインターバル時間は、例えば5秒とされる。

40

【0244】

なお、小当り遊技中では、大入賞口開放後コマンドを送信するための制御は実行されない。

【0245】

図33は、特別図柄プロセス処理における小当り終了処理（ステップS310）を示すフローチャートである。小当り終了処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、まず、大入賞口制御タイマの値を-1する（ステップS531）。そして、大入賞口制御タイマの値が0であるか否かを確認する（ステップS532）。大入賞口制御タイマの値が0でなければ（ステップS532のN）、そのまま処理を終了する。大入賞口制

50

御タイマの値が0になっていれば（ステップS532のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、小当りフラグをリセットし（ステップS533）、特別図柄プロセスフラグの値を特別図柄通常処理（ステップS300）に対応する値に更新する（ステップS534）。

【0246】

図34は、飾り図柄コマンド制御処理（ステップS28）を示すフローチャートである。飾り図柄コマンド制御処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、飾り図柄コマンド送信ポインタをポインタにロードし（ステップS551）、ポインタの指すデータをロードする（ステップS552）。そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、飾り図柄コマンド（変動パターンコマンド、図柄情報指定コマンド、始動入賞記憶指定コマンド）の送信タイミングであるかどうかを判定する（ステップS553）。このとき、変動パターンコマンドを送信するタイミングであれば、特別図柄プロセス処理（ステップS26）における変動パターン設定処理（ステップS301）のステップS215において、変動コマンド送信テーブルのアドレスが飾り図柄コマンド送信ポインタにストアされ、ポインタの指すデータは変動コマンド送信テーブルのアドレスとなっている。従って、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ポインタの指すデータが変動コマンド送信テーブルのアドレスであるか否かで、変動パターンコマンドを送信するタイミングであるかどうかを判定することができる。

10

【0247】

変動パターンコマンドを送信するタイミングであるときは（ステップS553のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、コマンドセット処理を実行する。これによって、変動パターンコマンドを送信する制御が実行される。次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ポインタを飾り図柄コマンド送信ポインタにストアする（ステップS555）。

20

【0248】

このとき、ステップS554で実行されるコマンドセット処理（図35）のステップS572において、コマンド送信テーブルのアドレスが1加算されることにより、ポインタの指すアドレスが変動コマンド送信テーブルのアドレスから図柄情報指定コマンド送信テーブルのアドレスとなっている。従って、ステップS555では、図柄情報指定コマンド送信テーブルのアドレスが飾り図柄コマンド送信ポインタにストアされる。

30

【0249】

遊技制御用マイクロコンピュータ560は、次のタイマ割込みが発生したとき（2ms後）の飾り図柄コマンド制御処理において、再び、飾り図柄コマンド送信ポインタをポインタにロードし（ステップS551）、ポインタの指すデータをロードし（ステップS552）、飾り図柄コマンド（変動パターンコマンド、図柄情報指定コマンド、始動入賞記憶指定コマンド）の送信タイミングであるかどうかを判定する（ステップS553）。このとき、図柄情報指定コマンドを送信するタイミングであれば、ステップS555において、図柄情報指定コマンド送信テーブルのアドレスが飾り図柄コマンド送信ポインタにストアされ、ポインタの指すデータは図柄情報指定コマンド送信テーブルのアドレスとなっている。従って、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ポインタの指すデータが図柄情報指定コマンド送信テーブルのアドレスであるか否かで、図柄情報指定コマンドを送信するタイミングであるかどうかを判定することができる。

40

【0250】

図柄情報指定コマンドを送信するタイミングであるときは（ステップS553のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、コマンドセット処理を実行する（ステップS554）。これによって、図柄情報指定コマンドを送信する制御が実行される。次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ポインタを飾り図柄コマンド送信ポインタにストアする（ステップS555）。

【0251】

このとき、ステップS554で実行されるコマンドセット処理（図35）のステップS

50

572において、コマンド送信テーブルのアドレスが1加算されることにより、ポインタの指すアドレスが図柄情報指定コマンド送信テーブルのアドレスから始動入賞記憶指定コマンド送信テーブルのアドレスとなっている。従って、ステップS555では、始動入賞記憶指定コマンド送信テーブルのアドレスが飾り図柄コマンド送信ポインタにストアされる。

【0252】

遊技制御用マイクロコンピュータ560は、次のタイマ割込みが発生したとき（2ms後）の飾り図柄コマンド制御処理において、再び、飾り図柄コマンド送信ポインタをポインタにロードし（ステップS551）、ポインタの指すデータをロードし（ステップS552）、飾り図柄コマンド（変動パターンコマンド、図柄情報指定コマンド、始動入賞記憶指定コマンド）の送信タイミングであるかどうかを判定する（ステップS553）。このとき、始動入賞記憶指定コマンドを送信するタイミングであれば、ステップS555において、始動入賞記憶指定コマンド送信テーブルのアドレスが飾り図柄コマンド送信ポインタにストアされ、ポインタの指すデータは始動入賞記憶指定コマンド送信テーブルのアドレスとなっている。従って、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ポインタの指すデータが始動入賞記憶指定コマンド送信テーブルのアドレスであるか否かで、始動入賞記憶指定コマンドを送信するタイミングであるかどうかを判定することができる。

10

【0253】

始動入賞記憶指定コマンドを送信するタイミングであるときは（ステップS553のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、コマンドセット処理を実行する（ステップS554）。これによって、始動入賞記憶指定コマンドを送信する制御が実行される。なお、始動入賞記憶指定コマンドは、現在の始動入賞記憶数（保留記憶数）を指定（通知）する演出制御コマンドであるが、始動入賞記憶数は記憶処理（ステップS33）で確認されて、その数が始動入賞記憶指定コマンドで指定される値として設定される。次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ポインタを飾り図柄コマンド送信ポインタにストアする（ステップS555）。

20

【0254】

この場合は、ステップS554で実行されるコマンドセット処理（図35）のステップS572において、コマンド送信テーブルのアドレスが1加算されると、ポインタの指すアドレスが飾り図柄コマンドを送信するためのコマンド送信テーブルのアドレスを示さないようになっている。従って、次のタイマ割込みが発生したとき（2ms後）の飾り図柄コマンド制御処理において、再び、飾り図柄コマンド送信ポインタをポインタにロードし（ステップS551）、ポインタの指すデータをロードし（ステップS552）、飾り図柄コマンドの送信タイミングであるかどうかを判定するが（ステップS553）、ステップS553において、飾り図柄コマンドの送信タイミングでないと判定されることになる。

30

【0255】

図35は、コマンドセット処理を示すフローチャートである。上述したように、コマンドセット処理は、ステップS56、S363、S367、S372、S405、S410、S430、S436、S446、S452、S457、S463、S554において実行される。コマンドセット処理は、コマンド出力処理とINT信号出力処理とを含む処理である。

40

【0256】

コマンドセット処理において、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、まず、コマンド送信テーブルのアドレスの指すコマンドデータ1をロードし（ステップS561）、図36に示すコマンド送信処理を実行（コール）する（ステップS562）。

【0257】

図36に示すコマンド送信処理では、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、まず、送信コマンド（演出制御コマンド）を出力ポート1に出力する（ステップS581）。これにより、2バイト構成の演出制御コマンドにおける1バイト目のMODEデータが出

50

力ポート1から出力される。

【0258】

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、演出制御信号INT出力ビットをポートバッファにセットし（ステップS582）、ポート2バッファをロードする（ステップS583）。この実施の形態では、例えば、演出制御信号INT出力ビットとしてポートバッファに「1」がセットされ、ポート2バッファのデータ「0」がロードされる。そして、ポート2バッファとポートバッファの論理和をとり（ステップS584）、演算結果を出力ポート2に出力する（ステップS585）。この実施の形態では、演算結果が「1」となることにより、オン状態（ハイレベル）の演出制御INT信号が出力ポート2から出力される。オン状態の演出制御INT信号が出力されたことに応じて、演出制御用マイクロコンピュータ100が送信コマンドを受信する（取り込む）処理を実行する。

10

【0259】

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ウェイトカウンタに所定値をセットし（ステップS586）、その値が0になるまで1ずつ減算する（ステップS587、S588）。この処理は、演出制御INT信号のオン期間（ハイレベル期間）を設定するための処理である。ウェイトカウンタの値が0になると（ステップS588のY）、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ポート2バッファをロードし（ステップS589）、ポート2バッファを出力ポート2に出力する（ステップS590）。これにより、オフ状態（ローレベル）の演出制御INT信号が出力ポート2から出力される。

【0260】

20

そして、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、ウェイトカウンタに所定値をセットし（ステップS591）、その値が0になるまで1ずつ減算する（ステップS592、S593）。この処理は、演出制御INT信号のオフ期間（ローレベル期間）を設定するための処理である。ウェイトカウンタの値が0になると（ステップS593のY）、図35のコマンドセット処理に戻る。

【0261】

図35の説明に戻ると、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、コマンド送信テーブルのアドレスを1加算する（ステップS563）。そして、コマンド送信テーブルのアドレスをスタック等に退避する（ステップS564）。

【0262】

30

次いで、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、コマンドデータ2のワークエリア参照指定ビット（ビット7）をテストし（ステップS565）、コマンドデータ2のワークエリア参照指定ビットの値が「0」であるか否かを判定する（ステップS566）。0でなければ（ステップS566のN）、コマンド拡張データアドレステーブルの先頭アドレスをポインタにセットし（ステップS567）、そのポインタにコマンドデータ2のビット6～ビット0の値を加算してアドレスを算出する（ステップS568）。そして、そのアドレス（ポインタ）の指すエリアのデータ（コマンド拡張データ）をロードする（ステップS569）。

【0263】

コマンド拡張データアドレステーブルには、演出制御用マイクロコンピュータ100に送出されうるEXTデータ（2バイト構成の演出制御コマンドにおける2バイト目のデータ）が順次設定されている。よって、以上の処理によって、ワークエリア参照指定ビットの値が「1」であれば、コマンドデータ2の内容に応じたコマンド拡張データアドレステーブル内のEXTデータがロードされ、ワークエリア参照指定ビットの値が「0」であれば、コマンドデータ2の内容がそのままロードされる。なお、コマンド拡張データアドレステーブルからEXTデータが読み出される場合でも、そのデータのビット7は「0」である。

40

【0264】

次に、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、コマンド送信処理ルーチンを実行（コール）する（ステップS570）。従って、図36に示した処理によって、MODEデ

50

ータの送出的場合と同様のタイミングでE X Tデータと演出制御I N T信号とが送出される。その後、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、コマンド送信テーブルのアドレスを復帰し(ステップS571)、コマンド送信テーブルのアドレスを1加算する(ステップS572)。なお、コマンド送信テーブルのアドレスが1加算されたときに、そのアドレスが飾り図柄コマンドを送信するためのコマンド送信テーブルのアドレスであれば、上述したように、飾り図柄コマンド制御処理において飾り図柄コマンドの送信処理(コマンドセット処理)が実行され、飾り図柄コマンドを送信するためのコマンド送信テーブルのアドレスでなければ、飾り図柄コマンド制御処理において飾り図柄コマンドの送信処理(コマンドセット処理)が実行されない。

【0265】

以上のようにして、2バイト構成の演出制御コマンドが演出制御用マイクロコンピュータ100に送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100では、取込信号としての演出制御I N T信号の立ち上がりを検出すると演出制御コマンドの取り込み処理を開始するのであるが、取り込み処理が完了する前に遊技制御用マイクロコンピュータ560からの新たな信号が信号線に出力されることはない。すなわち、演出制御用マイクロコンピュータ100において、確実なコマンド受信処理が行われる。なお、演出制御用マイクロコンピュータ100は、演出制御I N T信号の立ち下がりでも演出制御コマンドの取り込み処理を開始してもよい。また、演出制御I N T信号の極性を逆にしてもよい(コマンドの取り込みを指示するときにローレベルとしてもよい)。

【0266】

次に、遊技制御用マイクロコンピュータ560から演出制御用マイクロコンピュータ100に送信される各演出制御コマンドの送信タイミングについて説明する。

【0267】

図37は、15ラウンドの大当たり遊技が実行されるときに演出制御コマンドの送信タイミングを示すタイミング図である。図37に示すように、始動入賞が発生して、特別図柄表示器8において特別図柄の可変表示が開始される度に、特別図柄通常処理(ステップS300)において、遊技状態に応じた背景指定コマンドが送信される。また、特別図柄通常処理(ステップS300)において、はずれとするか、大当たりとするか、小当たりとするか、大当たりとするときは大当たりの種別が決定される。また、変動パターン設定処理(ステップS301)において、変動パターンが決定され、決定された変動パターンを指定する変動パターンコマンドが飾り図柄コマンド制御処理(ステップS28)にて送信される。続いて、飾り図柄コマンド制御処理(ステップS28)において、特別図柄通常処理で決定されたはずれ、大当たり(大当たり種別)、小当たりに応じた図柄情報指定コマンドが送信され、さらに、始動入賞記憶指定コマンド(このときの始動入賞記憶指定コマンドは変動開始により始動入賞記憶数が-1されたことを示すコマンドである)が送信される。なお、図37に示す例では、変動パターンコマンドとして大当たり用の変動パターンを指定する演出制御コマンドが送信され、図柄情報指定コマンドとして15ラウンドの大当たりを指定する演出制御コマンド(突然確変大当たりおよび小当たりを指定するコマンド以外の演出制御コマンド)が送信されたものとする。そして、特別図柄変動中処理(ステップS302)で特別図柄の変動時間が計測される。

【0268】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの変動パターンコマンドが、はずれ専用の変動パターン、確変大当たり専用の変動パターン、通常大当たり専用の変動パターン、突然確変大当たり専用の変動パターンを示す変動パターンコマンドであれば、そのコマンドにもとづいて、可変表示装置9において停止表示する飾り図柄の停止図柄を決定する。一方、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの変動パターンコマンドが、通常大当たり/確変大当たり兼用の変動パターンまたは突然確変大当たり/小当たり兼用の変動パターンを示す変動パターンコマンドであれば、その後に受信する図柄情報指定コマンドにもとづいて、可変表示装置9において停止表示する飾り図柄の停止図柄を決定する。

【0269】

また、演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの変動パターンコマンドの受信にもとづいて、可変表示装置9において飾り図柄の変動を開始する。

【0270】

また、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドにて再抽選演出の実行が指定されている場合は、可変表示装置9において飾り図柄の可変表示中に再抽選演出を実行する。

【0271】

さらに、演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの図柄情報指定コマンドにもとづいて、はずれか大当たりか小当たりかを確認し、大当たりであるときは大当たり種別を確認し、再抽選演出の実行の有無および実行タイミングも確認する。

10

【0272】

特別図柄停止処理（ステップS303）において、特別図柄の変動時間が経過すると、飾り図柄停止指定コマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの飾り図柄停止指定コマンドを受信すると、既に決定されている飾り図柄の停止図柄を導出表示する。

【0273】

特別図柄の停止図柄が大当たり図柄であれば、特別図柄停止処理（ステップS303）において、大当たり種別に応じたファンファーレコマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からのファンファーレコマンドにもとづいて、可変表示装置9において大当たり遊技の開始を報知するファンファーレ演出を実行する。

20

【0274】

大入賞口開放前処理（ステップS304）において、大当たり表示時間が経過すると、大入賞口が開放されるとともに、第1라운드의라운드表示を指定する15라운드用の大入賞口開放中コマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの大入賞口開放中コマンドにもとづいて、可変表示装置9において第1라운드의라운드表示を表示する。

30

【0275】

大入賞口開放中処理（ステップS305）において、라운드時間が経過すると、大入賞口が閉鎖されるとともに、第1라운드後のインターバル表示を指定する15라운드用の大入賞口開放後コマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの大入賞口開放後コマンドにもとづいて、次の라운드（第2라운드）が開始されるまで可変表示装置9においてインターバル表示を表示する。

【0276】

大入賞口開放後処理（ステップS306）において、インターバル時間が経過すると、大入賞口が開放されるとともに、第2라운드의라운드表示を指定する15라운드用の大入賞口開放中コマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの大入賞口開放中コマンドにもとづいて、可変表示装置9において第2라운드의라운드表示を表示する。

40

【0277】

以上のような大入賞口開放中処理および大入賞口開放後処理が繰り返し実行されることにより、各라운드의라운드表示および라운드間のインターバル表示が表示され、라운드가順に進んでいく。なお、特別図柄通常処理（ステップS300）において、大当たり遊技中に再抽選演出を実行すると決定されていたときは、予め定められた所定のラウンド中（図37の例では第15ラウンド中）に再抽選演出が実行される。

【0278】

50

第15ラウンド目の大入賞口開放後処理（ステップS306）において、インターバル時間が経過すると、大当たり種別に応じたエンディングコマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からのエンディングコマンドにもとづいて、可変表示装置9において大当たり遊技が終了したことを報知するエンディング演出を実行する。なお、特別図柄通常処理（ステップS300）において、エンディング中に再抽選演出を実行すると決定されていたときは、エンディング中に（エンディング演出において）再抽選演出が実行される。図37に示す例では、エンディング演出においても再抽選演出が実行されている。なお、再抽選演出は、大当たり遊技開始後に複数回実行してもよいが、この実施の形態では、大当たり遊技開始後に再抽選演出が実行されると常に確変大当たりに昇格するようにしているので、1回だけ実行されることになる。従って、大当たり中に再抽選演出が実行されたときは、エンディング中には再抽選演出が実行されない。

10

【0279】

その後、大当たり終了処理（ステップS307）において、大当たり終了時間が経過すると、大当たり後遊技状態設定処理等が実行された後に、再び、特別図柄通常処理（ステップS300）に戻って特別図柄の変動が開始される。

【0280】

図38は、2ラウンドの大当たり遊技（突然確変大当たりおよび小当りの遊技）が実行されるとき、演出制御コマンドの送信タイミングを示すタイミング図である。図37に示した場合と同様に、始動入賞が発生して、特別図柄表示器8において特別図柄の可変表示が開始される度に、特別図柄通常処理（ステップS300）において、遊技状態に応じた背景指定コマンドが送信される。また、特別図柄通常処理（ステップS300）において、はずれとするか、大当たりとするか、小当たりとするか、大当たりとするときは大当たりの種別が決定される。また、変動パターン設定処理（ステップS301）において、変動パターンが決定され、決定された変動パターンを指定する変動パターンコマンドが飾り図柄コマンド制御処理（ステップS28）にて送信される。続いて、飾り図柄コマンド制御処理（ステップS28）において、特別図柄通常処理で決定されたはずれ、大当たり（大当たり種別）、小当たりに応じた図柄情報指定コマンドが送信され、さらに、始動入賞記憶指定コマンドが送信される。なお、図38に示す例では、変動パターンコマンドとして突然確変用または小当たり用の変動パターンを指定する演出制御コマンドが送信され、図柄情報指定コマンドとして突然確変大当たりまたは小当たりを指定する演出制御コマンドが送信されたものとする。そして、特別図柄変動中処理（ステップS302）で特別図柄の変動時間が計測される。

20

30

【0281】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの変動パターンコマンドが突然確変大当たり専用の変動パターンを示す変動パターンコマンドであれば、そのコマンドにもとづいて、可変表示装置9において停止表示する飾り図柄の停止図柄を決定する。一方、演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの変動パターンコマンドが突然確変大当たり／小当たり兼用の変動パターンコマンドであれば、その後に受信する図柄情報指定コマンドにもとづいて、可変表示装置9において停止表示する飾り図柄の停止図柄を決定する。

40

【0282】

また、演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの変動パターンコマンドの受信にもとづいて、可変表示装置9において飾り図柄の変動を開始する。さらに、演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの図柄情報指定コマンドにもとづいて、突然確変大当たりまたは小当たりを確認する。なお、突然確変大当たりおよび小当りのときは、再抽選演出が実行されることはない。

【0283】

特別図柄停止処理（ステップS303）において、特別図柄の変動時間が経過すると、

50

飾り図柄停止指定コマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの飾り図柄停止指定コマンドを受信すると、既に決定されている飾り図柄の停止図柄を導出表示する。

【0284】

特別図柄の停止図柄が突然確変図柄であれば、特別図柄停止処理（ステップS303）において、突然確変大当りの開始を指定するファンファーレコマンドが送信される。また、特別図柄の停止図柄が小当り図柄であれば、特別図柄停止処理（ステップS303）において、小当りの開始を指定するファンファーレコマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からのファンファーレコマンドにもとづいて、突然確変大当り遊技または小当り遊技を開始する。なお、突然確変大当り遊技または小当り遊技が開始されたときは、2ラウンド用演出が実行される。2ラウンド用演出は、突然確変大当り遊技または小当り遊技の開始から終了までの間に実行される一連の特別な演出である。例えば、飾り図柄の停止図柄として突然確変図柄または小当り図柄が停止表示されると、突然、キャラクタを登場させたりムービー画像を再生したりするような特別な2ラウンド用演出が開始される。そして、2ラウンド用演出が終了すると、演出モードが確変状態の移行を期待させるチャンスモードに移行する。

10

【0285】

突然確変大当り遊技が開始された場合は、大入賞口開放前処理（ステップS304）において、大当り表示時間が経過すると、大入賞口が開放されるとともに、第1ラウンドのときの表示状態を指定する2ラウンド大当り用の大入賞口開放中コマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの大入賞口開放中コマンドにもとづいて、可変表示装置9において実行されている2ラウンド用演出の表示画面の切り替えなどを行う。

20

【0286】

大入賞口開放中処理（ステップS305）において、ラウンド時間が経過すると、大入賞口が閉鎖されるとともに、第1ラウンド後における表示状態を指定する2ラウンド大当り用の大入賞口開放後コマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの大入賞口開放後コマンドにもとづいて、可変表示装置9において実行されている2ラウンド用演出の表示画面の切り替えなどを行う。

30

【0287】

大入賞口開放後処理（ステップS306）において、インターバル時間が経過すると、大入賞口が開放されるとともに、第2ラウンドのときの表示状態を指定する2ラウンド大当り用の大入賞口開放中コマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの大入賞口開放中コマンドにもとづいて、可変表示装置9において実行されている2ラウンド用演出の表示画面の切り替えなどを行う。

【0288】

第2ラウンド目の大入賞口開放中処理（ステップS305）において、ラウンド時間が経過すると、大入賞口が閉鎖されるとともに、第2ラウンド後における表示状態を指定する2ラウンド大当り用の大入賞口開放後コマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの大入賞口開放後コマンドにもとづいて、可変表示装置9において実行されている2ラウンド用演出の表示画面の切り替えなどを行う。

40

【0289】

第2ラウンド後の大入賞口開放後処理（ステップS306）において、インターバル時間が経過すると、突然確変大当りの終了を指定するエンディングコマンドが送信される。演出制御用マイクロコンピュータ100は、遊技制御用マイクロコンピュータ560からのエンディングコマンドにもとづいて、可変表示装置9において実行されている2ラウンド用演出の表示画面の切り替えなどを行う。

50

【0290】

その後、大当り終了処理（ステップS307）において、大当り終了時間が経過すると、大当り後遊技状態設定処理等が実行された後に、再び、特別図柄通常処理（ステップS300）に戻って特別図柄の変動が開始される。

【0291】

また、小当り遊技が開始された場合は、小当り開放前処理（ステップS308）において、小当り表示時間が経過すると、大入賞口が開放される。

【0292】

小当り開放中処理（ステップS309）において、ラウンド時間が経過すると、大入賞口が閉鎖される。

10

【0293】

第1ラウンド後の小当り開放前処理（ステップS308）において、インターバル時間が経過すると、大入賞口が開放される。

【0294】

第2ラウンド目の小当り開放中処理（ステップS309）において、ラウンド時間が経過すると、大入賞口が閉鎖される。

【0295】

第2ラウンド後の小当り開放前処理（ステップS308）において、インターバル時間が経過すると、小当り終了処理に移行される。

【0296】

20

その後、小当り終了処理（ステップS310）において、小当り終了時間が経過すると、小当りフラグのリセットが実行された後に、再び、特別図柄通常処理（ステップS300）に戻って特別図柄の変動が開始される。

【0297】

なお、小当り遊技（突然確変大当り遊技でも同様であるが）におけるラウンド中は大入賞口の開放時間（ラウンド時間）が短い。このため、大入賞口に10個の遊技球が入賞しないので、ラウンド時間内に大入賞口が閉鎖されることがない。従って、遊技の開始から終了までの時間が一定であるので、演出制御用マイクロコンピュータ100が大入賞口開放中コマンドや大入賞口開放後コマンドの受信にもとづかずに、2ラウンド用演出の表示状態を切り替えていくことができる。よって、小当り遊技では、遊技制御用マイクロコンピュータ560による大入賞口開放中コマンドや大入賞口開放後コマンドを送信する処理を行わない。なお、突然確変大当りの場合も、遊技制御用マイクロコンピュータ560が大入賞口開放中コマンドや大入賞口開放後コマンドを送信する処理を行わないようにしてもよい。

30

【0298】

次に、演出制御手段の動作を説明する。図39は、演出制御基板80に搭載されている演出制御用マイクロコンピュータ100が実行するメイン処理を示すフローチャートである。演出制御用マイクロコンピュータ100は、電源が投入されると、メイン処理の実行を開始する。メイン処理では、まず、RAM領域のクリアや各種初期値の設定、また演出制御処理の起動間隔を決めるためのタイマの初期設定等を行うための初期化処理を行う（ステップS701）。その後、演出制御用マイクロコンピュータ100は、タイマ割込フラグの監視（ステップS702）の確認を行うループ処理に移行する。タイマ割込が発生すると、演出制御用マイクロコンピュータ100は、タイマ割込処理においてタイマ割込フラグをセットする。メイン処理において、タイマ割込フラグがセットされていたら、演出制御用マイクロコンピュータ100は、そのフラグをクリアし（ステップS703）、以下の演出制御処理を実行する。

40

【0299】

演出制御処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、受信した演出制御コマンドを解析する（コマンド解析処理：ステップS704）。次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、演出制御プロセス処理を行う（ステップS705）。

50

演出制御プロセス処理では、制御状態に応じた各プロセスのうち、現在の制御状態（演出制御プロセスフラグ）に対応した処理を選択して可変表示装置9の表示制御等を実行する。さらに、飾り図柄の停止図柄を決定するための各種乱数（左図柄決定用乱数、右図柄決定用乱数など）を生成するためのカウンタのカウント値を更新する乱数更新処理を実行する（ステップS706）。その後、ステップS702に移行する。

【0300】

図40～図42は、メイン処理におけるコマンド解析処理（ステップS704）を示すフローチャートである。遊技制御用マイクロコンピュータ560から送信された演出制御コマンドは、コマンド受信バッファに格納される。コマンド解析処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、コマンド受信バッファに受信コマンドが格納されているか否か確認する（ステップS611）。コマンド受信バッファに受信コマンドが格納されている場合には、演出制御用マイクロコンピュータ100は、コマンド受信バッファから受信コマンドを読み出す（ステップS612）。 10

【0301】

受信した演出制御コマンドが、可変表示装置9における背景を指定する演出制御コマンド（背景指定コマンド：9500（H）～9503（H））であれば（ステップS613のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、背景指定コマンドの内容にもとづいて遊技状態を確認し、確認した遊技状態をRAMの所定領域に設定する（ステップS614）。そして、遊技状態に応じた背景画像を可変表示装置9に表示する制御を実行する（ステップS615）。 20

【0302】

受信した演出制御コマンドが、変動パターンを指定する演出制御コマンド（変動パターンコマンド：8000（H）～806A（H））であれば（ステップS616）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、そのコマンドのEXTデータをRAMにおける変動パターンデータ格納領域に格納し（ステップS617）、変動パターン受信フラグをセットする（ステップS618）。

【0303】

そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、変動パターンコマンドが通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンを指定する変動パターンコマンドであるかどうかを確認し（ステップS619）、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンを指定する変動パターンコマンドでなければ（ステップS619のN）、突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンを指定する変動パターンコマンドであるかどうかを確認する（ステップS620）。突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンを指定する変動パターンコマンドでなければ（ステップS620のN）、第1の飾り図柄決定処理を実行する（ステップS621）。なお、第1の飾り図柄決定処理の詳しい内容については後述する（図43参照）。通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンを指定する変動パターンコマンドであるとき（ステップS619のY）、または突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンを指定する変動パターンコマンドであるときは（ステップS620のY）、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンまたは突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンを指定する変動パターンコマンドを受信したことを示す兼用フラグをセットする（ステップS622）。 30 40

【0304】

受信した演出制御コマンドが、図柄情報を指定する演出制御コマンド（図柄情報指定コマンド：8C00（H）～8C06（H））であれば（ステップS623のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、図柄情報指定コマンドを受信したことを示す図柄情報コマンド受信フラグをセットする（ステップS624）。そして、飾り図柄の停止図柄が既に決定されているかどうかを確認する（ステップS625）。ここで、変動パターンコマンドが通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンまたは突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンを指定するコマンドでなければ、第1の飾り図柄決定処理において既に飾り図柄の停止図柄が決定されている。従って、兼用フラグがセットされているかどうか 50

によって、飾り図柄の停止図柄が既に決定されているかどうかを確認することができる。

【0305】

飾り図柄の停止図柄が未だ決定されていないときは（ステップS625のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、第2の飾り図柄決定処理を実行する（ステップS626）。なお、第2の飾り図柄決定処理の詳しい内容については後述する（図66参照）。飾り図柄の停止図柄が既に決定されているときは（ステップS625のY）、ステップS611の処理に戻る。

【0306】

受信した演出制御コマンドが、始動入賞記憶数を指定する演出制御コマンド（始動入賞記憶指定コマンド：C0XX（H））であれば（ステップS627のY）、始動入賞記憶表示制御処理を実行する（ステップS628）。始動入賞記憶表示制御処理は、始動入賞記憶数を特定可能な表示（始動入賞記憶表示）を可変表示装置9の所定領域に表示する制御を行う処理である。当該処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、始動入賞記憶指定コマンドにもとづいて、始動入賞記憶数を確認し、確認した数の始動入賞記憶表示を可変表示装置9に表示する。

【0307】

そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、始動入賞記憶指定コマンドが変動開始時に送信される始動入賞記憶数-1を指定する始動入賞記憶指定コマンドであるかどうか、つまり、飾り図柄コマンド制御処理において、図柄情報指定コマンドの次に送信される始動入賞記憶指定コマンドであるかどうかを判定する（ステップS629）。ここで、始動入賞記憶数-1を指定する始動入賞記憶指定コマンドであるかどうかは、例えば、始動入賞記憶表示制御処理において、始動入賞記憶指定コマンドで指定された始動入賞記憶数を記憶しておき、次に受信した始動入賞記憶指定コマンドで指定された始動入賞記憶数が-1となっているかどうかを確認することにより判定可能である。始動入賞記憶数-1を指定する始動入賞記憶指定コマンドでなければ（ステップS629のN）、ステップS611の処理に戻る。始動入賞記憶数-1を指定する始動入賞記憶指定コマンドであれば（ステップS629のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、図柄情報コマンド受信フラグがセットされているかどうかを確認し（ステップS630）、そのフラグがセットされていれば（ステップS630のY）、図柄情報指定コマンドが始動入賞記憶指定コマンドの前に正常に受信されたことを示しているので、ステップS611の処理に戻る。

【0308】

図柄情報コマンド受信フラグがセットされていなければ（ステップS630のN）、図柄情報指定コマンドが始動入賞記憶指定コマンドの前に正常に受信されていないことを示している。すなわち、演出制御用マイクロコンピュータ100において、図柄情報指定コマンドを取りこぼしたことを意味する。この場合、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS621で既に飾り図柄の停止図柄が決定されているかどうかを確認し（ステップS631）、既に決定されていれば（ステップS631のY）、ステップS611の処理に戻る。未だ飾り図柄の停止図柄が決定されていなければ（ステップS631のN）、仮決定図柄決定処理を実行する（ステップS632）。仮決定図柄決定処理は、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドを受信したが図柄情報指定コマンドを取りこぼした場合には非確変図柄を仮決定し、突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドを受信したが図柄情報指定コマンドを取りこぼした場合には小当り図柄を仮決定する処理である。仮決定図柄決定処理の詳しい内容については後述する（図92参照）。

【0309】

なお、図柄情報指定コマンドを取りこぼした場合として、図柄情報指定コマンドを完全に受信し損なった場合、つまり、図柄情報指定コマンドのMODEデータおよびEXTデータを双方または一方を受信できなかった場合のほかに、データ化けしたコマンド等であって図柄情報指定コマンドでないコマンドを受信した場合も含まれる。例えば、図柄情報

指定コマンドのMODEデータがデータ化けたことによって、図柄情報指定コマンドでないコマンド（演出制御用マイクロコンピュータ100において認識不可能なコマンドも含む）を受信した場合や、図柄情報指定コマンドのEXTデータがデータ化けたことによって、図柄情報指定コマンドとして定義されていないEXTデータのコマンド（図15参照）を受信した場合などである。

【0310】

なお、図柄情報指定コマンドのEXTデータがデータ化けたが、図柄情報指定コマンドとして定義されているコマンドを受信したときは、図柄情報指定コマンドであるが制御処理上、不整合な図柄情報指定コマンドを受信したことになる。この場合は、演出制御用マイクロコンピュータ100が図柄情報指定コマンドを受信したと認識することにより図柄情報コマンド受信フラグがセットされ（ステップS624）、ステップS630でフラグのセットが確認されることにより（ステップS630のY）、仮決定図柄決定処理が実行されないおそれもある（ステップS632）。しかし、データ化けた図柄情報指定コマンドが、通常大当り指定コマンド（8C01（H））や確変大当り指定コマンド（8C02（H）～8C04（H））以外のコマンドであれば、飾り図柄がまだ決定されていないにもかかわらず（ステップS631のN）、そのような図柄情報指定コマンドを受信したことによって、変動パターンコマンドと図柄情報指定コマンドが整合していないと判断することができる。よって、このような場合は、仮決定図柄決定処理（ステップS632）を実行するようにするのが好ましい。

【0311】

受信した演出制御コマンドが、大当りまたは小当りの開始（ファンファーレ）を指定する演出制御コマンド（ファンファーレコマンド：A000（H）～A004（H）、A600（H））であれば（ステップS633のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ファンファーレコマンドの内容に応じたファンファーレ受信フラグをセットする（ステップS634）。例えば、ファンファーレコマンドの内容（大当り種別等）に応じて、通常大当りの開始を示すファンファーレ受信フラグ、確変大当り（再抽選演出なし）の開始を示すファンファーレ受信フラグ、通常大当り（大当り中に再抽選演出実行）の開始を示すファンファーレ受信フラグ、通常大当り（エンディングで再抽選演出実行）の開始を示すファンファーレ受信フラグ、突然確変大当りの開始を示すファンファーレ受信フラグ、小当りの開始を示すファンファーレ受信フラグをセットする。

【0312】

そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、図柄情報指定コマンドを受信していないことを示すコマンド未受信フラグがセットされているかどうかを確認する（ステップS635）。コマンド未受信フラグは、仮決定図柄決定処理においてセットされる（図92のステップS685参照）。このとき、コマンド未受信フラグがセットされているということは、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドまたは突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドを受信したが、図柄情報指定コマンドを正常に受信しておらず、確変大当りか通常大当りかを判断できず、または突然確変大当りか小当りかを判断できないため、飾り図柄の停止図柄を決定していない状態（仮決定図柄決定処理で飾り図柄の停止図柄を仮決定した状態）であることを意味する。

【0313】

コマンド未受信フラグがセットされていないときは（ステップS635のN）、ステップS611の処理に戻る。コマンド未受信フラグがセットされているときは（ステップS635のY）、ファンファーレ受信フラグなどにもとづいて大当りが確変大当り（突然確変大当りを除く）であるかどうかを確認する（ステップS636）。確変大当りでない場合は（ステップS636のN）、ステップS611の処理に戻る。確変大当りである場合は（ステップS636のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、飾り図柄の停止図柄として確変図柄を決定する第3の確変図柄決定処理を実行する（ステップS637）。第3の確変図柄決定処理の詳しい内容については後述する（図93参照）。第3の確変図柄決定処理にて決定し格納した確変図柄が、コマンド未受信フラグがセットされた場

合（図柄情報指定コマンドが未受信の場合）において、大当り遊技開始後の再抽選演出にて導出表示される最終停止図柄である。

【0314】

次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ファンファーレ受信フラグにもとづいて大当り遊技の開始後に再抽選演出を実行する必要があるかどうかを確認する（ステップS638）。再抽選演出を実行する必要がある場合、すなわち、大当り中あるいはエンディングにおいて再抽選演出の実行を指定するファンファーレコマンドを受信していなかった場合であっても（ステップS638のN）、再抽選演出を実行しなければならない。なぜなら、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドを受信したが、図柄情報指定コマンドを受信していない場合は、仮決定図柄決定処理において仮の大当り図柄として非確変図柄が決定され（図92参照）、その非確変図柄が既に導出表示されているから、本当の大当りの種別が確変大当り（突然確変大当りを除く）であったときは、遊技者に不利益を与えないように確変図柄を再抽選演出で導出表示する必要があるからである。そこで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、実行タイミング決定用乱数を抽出し（ステップS639）、抽出した実行タイミング決定用乱数の値に従って、再抽選演出の実行タイミングを決定する（ステップS640）。そして、決定した実行タイミングに応じた再抽選実行フラグをセットする（ステップS642）。具体的には、再抽選演出が大当り中に実行されると決定されたときは、大当り中再抽選実行フラグがセットされ、再抽選演出がエンディングにおいて実行されると決定されたときは、エンディング再抽選実行フラグがセットされる。

【0315】

一方、再抽選演出を実行する必要がある場合、すなわち、大当り中あるいはエンディングにおいて再抽選演出の実行を指定するファンファーレコマンドを受信していた場合は（ステップS638のY）、ファンファーレコマンドで指定されたタイミングを再抽選演出の実行タイミングに決定する（ステップS641）。そして、決定した実行タイミングに応じた再抽選実行フラグをセットする（ステップS642）。

【0316】

なお、突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドを受信したが、図柄情報指定コマンドを受信していない場合は、仮決定図柄決定処理において仮の停止図柄として小当り図柄が決定され（図92参照）、その小当り図柄が導出表示されている。従って、本来は小当りでなく突然確変大当りであった場合には、遊技者に不利益を与えないように突然確変図柄を再抽選演出で導出表示するのが好ましい。しかし、小当り図柄は突然確変図柄と非常に似ているので、遊技者は停止図柄によって小当りが発生したのか突然確変大当りが発生したのか区別しにくい。このため、小当り図柄を導出表示したにもかかわらず、遊技状態を確変状態に移行させたとしても、遊技者に違和感を与えないと考えられる。従って、この実施の形態では、2ラウンド用演出の実行中などにおいて小当り図柄を突然確変図柄に昇格させる再抽選演出を実行していない。但し、そのような再抽選演出を実行するようにしてもよい。

【0317】

受信した演出制御コマンドが、大当りまたは小当りの終了（エンディング）を指定する演出制御コマンド（エンディングコマンド：A301（H）～A305（H））であれば（ステップS643のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、エンディングコマンドの内容に応じたエンディング受信フラグをセットする（ステップS644）。例えば、エンディングコマンドの内容（大当り種別等）に応じて、通常大当りの終了を示すエンディング受信フラグ、確変大当り（再抽選演出なし）の終了を示すエンディング受信フラグ、確変大当り（大当り中に再抽選演出実行）の終了を示すエンディング受信フラグ、確変大当り（エンディングで再抽選演出実行）の終了を示すエンディング受信フラグ、突然確変大当りの終了を示すエンディング受信フラグをセットする。

【0318】

ステップS612で読み出した受信コマンドがその他の演出制御コマンドである場合に

は、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信コマンドに対応するフラグをセットする（ステップS645）。

【0319】

図43は、第1の飾り図柄決定処理（ステップS621）を示すフローチャートである。第1の飾り図柄決定処理において、受信した変動パターンコマンドがはずれ専用の変動パターンコマンドであるときは（ステップS651のY）、はずれが決定されたことを示すはずれ決定フラグをセットするとともに（ステップS652）、変動パターンがリーチを伴う変動パターンであるか否かを確認する（ステップS653）。リーチを伴う変動パターンでなければ（ステップS653のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、リーチ無ハズレ決定処理を実行する（ステップS654）。なお、リーチ無ハズレ決定処理の詳しい内容については後述する（図44参照）。

10

【0320】

リーチを伴う変動パターンであれば（ステップS653のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、リーチ有ハズレ決定処理を実行する（ステップS655）。なお、リーチ有ハズレ決定処理の詳しい内容については後述する（図53参照）。

【0321】

はずれ専用の変動パターンコマンドでなく（ステップS651のN）、確変大当り専用の変動パターンコマンドであるときは（ステップS656のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、確変大当りが決定されたことを示す確変大当り決定フラグをセットする（ステップS657）。そして、第1の確変図柄決定処理を実行する（ステップS658）。なお、第1の確変図柄決定処理の詳しい内容については後述する（図61および図62参照）。

20

【0322】

確変大当り専用の変動パターンコマンドでなく（ステップS656のN）、通常大当り専用の変動パターンコマンドであるときは（ステップS659のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、通常大当りが決定されたことを示す通常大当り決定フラグをセットする（ステップS660）。そして、第1の非確変図柄決定処理を実行する（ステップS661）。なお、第1の非確変図柄決定処理の詳しい内容については後述する（図63参照）。

【0323】

通常大当り専用の変動パターンコマンドでなく（ステップS659のN）、突然確変大当り専用の変動パターンコマンドであるときは、演出制御用マイクロコンピュータ100は、突然確変大当りが決定されたことを示す突然確変大当り決定フラグをセットする（ステップS662）。そして、突然確変図柄決定処理を実行する（ステップS663）。なお、突然確変図柄決定処理の詳しい内容については後述する（図64参照）。

30

【0324】

図44は、リーチ無ハズレ決定処理（ステップS654）を示すフローチャートである。リーチ無ハズレ決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、左図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1001）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図45に示す左図柄選択用テーブル（T-1）を用いてはずれ図柄の左図柄を決定し格納する（ステップS1002）。左図柄選択用テーブルは、図45に示すように、各左図柄に複数の判定値が略均等に割り振られている。なお、図45に示す左図柄選択用テーブル（T-1）は、可変表示装置9における左側の表示領域の中段の図柄を決定するためのテーブルである。各左図柄に対応つけられた数字は、割り振られた判定値の数を示している。また、「max67」は、乱数値の数が67（0～66）であることを示している。従って、左図柄選択用テーブルにおいて、例えば左図柄「8」が決定される割合は4/67となる。なお、このことは他のテーブルにおいても同様である（例えば「max103」は乱数値の数が103（0～102）であることを示している）。

40

【0325】

50

演出制御用マイクロコンピュータ100は、乱数値と一致する判定値の図柄を左図柄と決定する。なお、決定された左図柄はRAMの所定領域に格納される。

【0326】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、右図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1003）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図46に示す左図柄に応じた右図柄選択用テーブル（T-2）を用いてはずれ図柄の右図柄を決定し格納する（ステップS1004）。右図柄選択用テーブルは、図46に示すように、左図柄と右図柄のマトリックスに複数の判定値が割り振られている。右図柄選択用テーブルは、既に決定された左図柄毎に複数用意されている。例えば、決定された左図柄が「8」であったときは、図46における最上段のテーブルが、左図柄「8」に対応した右図柄選択用テーブルとなる。なお、図46に示す右図柄選択用テーブル（T-2）は、可変表示装置9における右側の表示領域の中段の図柄を決定するためのテーブルである。

10

【0327】

右図柄選択用テーブルでは、リーチが発生しないようにするために、決定された左図柄と同じ図柄に割り振られる判定値の数が「0」となっている。例えば、決定された左図柄が「8」であるときは、左図柄「8」に対応した右図柄選択用テーブルにおいて右図柄「8」に割り振られる判定値の数は「0」となっている。また、左図柄「*」（「7」と「8」の間の「*」）であるときは、左側の表示領域の上段の図柄が「7」で下段の図柄が「8」であるので、右側の表示領域の上段の図柄が「7」となる右図柄「*」（「6」と「7」の間の「*」）、右側の表示領域の上段の図柄が「8」で下段の図柄が「7」となる右図柄「*」（「7」と「8」の間の「*」）、および右側の表示領域の下段の図柄が「8」となる右図柄「*」（「8」と「1」の間の「*」）に割り振られる判定値の数は「0」となっている。

20

【0328】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1002で決定した左図柄に応じた右図柄選択用テーブルを選択し、ステップS1003で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を右図柄と決定する。

【0329】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、中図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1005）。次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、図52に示すチャンス目禁則用テーブル（T-4）を用いて図49～図51に示す中図柄選択用テーブル（T-3）を選択する（ステップS1006）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、ステップS1006で選択した中図柄選択用テーブル（T-3）を用いてはずれ図柄の中図柄を決定し格納する（ステップS1007）。なお、図49～図51に示す中図柄選択用テーブル（T-3）は、可変表示装置9における中の表示領域の中段の図柄を決定するためのテーブルである。

30

【0330】

ここで、上述したように、はずれ図柄を導出表示するときにチャンス目が導出表示されたと誤解が生じるのを回避するために、この実施の形態では、チャンス目（チャンス目A、チャンス目B、突確用のチャンス目（突然確変図柄）、小当り用のチャンス目（小当り図柄））と同じ図柄をはずれ図柄として導出表示するのを禁止する制御を実行する。また、この実施の形態では、チャンス目（突確用のチャンス目（突然確変図柄）、小当り用のチャンス目（小当り図柄））と似ている図柄（突確類似図柄、小当り類似図柄）をはずれ図柄として導出表示するのを禁止する制御も実行する。

40

【0331】

図47および図48に、チャンス目（突確類似図柄、小当り類似図柄も含む）が生じ得る左図柄と右図柄の配置パターン（チャンス目禁則パターン）を示す。決定された左図柄と右図柄が図47および図48に示すチャンス目禁則パターンに該当するときは、チャンス目（突確類似図柄、小当り類似図柄も含む）が生じ得ることになる。そこで、演出制御

50

用マイクロコンピュータ100は、チャンス目禁則用テーブルを用いて、決定された左図柄と右図柄の組み合わせがチャンス目禁則パターンに該当するかどうかを確認する。チャンス目禁則用テーブルは、図52に示すように、左図柄と右図柄のマトリックスにチャンス目禁則パターンの番号（「LR1」～「LR80」）が割り当てられている。例えば、左図柄（左の表示領域の中段の図柄）が「8」で、右図柄（右の表示領域の中段の図柄）が「2」のときは、チャンス目禁則パターン「LR40」（図5に示すチャンス目40Cの禁則パターン）に該当する。なお、「LR0」は、チャンス目禁則パターンに該当しないことを示す。例えば、左図柄が「8」で、右図柄が「1」のときは、図47および図48に示すチャンス目禁則パターンに該当しないので、「LR0」が割り当てられている。

【0332】

10

このように、演出制御用マイクロコンピュータ100は、チャンス目禁則用テーブルを用いてチャンス目禁則パターン（LR1～LR80）のうちいずれのパターンに該当するかを確認し、またはチャンス目禁則パターンに該当しないこと（LR0）を確認する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、LR0～LR80に対応する中図柄選択用テーブルを図49～図51のテーブルの中から選択する。例えば、左図柄と右図柄の組み合わせがチャンス目禁則パターン「LR40」に該当する場合、図50に示す「LR40」に対応つけられた中図柄選択用テーブルを用いることに決定する。

【0333】

「LR1」～「LR80」に対応つけられた中図柄選択用テーブルでは、チャンス目を成立させる中図柄に対して判定値が割り振られていない（すなわち、割り振られる判定値の数が0である）。例えば、「LR40」に対応つけられた中図柄選択用テーブルでは、図5に示すチャンス目40Cにおける中図柄（中の表示領域の中段の図柄）が「1」になっているので、「1」に対して割り振られる判定値の数が0となっている。一方、「LR0」に対応つけられた中図柄選択用テーブルでは、中図柄がどのような図柄になっても、チャンス目が成立しないので、全ての図柄に対して略均等に判定値が割り振られている。

20

【0334】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1006で中図柄選択用テーブルを選択し、ステップS1005で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を中図柄と決定する。これにより、リーチ無ハズレ決定処理において、チャンス目（突確類似図柄、小当たり類似図柄も含む）となるはずれ図柄を飾り図柄の停止図柄として決定することが禁止される。

30

【0335】

図53は、リーチ有ハズレ決定処理（ステップS655）を示すフローチャートである。リーチ有ハズレ決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、リーチ図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1011）。次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターン（図17および図18において「S&W」が表記されている変動パターン）であるかどうかを判定する（ステップS1012）。なお、図17および図18に示すように、ノーマルリーチだけがシングル・ダブル共通のリーチであって、スーパーリーチA～Dはシングルリーチまたはダブルリーチのいずれかである。シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであった場合は（ステップS1012のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1011で抽出した乱数値に従って、図54に示す共通用リーチ図柄選択用テーブル（H-1）を用いてリーチ図柄（同一の左右図柄）を決定し格納する（ステップS1013）。

40

【0336】

共通用リーチ図柄選択用テーブルには、図3に示した各リーチ図柄（リーチパターン；1UH～8UH，1LH～8LH，1CH～8CH，1WH～8WH）に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1011で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄をリーチ図柄と決定する。

50

【0337】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、中図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1014）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図57に示すノーマルはずれ時中図柄選択テーブル（H-4）を用いて中図柄を決定し格納する（ステップS1015）。

【0338】

ノーマルはずれ時中図柄選択テーブルは、図57に示すように、ノーマルリーチの種類（ノーマル8コマ、ノーマル12コマ、ノーマル15コマ、ノーマル17コマ）毎に分けられ、また、ステップS1013で決定されたリーチ図柄がシングルリーチかダブルリーチかによって分けられている。なお、ここでいう「コマ」は、ノーマルリーチが発生してから中図柄が進行（変動）するコマ数（図柄数）を示している。例えば、ノーマル8コマは、ノーマルリーチが発生してから中図柄が8コマ変動することを示している。各テーブルには、ステップS1013で決定されたリーチ図柄に対する図柄差に対して複数の判定値が割り振られている。ここで、図57に示すノーマルはずれ時中図柄選択テーブルでは、図49～図51に示した中図柄選択用テーブルと異なり、リーチライン上の中図柄についてのリーチ図柄に対する図柄差を示している。例えば、UH系のリーチの場合は、上段の中図柄についてのリーチ図柄に対する図柄差を示している。また、ダブルリーチの場合は、後当りの図柄（例えば1WHの場合は「1」）についてのリーチ図柄に対する図柄差を示している。飾り図柄が「1」「*」「2」・・・「*」の16図柄であるので、リーチ図柄に対する図柄差は「-14」～「+1」となっている。例えば、リーチ図柄「3」に対する図柄差「-2」は、中図柄「2」となる。

【0339】

ノーマルはずれ時中図柄選択テーブルにおいて、リーチ図柄に対する図柄差「0」には判定値が割り振られない。図柄差「0」の中図柄を決定すると、大当たりになってしまうからである。また、ダブルリーチ用のノーマルはずれ時中図柄選択テーブルでは、リーチ図柄に対する図柄差「-2」にも判定値が割り振られない。ダブルリーチが発生した場合に図柄差「-2」の中図柄を決定すると、大当たりになってしまうからである。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1014で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を中図柄と決定する。

【0340】

ステップS1012において、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップS1012のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、シングルリーチを伴う変動パターン（図17および図18において「S」が表記されている変動パターン）であるかどうかを判定する（ステップS1016）。シングルリーチを伴う変動パターンであった場合は（ステップS1016のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1011で抽出した乱数値に従って、図55に示すシングル用リーチ図柄選択用テーブル（H-2）を用いてリーチ図柄を決定し格納する（ステップS1017）。

【0341】

シングル用リーチ図柄選択用テーブルには、図3に示した各リーチ図柄のうちシングルリーチのリーチ図柄（1UH～8UH，1LH～8LH，1CH～8CH）に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1011で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄をリーチ図柄と決定する。

【0342】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、中図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1018）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図58に示すスーパー発展時中図柄選択テーブル（H-5）を用いて中図柄を決定し格納する（ステップS1019）。

【0343】

スーパー発展時中図柄選択テーブルは、図58に示すように、変動パターンがシングルリーチ用かダブルリーチ用かによって分けられている。なお、ステップS1019の処理では、シングルリーチ用のテーブルが用いられる。スーパー発展時中図柄選択テーブルには、ステップS1017で決定されたリーチ図柄に対する図柄差に対して複数の判定値が割り振られている。ここで、図58に示すスーパー発展時中図柄選択テーブルでは、図49～図51に示した中図柄選択用テーブルと異なり、リーチライン上の中図柄についてのリーチ図柄に対する図柄差を示している。例えば、UH系のリーチの場合は、上段の中図柄についてのリーチ図柄に対する図柄差を示している。また、ダブルリーチの場合は、後当りの図柄（例えば1WHの場合は「1」）についてのリーチ図柄に対する図柄差を示している。なお、リーチ図柄に対する図柄差「0」には判定値が割り振られない。図柄差「0」の中図柄を決定すると、大当たりになってしまうからである。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1018で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を中図柄と決定する。

10

【0344】

ステップS1016において、シングルリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップS1016のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ダブルリーチを伴う変動パターンであると判断する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1011で抽出した乱数値に従って、図56に示すダブル用リーチ図柄選択用テーブル（H-3）を用いてリーチ図柄を決定し格納する（ステップS1020）。

20

【0345】

ダブル用リーチ図柄選択用テーブルには、図3に示した各リーチ図柄のうちダブルリーチのリーチ図柄（1WH～8WH）に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1011で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄をリーチ図柄と決定する。

【0346】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、中図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1021）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図58に示すスーパー発展時中図柄選択テーブル（H-5）を用いて中図柄を決定し格納する（ステップS1022）。

【0347】

30

スーパー発展時中図柄選択テーブルは、図58に示すように、変動パターンがシングルリーチ用かダブルリーチ用かによって分けられている。なお、ステップS1022の処理では、ダブルリーチ用のテーブルが用いられる。スーパー発展時中図柄選択テーブルには、ステップS1020で決定されたリーチ図柄に対する図柄差に対して複数の判定値が割り振られている。なお、リーチ図柄に対する図柄差「0」には判定値が割り振られない。図柄差「0」の中図柄を決定すると、大当たりになってしまうからである。また、リーチ図柄に対する図柄差「-2」にも判定値が割り振られない。ダブルリーチが発生した場合に図柄差「-2」の中図柄を決定すると、大当たりになってしまうからである。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1021で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を中図柄と決定する。

40

【0348】

次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、チャンス目Aの仮停止を伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップS1023）。なお、チャンス目Aが仮停止表示される場合、この実施の形態では、通常変動の停止時にチャンス目Aが仮停止表示され、その後にスーパーリーチに発展する演出が実行される。

【0349】

チャンス目Aの仮停止を伴う変動パターンであった場合は（ステップS1023のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、チャンス目決定用乱数を抽出する（ステップS1024）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に

50

従って、図 5 9 に示すリーチ図柄に対応したチャンス目 A 選択用テーブル（H-6）を用いてチャンス目 A を決定し格納する（ステップ S 1 0 2 5）。例えば、ステップ S 1 0 1 7, S 1 0 2 0 にて決定したリーチ図柄が「1 UH」「1 CH」または「1 LH」であったときは、図 5 9 に示すような、チャンス目 A（1 C～4 0 C）のうち「1 C」「9 C」「1 7 C」「2 5 C」「3 3 C」に判定値が割り振られているテーブルを用いて、チャンス目 A を決定する。

【0 3 5 0】

なお、リーチ図柄に対応したチャンス目 A 選択用テーブルとしては、図 5 9 に示すテーブル以外にも、リーチ図柄「1 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「2 UH」「2 CH」「2 LH」に対応したテーブル、リーチ図柄「2 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「3 UH」「3 CH」「3 LH」に対応したテーブル、リーチ図柄「3 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「4 UH」「4 CH」「4 LH」に対応したテーブル、リーチ図柄「4 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「5 UH」「5 CH」「5 LH」に対応したテーブル、リーチ図柄「5 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「6 UH」「6 CH」「6 LH」に対応したテーブル、リーチ図柄「6 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「7 UH」「7 CH」「7 LH」に対応したテーブル、リーチ図柄「7 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「8 UH」「8 CH」「8 LH」に対応したテーブル、リーチ図柄「8 WH」に対応したテーブルが設けられている。

【0 3 5 1】

チャンス目 A の仮停止を伴う変動パターンでなかった場合は（ステップ S 1 0 2 3 の N）、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップ S 6 1 7 でセーブした変動パターン）にもとづいて、チャンス目 B の仮停止を伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップ S 1 0 2 6）。なお、チャンス目 B が仮停止表示される場合、この実施の形態では、通常変動の停止時にチャンス目 B が仮停止表示され、その後にスーパーリーチに発展する演出が実行される。なお、この実施の形態では、チャンス目 B が仮停止表示されると、常にダブルリーチのスーパーリーチ D に発展する。

【0 3 5 2】

チャンス目 B の仮停止を伴う変動パターンであった場合は（ステップ S 1 0 2 6 の Y）、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、チャンス目決定用乱数を抽出する（ステップ S 1 0 2 7）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、抽出した乱数値に従って、図 6 0 に示すリーチ図柄に対応したチャンス目 B 選択用テーブル（H-7）を用いてチャンス目 B を決定し格納する（ステップ S 1 0 2 8）。例えば、ステップ S 1 0 2 0 にて決定したリーチ図柄が「1 WH」であったときは、図 6 0 に示すような、チャンス目 B（4 1 C～7 2 C）のうち「4 1 C」「4 8 C」「4 9 C」「5 6 C」「5 7 C」「6 4 C」「6 5 C」「7 2 C」に判定値が割り振られているテーブルを用いて、チャンス目 B を決定する。

【0 3 5 3】

なお、リーチ図柄に対応したチャンス目 B 選択用テーブルとしては、図 6 0 に示すテーブル以外にも、リーチ図柄「3 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「4 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「5 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「6 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「7 WH」に対応したテーブル、リーチ図柄「8 WH」に対応したテーブルが設けられている。

【0 3 5 4】

図 6 1 および図 6 2 は、第 1 の確変図柄決定処理を示すフローチャートである。なお、第 1 の確変図柄決定処理は、図 1 7 および図 1 8 に示す変動番号 2 0～6 1 の変動パターンを示す変動パターンコマンドを受信したときに実行される処理である。

【0 3 5 5】

第 1 の確変図柄決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、大当たり図柄決定用乱数を抽出する（ステップ S 1 0 3 1）。次に、演出制御用マイクロコンピュ

10

20

30

40

50

ータ１００は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップＳ６１７でセーブした変動パターン）にもとづいて、救済演出を実行するかどうかを判定する（ステップＳ１０３２）。図１７および図１８に示す変動パターンでは、「救済演出」が実行されない変動パターンが確変直当りの変動パターンである。

【０３５６】

救済演出が実行されないときは（ステップＳ１０３２のＮ）、演出制御用マイクロコンピュータ１００は、確変直当りの変動パターンであると判断する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ１００は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップＳ６１７でセーブした変動パターン）にもとづいて、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターン（図１７および図１８において「Ｓ＆Ｗ」が表記されている変動パターン）であるかどうかを判定する（ステップＳ１０３３）。なお、図１７および図１８に示すように、ノーマルリーチだけがシングル・ダブル共通のリーチであって、スーパーリーチＡ～Ｄはシングルリーチまたはダブルリーチのいずれかである。シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであった場合は（ステップＳ１０３３のＹ）、演出制御用マイクロコンピュータ１００は、ステップＳ１０３１で抽出した乱数値に従って、図７１に示す共通用大当り図柄選択用テーブル（Ｆ－２）を用いて確変図柄を決定し格納する（ステップＳ１０３４）。その後、処理を終了する。

【０３５７】

共通用大当り図柄選択用テーブルには、図４に示した各大当り図柄のうち確変図柄（１ＵＦ、３ＵＦ、５ＵＦ、７ＵＦ、８ＵＦ、１ＬＦ、３ＬＦ、５ＬＦ、７ＬＦ、８ＬＦ、１ＣＦ、３ＣＦ、５ＣＦ、７ＣＦ、８ＣＦ、１ＳＦ、３ＳＦ、５ＳＦ、７ＳＦ、８ＳＦ、１ＡＦ、３ＡＦ、５ＡＦ、７ＡＦ、８ＡＦ）に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ１００は、ステップＳ１０３１で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を確変図柄と決定する。

【０３５８】

ステップＳ１０３３において、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップＳ１０３３のＮ）、演出制御用マイクロコンピュータ１００は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップＳ６１７でセーブした変動パターン）にもとづいて、シングルリーチを伴う変動パターン（図１７および図１８において「Ｓ」が表記されている変動パターン）であるかどうかを判定する（ステップＳ１０３５）。シングルリーチを伴う変動パターンであった場合は（ステップＳ１０３５のＹ）、演出制御用マイクロコンピュータ１００は、ステップＳ１０３１で抽出した乱数値に従って、図７７に示すシングル用大当り図柄選択用テーブル（Ｆ－８）を用いて確変図柄を決定し格納する（ステップＳ１０３６）。その後、ステップＳ１０４３の処理に移行する。

【０３５９】

シングル用大当り図柄選択用テーブルには、確変図柄のうちシングルリーチの確変図柄（１ＵＦ、３ＵＦ、５ＵＦ、７ＵＦ、８ＵＦ、１ＬＦ、３ＬＦ、５ＬＦ、７ＬＦ、８ＬＦ、１ＣＦ、３ＣＦ、５ＣＦ、７ＣＦ、８ＣＦ）に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ１００は、ステップＳ１０３１で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を確変図柄と決定する。

【０３６０】

ステップＳ１０３５において、シングルリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップＳ１０３５のＮ）、演出制御用マイクロコンピュータ１００は、ダブルリーチを伴う変動パターンであると判断する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ１００は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップＳ６１７でセーブした変動パターン）にもとづいて、ダブル先当りかダブル後当りか（ダブルリーチにおいて先に来る図柄で当りになるか後に来る図柄で当りになるか）を判定する（ステップＳ１０３７）。ダブル先当りであったときは（ステップＳ１０３７のＹ）、演出制御用マイクロコンピュータ１００は、ステップＳ１０３１で抽出した乱数値に従って、図８１に示すダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル（Ｆ－１２）を用いて確変図柄を決定し格納する（ステップＳ１０

38)。その後、ステップS1040の処理に移行する。

【0361】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブルには、確変図柄のうちダブル先当りとなる図柄(1SF, 3SF, 5SF, 7SF, 8SF)に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1031で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を確変図柄と決定する。

【0362】

ダブル後当りであったときは(ステップS1037のN)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1031で抽出した乱数値に従って、図85に示すダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル(F-16)を用いて確変図柄を決定し格納する(ステップS1039)。その後、ステップS1040の処理に移行する。

10

【0363】

ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブルには、確変図柄のうちダブル後当りとなる図柄(1AF, 3AF, 5AF, 7AF, 8AF)に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1031で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を確変図柄と決定する。

【0364】

ステップS1040において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容(ステップS617でセーブした変動パターン)にもとづいて、チャンス目Bの仮停止を伴う変動パターンであるかどうかを判定する(ステップS1040)。なお、この実施の形態では、チャンス目Bが仮停止表示されると、常にダブルリーチのスーパーリーチDに発展する。

20

【0365】

チャンス目Bの仮停止を伴う変動パターンであった場合は(ステップS1040のY)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、チャンス目決定用乱数を抽出する(ステップS1041)。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図89に示す大当り図柄に対応したチャンス目B選択用テーブル(F-20)を用いてチャンス目Bを決定し格納する(ステップS1042)。例えば、ステップS1038, S1039にて決定した大当り図柄が「1AF」または「8SF」であったときは、図89に示すような、チャンス目B(41C~72C)のうち「41C」「48C」「49C」「56C」「57C」「64C」「65C」「72C」に判定値が割り振られているテーブルを用いて、チャンス目Bを決定する。そして、処理を終了する。

30

【0366】

なお、大当り図柄に対応したチャンス目B選択用テーブルとしては、図89に示すテーブル以外にも、各々の大当り図柄(「1SF」「2AF」など)に対応したテーブルが設けられている。すなわち、大当り図柄に対応したチャンス目Bが仮停止表示される。

【0367】

チャンス目Bの仮停止を伴う変動パターンでなかった場合は(ステップS1040のN)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、中図柄決定用乱数を抽出する(ステップS1043)。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図75に示すスーパー発展時中図柄選択テーブル(F-6)を用いて中図柄を決定し格納する(ステップS1044)。そして、ステップS1051の処理に移行する。

40

【0368】

ステップS1044で決定される中図柄は、大当りとなる変動の途中においてスーパーリーチに発展するときに表示される中図柄である。具体的には、変動が開始され、左・中・右の飾り図柄が高速変動された後に、左図柄および中図柄が順に停止(仮停止・ゆれ変動)されてノーマルリーチに発展し、中図柄が低速変動され、その後に、中図柄が停止表示される。このときの中図柄の停止図柄がステップS1044で決定される中図柄である。その後、中図柄が再び高速変動されると、スーパーリーチに発展し、中図柄が停止したままであると、飾り図柄の停止図柄がはずれ図柄に確定する。なお、このときのリーチ図

50

柄は、ステップS1036, S1038, S1039で決定された確変図柄を構成する左右図柄（左中右の確変図柄のうちの左右図柄）である。

【0369】

スーパー発展時中図柄選択テーブルは、図75に示すように、変動パターンがシングルリーチ用かダブルリーチ用かによって分けられている。スーパー発展時中図柄選択テーブルには、ステップS1036, S1038, S1039で決定されたリーチ図柄に対する図柄差に対して複数の判定値が割り振られている。なお、リーチ図柄に対する図柄差「0」には判定値が割り振られない。図柄差「0」の中図柄を決定すると、大当たりとなってしまふからである。また、ダブルリーチが発生する場合は、リーチ図柄に対する図柄差「-2」にも判定値が割り振られない。ダブルリーチが発生した場合、図柄差「-2」の中図柄を決定すると、大当たりとなってしまふからである。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1043で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を中図柄と決定する。

10

【0370】

ステップS1032において、救済演出を実行するときは（ステップS1032のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、仮停止図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1045）。次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップS1046）。なお、図17および図18に示すように、ノーマルリーチだけがシングル・ダブル共通のリーチであって、スーパーリーチA～Dはシングルリーチまたはダブルリーチのいずれかである。シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであった場合は（ステップS1046のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1031およびステップS1045で抽出した乱数値に従って、図73に示す共通用大当たり図柄選択用テーブル（F-4）を用いて仮停止図柄と最終停止図柄を決定し格納する（ステップS1047）。

20

【0371】

ここで、「仮停止図柄」とは、救済演出が実行される前に仮停止表示される図柄のことをいう。また、「最終停止図柄」とは、救済演出が実行された後に導出表示される図柄のことをいう。

30

【0372】

共通用大当たり図柄選択用テーブルは、図73に示すように、最終停止図柄を決定するためのテーブル（最終停止図柄テーブル）と、仮停止図柄（ここでは左右図柄）を決定するためのテーブル（仮停止図柄テーブル）とが設けられている。最終停止図柄テーブルには、図4に示した各大当たり図柄のうち確変図柄（1UF, 3UF, 5UF, 7UF, 8UF, 1LF, 3LF, 5LF, 7LF, 8LF, 1CF, 3CF, 5CF, 7CF, 8CF, 1SF, 3SF, 5SF, 7SF, 8SF, 1AF, 3AF, 5AF, 7AF, 8AF）に複数の判定値が割り振られている。仮停止図柄テーブルは、最終停止図柄が「1UF」～「8UF」の場合のテーブルと、「1LF」～「8LF」の場合のテーブルと、「1CF」～「8CF」の場合のテーブルと、「1SF」～「8SF」の場合のテーブルと、「1AF」～「8AF」の場合のテーブルとに分けられている。仮停止図柄テーブルに含まれる各テーブルには、非確変図柄および最終停止図柄と同一の確変図柄に複数の判定値が割り振られている。

40

【0373】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、最終停止図柄テーブルを用いて、ステップS1031で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を最終停止図柄（確変図柄）と決定する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、決定した最終停止図柄に対応した仮停止図柄テーブルを用いて、ステップS1045で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を仮停止図柄（非確変図柄または確変図柄）と決定する。

【0374】

50

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、中図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1048A）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図74に示すノーマル用中図柄仮停止選択テーブル（F-5）を用いて中図柄を決定し格納する（ステップS1048B）。

【0375】

ノーマル用中図柄仮停止選択テーブルは、図74に示すように、ノーマルリーチの種類（ノーマル8コマ、ノーマル14コマ、ノーマル17コマ）毎に分けられ、また、ステップS1047で決定された仮停止図柄がシングルリーチかダブルリーチかによって分けられている。各テーブルには、ステップS1047で決定された仮停止図柄に対する図柄差（「-14」～「+1」）に対して複数の判定値が割り振られている。

10

【0376】

ノーマル用中図柄仮停止選択テーブルにおいて、仮停止図柄に対する図柄差「0」には判定値が割り振られない。図柄差「0」の中図柄を決定すると、大当たりになってしまうからである。また、ダブルリーチ用のノーマル用中図柄仮停止選択テーブルでは、仮停止図柄に対する図柄差「-2」にも判定値が割り振られない。ダブルリーチが発生した場合に図柄差「-2」の中図柄を決定すると、大当たりになってしまうからである。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1048Aで抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を中図柄と決定する。

【0377】

例えば、ステップS1047において、共通大当たり図柄選択用テーブル（F-4）を用いて、最終停止図柄として「1UF」が決定され、仮停止図柄として「2UF」が決定され、また、ステップS1048Bにおいて、ノーマル用中図柄仮停止選択テーブル（F-5）を用いて、リーチ図柄に対する図柄差「-2」が決定されたとする。この場合、上段のラインにはずれ図柄「212」（なお、中段のラインに「***」、下段のラインに「381」）が仮停止表示される。そして、救済演出が実行され、最終停止図柄として上段のラインに確変図柄「111」が導出表示されることになる。

20

【0378】

ステップS1046において、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップS1046のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、シングルリーチを伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップS1049）。シングルリーチを伴う変動パターンであった場合は（ステップS1049のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1031およびステップS1045で抽出した乱数値に従って、図79に示すシングル用大当たり図柄選択用テーブル（F-10）を用いて最終停止図柄と仮停止図柄を決定し格納する（ステップS1050）。その後、ステップS1040の処理に移行する。

30

【0379】

シングル用大当たり図柄選択用テーブルは、図79に示すように、最終停止図柄を決定するためのテーブル（最終停止図柄テーブル）と、仮停止図柄（左右図柄）を決定するためのテーブル（仮停止図柄テーブル）とが設けられている。最終停止図柄テーブルには、図4に示した各大当たり図柄のうちシングルリーチとなる確変図柄（1UF, 3UF, 5UF, 7UF, 8UF, 1LF, 3LF, 5LF, 7LF, 8LF, 1CF, 3CF, 5CF, 7CF, 8CF）に複数の判定値が割り振られている。仮停止図柄テーブルは、最終停止図柄が「1UF」～「8UF」の場合のテーブルと、「1LF」～「8LF」の場合のテーブルと、「1CF」～「8CF」の場合のテーブルとに分けられている。仮停止図柄テーブルに含まれる各テーブルには、非確変図柄および最終停止図柄と同一の確変図柄に複数の判定値が割り振られている。

40

【0380】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、最終停止図柄テーブルを用いて、ステップS1031で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を最終停止図柄（確変図柄）

50

と決定する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、決定した最終停止図柄に対応した仮停止図柄テーブルを用いて、ステップS1045で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を仮停止図柄（非確変図柄または確変図柄）と決定する。

【0381】

なお、救済演出を実行するスーパーリーチの変動パターンでは、仮停止図柄の左右図柄に対する図柄差が指定されている。例えば、図17に示す変動番号「27」の変動パターンでは、「+1救済」となっており、ステップS1050で決定された仮停止図柄の左右図柄に対する図柄差が「+1」であることを示す。このように変動パターンコマンドで指定される図柄差によって、仮停止図柄の中図柄が自動的に決定される。例えば、仮停止図柄が2UFで、変動パターンコマンドで特定される図柄差が「+1」のときは、上段に「2*2」の図柄が仮停止表示されることになる。その後、救済演出が実行され、最終停止図柄である確変図柄が導出表示されることになる。

10

【0382】

次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、チャンス目Aの仮停止を伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップS1051）。なお、チャンス目Aが仮停止表示される場合、この実施の形態では、通常変動の停止時にチャンス目Aが仮停止表示され、その後にスーパーリーチに発展する演出が実行される。

【0383】

チャンス目Aの仮停止を伴う変動パターンであった場合は（ステップS1051のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、チャンス目決定用乱数を抽出する（ステップS1052）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図88に示す大当り図柄に対応したチャンス目A選択用テーブル（F-19）を用いてチャンス目Aを決定し格納する（ステップS1053）。例えば、ステップS1036, S1038, S1039, S1050, S1055, S1056にて決定した大当り図柄が「1UF」「1CF」または「1LF」であったときは、図88の上図に示すような、チャンス目A（1C~40C）のうち「1C」「9C」「17C」「25C」「33C」に判定値が割り振られているテーブルを用いて、チャンス目Aを決定する。

20

【0384】

なお、大当り図柄に対応したチャンス目A選択用テーブルとしては、図88に示すテーブル以外にも、大当り図柄「1SF」「2AF」に対応したテーブル、大当り図柄「2UF」「2CF」「2LF」に対応したテーブルなどのように、各々の大当り図柄に対応したテーブルが設けられている。すなわち、チャンス目Aは、大当り図柄に対応したチャンス目が選択される。

30

【0385】

ステップS1049において、シングルリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップS1049のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ダブルリーチを伴う変動パターンであると判断する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、ダブル先当りかダブル後当りか（ダブルリーチにおいて先に来る図柄で当りになるか後に来る図柄で当りになるか）を判定する（ステップS1054）。ダブル先当りであったときは（ステップS1054のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1031およびステップS1045で抽出した乱数値に従って、図83に示すダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル（F-14）を用いて仮停止図柄と最終停止図柄を決定し格納する（ステップS1055）。その後、ステップS1040の処理に移行する。

40

【0386】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブルは、図83に示すように、最終停止図柄を決定するためのテーブル（最終停止図柄テーブル）と、仮停止図柄（左右図柄）を決定するためのテーブル（仮停止図柄テーブル）とが設けられている。最終停止図柄テーブルには

50

、図4に示した各大当り図柄のうちダブル先当りとなる確変図柄（1SF, 3SF, 5SF, 7SF, 8SF）に複数の判定値が割り振られている。仮停止図柄テーブルとして、最終停止図柄が「1SF」～「8SF」の場合のテーブルだけが設定されている。仮停止図柄テーブルには、非確変図柄および最終停止図柄と同一の確変図柄に複数の判定値が割り振られている。

【0387】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、最終停止図柄テーブルを用いて、ステップS1031で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を最終停止図柄（確変図柄）と決定する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、決定した最終停止図柄に対応した仮停止図柄テーブルを用いて、ステップS1045で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を仮停止図柄（非確変図柄または確変図柄）と決定する。

10

【0388】

なお、仮停止図柄の中図柄は、変動パターンコマンドで指定される図柄差によって自動的に決定される。リーチはずれ図柄である仮停止図柄が仮停止表示された後に、救済演出が実行され、最終停止図柄である確変図柄が導出表示される。

【0389】

ダブル後当りであったときは（ステップS1054のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1031およびステップS1045で抽出した乱数値に従って、図87に示すダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル（F-18）を用いて仮停止図柄と最終停止図柄を決定し格納する（ステップS1056）。その後、ステップS1040の処理に移行する。

20

【0390】

ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブルは、図87に示すように、最終停止図柄を決定するためのテーブル（最終停止図柄テーブル）と、仮停止図柄（左右図柄）を決定するためのテーブル（仮停止図柄テーブル）とが設けられている。最終停止図柄テーブルには、図4に示した各大当り図柄のうちダブル後当りとなる確変図柄（1AF, 3AF, 5AF, 7AF, 8AF）に複数の判定値が割り振られている。仮停止図柄テーブルとして、最終停止図柄が「1AF」～「8AF」の場合のテーブルだけが設定されている。仮停止図柄テーブルには、非確変図柄および最終停止図柄と同一の確変図柄に複数の判定値が割り振られている。

30

【0391】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、最終停止図柄テーブルを用いて、ステップS1031で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を最終停止図柄（確変図柄）と決定する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、決定した最終停止図柄に対応した仮停止図柄テーブルを用いて、ステップS1045で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を仮停止図柄（非確変図柄または確変図柄）と決定する。

【0392】

なお、仮停止図柄の中図柄は、変動パターンコマンドで指定される図柄差によって自動的に決定される。リーチはずれ図柄である仮停止図柄が仮停止表示された後に、救済演出が実行され、最終停止図柄である確変図柄が導出表示される。

40

【0393】

図63は、第1の非確変図柄決定処理を示すフローチャートである。なお、第1の非確変図柄決定処理は、図18に示す変動番号85～88の変動パターンを示す変動パターンコマンドを受信したときに実行される処理である。

【0394】

第1の非確変図柄決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大当り図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1071）。次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップS1072）。なお、図17および図18に示すように、

50

ノーマルリーチだけがシングル・ダブル共通のリーチであって、スーパーリーチ A, C はシングルリーチまたはダブルリーチのいずれかである。シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであった場合は（ステップ S 1 0 7 2 の Y）、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、ステップ S 1 0 7 1 で抽出した乱数値に従って、図 7 0 に示す共通用大当り図柄選択用テーブル（F-1）を用いて非確変図柄を決定し格納する（ステップ S 1 0 7 3）。その後、ステップ S 1 0 7 9 A の処理に移行する。

【0395】

共通用大当り図柄選択用テーブルには、図 4 に示した各大当り図柄のうち非確変図柄（2 U F, 2 L F, 2 C F, 2 S F, 2 A F, 4 U F, 4 L F, 4 C F, 4 S F, 4 A F, 6 U F, 6 L F, 6 C F, 6 S F, 6 A F）に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、ステップ S 1 0 7 1 で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を非確変図柄と決定する。

10

【0396】

ステップ S 1 0 7 2 において、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップ S 1 0 7 2 の N）、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップ S 6 1 7 でセーブした変動パターン）にもとづいて、シングルリーチを伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップ S 1 0 7 4）。シングルリーチを伴う変動パターンであった場合は（ステップ S 1 0 7 4 の Y）、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、ステップ S 1 0 7 1 で抽出した乱数値に従って、図 7 6 に示すシングル用大当り図柄選択用テーブル（F-7）を用いて非確変図柄を決定し格納する（ステップ S 1 0 7 5）。その後、ステップ S 1 0 7 9 A の処理に移行する。

20

【0397】

シングル用大当り図柄選択用テーブルには、非確変図柄のうちシングルリーチの非確変図柄（2 U F, 4 U F, 6 U F, 2 L F, 4 L F, 6 L F, 2 C F, 4 C F, 6 C F）に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、ステップ S 1 0 7 1 で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を非確変図柄と決定する。

【0398】

ステップ S 1 0 7 4 において、シングルリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップ S 1 0 7 4 の N）、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、ダブルリーチを伴う変動パターンであると判断する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップ S 6 1 7 でセーブした変動パターン）にもとづいて、ダブル先当りかダブル後当りか（ダブルリーチにおいて先に来る図柄で当りになるか後に来る図柄で当りになるか）を判定する（ステップ S 1 0 7 6）。ダブル先当りであったときは（ステップ S 1 0 7 6 の Y）、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、ステップ S 1 0 7 1 で抽出した乱数値に従って、図 8 0 に示すダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル（F-11）を用いて非確変図柄を決定し格納する（ステップ S 1 0 7 7）。その後、ステップ S 1 0 7 9 A の処理に移行する。

30

【0399】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブルには、非確変図柄のうちダブル先当りとなる図柄（2 S F, 4 S F, 6 S F）に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、ステップ S 1 0 7 1 で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を非確変図柄と決定する。

40

【0400】

ダブル後当りであったときは（ステップ S 1 0 7 6 の N）、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、ステップ S 1 0 7 1 で抽出した乱数値に従って、図 8 4 に示すダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル（F-15）を用いて非確変図柄を決定し格納する（ステップ S 1 0 7 8）。その後、ステップ S 1 0 7 9 A の処理に移行する。

【0401】

ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブルには、非確変図柄のうちダブル後当りとなる

50

図柄（2AF, 4AF, 6AF）に複数の判定値が割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1071で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を非確変図柄と決定する。

【0402】

ステップS1079Aにおいて、演出制御用マイクロコンピュータ100は、図柄情報指定コマンドが大当たり後に再抽選演出を実行して非確変図柄を確変図柄に昇格させることを指定するコマンド、つまり、確変大当たり2指定コマンド（8C03（H））または確変大当たり3指定コマンド（8C04（H））であるかどうかを確認する（ステップS1079A）。大当たり後に昇格させることを指定する図柄情報指定コマンドであれば（ステップS1079AのY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大当たり後に再抽選演出を実行することを示す再抽選演出実行フラグをセットする（ステップS1079B）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1071で抽出した乱数値に従って、図71に示す共通大当たり図柄選択用テーブル（F-2）を用いて確変図柄を決定し格納する（ステップS1079C）。このように決定された確変図柄が、大当たり遊技開始後に実行される再抽選演出にて導出表示される確変図柄である。

10

【0403】

その後、演出制御用マイクロコンピュータ100は、中図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1080A）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図75に示すスーパー発展時中図柄選択テーブル（F-6）を用いて中図柄を決定し格納する（ステップS1080B）。なお、ノーモルリーチが実行される場合（ステップS1072のY）は、ステップS1080A、S1080Bの処理は実行されない。

20

【0404】

図64は、突然確変図柄決定処理を示すフローチャートである。なお、突然確変図柄決定処理は、図18に示す変動番号91の変動パターンを示す変動パターンコマンドを受信したときに実行される処理である。

【0405】

突然確変図柄決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大当たり図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1081）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図65に示す突確用図柄選択テーブル（F-25）を用いて突然確変図柄を決定し格納する（ステップS1082）。

30

【0406】

突確用図柄選択テーブルには、図7に示した突然確変図柄（突確用のチャンス目）に複数の判定値が略均等に割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を突然確変図柄と決定する。

【0407】

図66は、第2の飾り図柄決定処理を示すフローチャートである。第2の飾り図柄決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、受信した図柄情報指定コマンドにおいて、通常大当たり指定コマンド（8C01（H））、確変大当たり2指定コマンド（8C03（H））または確変大当たり3指定コマンド（8C04（H））が指定されているかどうかを確認する（ステップS671）。それらの内容が指定されているときは（ステップS671のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、非確変大当たりが決定されたこと（変動停止時の大当たり図柄が非確変図柄であること）を示す非確変大当たり決定フラグをセットする（ステップS672）。そして、第2の非確変図柄決定処理を実行する（ステップS673）。なお、第2の非確変図柄決定処理の詳しい内容については後述する（図67および図68参照）。

40

【0408】

図柄情報指定コマンドが通常大当たり指定コマンドまたは確変大当たり2, 3指定コマンドでない場合は（ステップS671のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、確変大当たり1指定コマンド（8C02（H））であるかどうかを確認する（ステップS67

50

4)。確変大当り1指定コマンドであれば(ステップS674のY)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、確変大当りが決定されたこと(変動停止時の大当り図柄が確変図柄であること)を示す確変大当り決定フラグをセットする(ステップS675)。そして、第2の確変図柄決定処理を実行する(ステップS676)。

【0409】

図柄情報指定コマンドが確変大当り1指定コマンドでない場合は(ステップS674のN)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、突然確変大当り指定コマンド(8C05(H))であるかどうかを確認する(ステップS677)。突然確変大当り指定コマンドであれば(ステップS677のY)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、突然確変大当りが決定されたことを示す突然確変大当り決定フラグをセットする(ステップS678)。そして、突然確変図柄決定処理を実行する(ステップS679)。なお、ステップS675における突然確変図柄決定処理は、図43のステップS663および図64で説明した処理と同じ処理(サブルーチン)である。

【0410】

図柄情報指定コマンドが突然確変大当り指定コマンドでない場合は(ステップS677のN)、図柄情報指定コマンドは小当り指定コマンドということになる。小当り指定コマンドであるときは、演出制御用マイクロコンピュータ100は、小当りが決定されたことを示す小当り決定フラグをセットする(ステップS680A)。そして、小当り図柄決定処理を実行する(ステップS680B)。なお、小当り図柄決定処理の詳しい内容については後述する(図90参照)。

【0411】

図67および図68は、第2の非確変図柄決定処理を示すフローチャートである。なお、第2の非確変図柄決定処理は、図18に示す変動番号62~84の変動パターン(再抽選演出を実行する変動パターン)を示す変動パターンコマンドを受信するとともに、図柄情報指定コマンドとして通常大当り指定コマンド(8C01(H))または確変大当り2,3指定コマンド(8C03(H),8C04(H))を受信したときに実行される処理である。

【0412】

第2の非確変図柄決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大当り図柄決定用乱数を抽出する(ステップS1101)。次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容(ステップS617でセーブした変動パターン)にもとづいて、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであるかどうかを判定する(ステップS1102)。シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであった場合は(ステップS1102のY)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1101で抽出した乱数値に従って、図70に示す共通用大当り図柄選択用テーブル(F-1)を用いて非確変図柄を決定し格納する(ステップS1103)。その後、ステップS1109の処理に移行する。なお、変動中に再抽選演出が実行されるが、この実施の形態では、再抽選演出が実行される前に仮停止表示される仮停止図柄も、再抽選演出が実行された後に導出表示される最終停止図柄も、ステップS1103で決定された同じ非確変図柄である。

【0413】

ステップS1102において、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンでなかったときは(ステップS1102のN)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容(ステップS617でセーブした変動パターン)にもとづいて、シングルリーチを伴う変動パターンであるかどうかを判定する(ステップS1104)。シングルリーチを伴う変動パターンであった場合は(ステップS1104のY)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1101で抽出した乱数値に従って、図76に示すシングル用大当り図柄選択用テーブル(F-7)を用いて非確変図柄を決定し格納する(ステップS1105)。その後、ステップS1109の処理に移行する。なお、変動中に再抽選演出が実行されるが、この実施の形態では、再抽選演出が

実行される前に仮停止表示される仮停止図柄も、再抽選演出が実行された後に導出表示される最終停止図柄も、ステップS1105で決定された同じ非確変図柄である。

【0414】

ステップS1104において、シングルリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップS1104のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ダブルリーチを伴う変動パターンであると判断する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、ダブル先当りかダブル後当りか（ダブルリーチにおいて先に来る図柄で当りになるか後に来る図柄で当りになるか）を判定する（ステップS1106）。ダブル先当りであったときは（ステップS1106のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1101で抽出した乱数値に従って、図80に示すダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル（F-11）を用いて非確変図柄を決定し格納する（ステップS1107）。その後、ステップS1109の処理に移行する。なお、変動中に再抽選演出が実行されるが、この実施の形態では、再抽選演出が実行される前に仮停止表示される仮停止図柄も、再抽選演出が実行された後に導出表示される最終停止図柄も、ステップS1107で決定された同じ非確変図柄である。

10

【0415】

ダブル後当りであったときは（ステップS1106のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1101で抽出した乱数値に従って、図84に示すダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル（F-15）を用いて非確変図柄を決定し格納する（ステップS1108）。その後、ステップS1109の処理に移行する。なお、変動中に再抽選演出が実行されるが、この実施の形態では、再抽選演出が実行される前に仮停止表示される仮停止図柄も、再抽選演出が実行された後に導出表示される最終停止図柄も、ステップS1108で決定された同じ非確変図柄である。

20

【0416】

ステップS1109において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、図柄情報指定コマンドが大当り後に再抽選演出を実行して非確変図柄を確変図柄に昇格させることを指定するコマンド、つまり、確変大当り2指定コマンド（8C03（H））または確変大当り3指定コマンド（8C04（H））であるかどうかを確認する（ステップS1109）。大当り後に昇格させることを指定する図柄情報指定コマンドであれば（ステップS1109のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大当り後に再抽選演出を実行することを示す再抽選演出実行フラグをセットする（ステップS1110）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1101で抽出した乱数値に従って、図71に示す共通用大当り図柄選択用テーブル（F-2）を用いて確変図柄を決定し格納する（ステップS1111）。このように決定された確変図柄が、大当り遊技開始後に実行される再抽選演出にて導出表示される確変図柄である。その後、ステップS1112の処理に移行する。

30

【0417】

ステップS1112において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、チャンス目Bの仮停止を伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップS1112）。なお、この実施の形態では、チャンス目Bが仮停止表示されると、常にダブルリーチのスーパーリーチDに発展する。

40

【0418】

チャンス目Bの仮停止を伴う変動パターンであった場合は（ステップS1112のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、チャンス目決定用乱数を抽出する（ステップS1113）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図89に示す大当り図柄に対応したチャンス目B選択用テーブル（F-20）を用いてチャンス目Bを決定し格納する（ステップS1114）。例えば、ステップS1107、S1108にて決定した大当り図柄が「1AF」または「8SF」であったときは

50

、図 8 9 に示すような、チャンス目 B (4 1 C ~ 7 2 C) のうち「4 1 C」「4 8 C」「4 9 C」「5 6 C」「5 7 C」「6 4 C」「6 5 C」「7 2 C」に判定値が割り振られているテーブルを用いて、チャンス目 B を決定する。そして、処理を終了する。

【0 4 1 9】

チャンス目 B の仮停止を伴う変動パターンでなかった場合は (ステップ S 1 1 1 2 の N)、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、中図柄決定用乱数を抽出する (ステップ S 1 1 1 5)。そして、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、抽出した乱数値に従って、図 7 5 に示すスーパー発展時中図柄選択テーブル (F - 6) を用いて中図柄を決定し格納する (ステップ S 1 1 1 6)。

【0 4 2 0】

ステップ S 1 1 1 6 で決定される中図柄は、ステップ S 1 0 4 4 で決定される中図柄と同じように、大当たりとなる変動の途中においてスーパーリーチに発展するときに表示される中図柄である。なお、このときのリーチ図柄は、ステップ S 1 1 0 5, S 1 1 0 7, S 1 1 0 8 で決定された非確変図柄を構成する左右図柄 (左中右の非確変図柄の左右図柄) である。

【0 4 2 1】

次に、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、受信した変動パターンコマンドの内容 (ステップ S 6 1 7 でセーブした変動パターン) にもとづいて、チャンス目 A の仮停止を伴う変動パターンであるかどうかを判定する (ステップ S 1 1 1 7)。なお、チャンス目 A が仮停止表示される場合、この実施の形態では、通常変動の停止時にチャンス目 A が仮停止表示され、その後にスーパーリーチに発展する演出が実行される。

【0 4 2 2】

チャンス目 A の仮停止を伴う変動パターンであった場合は (ステップ S 1 1 1 7 の Y)、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、チャンス目決定用乱数を抽出する (ステップ S 1 1 1 8)。そして、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、抽出した乱数値に従って、図 8 8 に示す大当たり図柄に対応したチャンス目 A 選択用テーブル (F - 1 9) を用いてチャンス目 A を決定し格納する (ステップ S 1 1 1 9)。例えば、ステップ S 1 1 0 5, S 1 1 0 7, S 1 1 0 8 にて決定した大当たり図柄が「1 U F」「1 C F」または「1 L F」であったときは、図 8 8 の上図に示すような、チャンス目 A (1 C ~ 4 0 C) のうち「1 C」「9 C」「1 7 C」「2 5 C」「3 3 C」に判定値が割り振られているテーブルを用いて、チャンス目 A を決定する。その後、処理を終了する。

【0 4 2 3】

図 6 9 は、第 2 の確変図柄決定処理を示すフローチャートである。なお、第 2 の確変図柄決定処理は、図 1 8 に示す変動番号 6 2 ~ 8 4 の変動パターン (再抽選演出を実行する変動パターン) を示す変動パターンコマンドを受信するとともに、図柄情報指定コマンドとして確変大当たり 1 指定コマンド (8 C 0 2 (H)) を受信したときに実行される処理である。

【0 4 2 4】

第 2 の確変図柄決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、大当たり図柄決定用乱数を抽出する (ステップ S 1 1 3 0)。そして、仮停止図柄決定用乱数を抽出する (ステップ S 1 1 3 1)。次に、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、受信した変動パターンコマンドの内容 (ステップ S 6 1 7 でセーブした変動パターン) にもとづいて、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであるかどうかを判定する (ステップ S 1 1 3 2)。なお、図 1 7 および図 1 8 に示すように、ノーマルリーチだけがシングル・ダブル共通のリーチであって、スーパーリーチ A ~ D はシングルリーチまたはダブルリーチのいずれかである。シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンであった場合は (ステップ S 1 1 3 2 の Y)、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 は、ステップ S 1 1 3 0 およびステップ S 1 1 3 1 で抽出した乱数値に従って、図 7 2 に示す共通大当たり図柄選択用テーブル (F - 3) を用いて仮停止図柄と最終停止図柄を決定し格納する (ステップ S 1 1 3 3)。その後、処理を終了する。

【0425】

ここで、「仮停止図柄」とは、再抽選演出が実行される前に仮停止表示される非確変図柄のことをいう。また、「最終停止図柄」とは、再抽選演出が実行された後に導出表示される確変図柄のことをいう。

【0426】

共通用大当り図柄選択用テーブルは、図72に示すように、最終停止図柄を決定するためのテーブル（最終停止図柄テーブル）と、仮停止図柄を決定するためのテーブル（仮停止図柄テーブル）とが設けられている。最終停止図柄テーブルには、図4に示した各大当り図柄のうち確変図柄（1UF, 3UF, 5UF, 7UF, 8UF, 1LF, 3LF, 5LF, 7LF, 8LF, 1CF, 3CF, 5CF, 7CF, 8CF, 1SF, 3SF, 5SF, 7SF, 8SF, 1AF, 3AF, 5AF, 7AF, 8AF）に複数の判定値が割り振られている。仮停止図柄テーブルは、最終停止図柄が「1UF」～「8UF」の場合のテーブルと、「1LF」～「8LF」の場合のテーブルと、「1CF」～「8CF」の場合のテーブルと、「1SF」～「8SF」の場合のテーブルと、「1AF」～「8AF」の場合のテーブルとに分けられている。仮停止図柄テーブルに含まれる各テーブルには、非確変図柄に複数の判定値が割り振られている。

10

【0427】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、最終停止図柄テーブルを用いて、ステップS1130で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を最終停止図柄（確変図柄）と決定する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、決定した最終停止図柄に対応した仮停止図柄テーブルを用いて、ステップS1131で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を仮停止図柄（非確変図柄）と決定する。

20

【0428】

ステップS1132において、シングル・ダブル共通のリーチを伴う変動パターンでなかったときは（ステップS1132のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、シングルリーチを伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップS1134）。シングルリーチを伴う変動パターンであった場合は（ステップS1134のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS1130およびステップS1131で抽出した乱数値に従って、図78に示すシングル用大当り図柄選択用テーブル（F-9）を用いて仮停止図柄と最終停止図柄を決定し格納する（ステップS1135）。その後、ステップS1139の処理に移行する。

30

【0429】

シングル用大当り図柄選択用テーブルは、図78に示すように、最終停止図柄を決定するためのテーブル（最終停止図柄テーブル）と、仮停止図柄を決定するためのテーブル（仮停止図柄テーブル）とが設けられている。最終停止図柄テーブルには、図4に示した各大当り図柄のうちシングルリーチとなる確変図柄（1UF, 3UF, 5UF, 7UF, 8UF, 1LF, 3LF, 5LF, 7LF, 8LF, 1CF, 3CF, 5CF, 7CF, 8CF）に複数の判定値が割り振られている。仮停止図柄テーブルは、最終停止図柄が「1UF」～「8UF」の場合のテーブルと、「1LF」～「8LF」の場合のテーブルと、「1CF」～「8CF」の場合のテーブルとに分けられている。仮停止図柄テーブルに含まれる各テーブルには、非確変図柄に複数の判定値が割り振られている。

40

【0430】

演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、最終停止図柄テーブルを用いて、ステップS1130で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を最終停止図柄（確変図柄）と決定する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、決定した最終停止図柄に対応した仮停止図柄テーブルを用いて、ステップS1131で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を仮停止図柄（非確変図柄）と決定する。

【0431】

ステップS1134において、シングルリーチを伴う変動パターンでなかったときは（

50

ステップS 1 1 3 4のN)、演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0は、ダブルリーチを伴う変動パターンであると判断する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0は、受信した変動パターンコマンドの内容(ステップS 6 1 7でセーブした変動パターン)にもとづいて、ダブル先当りかダブル後当りか(ダブルリーチにおいて先に来る図柄で当りになるか後に来る図柄で当りになるか)を判定する(ステップS 1 1 3 6)。ダブル先当りであったときは(ステップS 1 1 3 6のY)、演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0は、ステップS 1 1 3 0およびステップS 1 1 3 1で抽出した乱数値に従って、図8 2に示すダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル(F-1 3)を用いて仮停止図柄と最終停止図柄を決定し格納する(ステップS 1 1 3 7)。その後、ステップS 1 1 3 9の処理に移行する。

10

【0 4 3 2】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブルは、図8 2に示すように、最終停止図柄を決定するためのテーブル(最終停止図柄テーブル)と、仮停止図柄を決定するためのテーブル(仮停止図柄テーブル)とが設けられている。最終停止図柄テーブルには、図4に示した各大当り図柄のうちダブル先当りとなる確変図柄(1 S F, 3 S F, 5 S F, 7 S F, 8 S F)に複数の判定値が割り振られている。仮停止図柄テーブルとして、最終停止図柄が「1 S F」～「8 S F」の場合のテーブルだけが設定されている。仮停止図柄テーブルには、非確変図柄に複数の判定値が割り振られている。

【0 4 3 3】

演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0は、まず、最終停止図柄テーブルを用いて、ステップS 1 1 3 0で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を最終停止図柄(確変図柄)と決定する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0は、決定した最終停止図柄に対応した仮停止図柄テーブルを用いて、ステップS 1 1 3 1で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を仮停止図柄(非確変図柄)と決定する。

20

【0 4 3 4】

ダブル後当りであったときは(ステップS 1 1 3 6のN)、演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0は、ステップS 1 1 3 0およびステップS 1 1 3 1で抽出した乱数値に従って、図8 6に示すダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル(F-1 7)を用いて仮停止図柄と最終停止図柄を決定し格納する(ステップS 1 1 3 8)。その後、ステップS 1 1 3 9の処理に移行する。

30

【0 4 3 5】

ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブルは、図8 6に示すように、最終停止図柄を決定するためのテーブル(最終停止図柄テーブル)と、仮停止図柄を決定するためのテーブル(仮停止図柄テーブル)とが設けられている。最終停止図柄テーブルには、図4に示した各大当り図柄のうちダブル後当りとなる確変図柄(1 A F, 3 A F, 5 A F, 7 A F, 8 A F)に複数の判定値が割り振られている。仮停止図柄テーブルとして、最終停止図柄が「1 A F」～「8 A F」の場合のテーブルだけが設定されている。仮停止図柄テーブルには、非確変図柄に複数の判定値が割り振られている。

【0 4 3 6】

演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0は、まず、最終停止図柄テーブルを用いて、ステップS 1 1 3 0で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を最終停止図柄(確変図柄)と決定する。そして、演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0は、決定した最終停止図柄に対応した仮停止図柄テーブルを用いて、ステップS 1 0 3 1で抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を仮停止図柄(非確変図柄)と決定する。

40

【0 4 3 7】

ステップS 1 1 3 9において、演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0は、受信した変動パターンコマンドの内容(ステップS 6 1 7でセーブした変動パターン)にもとづいて、チャンス目Bの仮停止を伴う変動パターンであるかどうかを判定する(ステップS 1 1 3 9)。なお、この実施の形態では、チャンス目Bが仮停止表示されると、常にダブルリーチのスーパーリーチDに発展する。

50

【0438】

チャンス目Bの仮停止を伴う変動パターンであった場合は（ステップS1139のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、チャンス目決定用乱数を抽出する（ステップS1140）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図89に示す大当り図柄に対応したチャンス目B選択用テーブル（F-20）を用いてチャンス目Bを決定し格納する（ステップS1141）。

【0439】

チャンス目Bの仮停止を伴う変動パターンでなかった場合は（ステップS1139のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、中図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1142）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図75に示すスーパー発展時中図柄選択テーブル（F-6）を用いて中図柄を決定し格納する（ステップS1143）。

10

【0440】

ステップS1143で決定される中図柄は、大当りとなる変動の途中においてスーパーリーチに発展するときに表示される中図柄である。

【0441】

次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、受信した変動パターンコマンドの内容（ステップS617でセーブした変動パターン）にもとづいて、チャンス目Aの仮停止を伴う変動パターンであるかどうかを判定する（ステップS1144）。なお、チャンス目Aが仮停止表示される場合、この実施の形態では、通常変動の停止時にチャンス目Aが仮停止表示され、その後にスーパーリーチに発展する演出が実行される。

20

【0442】

チャンス目Aの仮停止を伴う変動パターンであった場合は（ステップS1144のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、チャンス目決定用乱数を抽出する（ステップS1145）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図88に示す大当り図柄に対応したチャンス目A選択用テーブル（F-19）を用いてチャンス目Aを決定し格納する（ステップS1146）。そして、処理を終了する。

【0443】

図90は、小当り図柄決定処理を示すフローチャートである。なお、小当り図柄決定処理は、図18に示す変動番号89、90の変動パターンを示す変動パターンコマンドを受信するとともに、図柄情報指定コマンドとして小当り指定コマンド（8C06（H））を受信したときに実行される処理である。

30

【0444】

小当り図柄決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大当り図柄決定用乱数を抽出する（ステップS1161）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値に従って、図91に示す小当り図柄選択テーブル（K-1）を用いて小当り図柄を決定し格納する（ステップS1162）。

【0445】

小当り図柄選択テーブルには、図8に示した小当り図柄（小当り用のチャンス目）に複数の判定値が略均等に割り振られている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、抽出した乱数値と一致する判定値の図柄を小当り図柄と決定する。

40

【0446】

図92は、仮決定図柄決定処理（ステップS632）を示すフローチャートである。仮決定図柄決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大当り図柄決定用乱数を抽出する（ステップS681）。次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、変動パターンコマンドが通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドであるか突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドであるかを判定する（ステップS682）。

【0447】

50

変動パターンコマンドが通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドである場合は（ステップS682のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS681で抽出した乱数値に従って、図70に示す共通用大当り図柄選択用テーブル（F-1）を用いて非確変図柄を仮決定し格納する（ステップS683）。一方、変動パターンコマンドが突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドである場合は（ステップS682のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS681で抽出した乱数値に従って、図91に示す小当り図柄選択テーブル（K-1）を用いて小当り図柄を仮決定し格納する（ステップS684）。

【0448】

そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、図柄情報指定コマンドが未受信であることを示すコマンド未受信フラグをセットする（ステップS685）。 10

【0449】

図93は、第3の確変図柄決定処理（ステップS637）を示すフローチャートである。第3の確変図柄決定処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大当り図柄決定用乱数を抽出する（ステップS691）。次に、演出制御用マイクロコンピュータ100は、乱数値に従って、図71に示す共通用大当り図柄選択用テーブル（F-2）を用いて確変図柄を決定し格納する（ステップS692）。このように決定された確変図柄が大当り遊技開始後の再抽選演出にて導出表示される確変図柄である。

【0450】

図94は、メイン処理における演出制御プロセス処理（ステップS705）を示すフローチャートである。演出制御プロセス処理では、演出制御用マイクロコンピュータ100は、演出制御プロセスフラグの値に応じてステップS800～S808のうちのいずれかの処理を行う。各処理において、以下のような処理を実行する。 20

【0451】

変動パターンコマンド受信待ち処理（ステップS800）：コマンド受信割込処理によって、変動パターン指定の演出制御コマンド（変動パターンコマンド）を受信したか否か確認する。具体的には、変動パターンコマンドが受信されたことを示す変動パターン受信フラグがセットされたか否か確認する。変動パターン受信フラグは、演出制御用マイクロコンピュータ100が実行するコマンド解析処理におけるステップS618で設定される。 30

【0452】

飾り図柄変動開始処理（ステップS801）：飾り図柄の変動が開始されるように制御する。また、変動時間タイマに変動時間に相当する値を設定し、使用するプロセステーブルを選択するとともに、プロセステーブルの最初に設定されているプロセスタイマ設定値をプロセスタイマに設定する。

【0453】

飾り図柄変動中処理（ステップS802）：変動パターンを構成する各変動状態（変動速度）の切替タイミングを制御するとともに、変動時間の終了を監視する。

【0454】

飾り図柄変動停止処理（ステップS803）：変動時間タイマがタイムアウトしたことに応じて、飾り図柄の変動を停止し停止図柄（確定図柄）を導出表示する制御を行う。 40

【0455】

大当り表示処理（ステップS804）：変動時間の終了後、大当り表示の制御を行う。例えば、大当りの開始を指定するファンファーレコマンドを受信したら、ファンファーレ演出を実行する。また、突然確変大当りの開始を指定するファンファーレコマンドを受信したら、2ラウンド用演出を実行する。

【0456】

ラウンド中処理（ステップS805）：ラウンド中の表示制御を行う。例えば、大入賞口が開放中であることを示す大入賞口開放中コマンドを受信したら、ラウンド数の表示制御等を行う。なお、所定のラウンド中に再抽選演出を実行することもある。この実施の形 50

態では、再抽選演出を実行するラウンドは予め決められているものとする（例えば7ラウンドあるいは15ラウンド）。

【0457】

ラウンド後処理（ステップS806）：ラウンド間の表示制御を行う。例えば、大入賞口が開放後（閉鎖中）であることを示す大入賞口開放後コマンドを受信したら、インターバル表示等を行う。

【0458】

大当り終了演出処理（ステップS807）：大当り遊技の終了後の大当り終了表示の制御を行う。例えば、大当りの終了を指定するエンディングコマンドを受信したら、エンディング演出を実行する。なお、エンディング演出中に再抽選演出を実行することもある。

10

【0459】

小当り演出処理（ステップS808）：変動時間の終了後、小当りの開始を指定するファンファーレコマンドを受信したら、小当り中の演出である2ラウンド用演出を実行する。

【0460】

図95は、プロセステーブルの一構成例を示す説明図である。プロセステーブルは、プロセスタイマ設定値と表示制御実行データ、ランプ制御実行データおよび音番号データの組み合わせが複数集まったデータで構成されている。表示制御実行データには、変動パターンを構成する各変動態様が記載されている。また、プロセスタイマ設定値には、その変動態様での変動時間が設定されている。演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセステーブルを参照し、プロセスタイマ設定値に設定されている時間だけ表示制御実行データに設定されている変動態様で飾り図柄を変動表示させる制御を行う。

20

【0461】

また、演出制御用マイクロコンピュータ100は、表示制御実行データにもとづく制御と同様に、プロセスタイマ設定値に設定されている時間だけランプ制御実行データにもとづいて各種ランプの点灯状態を制御し、音番号データを音声出力基板70に出力する。

【0462】

図95に示すプロセスデータは、演出制御基板80におけるROMに格納されている。また、プロセステーブルは、各変動パターンのそれぞれに応じて用意されている。

【0463】

30

図96は、演出制御プロセス処理における変動パターンコマンド受信待ち処理（ステップS800）を示すフローチャートである。変動パターンコマンド受信待ち処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、変動パターン受信フラグがセットされたか否か確認する（ステップS811）。セットされていたら、そのフラグをリセットする（ステップS812）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、変動パターンコマンドで指定された内容（変動番号、変動時間）にもとづいて、飾り図柄の変動パターンを決定する（ステップS813）。その後、演出制御用マイクロコンピュータ100は、演出制御プロセスフラグの値を飾り図柄変動開始処理（ステップS801）に対応した値に変更する（ステップS814）。

【0464】

40

図97は、演出制御プロセス処理における飾り図柄変動開始処理（ステップS801）を示すフローチャートである。飾り図柄変動開始処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、使用する飾り図柄の変動パターンに応じたプロセスデータを選択する（ステップS821）。そして、選択したプロセスデータ1におけるプロセスタイマ設定値をプロセスタイマに設定してプロセスタイマをスタートさせる（ステップS822）。次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスデータ1の内容（表示制御実行データ1、ランプ制御実行データ1、音番号データ1）に従って演出装置（可変表示装置9、各種ランプ、スピーカ27）の制御を実行する（ステップS823）。例えば、可変表示装置9において変動パターンに応じた画像を表示させるために、VDP109に制御信号を出力する。また、各種ランプの点灯／消灯制御を行わせるために、ラン

50

プドライバ基板35に対して制御信号を出力する。また、スピーカ27からの音声出力を行わせるために、音声出力基板70に対して制御信号(音番号データ)を出力する。

【0465】

なお、変動中の所定のタイミングで飾り図柄の仮停止図柄を仮停止表示させるときは、コマンド解析処理において格納された飾り図柄の仮停止図柄を仮停止表示させる制御を行う。

【0466】

その後、演出制御用マイクロコンピュータ100は、変動時間タイマ(飾り図柄の変動時間に応じたタイマ)をスタートし(ステップS824)、演出制御プロセスフラグの値を飾り図柄変動中処理(ステップS802)を示す値に更新する(ステップS825)。

10

【0467】

図98は、演出制御プロセス処理における飾り図柄変動中処理(ステップS802)を示すフローチャートである。飾り図柄変動中処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、変動時間タイマがタイムアウトしていないかどうかを確認する(ステップS831)。変動時間タイマがタイムアウトしていれば、演出制御プロセスフラグの値を飾り図柄変動停止処理(ステップS803)を示す値に更新する(ステップS838)。

【0468】

変動時間タイマがタイムアウトしていなければ、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマを1減算するとともに(ステップS832)、変動時間タイマを1減算する(ステップS833)。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスデータnの内容に従って演出装置(可変表示装置9、各種ランプ、スピーカ27)の制御を実行する(ステップS834)。なお、演出制御用マイクロコンピュータ100は、再抽選演出を実行するためのプロセスデータ(再抽選演出が含まれているプロセスデータ)の内容に従って演出装置(可変表示装置9、各種ランプ、スピーカ27)の制御を実行することにより、変動中の再抽選演出を実行する。

20

【0469】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマがタイムアウトしていないかどうかを確認し(ステップS835)、プロセスタイマがタイムアウトしていれば、プロセスデータの切替を行う(ステップS836)。すなわち、プロセステーブルにおける次に設定されているプロセスデータ(表示制御実行データ、ランプ制御実行データおよび音番号データ)に切り替える。そして、次のプロセスデータにおけるプロセスタイマ設定値をプロセスタイマに設定してプロセスタイマをスタートさせる(ステップS837)。

30

【0470】

図99は、演出制御プロセス処理における飾り図柄変動停止処理(ステップS803)を示すフローチャートである。飾り図柄変動停止処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、飾り図柄の変動停止を指示する演出制御コマンド(飾り図柄停止指定コマンド)を受信しているか否かを確認する(ステップS841)。飾り図柄停止指定コマンドを受信していれば、コマンド解析処理において格納された飾り図柄の停止図柄を停止表示させる制御を行う(ステップS842)。

40

【0471】

なお、この実施の形態では、演出制御用マイクロコンピュータ100が、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの飾り図柄停止指定コマンドの受信に応じて飾り図柄を停止表示する制御を行うが、このような構成に限られず、変動時間タイマがタイムアップしたことにともなう飾り図柄を停止表示する制御を行うようにしてもよい。

【0472】

ステップS842で停止表示された飾り図柄の停止図柄が小当り図柄である場合(ステップS843のY)は、演出制御用マイクロコンピュータ100は、小当り用のファンファーレ受信フラグがセットされたか否かを確認する(ステップS844)。小当り用のファンファーレ受信フラグがセットされたときは(ステップS844のY)、演出制御用マイ

50

クロコンピュータ100は、格納されたファンファーレコマンドの内容と格納された変動パターンの内容（タイムミッション突入演出が実行されたか突然確変・小当り共通突入演出が実行されたか）にもとづいて、2ラウンド用演出（タイムミッション突入演出に応じた2ラウンド用演出、突然確変・小当り共通突入演出に応じた2ラウンド用演出）を選択する（ステップS845）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、選択した2ラウンド用演出に応じたプロセスデータを選択する（ステップS846）。そして、プロセスタイマをスタートさせるとともに（ステップS847）、2ラウンド用演出の実行時間を計測する2R用演出時間タイマをスタートさせる（ステップS848）。そして、演出制御プロセスフラグの値を小当り演出処理（ステップS808）に対応した値に設定する（ステップS849）。 10

【0473】

ステップS842で停止表示された飾り図柄の停止図柄が小当り図柄でなく大当り図柄（非確変図柄、確変図柄、突然確変図柄）である場合は（ステップS850のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ファンファーレ受信フラグがセットされたか否かを確認する（ステップS851）。ファンファーレ受信フラグがセットされたときは（ステップS851のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、格納されたファンファーレコマンドの内容と格納された変動パターンの内容（タイムミッション突入演出が実行されたか突然確変突入演出が実行されたか）にもとづいて、ファンファーレ演出または2ラウンド用演出（タイムミッション突入演出に応じた2ラウンド用演出、突然確変突入演出に応じた2ラウンド用演出）のいずれかを選択する（ステップS852）。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、選択したファンファーレ演出または2ラウンド用演出に応じたプロセスデータを選択する（ステップS853）。そして、プロセスタイマをスタートさせ（ステップS854）、演出制御プロセスフラグの値を大当り表示処理（ステップS804）に対応した値に設定する（ステップS855）。 20

【0474】

ステップS850で停止表示された飾り図柄の停止図柄が大当り図柄（非確変図柄、確変図柄、突然確変図柄）でない場合、すなわち、はずれ図柄である場合（ステップS850のN）は、演出制御用マイクロコンピュータ100は、所定のフラグをリセットする（ステップS856）。例えば、飾り図柄停止指定コマンドに応じたフラグがセットされるときは、そのようなフラグなどをリセットする。そして、演出制御プロセスフラグの値を変動パターンコマンド受信待ち処理（ステップS800）に対応した値に更新する（ステップS857）。 30

【0475】

図100は、演出制御プロセス処理における大当り表示処理（ステップS804）を示すフローチャートである。大当り表示処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、大入賞口開放中コマンドを受信したことを示す大入賞口開放中フラグがセットされているか否かを確認する（ステップS901）。なお、大入賞口開放中フラグは、コマンド解析処理でセットされる（ステップS645参照）。大入賞口開放中フラグがセットされていないときは（ステップS901のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマの値を1減算し（ステップS902）、プロセスデータnの内容に従って演出装置（可変表示装置9、スピーカ27、ランプ28a～28c等）の制御を実行する（ステップS903）。例えば、15ラウンド大当りの場合は、可変表示装置9において大当り表示図柄を表示するとともに、大当りが発生したことを示す文字やキャラクタなどを表示する演出が実行される。また、例えば、2ラウンド用演出では、特殊な文字やキャラクタなどを表示させる演出が実行される。 40

【0476】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマがタイムアウトしていないかどうかを確認し（ステップS904）、プロセスタイマがタイムアウトしていれば、プロセスデータの切替を行う（ステップS905）。すなわち、プロセステーブルにおける次に設定されているプロセスデータ（表示制御実行データ、ランプ制御実行デー 50

タおよび音番号データ)に切り替える。そして、次のプロセスデータにおけるプロセスタイマ設定値をプロセスタイマに設定してプロセスタイマをスタートさせる(ステップS906)。

【0477】

大入賞口開放中フラグがセットされているときは(ステップS901のY)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、15ラウンド用の大入賞口開放中コマンドの内容にもとづいてラウンド中演出(ラウンド数に応じたラウンド表示を実行する演出)を選択する(ステップS907)。なお、2ラウンド用の大入賞口開放中コマンドを受信したときは、ラウンド中も継続して2ラウンド用演出が実行されているので、新たに演出を選択する必要はないが、ラウンド毎に2ラウンド用演出に含まれる演出を切り替えたりするとき(例えば2ラウンド用演出の表示画面を切り替えたりするとき)は、2ラウンド用演出に含まれる演出をラウンド毎に新たに選択するようにしてもよい。次いで、大入賞口開放中フラグをリセットし(ステップS908)、ラウンド中演出に応じたプロセスデータを選択する(ステップS909)。そして、プロセスタイマをスタートさせ(ステップS910)、演出制御プロセスフラグの値をラウンド中処理(ステップS805)に対応した値に設定する(ステップS911)。

【0478】

図101は、演出制御プロセス処理におけるラウンド中処理(ステップS805)を示すフローチャートである。ラウンド中処理において、まず、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大入賞口開放後コマンドを受信したことを示す大入賞口開放後フラグがセットされているか否かを確認する(ステップS921)。なお、大入賞口開放後フラグはコマンド解析処理でセットされる(ステップS645参照)。大入賞口開放後フラグがセットされていないときは(ステップS921のN)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマの値を1減算し(ステップS922)、プロセスデータnの内容に従って演出装置(可変表示装置9、スピーカ27、ランプ28a~28c等)の制御を実行する(ステップS923)。例えば、可変表示装置9において大当たり表示図柄を表示するとともに、ラウンド数を示す文字やその他のキャラクタなどを表示する演出が実行される。また、2ラウンド用演出では、特殊な文字やキャラクタなどを表示させる演出が実行される。なお、大当たり遊技中に再抽選演出を実行することとされているとき(大当たり中再抽選実行フラグがセットされているとき)は、所定のラウンド(例えば7ラウンドや15ラウンドなど)のラウンド中演出において再抽選演出が実行される。

【0479】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマがタイムアウトしていないかどうかを確認し(ステップS924)、プロセスタイマがタイムアウトしていれば、プロセスデータの切替を行う(ステップS925)。すなわち、プロセステーブルにおける次に設定されているプロセスデータ(表示制御実行データ、ランプ制御実行データおよび音番号データ)に切り替える。そして、次のプロセスデータにおけるプロセスタイマ設定値をプロセスタイマに設定してプロセスタイマをスタートさせる(ステップS926)。

【0480】

ステップS921において大入賞口開放後フラグがセットされているときは(ステップS921のY)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大入賞口開放後コマンドの内容にもとづいてインターバル演出(ラウンド数に応じたインターバル表示を行う演出)を選択する(ステップS927)。なお、2ラウンド用の大入賞口開放後コマンドを受信したときは、ラウンド後も継続して2ラウンド用演出が実行されているので、新たに演出を選択する必要はないが、ラウンド後に2ラウンド用演出に含まれる演出を切り替えたりするとき(例えば2ラウンド用演出の表示画面を切り替えたりするとき)は、2ラウンド用演出に含まれる演出をラウンド後に新たに選択するようにしてもよい。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大入賞口開放後フラグをリセットし(ステップS928)、選択したインターバル演出に応じたプロセスデータを選択する(ステップS92

9)。そして、プロセスタイマをスタートさせ（ステップS930）、演出制御プロセスフラグの値をラウンド後処理（ステップS806）に対応した値に設定する（ステップS931）。

【0481】

図102および図103は、演出制御プロセス処理におけるラウンド後処理（ステップS806）を示すフローチャートである。ラウンド後処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、まず、エンディングフラグがセットされているかどうかを確認する（ステップS940）。エンディングフラグがセットされていないときは（ステップS940のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大入賞口開放中コマンドを受信したことを示す大入賞口開放中フラグがセットされているか否かを確認する（ステップS941）。大入賞口開放中フラグがセットされていないときは（ステップS941のN）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマの値を1減算し（ステップS942）、プロセスデータnの内容に従って演出装置（可変表示装置9、スピーカ27、ランプ28a～28c等）の制御を実行する（ステップS943）。

10

【0482】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマがタイムアウトしていないかどうかを確認し（ステップS944）、プロセスタイマがタイムアウトしていれば、プロセスデータの切替を行う（ステップS945）。すなわち、プロセステーブルにおける次に設定されているプロセスデータ（表示制御実行データ、ランプ制御実行データおよび音番号データ）に切り替える。そして、次のプロセスデータにおけるプロセスタイマ設定値をプロセスタイマに設定してプロセスタイマをスタートさせる（ステップS946）。

20

【0483】

大入賞口開放中フラグがセットされているときは（ステップS941のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、大当たり中（ラウンド中）に再抽選演出を実行する必要があるかどうかを判定する（ステップS947）。具体的には、大当たり中再抽選実行フラグがセットされているとき（さらに再抽選演出を実行すると予め定められたラウンドであるとき）は、大当たり中に再抽選演出を実行する必要があると判断する。

【0484】

大当たり中に再抽選演出を実行する必要があると判断したときは（ステップS947のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、再抽選演出を実行するラウンド中演出を選択する（ステップS948）。そして、再抽選実行済フラグをセットする（ステップS949）。一方、大当たり中に再抽選演出を実行する必要があると判断したときは（ステップS947のN）、再抽選演出を実行しないラウンド中演出を選択する（ステップS950）。

30

【0485】

次いで、大入賞口開放中フラグをリセットし（ステップS951）、ラウンド中演出に応じたプロセスデータを選択する（ステップS952）。そして、プロセスタイマをスタートさせ（ステップS953）、演出制御プロセスフラグの値をラウンド中処理（ステップS805）に対応した値に設定する（ステップS954）。

40

【0486】

ステップS940においてエンディング受信フラグがセットされたときは（ステップS940のY）、演出制御用マイクロコンピュータ100は、エンディング演出中に再抽選演出を実行する必要があるかどうかを判定する（ステップS955）。具体的には、エンディング再抽選実行フラグがセットされているときや、大当たり中再抽選実行フラグがセットされているにもかかわらず、再抽選演出を大当たり中（ラウンド中）に実行したことを示す再抽選実行済フラグがセットされていないときは（ステップS949参照）、エンディング演出中に再抽選演出を実行する必要があると判断する。

【0487】

エンディング演出中に再抽選演出を実行する必要があると判断したときは（ステップS

50

955のY)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、再抽選演出を実行するエンディング演出を選択する(ステップS956)。一方、エンディング演出中に再抽選演出を実行する必要がないと判断したときは(ステップS955のN)、再抽選演出を実行しないエンディング演出を選択する(ステップS957)。

【0488】

次いで、演出制御用マイクロコンピュータ100は、エンディング受信フラグをリセットし(ステップS958)、エンディング演出に応じたプロセスデータを選択する(ステップS959)。そして、プロセスタイマをスタートさせ(ステップS960)、演出制御プロセスフラグの値を大当り終了演出処理(ステップS807)に対応した値に設定する(ステップS961)。

10

【0489】

図104は、演出制御プロセス処理における大当り終了演出処理(ステップS807)を示すフローチャートである。大当り終了演出処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマの値を1減算し(ステップS971)、プロセスデータnの内容に従って演出装置(可変表示装置9、スピーカ27等)を制御する処理を実行する(ステップS972)。例えば、大当りが終了することを表示したり、エンディング演出において再抽選演出が含まれているときは、再抽選演出を実行する。

【0490】

そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマがタイムアウトしていないかどうかを確認し(ステップS973)、プロセスタイマがタイムアウトしていれば、所定のフラグ(確変大当り決定フラグ、通常大当り決定フラグ、突然確変大当り決定フラグ、大当り中再抽選実行フラグ、エンディング再抽選実行フラグなど)をリセットし(ステップS974)、演出制御プロセスフラグの値を変動パターンコマンド受信待ち処理(ステップS800)に対応した値に設定する(ステップS975)。

20

【0491】

図105は、演出制御プロセス処理における小当り演出処理(ステップS808)を示すフローチャートである。小当り演出処理において、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマの値を1減算し(ステップS981)、プロセスデータnの内容に従って演出装置(可変表示装置9、スピーカ27等)を制御する処理を実行する(ステップS982)。また、演出制御用マイクロコンピュータ100は、2R用演出時間タイマの値を1減算する(ステップS983)。

30

【0492】

そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、2R用演出時間タイマがタイムアウトしていないかどうかを確認する(ステップS984)。タイムアウトしていなければ、演出制御用マイクロコンピュータ100は、プロセスタイマがタイムアウトしていないかどうかを確認し(ステップS985)、プロセスタイマがタイムアウトしていれば、プロセスデータの切り替えを行う(ステップS986)。そして、プロセスタイマをスタートさせる(ステップS987)。

【0493】

2R用演出時間タイマがタイムアウトしていれば(ステップS984のY)、演出制御用マイクロコンピュータ100は、所定のフラグ(小当りフラグなど)をリセットし(ステップS988)、演出制御プロセスフラグの値を変動パターンコマンド受信待ち処理(ステップS800)に対応した値に設定する(ステップS989)。

40

【0494】

次に、可変表示装置9において実行される大当り図柄の再抽選演出の演出態様について説明する。図106は、可変表示装置において実行される大当り図柄の再抽選演出の表示例を示す説明図である。図106に例示するような表示演出は、演出制御用マイクロコンピュータ100によって遊技制御用マイクロコンピュータ560から送られる演出制御コマンドにもとづいて実行される。なお、図106における表示例は、エンディング演出中に再抽選演出が実行される場合を示す。

50

【0495】

この実施の形態では、演出制御用マイクロコンピュータ100が、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドおよび突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンド以外の変動パターンコマンドを受信した場合は（ステップS619のN、S620のN）、受信した変動パターンコマンドにもとづいて、はずれ、大当り、および大当り種別を判定して、それに応じた飾り図柄の停止図柄を決定する（ステップS621、図43）。一方、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドまたは突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドを受信した場合は（ステップS619のY、S620のY）、その後に受信する図柄情報指定コマンドにもとづいて、確変大当りか通常大当りかを判定し、それに応じた飾り図柄の停止図柄を決定する（ステップS626、図66）。 10

【0496】

しかし、演出制御用マイクロコンピュータ100が、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドまたは突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドを受信したにもかかわらず、図柄情報指定コマンドを取りこぼしてしまうこともある。この場合は、演出制御用マイクロコンピュータ100が、確変大当りか通常大当りかを判断することができず、または突然確変大当りか小当りかを判断することができず、飾り図柄の停止図柄を決定することができないことになってしまう。そこで、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドまたは突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドを受信したにもかかわらず、図柄情報指定コマンドを取りこぼしてしまった場合は（ステップS629のY、S630のN、S631のN）、仮に停止表示する飾り図柄の停止図柄（仮決定図柄）を仮決定する（ステップS632、図92）。仮決定図柄は、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドを受信していた場合は、非確変図柄であり、突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドを受信していた場合は、小当り図柄である。 20

【0497】

このように、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドを受信していた場合に非確変図柄を決定するようにしたのは、飾り図柄の変動終了時に非確変図柄を導出表示した後に、大当り種別が確変大当りであったと判別したときは、その後の再抽選演出で非確変図柄を確変図柄に昇格させればよいが、飾り図柄の変動終了時に確変図柄を導出表示した後に、大当り種別が通常大当りであったと判別したときは、確変図柄を非確変図柄に降格させなければならない、このような演出は遊技者を落胆させ、遊技の興趣を低下させてしまうおそれがあるからである。なお、この実施の形態では、仮決定図柄として小当り図柄を仮決定した場合でも、再抽選演出を実行しない構成とされている。 30

【0498】

図106の例では、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドを受信したにもかかわらず、図柄情報指定コマンドを取りこぼしてしまった場合、飾り図柄の停止図柄として非確変図柄「444」を仮に決定し、飾り図柄の変動終了時に非確変図柄「444」を導出表示（仮停止表示）している。そして、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ファンファーレコマンドの内容にもとづいて、再抽選演出を実行すべきかどうかを判断し（ステップS635、S636）、再抽選演出を実行すべきであると判断したときは、再抽選演出にて導出表示される確変図柄を決定し（ステップS637）、再抽選演出を実行するタイミングを決定する（ステップS638～S642）。なお、図106の例では、エンディング演出中に再抽選演出を実行することに決定されたものとする。 40

【0499】

図106に示すように、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ファンファーレコマンドの受信にもとづいて大当り遊技を開始し、そして大入賞口開放中コマンドの受信にもとづいて各ラウンドの演出（ラウンド中演出）を順に実行し、また大入賞口開放後コマンドの受信にもとづいてラウンド間の演出（インターバル演出）を順に実行していく。そして、エンディングコマンドの受信にもとづいて大当り終了を報知するエンディング演出を実行する。図106に示す例では、エンディング演出において再抽選演出が実行される 50

。具体的には、左中右の飾り図柄が同一図柄で揃った状態で再変動が開始され、その後に確変図柄（図106の例では「777」）が導出表示される演出が実行されている。そして、確変状態に突入（移行）することが遊技者に報知されている。

【0500】

以上のように、この実施の形態1では、リーチ無ハズレ決定処理において、中図柄を決定するときに、チャンス目禁則用テーブルを用いて左右図柄に応じたチャンス目とならない中図柄選択用テーブルを選択し、選択した中図柄選択用テーブルを用いて中図柄を決定するように構成されているので、左中右の図柄の組み合わせがチャンス目にならないと判定されたときに、はずれ図柄としてチャンス目が導出表示されるのを確実に防止することができる。

10

【0501】

また、中図柄を決定するときに、チャンス目禁則用テーブルを用いて左右図柄に応じたチャンス目に類似の図柄（突確類似図柄、小当り類似図柄）とならない中図柄選択用テーブルを選択し、選択した中図柄選択用テーブルを用いて中図柄を決定するように構成されているので、はずれ図柄としてチャンス目に似ている図柄が導出表示されるのも確実に防止することができ、遊技者にチャンス目が導出表示されたと誤解を与えないようにすることができる。

【0502】

また、リーチ有ハズレ決定処理において、ノーマルリーチ（シングル・ダブル共通のリーチ）後のはずれ図柄を決定するときに用いるノーマルはずれ時中図柄選択テーブルよりも、スーパーリーチ（シングルリーチまたはダブルリーチ）後のはずれ図柄を決定するときに用いるスーパー発展時中図柄選択テーブルの方が、高い割合で左右図柄に対する図柄差が少なくなるように判定値が振り分けられている。すなわち、図57に示すノーマルはずれ時中図柄選択テーブルでは、図柄差「-1」「+1」に振り分けられている判定値の数は4または5であるが、図58に示すスーパー発展時中図柄選択テーブルでは、図柄差「-1」「+1」に振り分けられている判定値の数は7または8である。従って、ノーマルリーチかスーパーリーチかといった変動パターンによって、例えば大当り図柄に近いリーチはずれ図柄（例えば1コマずれの惜しいはずれ図柄）となる割合を異ならせることができるようになる。

20

【0503】

また、ノーマルリーチ（シングル・ダブル共通のリーチ）後のはずれ図柄を決定するときに用いるノーマルはずれ時中図柄選択テーブルにおいて、シングルリーチが成立するときとダブルリーチが成立するときとで、判定値の振分率の異なるテーブルを用いて、リーチ図柄に対する図柄差を決定し、中図柄を決定するようにしているので、リーチとなる有効ライン数によって、大当り図柄に近いリーチはずれ図柄（例えば1コマずれの惜しいはずれ図柄）となる割合を異ならせることができる。また、ダブルリーチのテーブルにおいてリーチ図柄に対する図柄差「-2」に対して判定値を振り分けないようにしているので、確実に大当り図柄が導出表示されてしまうのを防止することができる。

30

【0504】

また、ノーマルリーチ後のはずれ図柄を決定するときに用いるノーマルはずれ時中図柄選択テーブルよりも、救済演出の実行前の仮停止図柄を決定するときに用いるノーマル用中図柄仮停止選択テーブルの方が、高い割合で左右図柄に対する図柄差が少なくなるように判定値が振り分けられている。すなわち、図57に示すノーマルはずれ時中図柄選択テーブルでは、図柄差「-1」「+1」に振り分けられている判定値の数は4または5であるが、図74に示すノーマル用中図柄仮停止選択テーブルでは、図柄差「-1」「+1」に振り分けられている判定値の数は7または8である。従って、例えば1コマずれの惜しいはずれ図柄になると、救済演出が実行される割合が高いことになる。従って、遊技者にノーマルリーチはずれ図柄に対する興味を持たせることができる。

40

【0505】

また、演出制御用マイクロコンピュータ100が、通常大当り／確変大当り兼用の変動

50

パターンコマンドを受信したにもかかわらず、図柄情報指定コマンドを取りこぼしてしまった場合は（ステップS 6 2 9のY、S 6 3 0のN、S 6 3 1のN）、仮に停止表示する飾り図柄の停止図柄として非確変図柄を決定し（ステップS 6 3 2、図9 2）、決定した飾り図柄を導出表示する（ステップS 8 4 2）ように構成した。このような構成によれば、演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0が図柄情報指定コマンドを取りこぼしても大当り遊技が発生するか否かを遊技者に認識させることができるとともに、飾り図柄の指定に関する演出制御コマンドのコマンド数が削減されることにより遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0の制御負担を軽減させることができる。

【0 5 0 6】

なお、上記の実施の形態では、リーチ有ハズレ決定処理において、シングルリーチおよびダブルリーチのいずれの場合においても、リーチ図柄に対する差分によって中図柄を決定していたが、リーチ図柄に対する差分でなく、上段、中段、下段の左図柄または右図柄に対する差分によって中図柄を決定するようにしてもよい。

【0 5 0 7】

また、上記の実施の形態では、突然確変大当り／小当り兼用の変動パターンコマンドを受信した後に図柄情報指定コマンドを取りこぼした場合は、小当り図柄を仮決定して導出表示するように構成されていた（図9 2のステップS 6 8 4参照）。しかし、このような構成に限られるわけではなく、例えば、突然確変図柄を仮決定して導出表示するようにしてもよい。また、小当り図柄と突然確変図柄を共通の図柄にしてもよい。また、タイムミッション突入演出が実行される場合（変動番号8 9の変動パターンコマンドを受信した場合）は図柄「1 3 5」、突然確変・小当り共通突入演出が実行される場合（変動番号9 0の変動パターンコマンドを受信した場合）は図柄「3 5 7」、突然確変突入演出が実行される場合（変動番号9 1の変動パターンコマンドを受信した場合）は図柄「5 3 1」というように、予め演出に合わせた図柄を表示するようにしてもよい。

【0 5 0 8】

なお、上記の実施の形態では、再抽選演出の実行タイミングは、大当り遊技中（ラウンド中）または大当り遊技終了後のエンディング演出中とされていたが、大当り遊技が開始された後から大当り遊技が終了して新しく変動が開始されるまでの間であれば、どのようなタイミングであってもよい。例えば、ファンファーレ演出中であってもよいし、インターバル表示中であってもよい。そして、そのような再抽選演出の実行タイミングを図柄情報指定コマンドで指定するように構成されていてもよい。

【0 5 0 9】

また、上記の実施の形態では、図柄情報指定コマンドを取りこぼしてしまった場合において、非確変図柄を決定して表示し、その後に受信するファンファーレコマンドの内容に応じて再抽選演出の実行の有無および実行タイミングを確認していたが（ステップS 6 3 6、S 6 3 7、S 6 3 8）、エンディングコマンドを受信したときに、エンディングコマンドの内容に応じて再抽選演出の実行の有無を確認するように構成されていてもよい。この場合、図3 4のステップS 6 3 5～6 3 7の処理をエンディングコマンドを受信したときに実行すればよい。なお、エンディングコマンドを受信したときに再抽選演出を実行する必要があるときは、エンディング演出中に再抽選演出を実行しなければならないので、再抽選演出の実行タイミングを決定する処理（ステップS 6 3 8～S 6 4 2）は不要である。

【0 5 1 0】

また、上記の実施の形態では、図柄情報指定コマンドで大当り遊技後の再抽選演出の実行の有無および実行タイミングを指定するように構成されていたが、図柄情報指定コマンドでは再抽選演出の実行の有無等を指定しないように構成してもよい。このような構成であれば、図柄情報指定コマンドの種類を少なくすることができ、遊技制御用マイクロコンピュータ5 6 0の制御負担を軽減させることができる。このような構成の場合、演出制御用マイクロコンピュータ1 0 0が独自に大当り遊技後の再抽選演出の実行の有無および実行タイミングを決定することになる。具体的には、演出制御用マイクロコンピュータ1 0

0 は、所定の乱数を用いて再抽選演出の実行の有無および実行タイミングを決定し、決定結果にもとづいて再抽選演出を所定のタイミングで実行する。

【0511】

また、図柄情報指定コマンドで大当り遊技後の再抽選演出の実行の有無および実行タイミングを指定するとともに、演出制御用マイクロコンピュータ100が独自に大当り遊技後の再抽選演出の実行の有無および実行タイミングを決定するように構成されていてもよい。このような構成では、図柄情報指定コマンドでエンディング中に再抽選演出を実行することが指定され、演出制御用マイクロコンピュータ100は大当り中に再抽選演出を実行すると独自に決定することや、逆に、図柄情報指定コマンドで大当り中に再抽選演出を実行することが指定され、演出制御用マイクロコンピュータ100はエンディング中に再抽選演出を実行すると独自に決定することが考えられる。この場合、大当り中に再抽選演出が実行され確変図柄に昇格したにもかかわらず、エンディングでも再抽選演出が実行されてしまうと、再抽選演出の実行タイミングの整合が取れなくなってしまう。そこで、大当り中に再抽選演出が実行されたときは、エンディング中での再抽選演出の実行を禁止する処理が実行される。具体的には、大当り中に再抽選演出を実行したときに、そのことを示すフラグをセットし、当該フラグがセットされたことにもとづいて、エンディング中に再抽選演出を実行することに決定されていても、再抽選演出を実行しないように制御する。

10

【0512】

また、遊技制御用マイクロコンピュータ560では変動パターンコマンドまたは図柄情報指定コマンドで昇格タイミング（変動中、大当り中、またはエンディング）のみ指定し、演出制御用マイクロコンピュータ100はコマンドで指定されたタイミングにおいて必ず再抽選演出（昇格あり）を実行し、昇格前のその他の再抽選演出の実行タイミングや昇格しない場合（通常大当りの場合）の再抽選演出の実行タイミングについては、演出制御用マイクロコンピュータ100が再抽選演出を（昇格なし）を行うか否かを抽選にて決定するようにしてもよい。

20

【0513】

実施の形態2.

上述したように、通常の演出モードのときは、有効ラインが5ライン（上段の横ライン、中段の横ライン、下段の横ライン、右下がりのライン、右上がりのライン）の演出が行われる。一方、突然確変大当りおよび小当りが発生した後に突入するチャンスモード（タイムミッション演出や突然確変・小当り共通突入演出、突然確変突入演出が実行され、2ラウンド用演出が実行された後に突入するモード）のときは、有効ラインが1ライン（中段の横ライン）の演出が行われる。すなわち、左・中・右の飾り図柄は中段の1ラインだけ変動する演出に切り替わる。以下、1ラインの演出について説明する。

30

【0514】

なお、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、チャンスモード中（突然確変大当り・小当りとなったときからチャンスモード終了タイミングまで（例えば、15ラウンドの大当りに当選するまで、チャンスモード開始から所定回数の変動が終了するまで等））は背景指定コマンドとしてチャンス状態背景指定コマンド（9503H）を送信し、演出制御用マイクロコンピュータ100は、チャンス状態背景指定コマンドを受信したときは、その変動においてチャンスモード中のテーブルを用いて飾り図柄を決定する。

40

【0515】

但し、演出制御用マイクロコンピュータ100は、チャンス状態背景指定コマンドにもとづいてチャンスモード中のテーブルを選択するのではなく、突然確変・小当りを指定する変動パターンコマンドまたは図柄情報指定コマンド受信してから15ラウンドの大当りを指定するコマンドを受信するまで、またはチャンスモードへの移行条件が成立してから所定回数の変動が終了するまで、チャンスモード中のテーブルを用いて飾り図柄を決定する構成であってもよい。この場合、チャンス状態背景指定コマンドを用いず、遊技制御用マイクロコンピュータ560は、遊技状態に合った背景指定コマンドを送信するようにし

50

てもよい。

【0516】

図107～図110に、チャンスモード中におけるチャンス目（チャンス目A、B、突確用のチャンス目、小当り用のチャンス目）を示す。これらのチャンス目は、図5～図8に示したチャンス目における中段の横ラインに成立するチャンス目である。

【0517】

チャンスモードのときにおいても、通常の演出モードのときと同様の演出制御コマンド（図15および図16に示すコマンド；なお、背景指定コマンドについてはチャンス状態背景指定コマンド（9503（H））が送信される。）が遊技制御用マイクロコンピュータ560から演出制御用マイクロコンピュータ100に送信される。また、変動パターン
10
の選択も、通常の演出モードのときと同様である。図17および図18には、チャンスモード時における飾り図柄の停止図柄の決定に用いるテーブル（チャンスモード選択テーブル）を示している。例えば、通常変動（変動番号1）の場合は、テーブル（BT-1, 2, 3, 4）が使用される。同じ変動パターンに対応つけられた通常選択テーブルとチャンスモード選択テーブルとは、同種の図柄（はずれ図柄、非確変図柄、確変図柄など）を決定するときに使用する。例えば、通常選択テーブルのT-1, 2, 3, 4は、リーチ無はずれ図柄を決定するテーブルであるが、チャンスモード選択テーブルのBT-1, 2, 3, 4も、リーチ無はずれ図柄を決定するテーブルである。

【0518】

図111は、チャンスモード中における左図柄選択用テーブルを示す説明図である。図
20
112は、チャンスモード中における右図柄選択用テーブルを示す説明図である。なお、図111および図112に示すように、1ライン演出の場合は、ブランク「*」の図柄を用いない。すなわち、「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」「8」の図柄だけ用いる。従って、「*」に対して判定値が割り振られていない。なお、確変図柄は「1」「3」「5」「7」「8」であり、非確変図柄は「2」「4」「6」である。これらのテーブル（BT-1, 2）を用いて、実施の形態1で説明したリーチ無ハズレ決定処理と同様に、リーチ無のときの左右図柄を決定する。

【0519】

なお、ミッション突入時において、例えば「左図柄に7を出せ」というミッションを提示した場合であって、ミッションを達成させない場合は、「7」に対して判定値が割り振
30
られていない左図柄選択用テーブル（BT-1）を用いて左図柄を決定する。

【0520】

図113および図114は、チャンスモード中におけるチャンス目禁則パターンを示す説明図である。なお、図113および図114中における斜線（網掛け）の部分は、使用されないチャンス目禁則パターンである。実施の形態2における他の図面（テーブル等）についても、斜線（網掛け）の部分は、実施の形態2における制御または処理に使用されないことを示している。また、図115および図116は、チャンスモード中における中
40
図柄選択用テーブルを示す説明図である。また、図117は、チャンスモード中におけるチャンス目禁則用テーブルを示す説明図である。これらのテーブル（BT-3, 4）を用いて、実施の形態1で説明したリーチ無ハズレ決定処理と同様に、リーチ無のときの中図柄を決定する。

【0521】

図118は、チャンスモード中におけるリーチ図柄の配列パターンを示す説明図である。図119は、チャンスモード中における共通用リーチ図柄選択用テーブルを示す説明図である。図120は、チャンスモード中におけるシングル用リーチ図柄選択用テーブルを示す説明図である。図121は、チャンスモード中におけるダブル用リーチ図柄選択用
50
テーブルを示す説明図である。図122は、チャンスモード中におけるノーマルはずれ時中図柄選択テーブルを示す説明図である。図123は、チャンスモード中におけるスーパー発展時中図柄選択テーブルを示す説明図である。これらのテーブル（BH-1, 2, 3, 4, 5）を用いて、実施の形態1で説明したリーチ有ハズレ決定処理と同様に、リーチ有

のときのリーチ図柄（左右図柄）を決定する。なお、1ライン演出においても、変動パターンコマンドでダブルリーチが指定されたときは、そのときだけダブルリーチを成立させる。

【0522】

なお、ミッション突入時において、例えば「5のリーチを出せ」というミッションを提示した場合であって、ミッションを達成させない場合は、リーチ図柄「5」に対して判定値が割り振られていないリーチ図柄選択用テーブル（BH-1, 2, 3）を用いてリーチ図柄を決定する。

【0523】

図124は、チャンスモード中におけるチャンス目A選択用テーブルを示す説明図である。図125は、チャンスモード中におけるチャンス目B選択用テーブルを示す説明図である。これらのテーブル（BH-6, 7）を用いて、実施の形態1で説明したリーチ有ハズレ決定処理と同様に、リーチはずれのときのチャンス目Aおよびチャンス目Bを決定する。

10

【0524】

図126は、チャンスモード中におけるWリーチ前仮停止図柄選択用テーブルを示す説明図である。1ライン演出では、ダブルリーチを成立させる前に、シングルリーチ（中段の横ラインのリーチ）を成立させて仮停止してからダブルリーチに発展させる。図126に示すテーブル（BH-10）は、ダブルリーチの成立前における仮停止するシングルリーチの図柄を決定するのに使用される。

20

【0525】

図127は、チャンスモード中における大当たり図柄の配列パターンを示す説明図である。チャンスモードでも、ダブルリーチによって大当たりとなることもあるので、中段の横ラインだけでなく、右下がりおよび右上がりのラインも大当たり図柄の有効ラインとなる。

【0526】

第1の確変図柄決定処理において、テーブル（BF-2, 4, 5, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18）を用いて、変動パターンに応じた確変図柄（救済演出を実行する場合は最終停止図柄と仮停止図柄）を決定する。また、テーブル（BF-26）を用いて、ダブルリーチの成立前における仮停止するシングルリーチの図柄を決定する。また、テーブル（BF-19, 20）を用いて、チャンス目Aおよびチャンス目Bを決定する。

30

【0527】

また、第1の非確変図柄決定処理において、テーブル（BF-1, 7, 11, 15）を用いて、変動パターンに応じた非確変図柄を決定する。また、テーブル（BF-26）を用いて、ダブルリーチの成立前における仮停止するシングルリーチの図柄を決定する。

【0528】

また、突然確変図柄決定処理において、テーブル（BF-25）を用いて、突然確変図柄を決定する。

【0529】

また、第2の非確変図柄決定処理において、テーブル（BF-1, 6, 7, 11, 15）を用いて、変動パターンに応じた仮停止図柄と最終停止図柄を決定する。また、テーブル（BF-26）を用いて、ダブルリーチの成立前における仮停止するシングルリーチの図柄を決定する。また、テーブル（BF-19, 20）を用いて、チャンス目Aおよびチャンス目Bを決定する。

40

【0530】

また、第2の確変図柄決定処理において、テーブル（BF-3, 6, 9, 13, 17）を用いて、仮停止図柄と最終停止図柄を決定する。また、テーブル（BF-26）を用いて、ダブルリーチの成立前における仮停止するシングルリーチの図柄を決定する。また、テーブル（BF-19, 20）を用いて、チャンス目Aおよびチャンス目Bを決定する。

【0531】

また、小当たり図柄決定処理において、テーブル（BK-1）を用いて、小当たり図柄を決

50

定する。

【0532】

以上のように、1ライン演出においても、実施の形態1で説明した5ライン演出の場合と略同様の処理で実現することができる。

【0533】

実施の形態3.

図151は、実施の形態3における中継基板、音／ランプ制御基板、表示制御基板の回路構成例を示すブロック図である。図10に示した基板構成では、演出制御基板80に搭載された演出制御用マイクロコンピュータ100が可変表示装置9の表示状態を制御するとともに、ランプドライバ基板35および音声出力基板70に制御信号を出力して各種ランプの点灯／消灯やスピーカ27の音声出力を制御するように構成されていた。しかし、図151に示す基板構成では、音／ランプ制御基板80Aに搭載されている音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aが各種ランプの点灯／消灯やスピーカ27の音声出力を制御し、表示制御基板80Bに搭載されている表示制御用マイクロコンピュータ100Bが可変表示装置9の表示状態を制御するように構成されている。そして、主基板31に搭載されている遊技制御用マイクロコンピュータ560からの制御コマンド（以下、音／ランプ制御コマンド）が先に音／ランプ制御基板80Aの音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aに送信され、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aが受信した音／ランプ制御コマンドに対応した制御コマンド（以下、表示制御コマンド）を表示制御基板80Bの表示制御用マイクロコンピュータ100Bに送信する。音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aは、遊技制御用マイクロコンピュータ560からの音／ランプ制御コマンドにもとづいて各種ランプの点灯／消灯やスピーカ27の音声出力を制御し、表示制御用マイクロコンピュータ100Bは、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aからの表示制御コマンドにもとづいて可変表示装置9の表示状態を制御する。

【0534】

図152は、実施の形態3における音／ランプ制御用マイクロコンピュータが実行する音／ランプ制御メイン処理を示すフローチャートである。音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aは、電源が投入されると、メイン処理の実行を開始する。メイン処理では、まず、RAM領域のクリアや各種初期値の設定、また演出制御処理の起動間隔を決めるためのタイマの初期設定等を行うための初期化処理を行う（ステップS711）。その後、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aは、タイマ割込フラグの監視（ステップS712）の確認を行うループ処理に移行する。タイマ割込が発生すると、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aは、タイマ割込処理においてタイマ割込フラグをセットする。メイン処理において、タイマ割込フラグがセットされていたら、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aは、そのフラグをクリアし（ステップS713）、以下の音／ランプ制御処理を実行する。

【0535】

音／ランプ制御処理において、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aは、まず、受信した演出制御コマンドを解析する（音／ランプ側コマンド解析処理：ステップS714）。次いで、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aは、音／ランプ制御プロセス処理を行う（ステップS715）。音／ランプ制御プロセス処理では、制御状態に応じた各プロセスのうち、現在の制御状態に対応した処理を選択して各種ランプの点灯／消灯やスピーカ27の音声出力の制御等を実行する。さらに、各種乱数を生成するためのカウンタのカウント値を更新する乱数更新処理を実行する（ステップS716）。その後、ステップS712に移行する。

【0536】

図153は、音／ランプ制御メイン処理における音／ランプ側コマンド解析処理（ステップS714）を示すフローチャートである。遊技制御用マイクロコンピュータ560から送信された音／ランプ制御コマンドは、コマンド受信バッファに格納される。音／ランプ側コマンド解析処理において、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ100Aは、ま

ず、コマンド受信バッファに受信コマンドが格納されているか否か確認する（ステップ S 7 2 1）。コマンド受信バッファに受信コマンドが格納されている場合には、コマンド受信バッファから受信コマンドを読み出す（ステップ S 7 2 2）。

【0537】

受信した音／ランプ制御コマンドが、変動パターンを指定する制御コマンド（変動パターンコマンド：8 0 0 0（H）～8 0 6 A（H））であれば（ステップ S 7 2 3）、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 A は、そのコマンドの E X T データを R A M における変動パターンデータ格納領域に格納し（ステップ S 7 2 4）、変動パターン受信フラグをセットする（ステップ S 7 2 5）。そして、変動パターンに対応した表示制御コマンドを表示制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 B に送信する制御を実行する（ステップ S 7 2 6）。

10

【0538】

受信した音／ランプ制御コマンドが、図柄情報を指定する制御コマンド（図柄情報指定コマンド：8 C 0 0（H）～8 C 0 6（H））であれば（ステップ S 7 2 7）、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 A は、図柄情報に対応した表示制御コマンドを表示制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 B に送信する制御を実行する（ステップ S 7 2 8）。また、受信した音／ランプ制御コマンドが、その他の制御コマンドであれば、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 A は、その他のコマンドに対応した表示制御コマンドを表示制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 B に送信する制御を実行する（ステップ S 7 2 9）。

20

【0539】

表示制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 B は、音／ランプ制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 A からの表示制御コマンドを受信すると、受信コマンドにもとづいて、上記の各実施の形態で説明した演出制御手段の処理と同内容の処理を実行する。すなわち、図 3 9 ～図 1 0 6 において「演出制御」とあるのを「表示制御」と置き換えた場合の処理を実行する。

【0540】

なお、実施の形態 1，2 では、演出装置を制御する回路が搭載された基板として、演出制御基板 8 0、音声出力基板 7 0 およびランプドライバ基板 3 5 が設けられ、実施の形態 3 では、音／ランプ制御基板 8 0 A および表示制御基板 8 0 B が設けられているが、演出装置を制御する回路を 1 つの基板に搭載してもよい。さらに、演出装置を制御する回路を 2 つの基板に搭載する場合、各々の基板に搭載する演出装置を制御する回路の分け方は任意である。例えば、可変表示装置 9 およびランプ等を制御する回路が搭載された第 1 の演出制御基板（表示／ランプ制御基板）と、その他の演出装置（スピーカ 2 7 など）を制御する回路が搭載された第 2 の演出制御基板との 2 つの基板を設けるようにしてもよい。また、この実施の形態 3 では、音／ランプ制御基板 8 0 A において遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 からの音／ランプ制御コマンドに対応する表示制御コマンドを表示制御基板 8 0 B に送信するとしていたが、表示制御コマンドを音／ランプ制御コマンドと同内容のデータとしてもよいし、例えば簡略化したコマンドに変更して表示制御コマンドとして送信するようにしてもよい。また、第 1 の演出制御基板と第 2 の演出制御基板との 2 つの基板を設けた場合に、遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0 からの演出に関するコマンドは第 2 の演出制御基板に対して送信され、第 2 の演出制御基板から第 1 の演出制御基板に対してコマンドがそのまま送信されたり、加工（例えば、コマンドの形態や内容を変えたり、簡略化したり、必要なコマンドのみを選択）した後に送信されるように構成してもよい。

30

40

【0541】

なお、特別図柄表示器 8 に表示される大当り図柄および小当り図柄を共通の図柄（例えば「7」）としてもよい。このようにすれば、特別図柄表示器 8 に表示される図柄によって、大当りか小当りかや、大当り種別などを遊技者に悟られることがない。従って、再抽選演出における確変状態への移行に対する期待感を損なうことがない。また、突然確変大

50

当りか小当りかに対する期待感も損なうことがない。

【0542】

また、特別図柄表示器8に表示される特別図柄の停止図柄として、15ラウンド当り（確変大当り、非確変大当り）のときの図柄を共通の大当り図柄としてもよい。このような構成によっても、特別図柄表示器8に表示される図柄によって、確変大当りか非確変大当りかを遊技者に悟られなくすることができる。また、特別図柄表示器8に表示される特別図柄の停止図柄として、2ラウンド当り（突然確変大当り、小当り）のときの図柄を共通の図柄としてもよい。このような構成によっても、特別図柄表示器8に表示される図柄によって、突然確変大当りか小当りかを遊技者に悟られなくすることができる。

【0543】

また、上記の各実施の形態では、変動パターンコマンドが専用の変動パターンコマンド（通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドでない変動パターンコマンド）であるときは、その専用の変動パターンコマンドにもとづいて飾り図柄の停止図柄を決定するように構成されていた。しかし、通常時には図柄情報指定コマンドにもとづいて飾り図柄の停止図柄を決定し、図柄情報指定コマンドを取りこぼした場合にのみ変動パターンコマンドの内容を参照し、飾り図柄の停止図柄を決定するように構成されていてもよい。

【0544】

また、確変大当り専用の変動パターンコマンド、通常大当り専用の変動パターンコマンド、はずれ専用の変動パターンコマンドのうちのいずれかのコマンドを受信したときに、図柄情報指定コマンドを受信できなかった場合は、変動パターンコマンドの内容にもとづいて飾り図柄の停止図柄を決定するように構成されていてもよい。

【0545】

また、上記の各実施の形態では、変動パターンコマンドと図柄情報指定コマンドとを分けていたが、1つのコマンドとしてもよい。すなわち、遊技制御用マイクロコンピュータ560が、図柄の変動開始時に変動パターンと図柄情報（はずれ、通常大当り、または確変大当り）とを示す1つのコマンドを演出制御用マイクロコンピュータ100に送信するようにしてもよい。この場合、演出制御用マイクロコンピュータ100は、その共通のコマンドにもとづいて、図柄の変動を開始し、変動パターン（変動時間を含む）を特定し、さらに飾り図柄の停止図柄等を決定する。

【0546】

なお、上記の各実施の形態では、大当り遊技後の再抽選演出において、図柄を再変動させた後、確変図柄を導出表示させるようにしていたが、図柄を用いずに「確変」というような文字を表示することにより確変大当りになったこと（確変状態に移行されること）を遊技者に報知するようにしてもよい。この場合は、ステップS1111、S692で確変図柄を決定する代わりに「確変」を表示する旨を決定することになる。

【0547】

また、上記の各実施の形態では、大当り図柄は、「1・1・1」などのようにゾロ目としていたが、ゾロ目以外の図柄の組み合わせであってもよい。例えば、有効ライン上にて左・中・右の図柄が「大・当・り」で揃ったときに大当りにするようにしてもよい。その場合、有効ライン上にて大当り図柄の一部が左右の図柄として揃ったときにリーチとなる。

【0548】

また、上記の各実施の形態では、変動開始時に通常大当り終了後の変動回数をカウントし、変動回数が所定回数になったときに時短フラグをリセットするようにしていたが、変動終了時に通常大当り終了後の変動回数をカウントし、変動回数が所定回数になったときに時短フラグをリセットするようにしてもよい。

【0549】

また、上記の各実施の形態では、変動中の再抽選演出を実行するときは常に通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドを送信するように構成されていた。すなわち、全ての通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンには変動中の再抽選演出が含まれてい

10

20

30

40

50

た。しかし、このような構成に限られるわけではなく、確変大当り専用の変動パターンや通常大当り専用の変動パターンに変動中の再抽選演出が含まれていてもよい。また、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンとして変動中の再抽選演出が含まれていない変動パターンがあってもよい。

【0550】

また、上記の各実施の形態では、15ラウンドの大当り時の変動パターンを指定する変動パターンコマンドとして、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドと確変大当り専用の変動パターンコマンドと通常大当り専用の変動パターンコマンドとが設けられていたが、通常大当り／確変大当り兼用の変動パターンコマンドと確変大当り専用の変動パターンコマンドのみ（通常大当り専用の変動パターンコマンドはなし）としてもよい。

10

【0551】

上記の各実施の形態において、チャンス目A（またはチャンス目B）が連続して停止表示された場合に、連続してチャンス目Aが停止表示された回数に応じて大当りになる可能性の高いスーパーリーチに発展させるようにしてもよい。なお、連続してチャンス目Aが停止表示されることを擬似連続予告あるいは擬似連続変動という。例えば、チャンス目Aが1回停止表示されると、スーパーリーチA（大当りの可能性が比較的低いスーパーリーチ）に発展させ、チャンス目Aが連続して2回停止表示された場合（具体的には、通常変動からチャンス目Aが停止表示され、再び通常変動からチャンス目Aが停止表示された場合）に、スーパーリーチBに発展させ、チャンス目Aが連続して3回停止表示された場合に、スーパーリーチCに発展させ、チャンス目Aが連続して4回停止表示された場合に、スーパーリーチD（大当りの可能性が最も高いスーパーリーチ）に発展させるようにしてもよい。また、チャンス目B（またはチャンス目A）が停止表示された後にスーパーリーチ（実施の形態ではスーパーリーチD）に発展させる場合のほかに、通常変動で通常停止された場合（リーチにならずにはずれ図柄が停止表示された場合）にスーパーリーチ（例えばスーパーリーチD）に発展させる場合を設けてもよい。また、チャンス目Aまたはチャンス目Bの表示後にスーパーリーチに発展させる場合において、チャンス目Aまたはチャンス目Bが停止表示された後に通常変動を行い、その後に左図柄および右図柄を順に停止させてスーパーリーチに発展させる場合であっても、またはチャンス目Aまたはチャンス目Bが停止表示された後に通常変動を行わずに、直接（突然）、スーパーリーチに発展させる場合であってもよい。

20

30

【0552】

なお、上記の実施の形態のパチンコ遊技機は、主として、始動入賞にもとづいて可変表示部に可変表示される特別図柄の停止図柄が所定の図柄になると所定の遊技価値が遊技者に付与可能になるパチンコ遊技機であったが、始動入賞にもとづいて開放する電動役物の所定領域への入賞があると所定の遊技価値が遊技者に付与可能になるパチンコ遊技機や、始動入賞にもとづいて可変表示される図柄の停止図柄が所定の図柄の組み合わせになると開放する所定の電動役物への入賞があると所定の権利が発生または継続するパチンコ遊技機であっても、本発明を適用できる。さらに、遊技メダルを投入して賭け数を設定し遊技を行うスロット機や、遊技メダルではなく遊技球を投入して賭け数を設定し遊技を行う遊技機などにも本発明を適用できる。

40

【産業上の利用可能性】

【0553】

本発明は、パチンコ遊技機などの遊技に適用可能であり、遊技状態が確変状態等の特別な遊技状態に制御可能な遊技機の遊技に適用可能である。

【図面の簡単な説明】

【0554】

【図1】パチンコ遊技機を正面からみた正面図である。

【図2】飾り図柄の図柄配列を示す説明図である。

【図3】リーチ図柄の配列パターンを示す説明図である。

50

- 【図4】大当たり図柄の配列パターンを示す説明図である。
- 【図5】演出上のチャンス目Aを示す説明図である。
- 【図6】演出上のチャンス目Bを示す説明図である。
- 【図7】突然確変大当たり用のチャンス目（突然確変図柄）を示す説明図である。
- 【図8】小当たり用のチャンス目（小当たり図柄）を示す説明図である。
- 【図9】遊技制御基板（主基板）の回路構成例を示すブロック図である。
- 【図10】中継基板、演出制御基板、ランプドライバ基板および音声出力基板の回路構成例を示すブロック図である。
- 【図11】遊技制御用マイクロコンピュータが実行するメイン処理の一例を示すフローチャートである。 10
- 【図12】タイマ割込処理を示すフローチャートである。
- 【図13】特別図柄プロセス処理を示すフローチャートである。
- 【図14】特別図柄プロセス処理を示すフローチャートである。
- 【図15】演出制御コマンドの内容の一例を示す説明図である。
- 【図16】演出制御コマンドの内容の一例を示す説明図である。
- 【図17】変動パターンの一例を示す説明図である。
- 【図18】変動パターンの一例を示す説明図である。
- 【図19】特別図柄通常処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図20】特別図柄通常処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図21】特別図柄通常処理の一例を示すフローチャートである。 20
- 【図22】大当たり種別決定テーブルの一例を示す説明図である。
- 【図23】変動パターン設定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図24】特別図柄変動中処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図25】特別図柄停止処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図26】大入賞口開放前処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図27】大入賞口開放中処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図28】大入賞口開放後処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図29】大入賞口開放後処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図30】大当たり終了処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図31】小当たり開放前処理の一例を示すフローチャートである。 30
- 【図32】小当たり開放中処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図33】小当たり終了処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図34】飾り図柄コマンド制御処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図35】コマンドセット処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図36】コマンド送信処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図37】15ラウンドの大当たり遊技が実行されるとき演出制御コマンドの送信タイミングを示すタイミング図である。
- 【図38】2ラウンドの大当たり遊技および小当たり遊技が実行されるとき演出制御コマンドの送信タイミングを示すタイミング図である。
- 【図39】演出制御用マイクロコンピュータが実行するメイン処理の一例を示すフローチャートである。 40
- 【図40】コマンド解析処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図41】コマンド解析処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図42】コマンド解析処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図43】第1の飾り図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図44】リーチ無ハズレ決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図45】左図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図46】右図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図47】チャンス目禁則パターンを示す説明図である。
- 【図48】チャンス目禁則パターンを示す説明図である。 50

- 【図 4 9】中図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 5 0】中図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 5 1】中図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 5 2】チャンス目禁則用テーブルを示す説明図である。
- 【図 5 3】リーチ有ハズレ決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 5 4】共通用リーチ図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 5 5】シングル用リーチ図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 5 6】ダブル用リーチ図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 5 7】ノーマルはずれ時中図柄選択テーブルを示す説明図である。
- 【図 5 8】スーパー発展時中図柄選択テーブルを示す説明図である。 10
- 【図 5 9】チャンス目 A 選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 6 0】チャンス目 B 選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 6 1】第 1 の確変図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 6 2】第 1 の確変図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 6 3】第 1 の非確変図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 6 4】突然確変図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 6 5】突確用図柄選択テーブルを示すフローチャートである。
- 【図 6 6】第 2 の飾り図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 6 7】第 2 の非確変図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 6 8】第 2 の非確変図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。 20
- 【図 6 9】第 2 の確変図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 7 0】共通用大当り図柄選択用テーブル（再抽選あり、大当り後昇格）を示す説明図である。
- 【図 7 1】共通用大当り図柄選択用テーブル（確変直当り）を示す説明図である。
- 【図 7 2】共通用大当り図柄選択用テーブル（再抽選昇格）を示す説明図である。
- 【図 7 3】共通用大当り図柄選択用テーブル（救済）を示す説明図である。
- 【図 7 4】ノーマル用中図柄仮停止選択テーブル（救済）を示す説明図である。
- 【図 7 5】スーパー発展時中図柄選択テーブルを示す説明図である。
- 【図 7 6】シングル用大当り図柄選択用テーブル（再抽選あり、大当り後昇格）を示す説明図である。 30
- 【図 7 7】シングル用大当り図柄選択用テーブル（確変直当り）を示す説明図である。
- 【図 7 8】シングル用大当り図柄選択用テーブル（再抽選昇格）を示す説明図である。
- 【図 7 9】シングル用大当り図柄選択用テーブル（救済）を示す説明図である。
- 【図 8 0】ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル（再抽選あり、大当り後昇格）を示す説明図である。
- 【図 8 1】ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル（確変直当り）を示す説明図である。
- 【図 8 2】ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル（再抽選昇格）を示す説明図である。
- 【図 8 3】ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル（救済）を示す説明図である。 40
- 【図 8 4】ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル（再抽選あり、大当り後昇格）を示す説明図である。
- 【図 8 5】ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル（確変直当り）を示す説明図である。
- 【図 8 6】ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル（再抽選昇格）を示す説明図である。
- 【図 8 7】ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル（救済）を示す説明図である。
- 【図 8 8】チャンス目 A 選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 8 9】チャンス目 B 選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 9 0】小当り図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。 50

- 【図 9 1】小当り用図柄選択テーブルを示すフローチャートである。
- 【図 9 2】仮決定図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 9 3】第 3 の確変図柄決定処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 9 4】演出制御プロセス処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 9 5】プロセステーブルの構成例を示す説明図である。
- 【図 9 6】変動パターンコマンド受信待ち処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 9 7】飾り図柄変動開始処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 9 8】飾り図柄変動中処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 9 9】飾り図柄変動停止処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 1 0 0】大当り表示処理の一例を示すフローチャートである。 10
- 【図 1 0 1】ラウンド中処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 1 0 2】ラウンド後処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 1 0 3】ラウンド後処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 1 0 4】大当り終了演出処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 1 0 5】小当り演出処理の一例を示すフローチャートである。
- 【図 1 0 6】可変表示装置において実行される大当り図柄の再抽選演出の表示例を示す説明図である。
- 【図 1 0 7】チャンスモード中における演出上のチャンス目 A を示す説明図である。
- 【図 1 0 8】チャンスモード中における演出上のチャンス目 B を示す説明図である。
- 【図 1 0 9】チャンスモード中における突然確変大当り用のチャンス目（突然確変図柄）を示す説明図である。 20
- 【図 1 1 0】チャンスモード中における小当り用のチャンス目（小当り図柄）を示す説明図である。
- 【図 1 1 1】チャンスモード中における左図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 1 2】チャンスモード中における右図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 1 3】チャンスモード中におけるチャンス目禁則パターンを示す説明図である。
- 【図 1 1 4】チャンスモード中におけるチャンス目禁則パターンを示す説明図である。
- 【図 1 1 5】チャンスモード中における中図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 1 6】チャンスモード中における中図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 1 7】チャンスモード中におけるチャンス目禁則用テーブルを示す説明図である。 30
- 【図 1 1 8】チャンスモード中におけるリーチ図柄の配列パターンを示す説明図である。
- 【図 1 1 9】チャンスモード中における共通用リーチ図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 2 0】チャンスモード中におけるシングル用リーチ図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 2 1】チャンスモード中におけるダブル用リーチ図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 2 2】チャンスモード中におけるノーマルはずれ時中図柄選択テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 2 3】チャンスモード中におけるスーパー発展時中図柄選択テーブルを示す説明図である。 40
- 【図 1 2 4】チャンスモード中におけるチャンス目 A 選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 2 5】チャンスモード中におけるチャンス目 B 選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 2 6】チャンスモード中における Wリーチ前仮停止図柄選択用テーブルを示す説明図である。
- 【図 1 2 7】チャンスモード中における大当り図柄の配列パターンを示す説明図である。
- 【図 1 2 8】チャンスモード中における共通用大当り図柄選択用テーブル（再抽選あり、大当り後昇格）を示す説明図である。 50

【図 1 2 9】チャンスモード中における共通大当たり図柄選択用テーブル（確変直当たり）を示す説明図である。

【図 1 3 0】チャンスモード中における共通大当たり図柄選択用テーブル（再抽選昇格）を示す説明図である。

【図 1 3 1】チャンスモード中における共通大当たり図柄選択用テーブル（救済）を示す説明図である。

【図 1 3 2】チャンスモード中におけるノーマル用中図柄仮停止選択テーブル（救済）を示す説明図である。

【図 1 3 3】チャンスモード中におけるスーパー発展時中図柄選択テーブルを示す説明図である。

10

【図 1 3 4】チャンスモード中におけるシングル用大当たり図柄選択用テーブル（再抽選あり、大当たり後昇格）を示す説明図である。

【図 1 3 5】チャンスモード中におけるシングル用大当たり図柄選択用テーブル（確変直当たり）を示す説明図である。

【図 1 3 6】チャンスモード中におけるシングル用大当たり図柄選択用テーブル（再抽選昇格）を示す説明図である。

【図 1 3 7】チャンスモード中におけるシングル用大当たり図柄選択用テーブル（救済）を示す説明図である。

【図 1 3 8】チャンスモード中におけるダブル先当たり用大当たり図柄選択用テーブル（再抽選あり、大当たり後昇格）を示す説明図である。

20

【図 1 3 9】チャンスモード中におけるダブル先当たり用大当たり図柄選択用テーブル（確変直当たり）を示す説明図である。

【図 1 4 0】チャンスモード中におけるダブル先当たり用大当たり図柄選択用テーブル（再抽選昇格）を示す説明図である。

【図 1 4 1】チャンスモード中におけるダブル先当たり用大当たり図柄選択用テーブル（救済）を示す説明図である。

【図 1 4 2】チャンスモード中におけるダブル後当たり用大当たり図柄選択用テーブル（再抽選あり、大当たり後昇格）を示す説明図である。

【図 1 4 3】チャンスモード中におけるダブル後当たり用大当たり図柄選択用テーブル（確変直当たり）を示す説明図である。

30

【図 1 4 4】チャンスモード中におけるダブル後当たり用大当たり図柄選択用テーブル（再抽選昇格）を示す説明図である。

【図 1 4 5】チャンスモード中におけるダブル後当たり用大当たり図柄選択用テーブル（救済）を示す説明図である。

【図 1 4 6】チャンスモード中におけるチャンス目 A 選択用テーブルを示す説明図である。

【図 1 4 7】チャンスモード中におけるチャンス目 B 選択用テーブルを示す説明図である。

【図 1 4 8】チャンスモード中における W リーチ前仮停止図柄選択用テーブルを示す説明図である。

40

【図 1 4 9】チャンスモード中における突確用図柄選択テーブルを示す説明図である。

【図 1 5 0】チャンスモード中における小当たり用図柄選択テーブルを示す説明図である。

【図 1 5 1】実施の形態 3 における中継基板、音／ランプ制御基板、表示制御基板の回路構成例を示すブロック図である。

【図 1 5 2】実施の形態 3 における音／ランプ制御用マイクロコンピュータが実行する音／ランプ制御メイン処理を示すフローチャートである。

【図 1 5 3】実施の形態 3 における音／ランプ側コマンド解析処理を示すフローチャートである。

【符号の説明】

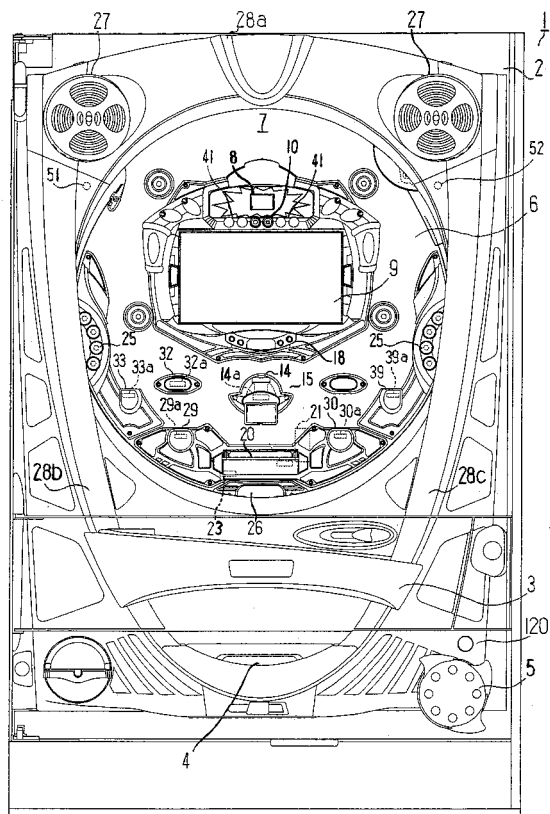
【0 5 5 5】

50

- 1 パチンコ遊技機
- 8 特別図柄表示器
- 9 可変表示装置
- 14 始動入賞口
- 17 可変入賞装置
- 31 主基板
- 80 演出制御基板
- 80A 音／ランプ制御基板
- 80B 表示制御基板
- 100 演出制御用マイクロコンピュータ
- 100A 音／ランプ制御用マイクロコンピュータ
- 100B 表示制御用マイクロコンピュータ
- 560 遊技制御用マイクロコンピュータ

10

【図 1】



【図 2】

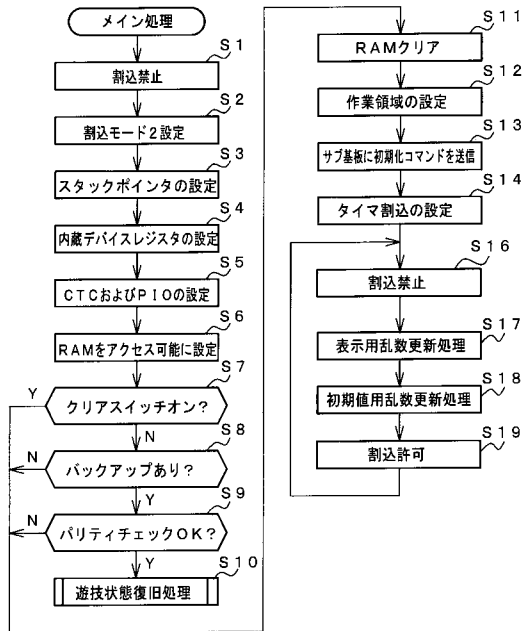
図柄配列表

No	左	中	右
16	*	*	*
15	1	8	8
14	*	*	*
13	2	7	7
12	*	*	*
11	3	6	6
10	*	*	*
9	4	5	5
8	*	*	*
7	5	4	4
6	*	*	*
5	6	3	3
4	*	*	*
3	7	2	2
2	*	*	*
1	8	1	1

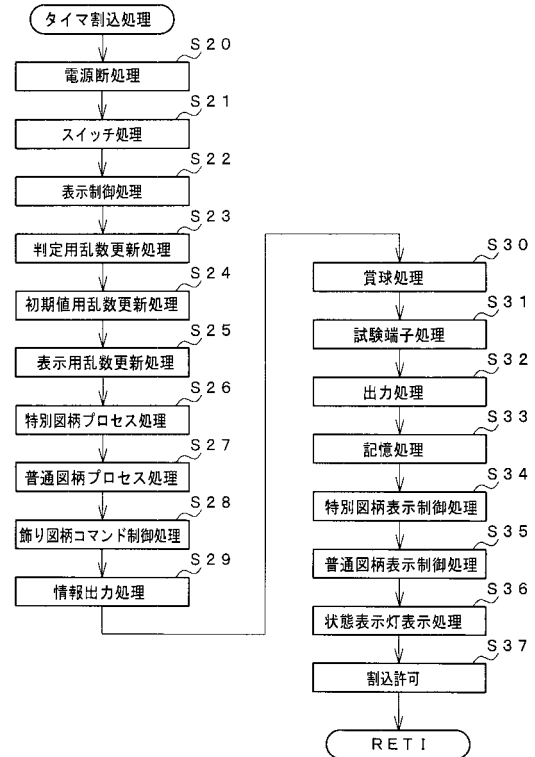
【図 3】

1UH	1	1	2	2	3	3	4	4	5	5	6	6	7	7	8	8
2UH	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
3UH	2	2	3	3	4	4	5	5	6	6	7	7	8	8	9	9
4UH	3	3	4	4	5	5	6	6	7	7	8	8	9	9	10	10
5UH	4	4	5	5	6	6	7	7	8	8	9	9	10	10	11	11
6UH	5	5	6	6	7	7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12
7UH	6	6	7	7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13
8UH	7	7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14
9UH	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15
10UH	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15	16	16
11UH	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15	16	16	17	17
12UH	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15	16	16	17	17	18	18
13UH	12	12	13	13	14	14	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19
14UH	13	13	14	14	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	20	20
15UH	14	14	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21
16UH	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22
17UH	16	16	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23
18UH	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24
19UH	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25
20UH	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26
21UH	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26	27	27
22UH	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26	27	27	28	28
23UH	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26	27	27	28	28	29	29
24UH	23	23	24	24	25	25	26	26	27	27	28	28	29	29	30	30
25UH	24	24	25	25	26	26	27	27	28	28	29	29	30	30	31	31
26UH	25	25	26	26	27	27	28	28	29	29	30	30	31	31	32	32
27UH	26	26	27	27	28	28	29	29	30	30	31	31	32	32	33	33
28UH	27	27	28	28	29	29	30	30	31	31	32	32	33	33	34	34
29UH	28	28	29	29	30	30	31	31	32	32	33	33	34	34	35	35
30UH	29	29	30	30	31	31	32	32	33	33	34	34	35	35	36	36
31UH	30	30	31	31	32	32	33	33	34	34	35	35	36	36	37	37
32UH	31	31	32	32	33	33	34	34	35	35	36	36	37	37	38	38
33UH	32	32	33	33	34	34	35	35	36	36	37	37	38	38	39	39
34UH	33	33	34	34	35	35	36	36	37	37	38	38	39	39	40	40
35UH	34	34	35	35	36	36	37	37	38	38	39	39	40	40	41	41
36UH	35	35	36	36	37	37	38	38	39	39	40	40	41	41	42	42
37UH	36	36	37	37	38	38	39	39	40	40	41	41	42	42	43	43
38UH	37	37	38	38	39	39	40	40	41	41	42	42	43	43	44	44
39UH	38	38	39	39	40	40	41	41	42	42	43	43	44	44	45	45
40UH	39	39	40	40	41	41	42	42	43	43	44	44	45	45	46	46
41UH	40	40	41	41	42	42	43	43	44	44	45	45	46	46	47	47
42UH	41	41	42	42	43	43	44	44	45	45	46	46	47	47	48	48
43UH	42	42	43	43	44	44	45	45	46	46	47	47	48	48	49	49
44UH	43	43	44	44	45	45	46	46	47	47	48	48	49	49	50	50
45UH	44	44	45	45	46	46	47	47	48	48	49	49	50	50	51	51
46UH	45	45	46	46	47	47	48	48	49	49	50	50	51	51	52	52
47UH	46	46	47	47	48	48	49	49	50	50	51	51	52	52	53	53
48UH	47	47	48	48	49	49	50	50	51	51	52	52	53	53	54	54
49UH	48	48	49	49	50	50	51	51	52	52	53	53	54	54	55	55
50UH	49	49	50	50	51	51	52	52	53	53	54	54	55	55	56	56
51UH	50	50	51	51	52	52	53	53	54	54	55	55	56	56	57	57
52UH	51	51	52	52	53	53	54	54	55	55	56	56	57	57	58	58
53UH	52	52	53	53	54	54	55	55	56	56	57	57	58	58	59	59
54UH	53	53	54	54	55	55	56	56	57	57	58	58	59	59	60	60
55UH	54	54	55	55	56	56	57	57	58	58	59	59	60	60	61	61
56UH	55	55	56	56	57	57	58	58	59	59	60	60	61	61	62	62
57UH	56	56	57	57	58	58	59	59	60	60	61	61	62	62	63	63
58UH	57	57	58	58	59	59	60	60	61	61	62	62	63	63	64	64
59UH	58	58	59	59	60	60	61	61	62	62	63	63	64	64	65	65
60UH	59	59	60	60	61	61	62	62	63	63	64	64	65	65	66	66
61UH	60	60	61	61	62	62	63	63	64	64	65	65	66	66	67	67
62UH	61	61	62	62	63	63	64	64	65	65	66	66	67	67	68	68
63UH	62	62	63	63	64	64	65	65	66	66	67	67	68	68	69	69
64UH	63	63	64	64	65	65	66	66	67	67	68	68	69	69	70	70
65UH	64	64	65	65	66	66	67	67	68	68	69	69	70	70	71	71
66UH	65	65	66	66	67	67	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72
67UH	66	66	67	67	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73
68UH	67	67	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74
69UH	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75
70UH	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76
71UH	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76	77	77
72UH	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76	77	77	78	78
73UH	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76	77	77	78	78	79	79
74UH	73	73	74	74	75	75	76	76	77	77	78	78	79	79	80	80
75UH	74	74	75	75	76	76	77	77	78	78	79	79	80	80	81	81
76UH	75	75	76	76	77	77	78	78	79	79	80	80	81	81	82	82
77UH	76	76	77	77	78	78	79	79	80	80	81	81	82	82	83	83
78UH	77	77	78	78	79	79	80	80	81	81	82	82	83	83	84	84
79UH	78	78	79	79	80	80	81	81	82	82	83	83	84	84	85	85
80UH	79	79	80	80	81	81	82	82	83	83	84	84	85	85	86	86
81UH	80	80	81	81	82	82	83	83	84	84	85	85	86	86	87	87
82UH	81	81	82	82	83	83	84	84	85	85	86	86	87	87	88	88
83UH	82	82	83	83	84	84	85	85	86	86	87	87	88	88	89	89
84UH	83	83	84	84	85	85	86	86	87	87	88	88	89	89	90	90
85UH	84	84	85	85	86	86	87	87	88	88	89	89	90	90	91	91
86UH	85	85	86	86	87	87	88	88	89	89	90	90	91	91	92	92
87UH	86	86	87	87	88	88	89	89	90	90	91	91	92	92	93	93
88UH	87	87	88	88	89	89	90	90	91	91	92	92	93	93	94	94
89UH	88	88	89	89	90	90	91	91	92	92	93	93	94	94	95	95
90UH	89	89	90	90	91	91	92	92	93	93	94	94	95	95	96	96
91UH	90	90	91	91	92	92	93	93	94	94	95	95	96	96	97	97
92UH	91	91	92	92	93	93	94	94	95	95	96	96	97	97	98	98
93UH	92	92	93	93	94	94	95	95	96	96	97	97	98	98	99	99
94UH	93	93	94	94	95	95	96	96	97	97	98	98	99	99	100	100
95UH	94	94	95	95	96	96	97	97	98	98	99	99	100	100	101	101
96UH	95	95	96	96	97	97	98	98	99	99	100	100	101	101	102	102
97UH	96	96	97	97	98	98	99	99	100	100	101	101	102	102	103	103
98UH	97	97	98	98	99	99	100	100	101	101	102	102	103	103	104	104
99UH	98	98	99	99	100	100	101	101	102	102	103	103				

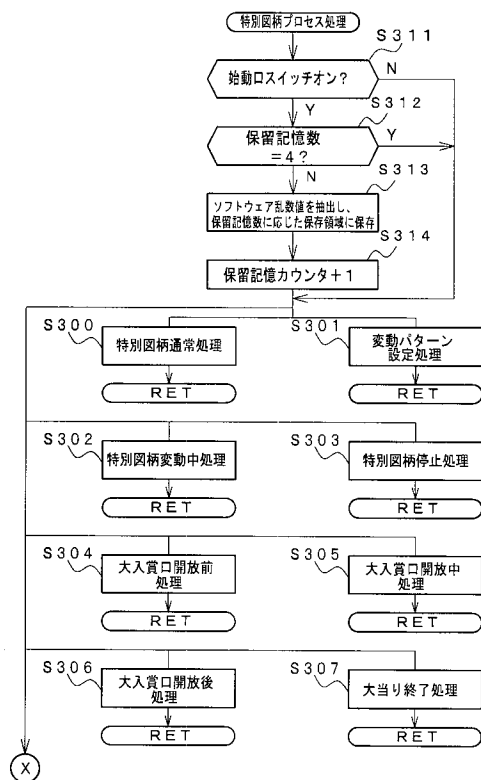
【図 1 1】



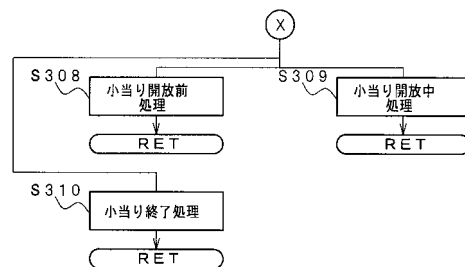
【図 1 2】



【図 1 3】



【図 1 4】



【図 15】

MODE	EXT	名称	内容
8 0	0 0	変動パターン#1指定	変動パターン（変動時間）1の指定
8 0	6 A	変動パターン#91指定	変動パターン（変動時間）91の指定
8 C	0 0	はずれ指定	特別図柄がはずれ図柄であることの指定
8 C	0 1	通常大当り指定	特別図柄が非確定図柄であることの指定
8 C	0 2	確定大当り1指定	特別図柄が確定図柄であることの指定
8 C	0 3	確定大当り2指定	特別図柄が確定図柄（大当り中昇格）であることの指定
8 C	0 4	確定大当り3指定	特別図柄が確定図柄（エンディング昇格）であることの指定
8 C	0 5	突然確定大当り指定	特別図柄が突然確定図柄であることの指定
8 C	0 6	小当り指定	特別図柄が小当り図柄であることの指定
8 F	0 0	飾り図柄停止指定	飾り図柄の可変表示の停止指定
9 5	0 0	通常状態背景指定	通常遊技状態のときの背景表示の指定
9 5	0 1	高確率状態背景指定	高確率状態（確定状態）のときの背景表示の指定
9 5	0 2	時短状態背景指定	時短状態のときの背景表示の指定
9 5	0 3	チャンス状態背景指定	チャンスモード状態のときの背景表示の指定
9 F	0 0	客待ちデモ指定	客待ちデモンストレーション時の表示指定

【図 16】

MODE	EXT	名称	内容
A 0	0 0	ファンファーレ1指定	通常大当り開始の表示指定
A 0	0 1	ファンファーレ2指定	確定大当り開始の表示指定
A 0	0 2	ファンファーレ3指定	確定大当り開始（大当り中昇格）の表示指定
A 0	0 3	ファンファーレ4指定	確定大当り開始（エンディング昇格）の表示指定
A 0	0 4	ファンファーレ5指定	突然確定大当り開始の表示指定
A 1	X X	大入賞口開放中指定	X Xで示すラウンド中の表示指定（15R）
A 2	X X	大入賞口開放後指定	X Xで示すラウンド後の表示指定（15R）
A 3	0 1	エンディング1指定	通常大当り終了（時短状態移行）の表示指定
A 3	0 2	エンディング2指定	確定大当り終了の表示指定
A 3	0 3	エンディング3指定	確定大当り終了（大当り中昇格）の表示指定
A 3	0 4	エンディング4指定	確定大当り終了（エンディング昇格）の表示指定
A 3	0 5	エンディング5指定	突然確定大当り終了の表示指定
A 4	X X	大入賞口開放中指定	X Xで示すラウンド中の表示指定（2R）
A 5	X X	大入賞口開放後指定	X Xで示すラウンド後の表示指定（2R）
A 6	0 0	小当り用ファンファーレ	小当り開始の表示指定
C 0	X X	始動入賞記憶指定	始動入賞記憶数の指定（X X=00~04）

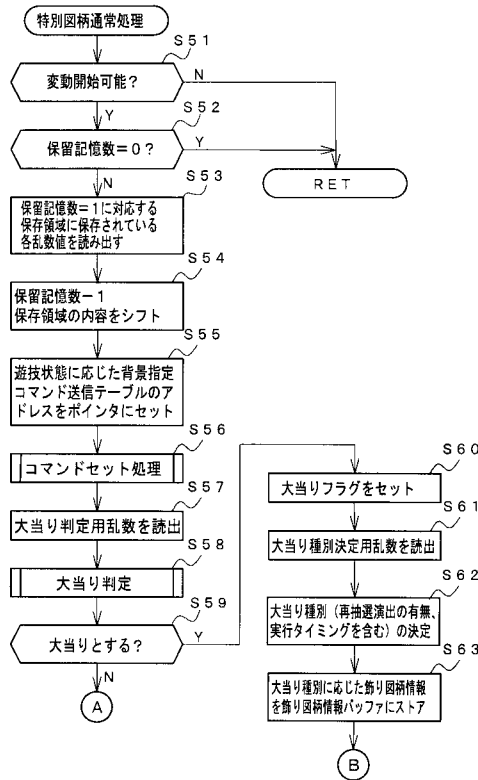
【図 17】

変動番号	ライン	変動パターン	通常 選択テーブル	チャンスモード 選択テーブル	選択条件
1		通常変動	T-1,2,3,4	BT-1,2,3,4	
2		短時間通常変動	T-1,2,3,4	BT-1,2,3,4	
3	S&W	ノーマル 8コマ	H-1,4	BH-1,4,10	
4	S&W	ノーマル 12コマ	H-1,4	BH-1,4,10	
5	S&W	ノーマル 15コマ	H-1,4	BH-1,4,10	
6	S&W	ノーマル 17コマ	H-1,4	BH-1,4,10	
7	S	スーパーA -2	H-2,5	BH-2,5	
8	W	スーパーA -3	H-3,5	BH-3,5,10	
9	S	スーパーB -2	H-2,5	BH-2,5	
10	W	スーパーB +2	H-3,5	BH-3,5,10	
11	S	チャンス目A スーパーB +2	H-2,5,6	BH-2,5,6	
12	W	スーパーC -1	H-3,5	BH-3,5,10	
13	S	スーパーC +1	H-2,5	BH-2,5	
14	W	チャンス目A スーパーC -1	H-3,5,6	BH-3,5,6,10	
15	S	スーパーD +2	H-2,5	BH-2,5	
16	W	スーパーD +2	H-3,5	BH-3,5,10	
17	S	チャンス目A スーパーD +2	H-2,5,6	BH-2,5,6	
18	W	チャンス目A スーパーD +2	H-3,5,6	BH-3,5,6,10	
19	W	チャンス目B スーパーD +2	H-3,7	BH-3,7	
20	S&W	ノーマル 9コマ	F-2	BF-2,26	
21	S&W	ノーマル 12コマ	F-2	BF-2,26	
22	S&W	ノーマル 16コマ	F-2	BF-2,26	
23	S&W	ノーマル 8コマ 教済	F-4,5	BF-4,5,26	
24	S&W	ノーマル 14コマ 教済	F-4,5	BF-4,5,26	
25	S&W	ノーマル 17コマ 教済	F-4,5	BF-4,5,26	
26	S	スーパーA	F-6,8	BF-6,8	
27	S	スーパーA +1教済	F-6,10	BF-6,10	
28	W	スーパーA 先当り	F-6,12	BF-6,12,26	
29	W	スーパーA 後当り	F-6,16	BF-6,16,26	
30	W	スーパーA -1教済	F-6,14	BF-6,14,26	
31	W	スーパーA +1教済	F-6,18	BF-6,18,26	
32	S	スーパーB	F-6,8	BF-6,8	
33	S	スーパーB -2教済	F-6,10	BF-6,10	
34	W	スーパーB 先当り	F-6,12	BF-6,12,26	
35	W	スーパーB 後当り	F-6,16	BF-6,16,26	
36	W	スーパーB +2教済	F-6,18	BF-6,18,26	
37	S	チャンス目A スーパーB	F-6,8,19	BF-6,8,19	
38	S	チャンス目A スーパーB +2教済	F-6,10,19	BF-6,10,19	
39	W	スーパーC 先当り	F-6,12	BF-6,12,26	
40	W	スーパーC 後当り	F-6,16	BF-6,16,26	
41	W	スーパーC -1教済	F-6,14	BF-6,14,26	
42	W	スーパーC +1教済	F-6,18	BF-6,18,26	
43	S	スーパーC	F-6,8	BF-6,8	
44	S	スーパーC +1教済	F-6,10	BF-6,10	
45	W	チャンス目A スーパーC 先当り	F-6,12,19	BF-6,12,19,26	
46	W	チャンス目A スーパーC 後当り	F-6,16,19	BF-6,16,19,26	
47	W	チャンス目A スーパーC -1教済	F-6,14,19	BF-6,14,19,26	
48	W	チャンス目A スーパーC +1教済	F-6,18,19	BF-6,18,19,26	

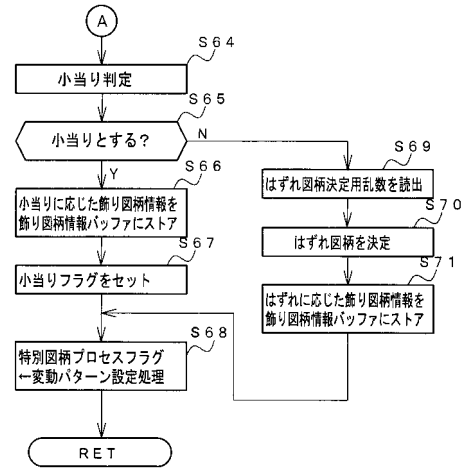
【図 18】

49	S	スーパーD	F-6,8	BF-6,8	
50	S	スーパーD +2教済	F-6,10	BF-6,10	
51	W	スーパーD 先当り	F-6,12	BF-6,12,26	
52	W	スーパーD 後当り	F-6,16	BF-6,16,26	
53	W	スーパーD +2教済	F-6,18	BF-6,18,26	
54	S	チャンス目A スーパーD	F-6,8,19	BF-6,8,19	
55	S	チャンス目A スーパーD +2教済	F-6,10,19	BF-6,10,19	
56	W	チャンス目A スーパーD 先当り	F-6,12,19	BF-6,12,19,26	
57	W	チャンス目A スーパーD 後当り	F-6,16,19	BF-6,16,19,26	
58	W	チャンス目A スーパーD +2教済	F-6,18,19	BF-6,18,19,26	
59	W	チャンス目B スーパーD 先当り	F-12,20	BF-12,20	
60	W	チャンス目B スーパーD 後当り	F-16,20	BF-16,20	
61	W	チャンス目B スーパーD +2教済	F-18,20	BF-18,20	
62	S&W	ノーマル 10コマ 再抽選	F-1,3	BF-1,3,26	
63	S&W	ノーマル 13コマ 再抽選	F-1,3	BF-1,3,26	
64	S&W	ノーマル 15コマ 再抽選	F-1,3	BF-1,3,26	
65	S	スーパーA 再抽選	F-6,7,9	BF-6,7,9	
66	W	スーパーA 先当り 再抽選	F-6,11,13	BF-6,11,13,26	
67	W	スーパーA 後当り 再抽選	F-6,15,17	BF-6,15,17,26	
68	S	スーパーB 再抽選	F-6,7,9	BF-6,7,9	
69	W	スーパーB 先当り 再抽選	F-6,11,13	BF-6,11,13,26	
70	W	スーパーB 後当り 再抽選	F-6,15,17	BF-6,15,17,26	
71	S	チャンス目A スーパーB 再抽選	F-6,7,9,19	BF-6,7,9,19	
72	W	スーパーC 先当り 再抽選	F-6,11,13	BF-6,11,13,26	
73	W	スーパーC 後当り 再抽選	F-6,15,17	BF-6,15,17,26	
74	S	スーパーC 再抽選	F-6,7,9	BF-6,7,9	
75	W	チャンス目A スーパーC 先当り 再抽選	F-6,11,13,19	BF-6,11,13,19,26	
76	W	チャンス目A スーパーC 後当り 再抽選	F-6,15,17,19	BF-6,15,17,19,26	
77	S	スーパーD 再抽選	F-6,7,9	BF-6,7,9	
78	W	スーパーD 先当り 再抽選	F-6,11,13	BF-6,11,13,26	
79	W	スーパーD 後当り 再抽選	F-6,15,17	BF-6,15,17,26	
80	S	チャンス目A スーパーD 再抽選	F-6,7,9,19	BF-6,7,9,19	
81	W	チャンス目A スーパーD 先当り 再抽選	F-6,11,13,19	BF-6,11,13,19,26	
82	W	チャンス目A スーパーD 後当り 再抽選	F-6,15,17,19	BF-6,15,17,19,26	
83	W	チャンス目B スーパーD 先当り 再抽選	F-11,13,20	BF-11,13,20	
84	W	チャンス目B スーパーD 後当り 再抽選	F-15,17,20	BF-15,17,20	
85	S&W	ノーマル 16コマ	F-1	BF-1	
86	S	スーパーA	F-6,7	BF-6,7	
87	W	スーパーA 先当り	F-6,11	BF-6,11	
88	W	スーパーA 後当り	F-6,15	BF-6,15	
89	-	タイムミッション突入演出	K-1,F-25	BK-1,BF-25	
90	-	突然確定・小当り失速突入演出	K-1,F-25	BK-1,BF-25	
91	-	突然確定突入演出	F-25	BF-25	

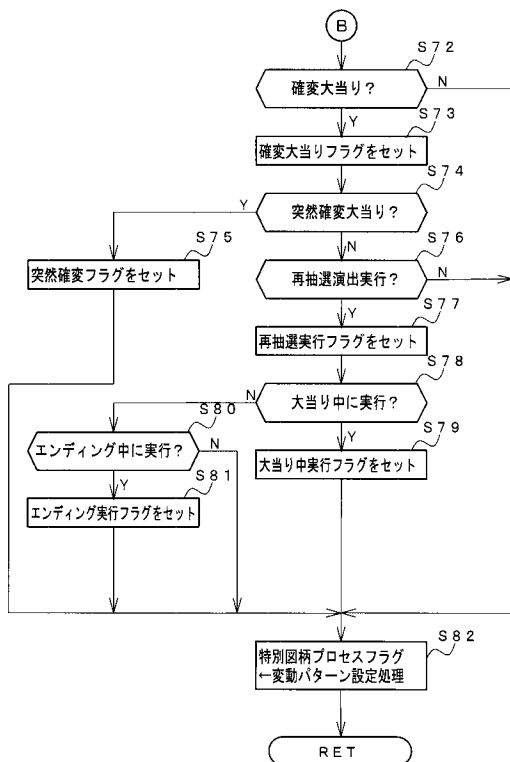
【図 19】



【図 20】



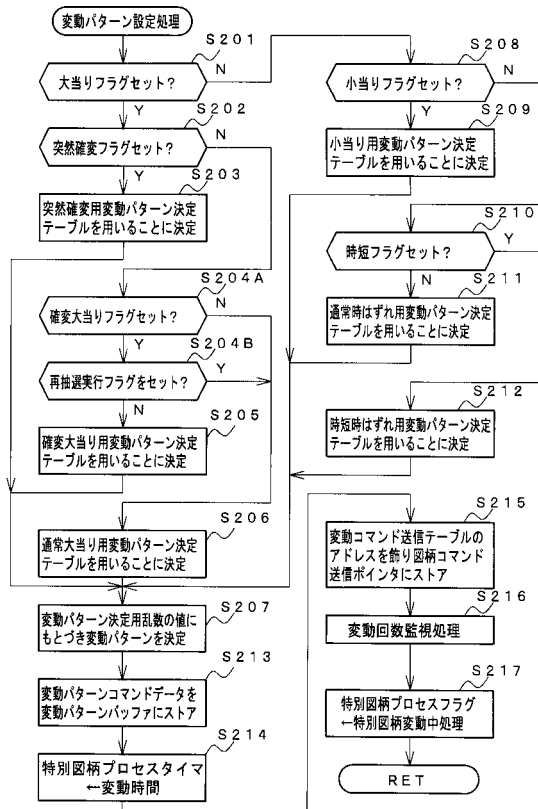
【図 21】



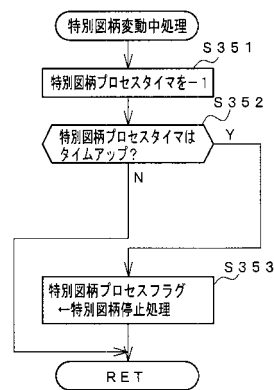
【図 22】

乱数値	大当り種別(再抽選演出の有無、実行タイミング)
0~39	通常大当り
40~54	確定大当り(再抽選演出なし)
55~69	確定大当り(大当り中昇格)
70~84	確定大当り(エンディング昇格)
85~99	突然確定大当り

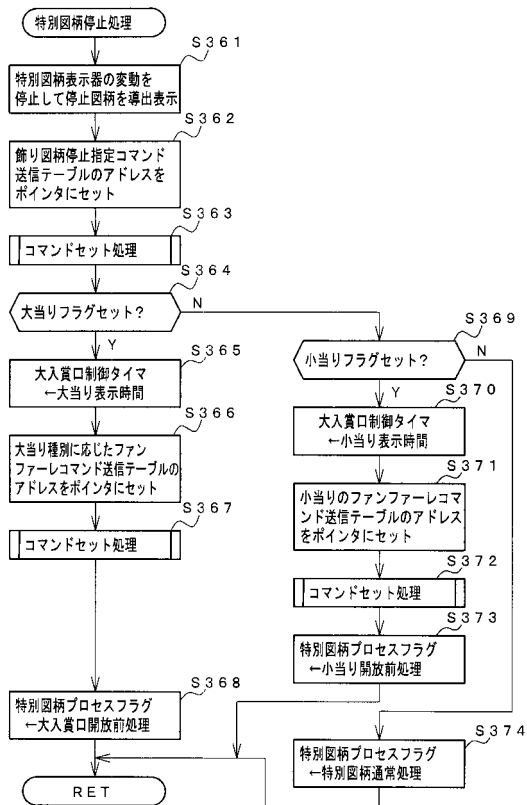
【図 23】



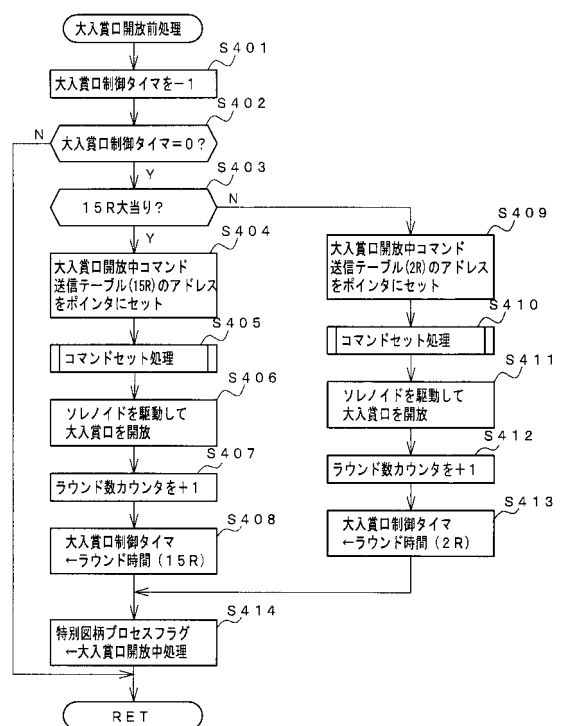
【図 24】



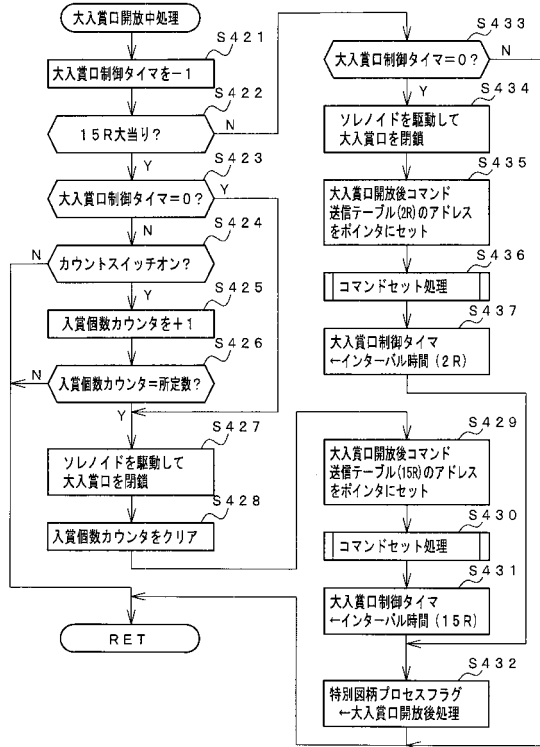
【図 25】



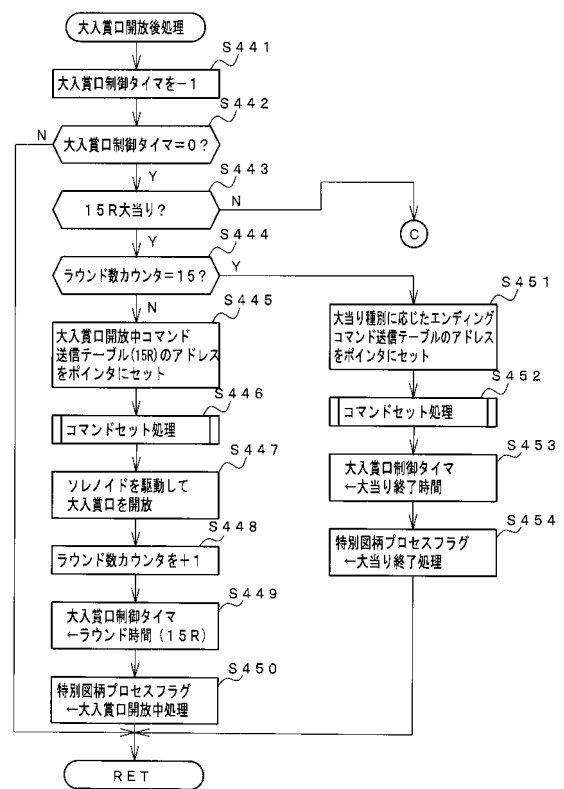
【図 26】



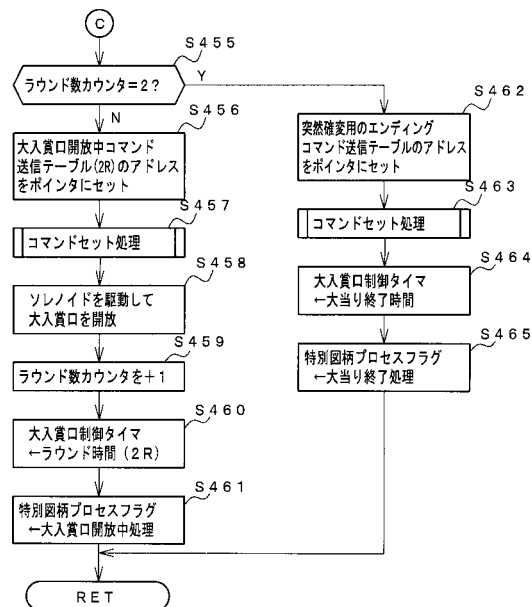
【図 27】



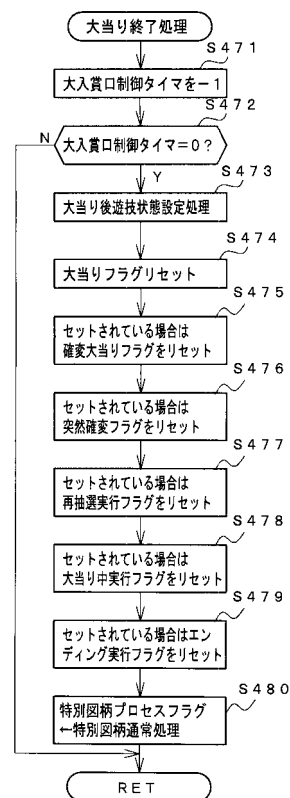
【図 28】



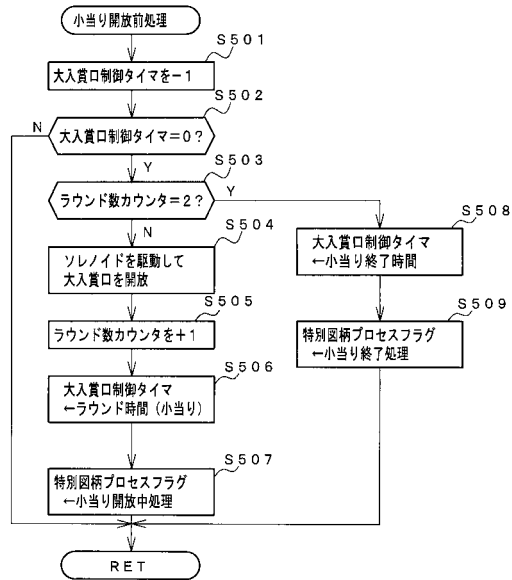
【図 29】



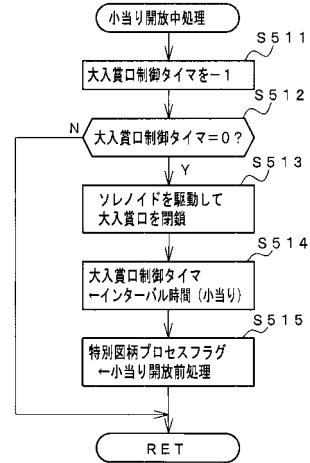
【図 30】



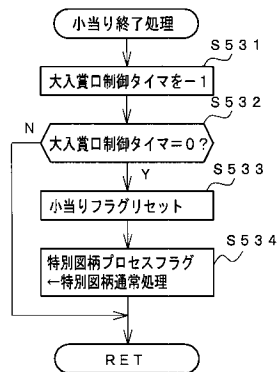
【図 3 1】



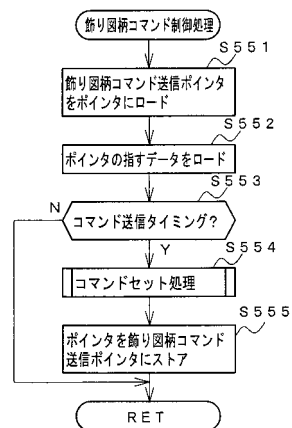
【図 3 2】



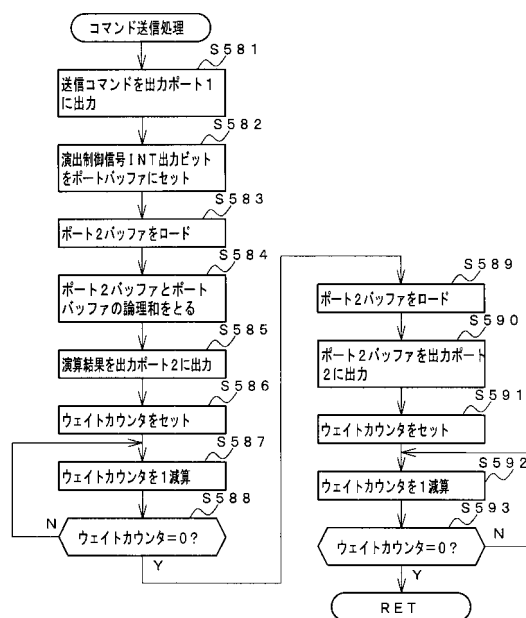
【図 3 3】



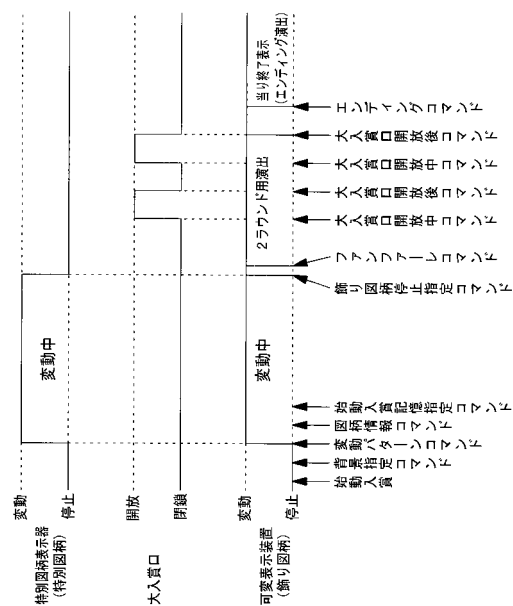
【図 3 4】



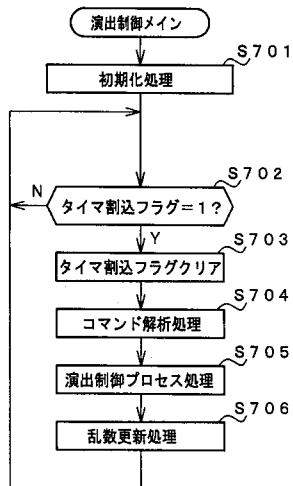
【図 3 6】



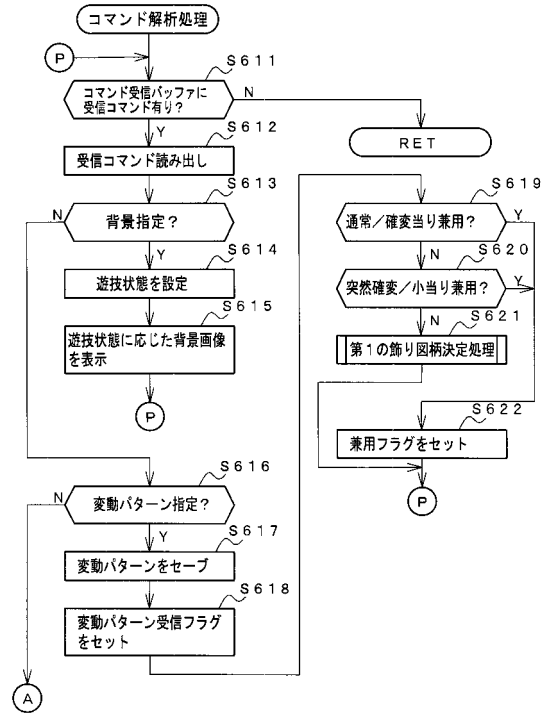
【図 38】



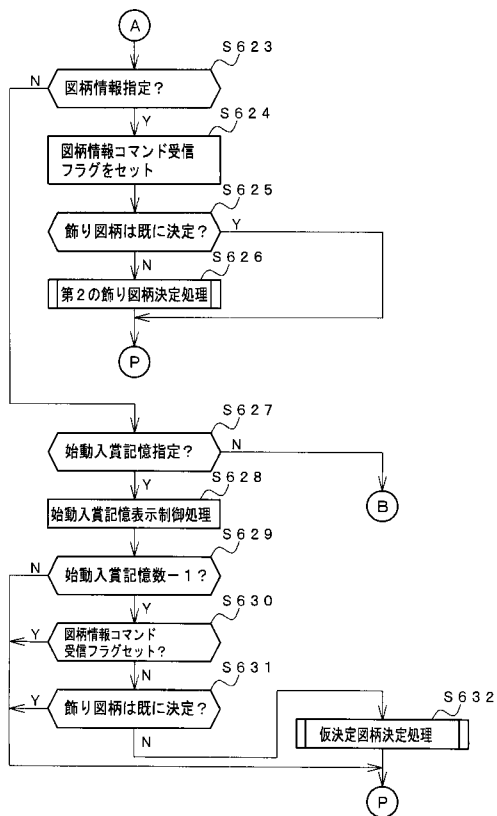
【図 39】



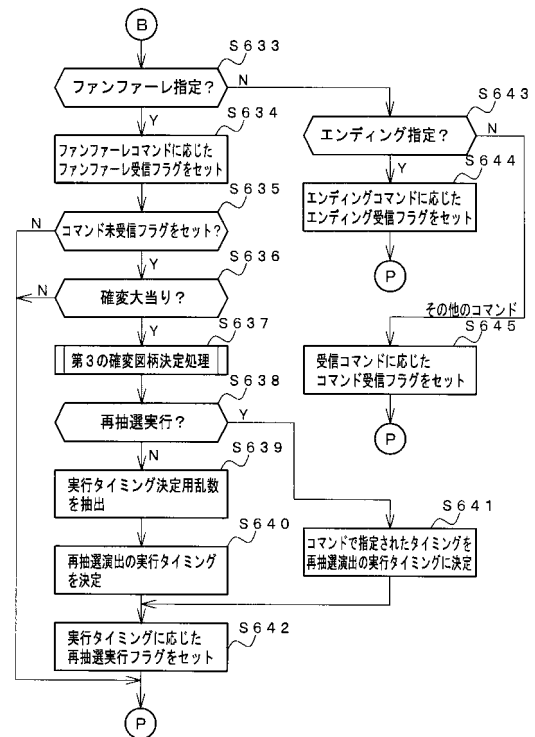
【図 40】



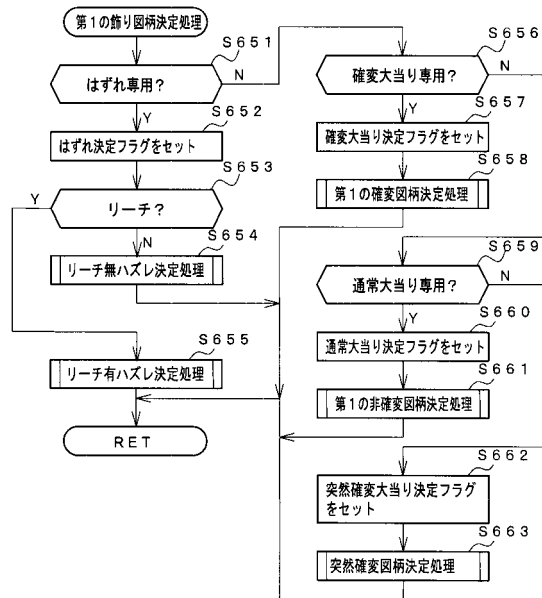
【図 41】



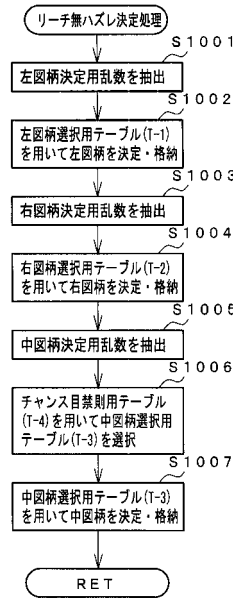
【図 42】



【図 4 3】



【図 4 4】



【図 4 5】

左図柄選択用テーブル

table T-1															
8	*	7	*	6	*	5	*	4	*	3	*	2	*	1	*
4	5	4	4	4	5	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4

max
67 67

【図 4 6】

右図柄選択用テーブル

table T-2															
T-1	T-2														
	1	*	2	*	3	*	4	*	5	*	6	*	7	*	8
8	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	0
*	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	0	8	0	8
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	0	6	6	7
*	8	8	8	8	8	8	8	8	7	0	8	0	8	0	8
6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	0	6	6	7	7	7
*	8	8	8	8	8	8	7	0	8	0	8	0	8	8	8
5	7	7	7	7	7	7	7	0	6	6	7	7	7	7	7
*	8	8	8	8	7	0	8	0	8	0	8	8	8	8	8
4	7	7	7	7	7	7	0	6	6	7	7	7	7	7	7
*	8	8	7	0	8	0	8	0	8	8	8	8	8	8	8
3	7	7	7	7	0	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7
*	7	0	8	0	8	0	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2	7	7	0	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
*	8	0	8	0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	0
1	0	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
*	8	0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	0	8	0

max
103 103

【図 4 7】

LR8	8	8	8	1
LR16	7	*	8	8
LR24	8	8	8	7
LR32	*	1	8	8
LR40	8	8	8	2
LR7	7	7	7	*
LR15	6	7	7	*
LR23	7	7	7	6
LR31	8	7	7	*
LR39	*	7	1	*
LR6	6	6	6	*
LR14	5	*	6	*
LR22	6	6	6	5
LR30	*	6	6	*
LR38	6	6	6	*
LR5	5	5	5	*
LR13	4	*	5	*
LR21	5	5	5	4
LR29	*	5	5	5
LR37	*	5	7	*
LR4	4	4	4	*
LR12	3	*	4	*
LR20	*	4	4	3
LR28	*	4	4	*
LR36	*	4	6	*
LR3	3	3	3	*
LR11	2	*	3	*
LR19	*	3	3	2
LR27	*	3	3	*
LR35	*	3	5	*
LR2	2	2	2	*
LR10	1	*	2	*
LR18	*	2	2	1
LR26	*	2	2	2
LR34	*	2	4	*
LR1	1	1	1	*
LR9	8	*	1	*
LR17	*	1	8	*
LR25	*	1	1	*
LR33	*	1	3	*

【図 48】

LR41	LR42	LR43	LR44	LR45
* 1 *	8 * 5	8 * 6	1 * 6	1 * 5
* 5 *	* 1 4	* 1 5	* 2 5	* 2 4
LR46	LR47	LR48	LR49	LR50
* 5 *	4 * 1	4 * 2	5 * 2	5 * 1
* 1 *	* 5 8	* 5 1	* 6 1	* 6 8
LR51	LR52	LR53	LR54	LR55
* 3 *	2 * 8	2 * 1	3 * 1	3 * 8
* 8 *	* 3 7	* 3 8	* 4 8	* 4 7
LR56	LR57	LR58⇒LR52	LR59⇒LR55	LR60
* 3 *	2 * 7	2 * *	3 * 8	3 * 7
* 7 *	* 3 6	* 3 7	* 4 7	* 4 6
LR61	LR62	LR63⇒LR47	LR64⇒LR50	LR65
* 5 *	4 * 8	4 * 1	5 * 1	5 * 8
* 8 *	* 5 7	* 5 8	* 6 8	* 6 7
LR66	LR67	LR68	LR69	LR70
* 7 *	6 * 3	6 * 4	7 * 4	7 * 3
* 3 *	* 7 2	* 7 3	* 8 3	* 8 2
LR71	LR72	LR73	LR74⇒LR43	LR75⇒LR42
* 8 *	7 * 5	8 * 6	8 * 6	8 * 5
* 5 *	* 8 4	* 8 5	* 1 5	* 1 4
LR76	LR77⇒LR70	LR78⇒LR69	LR79	LR80
* 8 *	7 * 3	7 * 4	8 * 4	8 * 3
* 3 *	* 8 2	* 8 3	* 1 3	* 1 2

【図 49】

1										2										3										4										5										6										7										8										9										10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
LR0										LR1										LR2										LR3										LR4										LR5										LR6										LR7										LR8										LR9										LR10										LR11										LR12										LR13										LR14										LR15										LR16										LR17										LR18										LR19										LR20										LR21										LR22										LR23										LR24										LR25										LR26										LR27										LR28										LR29										LR30										LR31										LR32										LR33										LR34										LR35										LR36										LR37										LR38										LR39										LR40										LR41										LR42										LR43										LR44										LR45										LR46										LR47										LR48										LR49										LR50										LR51										LR52										LR53										LR54										LR55										LR56										LR57										LR58										LR59										LR60										LR61										LR62										LR63										LR64										LR65										LR66										LR67										LR68										LR69										LR70										LR71										LR72										LR73										LR74										LR75										LR76										LR77										LR78										LR79										LR80										LR81										LR82										LR83										LR84										LR85										LR86										LR87										LR88										LR89										LR90										LR91										LR92										LR93										LR94										LR95										LR96										LR97										LR98										LR99										LR100										LR101										LR102										LR103										LR104										LR105										LR106										LR107										LR108										LR109										LR110										LR111										LR112										LR113										LR114										LR115										LR116										LR117										LR118										LR119										LR120										LR121										LR122										LR123										LR124										LR125										LR126										LR127										LR128										LR129										LR130										LR131										LR132										LR133										LR134										LR135										LR136										LR137										LR138										LR139										LR140										LR141										LR142										LR143										LR144										LR145										LR146										LR147										LR148										LR149										LR150										LR151										LR152										LR153										LR154										LR155										LR156										LR157										LR158										LR159										LR160										LR161										LR162										LR163										LR164										LR165										LR166										LR167										LR168										LR169										LR170										LR171										LR172										LR173										LR174										LR175										LR176										LR177										LR178										LR179										LR180										LR181										LR182										LR183										LR184										LR185										LR186										LR187										LR188										LR189										LR190										LR191										LR192										LR193										LR194										LR195										LR196										LR197										LR198										LR199										LR200										LR201										LR202										LR203										LR204										LR205										LR206										LR207										LR208										LR209										LR210										LR211										LR212										LR213										LR214										LR215										LR216										LR217										LR218										LR219										LR220										LR221										LR222										LR223										LR224										LR225										LR226										LR227										LR228										LR229										LR230										LR231										LR232										LR233										LR234										LR235										LR236										LR237										LR238										LR239										LR240										LR241										LR242										LR243										LR244										LR245										LR246										LR247										LR248										LR249										LR250										LR251										LR252										LR253										LR254										LR255										LR256										LR257										LR258										LR259										LR260										LR261										LR262										LR263										LR264										LR265										LR266										LR267										LR268										LR269										LR270										LR271										LR272										LR273										LR274										LR275										LR276										LR277										LR278										LR279										LR280										LR281										LR282										LR283										LR284										LR285										LR286										LR287										LR288										LR289										LR290										LR291										LR292										LR293										LR294										LR295										LR296										LR297										LR298										LR299										LR300										LR301										LR302										LR303										LR304										LR305										LR306										LR307										LR308										LR309										LR310										LR311										LR312										LR313										LR314										LR315										LR316										LR317										LR318										LR319										LR320										LR321										LR322										LR323										LR324										LR325										LR326										LR327										LR328										LR329										LR330										LR331										LR332										LR333										LR334										LR335										LR336										LR337										LR338										LR339										LR340										LR341										LR342										LR343										LR344										LR345										LR346										LR347										LR348										LR349										LR350										LR351										LR352										LR353										LR354										LR355										LR356										LR357										LR358										LR359										LR360										LR361										LR362										LR363										LR364										LR365										LR366										LR367										LR368										LR369										LR370										LR371										LR372										LR373										LR374										LR375										LR376										LR377										LR378										LR379										LR380										LR381										LR382										LR383										LR384										LR385										LR386										LR387										LR388										LR389										LR390										LR391										LR392										LR393										LR394										LR395										LR396										LR397										LR398										LR399										LR400										LR401										LR402										LR403										LR404										LR405										LR406										LR407										LR408										LR409										LR410										LR411										LR412										LR413										LR414										LR415										LR416										LR417										LR418										LR419										LR420										LR421										LR422										LR423										LR424										LR425										LR426										LR427										LR428										LR429										LR430										LR431										LR432										LR433										LR434										LR435										LR436										LR437										LR438										LR439										LR440										LR441										LR442										LR443										LR444										LR445										LR446										LR447										LR448										LR449										LR450										LR451										LR452										LR453										LR454										LR455										LR456										LR457										LR458										LR459										LR460										LR461										LR462										LR463										LR464										LR465										LR466										LR467										LR468										LR469										LR470										LR471										LR472										LR473										LR474										LR475										LR476										LR477										LR478										LR479										LR480										LR481										LR482										LR483										LR484										LR485										LR486										LR487										LR488										LR489										LR490										LR491										LR492										LR493										LR494										LR495										LR496										LR497										LR498										LR499										LR500										LR501										LR502										LR503										LR504										LR505										LR506										LR507										LR508										LR509										LR510										LR511										LR512										LR513										LR514										LR515										LR516										LR517										LR518										LR519										LR520										LR521										LR522										LR523										LR524										LR525										LR526										LR527										LR528										LR529										LR530										LR531										LR532										LR533										LR534										LR535										LR536										LR537										LR538										LR539										LR540										LR541										LR542										LR543										LR544										LR545										LR546										LR547										LR548										LR549										LR550										LR551										LR552										LR553										LR554										LR555										LR556										LR557										LR558										LR559										LR560										LR561										LR562										LR563										LR564										LR565										LR566										LR567										LR568										LR569										LR570										LR571										LR572										LR573										LR574										LR575										LR576										LR577										LR578										LR579										LR580										LR581										LR582										LR583										LR584										LR585										LR586										LR587										LR588										LR589										LR590										LR591										LR592										LR593										LR594										LR595										LR596										LR597										LR598										LR599										LR600										LR601										LR602										LR603										LR604										LR605										LR606										LR607										LR608										LR609										LR610										LR611										LR612										LR613										LR614										LR615										LR616										LR617										LR618										LR619										LR620										LR621										LR622										LR623										LR624										LR625										LR626										LR627										LR628										LR629										LR630										LR631										LR632										LR633										LR634										LR635										LR636										LR637										LR638										LR639										LR640										LR641										LR642										LR643										LR644										LR645										LR646										LR647										LR648										LR649										LR650										LR651										LR652										LR653										LR654										LR655										LR656										LR657										LR658										LR659										LR660										LR661										LR662										LR663										LR664										LR665										LR666										LR667										LR668										LR669										LR670										LR671										LR672										LR673										LR674										LR675										LR676										LR677										LR678										LR679										LR680										LR681										LR682										LR683										LR684										LR685										LR686										LR687										LR688										LR689										LR690										LR691										LR692										LR693										LR694										LR695										LR696										LR697										LR698										LR699										LR700										LR701										LR702										LR703										LR704										LR705										LR706										LR707										LR708										LR709										LR710										LR711										LR712										LR713										LR714										LR715										LR716										LR717										LR718										LR719										LR720										LR721										LR722										LR723										LR724										LR725										LR726										LR727										LR728										LR729										LR730										LR731										LR732										LR733										LR734										LR735										LR736										LR737										LR738										LR739										LR740										LR741										LR742										LR743										LR744										LR745										LR746										LR747										LR748										LR749										LR750										LR751										LR752										LR753										LR754										LR755										LR756										LR757										LR758										LR759										LR760										LR761										LR762										LR763										LR764										LR765										LR766										LR767										LR768										LR769										LR770										LR771										LR772										LR773										LR774										LR775										LR776										LR777										LR778										LR779										LR780										LR781										LR782										LR783										LR784										LR785										LR786										LR787										LR788										LR789										LR790										LR791										LR792										LR793										LR794										LR795										LR796										LR797										LR798										LR799										LR800										LR801										LR802										LR803										LR804										LR805										LR806										LR807										LR808										LR809										LR810										LR811										LR812										LR813										LR814										LR815										LR816										LR817										LR818										LR819										LR820										LR821										LR822										LR823										LR824										LR825										LR826										LR827										LR828										LR829										LR830										LR831										LR832										LR833										LR834										LR835										LR836										LR837										LR838										LR839										LR840										LR841										LR842										LR843										LR844										LR845										LR846										LR847										LR848										LR849										LR850										LR851										LR852										LR853										LR854										LR855										LR856										LR857										LR858										LR859										LR860										LR861										LR862										LR863										LR864										LR865										LR866										LR867										LR868										LR869										LR870										LR871										LR872										LR873										LR874										LR875										LR876										LR877										LR878										LR879										LR880										LR881										LR882										LR883										LR884										LR885										LR886										LR887										LR888										LR889										LR890										LR891										LR892										LR893										LR894										LR895										LR896										LR897										LR898										LR899										LR900										LR901										LR902										LR903										LR904										LR905										LR906										LR907										LR908										LR909										LR910										LR911										LR912										LR913										LR914										LR915										LR916										LR917										LR918										LR919										LR920										LR921										LR922										LR923										LR924										LR925										LR926										LR927										LR928										LR929										LR930										LR931										LR932										LR933										LR934										LR935										LR936										LR937										LR938										LR939										LR940										LR941										LR942										LR943										LR944										LR945										LR946										LR947										LR948										LR949										LR950										LR951										LR95									

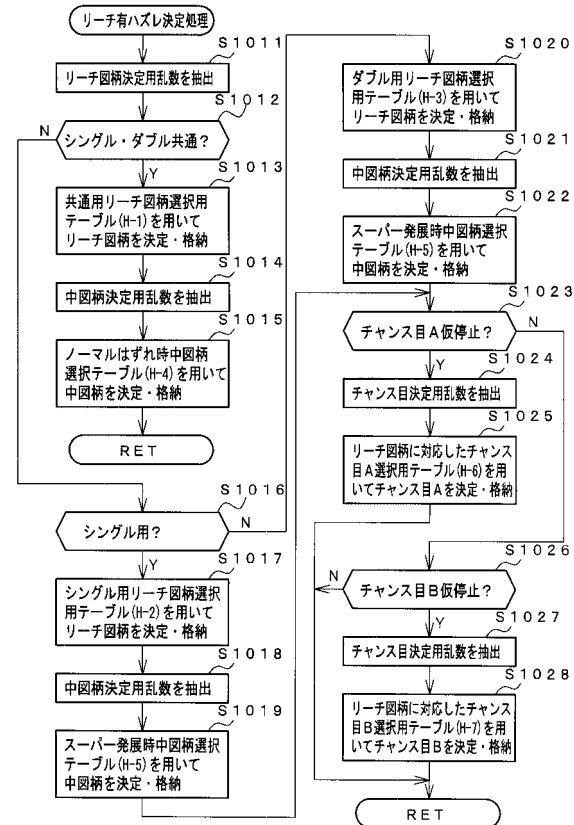
【図 5 2】

チャンス目禁則用テーブル

table T-4

		右															
		1	*	2	*	3	*	4	*	5	*	6	*	7	*	8	*
左	8	LR0	LR0	LR40	LR0	LR78	LR0	LR0	LR0	LR71	LR0	LR0	LR0	LR24	LR0	LR32	
	*	LR0	LR0	LR0	LR70	LR0	LR69	LR0	LR72	LR0	LR73	LR0	LR0	LR7	LR0	LR16	LR0
	7	LR39	LR0	LR0	LR0	LR66	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR23	LR0	LR31	LR0	LR0
	*	LR0	LR0	LR0	LR67	LR0	LR68	LR0	LR0	LR0	LR0	LR6	LR0	LR15	LR0	LR0	LR0
	6	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR22	LR0	LR30	LR0	LR0	LR38	LR0	LR0
	*	LR0	LR49	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR5	LR0	LR14	LR0	LR0	LR65	LR0	LR60
	5	LR46	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR21	LR0	LR29	LR0	LR0	LR37	LR0	LR61	LR0	LR0
	*	LR0	LR48	LR0	LR0	LR0	LR0	LR4	LR0	LR13	LR0	LR0	LR0	LR0	LR62	LR0	LR47
	4	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR20	LR0	LR28	LR0	LR0	LR36	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0
	*	LR0	LR0	LR0	LR0	LR3	LR0	LR12	LR0	LR0	LR0	LR0	LR60	LR0	LR55	LR0	LR54
	3	LR0	LR0	LR0	LR19	LR0	LR27	LR0	LR0	LR35	LR0	LR0	LR56	LR0	LR51	LR0	LR0
	*	LR0	LR0	LR2	LR0	LR11	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR57	LR0	LR52	LR0	LR53	LR0
	2	LR0	LR18	LR0	LR26	LR0	LR0	LR34	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0
	*	LR1	LR0	LR10	LR0	LR0	LR0	LR45	LR0	LR44	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR17
	1	LR0	LR25	LR0	LR0	LR33	LR0	LR0	LR41	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR0	LR1
	*	LR9	LR0	LR0	LR80	LR0	LR79	LR0	LR42	LR0	LR43	LR0	LR0	LR0	LR0	LR8	LR0

【図 5 3】



【図 5 4】

共通用リーチ図柄選択用テーブル

table H-1

1UH	2UH	3UH	4UH	5UH	6UH	7UH	8UH	1LH	2LH	3LH	4LH	5LH	6LH	7LH	8LH
2	5	2	6	3	6	2	3	3	6	2	5	2	6	2	3
1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH	7CH	8CH	1WH	2WH	3WH	4WH	5WH	6WH	7WH	8WH
3	6	2	6	3	5	2	2	6	6	6	6	5	5	3	3

max 127

【図 5 7】

		リーチ図柄に決する図柄値															
		max 113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113
ノーマルはずれ時中国柄選択テーブル	ノーマル8コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル12コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル15コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル17コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル18コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル19コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル20コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル21コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル22コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル23コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル24コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル25コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル26コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル27コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル28コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	ノーマル29コマ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

table H-4

【図 5 5】

シングル用リーチ図柄選択用テーブル

table H-2

1UH	2UH	3UH	4UH	5UH	6UH	7UH	8UH	1LH	2LH	3LH	4LH	5LH	6LH	7LH	8LH
4	8	3	8	4	8	4	4	4	8	3	8	4	8	3	4
1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH	7CH	8CH	1WH	2WH	3WH	4WH	5WH	6WH	7WH	8WH
4	8	3	8	4	8	3	4	19	19	19	18	18	18	8	8

max 127

【図 5 6】

ダブル用リーチ図柄選択用テーブル

table H-3

1UH	2UH	3UH	4UH	5UH	6UH	7UH	8UH	1LH	2LH	3LH	4LH	5LH	6LH	7LH	8LH
4	8	3	8	4	8	4	4	4	8	3	8	4	8	3	4
1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH	7CH	8CH	1WH	2WH	3WH	4WH	5WH	6WH	7WH	8WH
4	8	3	8	4	8	3	4	19	19	19	18	18	18	8	8

max 127

【図 58】

スーパー発展時中国柄選択テーブル

table H-5

		リーチ図柄に対する図柄差																	
s	w	-14	-13	-12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	+	max	113
		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		

【図 60】

チャンス目B選択テーブル(リーチ用)

table H-7

1W時選択時

1C	2C	3C	4C	5C	6C	7C	8C	9C	10C	11C	12C	13C	14C	15C	16C	17C	18C	19C	20C	21C	22C	23C	24C
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25C	26C	27C	28C	29C	30C	31C	32C	33C	34C	35C	36C	37C	38C	39C	40C	41C	42C	43C	44C	45C	46C	47C	48C
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49C	50C	51C	52C	53C	54C	55C	56C	57C	58C	59C	60C	61C	62C	63C	64C	65C	66C	67C	68C	69C	70C	71C	72C
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9

2W時選択時

1C	2C	3C	4C	5C	6C	7C	8C	9C	10C	11C	12C	13C	14C	15C	16C	17C	18C	19C	20C	21C	22C	23C	24C
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25C	26C	27C	28C	29C	30C	31C	32C	33C	34C	35C	36C	37C	38C	39C	40C	41C	42C	43C	44C	45C	46C	47C	48C
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49C	50C	51C	52C	53C	54C	55C	56C	57C	58C	59C	60C	61C	62C	63C	64C	65C	66C	67C	68C	69C	70C	71C	72C
10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【図 59】

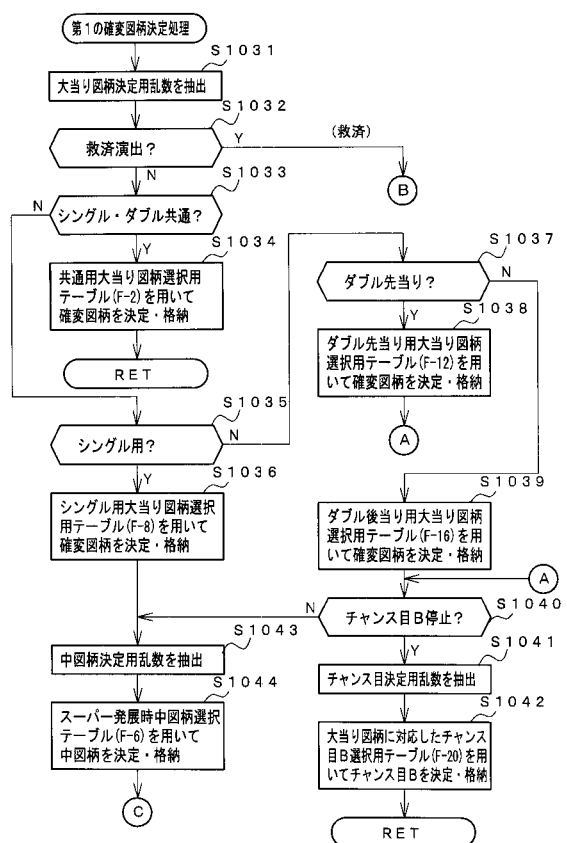
チャンス目A選択用テーブル(リーチ用)

table H-6

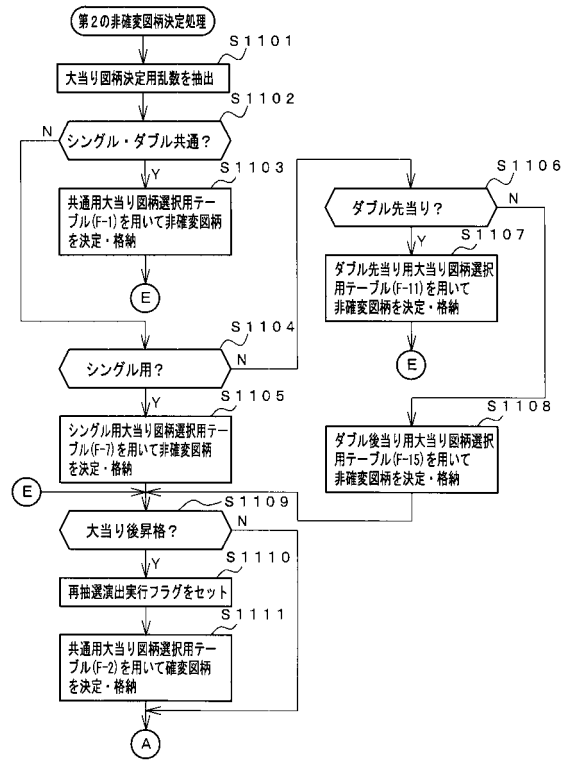
1U時、10H、1LH選択時

1U	2C	3C	4C	5C	6C	7C	8C	9C	10C	11C	12C	13C	14C	15C	16C	17C	18C	19C	20C	21C	22C	23C	24C
17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25C	26C	27C	28C	29C	30C	31C	32C	33C	34C	35C	36C	37C	38C	39C	40C	41C	42C	43C	44C	45C	46C	47C	48C
16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49C	50C	51C	52C	53C	54C	55C	56C	57C	58C	59C	60C	61C	62C	63C	64C	65C	66C	67C	68C	69C	70C	71C	72C
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

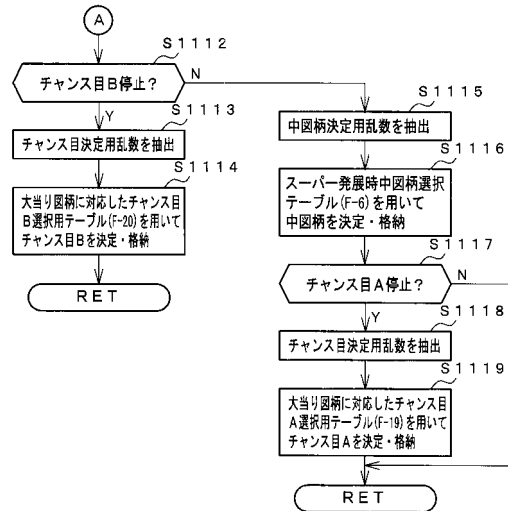
【図 61】



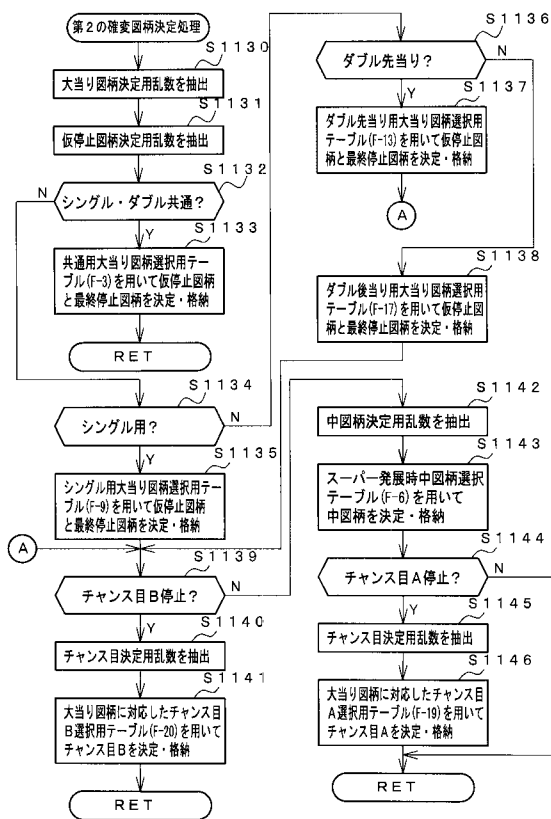
【図 67】



【図 68】



【図 69】



【図 70】

共通用大当り図柄選択用テーブル(通常大当り、確定大当り、大当り中時特、確定大当り(エンディング特))

Table F-1		max															
		1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	11F	12F	13F	14F	15F	
1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	1UF	
2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	2UF	
3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	3UF	
4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	4UF	
5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	5UF	
6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	6UF	
7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	7UF	
8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	8UF	
9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	9UF	
10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	10UF	
11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	11UF	
12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	12UF	
13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	13UF	
14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	14UF	
15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	15UF	
16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	16UF	
17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	17UF	
18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	18UF	
19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	19UF	
20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	20UF	
21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	21UF	
22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	22UF	
23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	23UF	
24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	24UF	
25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	25UF	
26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	26UF	
27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	27UF	
28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	28UF	
29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	29UF	
30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	30UF	
31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	31UF	
32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	32UF	
33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	33UF	
34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	34UF	
35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	35UF	
36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	36UF	
37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	37UF	
38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	38UF	
39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	39UF	
40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	40UF	
41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	41UF	
42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	42UF	
43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	43UF	
44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	44UF	
45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	45UF	
46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	46UF	
47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	47UF	
48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	48UF	
49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	49UF	
50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	50UF	
51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	51UF	
52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	52UF	
53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	53UF	
54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	54UF	
55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	55UF	
56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	56UF	
57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	57UF	
58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	58UF	
59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	59UF	
60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	60UF	
61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	61UF	
62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	62UF	
63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	63UF	
64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	64UF	
65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	65UF	
66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	66UF	
67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	67UF	
68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	68UF	
69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	69UF	
70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	70UF	
71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	71UF	
72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	72UF	
73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	73UF	
74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	74UF	
75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	75UF	
76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	76UF	
77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	77UF	
78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	78UF	
79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	79UF	
80UF	80UF	80UF	80UF	80UF	80UF	80UF	80UF	80UF	80UF	80UF	80UF	80UF	80UF				

【図 7 5】

スーパー発展時中図柄選択テーブル

table F-6

		リ一子図形に対する図柄差																
		-14	-13	-12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	
スーパ一榮國時中國柄	s	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	
スーパ一榮國時中國柄	w	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	

max
113
113
113

【图 7 6】

シングル用大当り図柄選採用テーブル(通常大当り、確変大当り(大当り中昇格)、確変大当り(エンディング昇格))

table F-7

[illegible]

【图 7-7】

シングル用大当り図柄選択用テーブル(確変直当り)

table F-8

[illegible]

【图 7 8】

シングル用大当り図柄選択用テーブル(再抽選昇格)

table F-9 最終停止図柄テーブル

Figure 1 consists of three sub-diagrams, (a), (b), and (c), each showing a grid of nodes (rows and columns) with shaded cells indicating the maximum number of nodes. The grid size is 10 rows by 10 columns. The shaded cells are arranged in a pattern that suggests a maximum value of 89 for the first 8 rows and 131 for the last 2 rows. The maximum value is indicated by 'max' and '89' or '131' at the bottom of the grid.

(a) 仮停止回線テーブル (Temporary Stop Line Table): The grid shows a maximum value of 89 for the first 8 rows and 131 for the last 2 rows. The maximum value is indicated by 'max' and '89' at the bottom.

(b) 最終停止回線テーブル (Final Stop Line Table): The grid shows a maximum value of 89 for the first 8 rows and 131 for the last 2 rows. The maximum value is indicated by 'max' and '89' at the bottom.

(c) 仮停止回線テーブル (Temporary Stop Line Table): The grid shows a maximum value of 89 for the first 8 rows and 131 for the last 2 rows. The maximum value is indicated by 'max' and '89' at the bottom.

【図 7 9】

シングル用大当り図柄選択用テーブル(教済)

table F-10 最終停止図解テーブル

1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1LF	2LF	3LF	4LF	5LF	6LF	7LF	8LF	1CF	2CF	3CF	4CF	5CF	6CF	7CF	8CF
9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8
↑																							
仮停止図解テーブル																							
※	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	※	2LF	3LF	4LF	5LF	6LF	7LF	8LF	※	2CF	3CF	4CF	5CF	6CF	7CF	8CF
44	15	9	9	15	9	9	9	44	15	9	9	15	9	9	9	44	15	9	9	15	9	9	9
↑																							
仮停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9								
↑																							
最終停止図解テーブル																							
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
9	9																						

【図 8 1】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル(確変直当り)

[illegible]

【図 80】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル(通常大当り、確率大当り(大当り中昇格)、確率大当り(エンディング昇格))

1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	11F	21F	31F	41F	51F	61F	71F	81F	1CF	2CF	3CF	4CF	5CF	6CF	7CF	8CF
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15F	25F	35F	45F	55F	65F	75F	85F	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF	max							
0	44	44	44	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	131							
																131							

【图 8 2】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル(再抽選昇格)

table F-13 最終停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	30	0	29	0	30	0	29	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
26	26	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
3	29	0	30	0	30	0	0	30	0	29	0	30	0	29	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
26	26	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
3	29	0	30	0	30	0	0	30	0	29	0	30	0	29	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
26	26	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
3	29	0	30	0	30	0	0	30	0	29	0	30	0	29	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
26	26	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
3	29	0	30	0	30	0	0	30	0	29	0	30	0	29	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
26	26	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
3	29	0	30	0	30	0	0	30	0	29	0	30	0	29	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
26	26	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
3	29	0	30	0	30	0	0	30	0	29	0	30	0	29	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
26	26	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
3	29	0	30	0	30	0	0	30	0	29	0	30	0	29	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F
0	29	0	30	0	30	0	0	0	30	0	29	0	30	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
26	26	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
仮停止図柄テーブル															
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF
3	29	0	30	0	30	0	0	30	0	29	0	30	0	29	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
↑															
最終停止図柄テーブル															
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF										

【図 8 5】

ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル(通常直当り)

table F-16																							
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	11F	21F	31F	41F	51F	61F	71F	81F	10F	20F	30F	40F	50F	60F	70F	80F
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	27						

【図 8 3】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル(兼済)

table F-14																							
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	11F	21F	31F	41F	51F	61F	71F	81F	10F	20F	30F	40F	50F	60F	70F	80F
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

最終停止図柄テーブル ※部分が選択された場合は仮停止、確定時刻に同一の確定図柄をセットする

1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
26	0	26	26	26	27	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	131	131						

【図 8 6】

ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル(再抽選昇格)

table F-17																							
1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	11F	21F	31F	41F	51F	61F	71F	81F	10F	20F	30F	40F	50F	60F	70F	80F
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

最終停止図柄テーブル

1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	27	131	131				

【図 8 4】

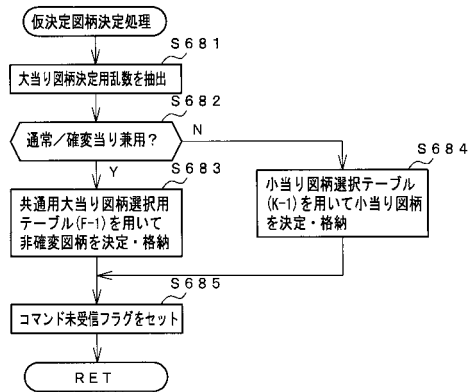
ダブル後当り用大当り図柄選択用テーブル(通常大当り、確定大当り(大当り中昇格)、確定大当り(エンディング昇格))

1UF	2UF	3UF	4UF	5UF	6UF	7UF	8UF	11F	21F	31F	41F	51F	61F	71F	81F	10F	20F	30F	40F	50F	60F	70F	80F
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

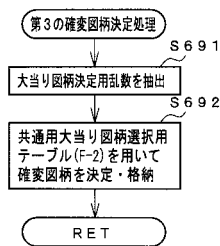
最終停止図柄テーブル

1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF								
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	27	131	131				

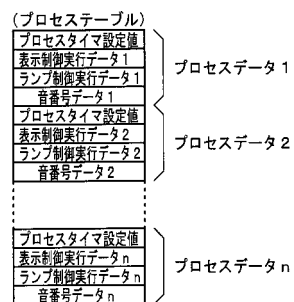
【図 9 2】



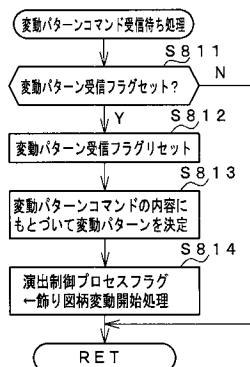
【図 9 3】



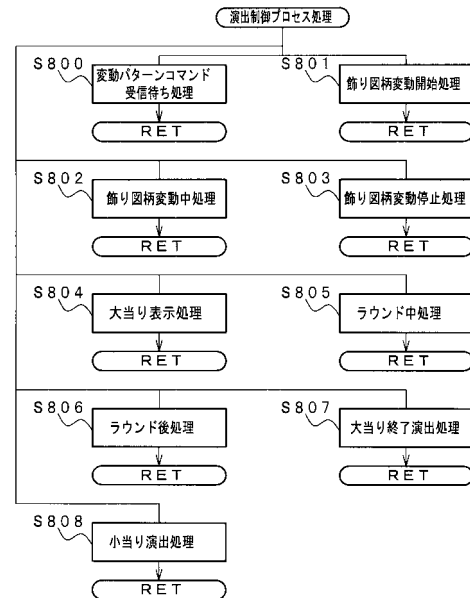
【図 9 5】



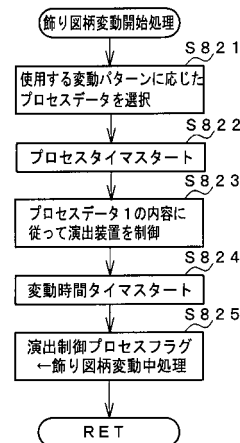
【図 9 6】



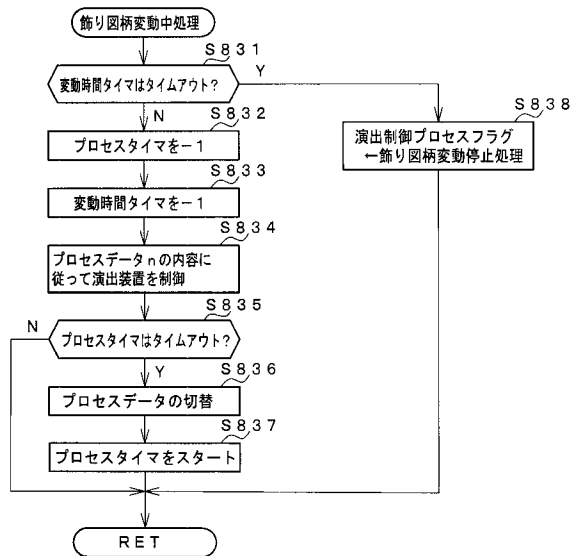
【図 9 4】



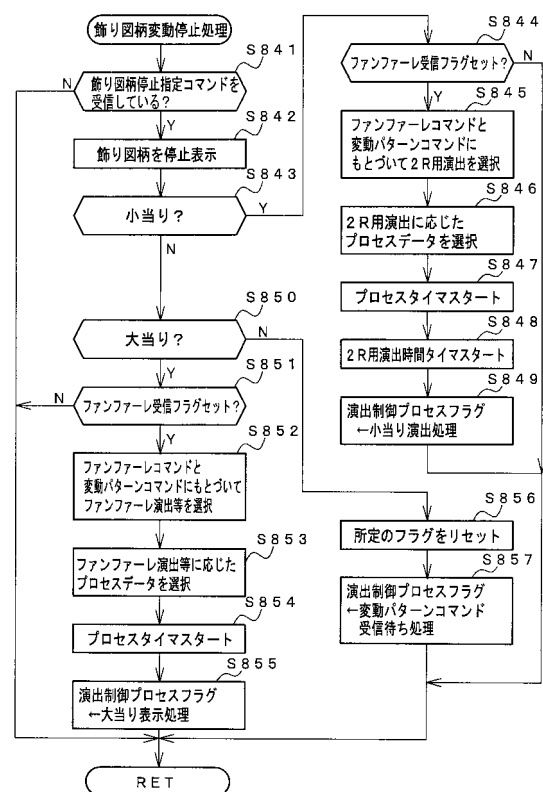
【図 9 7】



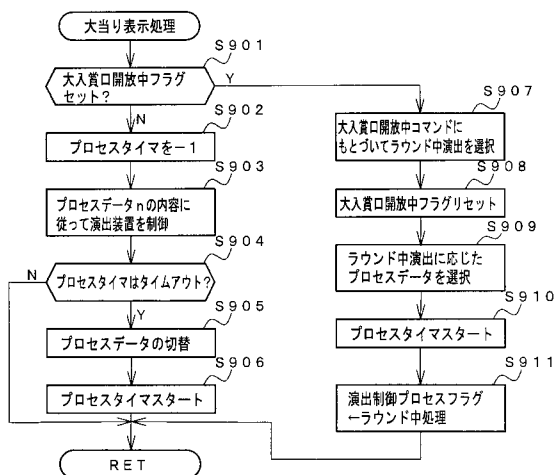
【図 98】



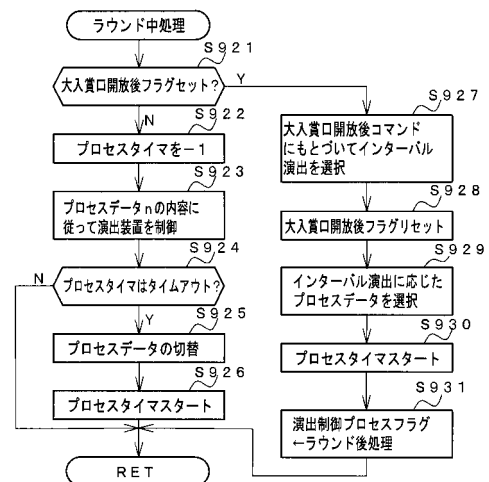
【図 99】



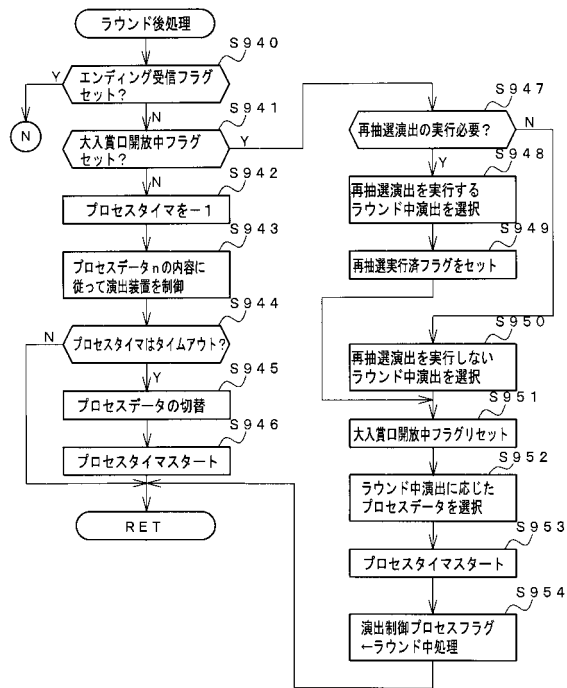
【図 100】



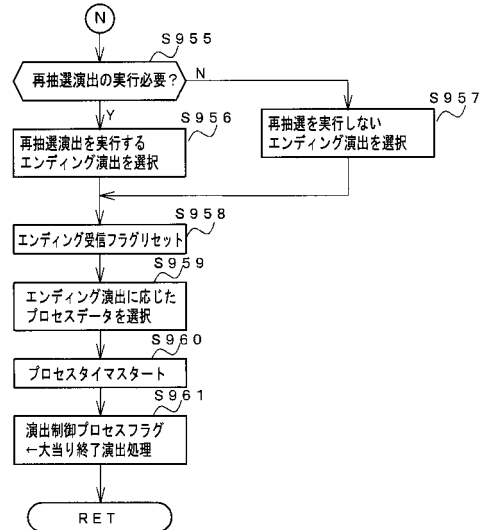
【図 101】



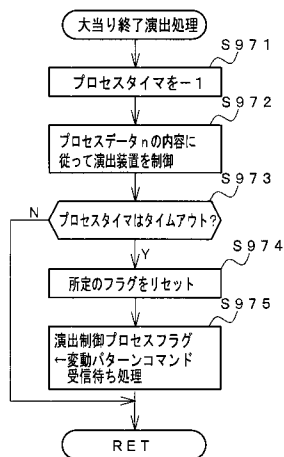
【図 102】



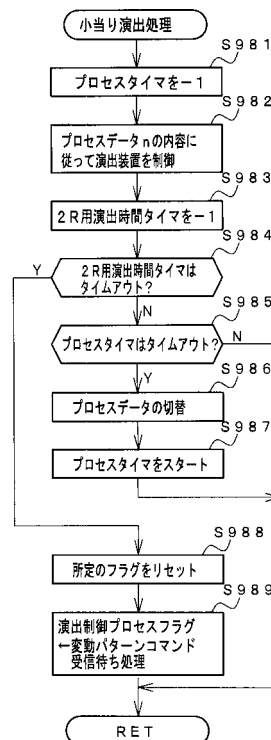
【図 103】



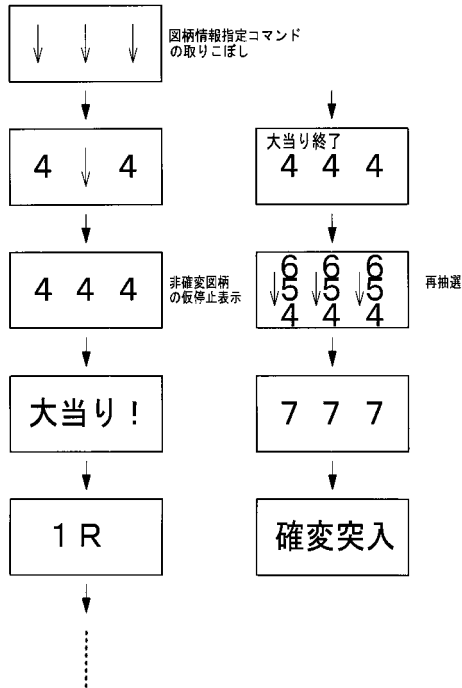
【図 104】



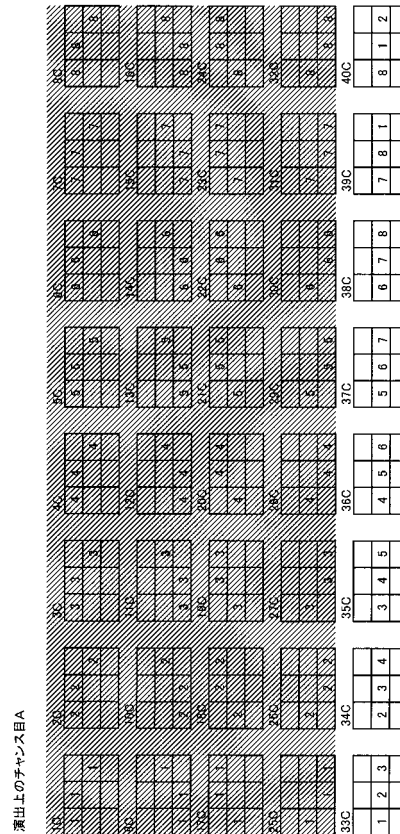
【図 105】



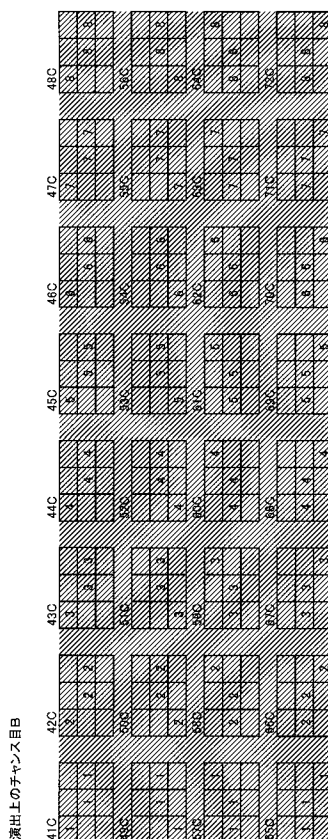
【図 106】



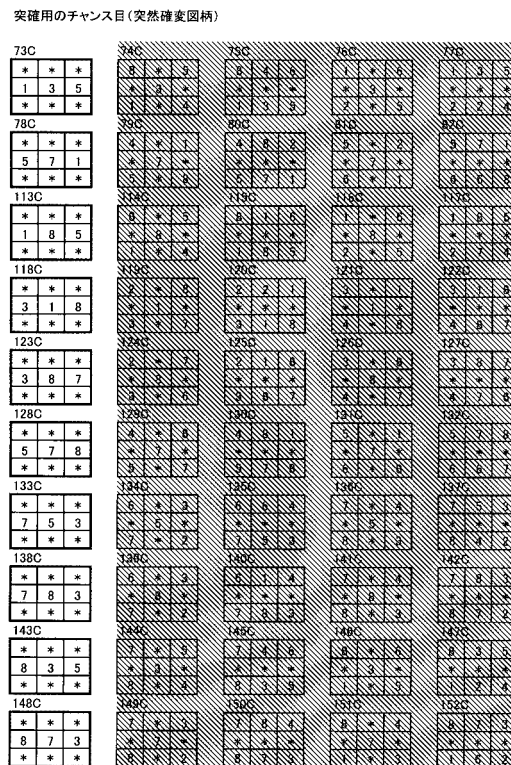
【図 107】



【図 108】



【図 109】



【図 1 1 0】

小当り用のチャンス目(小当り図柄)

83C	84C	85C	86C	87C
5 3 1	4 5 1	4 5 2	4 5 3	5 3 1
5 3 1	4 5 1	4 5 2	4 5 3	5 3 1
5 3 1	4 5 1	4 5 2	4 5 3	5 3 1
88C	89C	90C	91C	92C
1 7 5	8 9 6	8 9 6	8 9 6	1 7 5
1 7 5	8 9 6	8 9 6	8 9 6	1 7 5
1 7 5	8 9 6	8 9 6	8 9 6	1 7 5
153C	154C	155C	156C	157C
3 1 7	2 3 4	2 3 4	2 3 4	3 1 7
3 1 7	2 3 4	2 3 4	2 3 4	3 1 7
3 1 7	2 3 4	2 3 4	2 3 4	3 1 7
158C	159C	160C	161C	162C
3 5 7	2 3 4	2 3 4	2 3 4	3 5 7
3 5 7	2 3 4	2 3 4	2 3 4	3 5 7
3 5 7	2 3 4	2 3 4	2 3 4	3 5 7
163C	164C	165C	166C	167C
3 7 8	2 3 4	2 3 4	2 3 4	3 7 8
3 7 8	2 3 4	2 3 4	2 3 4	3 7 8
3 7 8	2 3 4	2 3 4	2 3 4	3 7 8
168C	169C	170C	171C	172C
5 1 8	4 5 6	4 5 6	4 5 6	5 1 8
5 1 8	4 5 6	4 5 6	4 5 6	5 1 8
5 1 8	4 5 6	4 5 6	4 5 6	5 1 8
173C	174C	175C	176C	177C
7 1 3	6 7 8	6 7 8	6 7 8	7 1 3
7 1 3	6 7 8	6 7 8	6 7 8	7 1 3
7 1 3	6 7 8	6 7 8	6 7 8	7 1 3
178C	179C	180C	181C	182C
8 1 5	7 8 9	7 8 9	7 8 9	8 1 5
8 1 5	7 8 9	7 8 9	7 8 9	8 1 5
8 1 5	7 8 9	7 8 9	7 8 9	8 1 5
183C	184C	185C	186C	187C
8 5 3	7 8 9	7 8 9	7 8 9	8 5 3
8 5 3	7 8 9	7 8 9	7 8 9	8 5 3
8 5 3	7 8 9	7 8 9	7 8 9	8 5 3
188C	189C	190C	191C	192C
8 7 5	7 8 9	7 8 9	7 8 9	8 7 5
8 7 5	7 8 9	7 8 9	7 8 9	8 7 5
8 7 5	7 8 9	7 8 9	7 8 9	8 7 5

【図 1 1 1】

左図柄選択用テーブル

table BT-1

8	*	7	*	6	*	5	*	4	*	3	*	2	*	1	*
9	0	9	0	9	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0

max
87 87

【図 1 1 2】

右図柄選択用テーブル

table BT-2

BT-2															
	1	*	2	*	3	*	4	*	5	*	6	*	7	*	8
8	14	0	14	0	15	0	15	0	15	0	15	0	15	0	0
*	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
7	15	0	15	0	15	0	15	0	15	0	14	0	0	0	14
*	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
6	15	0	15	0	15	0	15	0	14	0	0	0	14	0	15
*	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
5	15	0	15	0	14	0	14	0	0	0	15	0	15	0	15
*	8	8	8	8	8	7	0	8	0	8	0	8	0	8	8
4	14	0	14	0	15	0	0	15	0	15	0	15	0	15	0
*	8	8	7	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8
3	15	0	15	0	0	0	15	0	15	0	15	0	14	0	14
*	7	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8
2	15	0	0	0	15	0	15	0	14	0	14	0	15	0	15
*	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8
1	0	0	15	0	14	0	14	0	15	0	15	0	15	0	15
*	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8

max
103 103

【図 1 1 3】

LR41	LR42	LR43	LR44	LR45
1 5	8 9	8 9	8 9	1 5
1 5	8 9	8 9	8 9	1 5
1 5	8 9	8 9	8 9	1 5
LR46	LR47	LR48	LR49	LR50
5 1	4 5	4 5	4 5	5 1
5 1	4 5	4 5	4 5	5 1
5 1	4 5	4 5	4 5	5 1
LR51	LR52	LR53	LR54	LR55
3 8	2 3	2 3	2 3	3 8
3 8	2 3	2 3	2 3	3 8
3 8	2 3	2 3	2 3	3 8
LR56	LR57	LR58	LR59	LR60
3 7	2 3	2 3	2 3	3 7
3 7	2 3	2 3	2 3	3 7
3 7	2 3	2 3	2 3	3 7
LR61	LR62	LR63	LR64	LR65
5 8	4 5	4 5	4 5	5 8
5 8	4 5	4 5	4 5	5 8
5 8	4 5	4 5	4 5	5 8
LR66	LR67	LR68	LR69	LR70
7 3	6 7	6 7	6 7	7 3
7 3	6 7	6 7	6 7	7 3
7 3	6 7	6 7	6 7	7 3
LR71	LR72	LR73	LR74	LR75
8 5	7 8	7 8	7 8	8 5
8 5	7 8	7 8	7 8	8 5
8 5	7 8	7 8	7 8	8 5
LR76	LR77	LR78	LR79	LR80
8 3	7 8	7 8	7 8	8 3
8 3	7 8	7 8	7 8	8 3
8 3	7 8	7 8	7 8	8 3
LR81	LR82	LR83	LR84	LR85
8 2	7 8	7 8	7 8	8 2
8 2	7 8	7 8	7 8	8 2
8 2	7 8	7 8	7 8	8 2
LR86	LR87	LR88	LR89	LR90
8 1	7 8	7 8	7 8	8 1
8 1	7 8	7 8	7 8	8 1
8 1	7 8	7 8	7 8	8 1
LR91	LR92	LR93	LR94	LR95
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
LR96	LR97	LR98	LR99	LR100
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0

【図 1 1 4】

LR41	LR42	LR43	LR44	LR45
1 5	8 9	8 9	8 9	1 5
1 5	8 9	8 9	8 9	1 5
1 5	8 9	8 9	8 9	1 5
LR46	LR47	LR48	LR49	LR50
5 1	4 5	4 5	4 5	5 1
5 1	4 5	4 5	4 5	5 1
5 1	4 5	4 5	4 5	5 1
LR51	LR52	LR53	LR54	LR55
3 8	2 3	2 3	2 3	3 8
3 8	2 3	2 3	2 3	3 8
3 8	2 3	2 3	2 3	3 8
LR56	LR57	LR58	LR59	LR60
3 7	2 3	2 3	2 3	3 7
3 7	2 3	2 3	2 3	3 7
3 7	2 3	2 3	2 3	3 7
LR61	LR62	LR63	LR64	LR65
5 8	4 5	4 5	4 5	5 8
5 8	4 5	4 5	4 5	5 8
5 8	4 5	4 5	4 5	5 8
LR66	LR67	LR68	LR69	LR70
7 3	6 7	6 7	6 7	7 3
7 3	6 7	6 7	6 7	7 3
7 3	6 7	6 7	6 7	7 3
LR71	LR72	LR73	LR74	LR75
8 5	7 8	7 8	7 8	8 5
8 5	7 8	7 8	7 8	8 5
8 5	7 8	7 8	7 8	8 5
LR76	LR77	LR78	LR79	LR80
8 3	7 8	7 8	7 8	8 3
8 3	7 8	7 8	7 8	8 3
8 3	7 8	7 8	7 8	8 3
LR81	LR82	LR83	LR84	LR85
8 2	7 8	7 8	7 8	8 2
8 2	7 8	7 8	7 8	8 2
8 2	7 8	7 8	7 8	8 2
LR86	LR87	LR88	LR89	LR90
8 1	7 8	7 8	7 8	8 1
8 1	7 8	7 8	7 8	8 1
8 1	7 8	7 8	7 8	8 1
LR91	LR92	LR93	LR94	LR95
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
LR96	LR97	LR98	LR99	LR100
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0
8 0	7 8	7 8	7 8	8 0

【図 1 1 5】

通常変動中国納選択用テーブル(チャンス目禁止)

[illegible]

【例 1 1 6】

[illegible]

【図 1 1 7】

チャンス目禁則用テーブル

		石															
		1	*	2	*	3	*	4	*	5	*	6	*	7	*	8	*
8	*			LP40		LR76				LR71					LR24		LR3
*						LR70		LR69		LR72		LR73			LR7		LR16
7	*	LP39					LR66							LR23		LR31	
*						LR67		LR68					LR6		LR15		
6	*											LR22		LR30			LR38
*			LR49								LR5		LR14			LR65	LR50
5	*	LR46								LR21		LR29			LR37		LR61
*			LR48						LR4	LR13					LR2	LR62	LR4
4	*						LR20		LR28			LR36					
*						LR3		LR12					LR60		LR55		LR54
3	*					LR19		LR27			LR35				LR58		LR51
*				LR2		LR11							LR57		LR52		LR53
2	*		LR18			LR26			LR34								
*		LR1		LR10					LR45		LR44						
1	*		LR25			LR33				LR41							LR17
*		LR9				LR80		LR79		LR42		LR43					LR8

【图 1 1 8】

[illegible]

【図 1 1 9】

共通用リーチ図柄選択用テーブル

table BH-1

1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH	7CH	8CH	1WH	2WH	3WH	4WH	5WH	6WH	7WH	8WH
13	25	13	25	13	13	12	13	0	0	0	0	0	0	0	0

max
127 127

【図 1 2 0】

シングル用リーチ図柄選択用テーブル

table BH-2

1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH	7CH	8CH	1WH	2WH	3WH	4WH	5WH	6WH	7WH	8WH
13	25	13	25	13	13	12	13	0	0	0	0	0	0	0	0

max
127 127

【図 1 2 1】

ダブル用リーチ図柄選択用テーブル

table BH-3

1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH	7CH	8CH	1WH	2WH	3WH	4WH	5WH	6WH	7WH	8WH
0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	19	19	19	10	10	10

max
127 127

【図 1 2 2】

ノーマールはズレ時中国柄選択テーブル

table BH-4

	-14	-13	-12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1
ノーマール8コマ	s	9	0	19	0	19	0	19	0	19	0	19	0	19	0	0
ノーマール12コマ	w	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
ノーマール15コマ	s	9	0	19	0	19	0	19	0	19	0	19	0	19	0	0
ノーマール17コマ	w	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

【図 1 2 3】

スーパー発展時中国柄選択テーブル

table BH-5

	-14	-13	-12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1
スーパー発展時中国柄	s	17	0	16	0	16	0	16	0	16	0	16	0	16	0	0
w	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

max
113 113

【図 1 2 4】

チャンス目入選択用テーブル(リーチ用)

table BH-6

1UH	1CH	1LH	選択時
13C	25C	37C	49C
27C	39C	51C	63C
75C	87C	99C	111C
123C	135C	147C	159C
171C	183C	195C	207C
219C	231C	243C	255C
279C	291C	303C	315C
339C	351C	363C	375C
405C	417C	429C	441C
471C	483C	495C	507C
537C	549C	561C	573C
603C	615C	627C	639C
675C	687C	699C	711C
759C	771C	783C	795C
831C	843C	855C	867C
897C	909C	921C	933C
975C	987C	999C	1011C

max
83 83

1WH選択時

13C	25C	37C	49C	61C	73C	85C	97C	109C	121C	133C	145C	157C	169C	181C	193C	205C
217C	229C	241C	253C	265C	277C	289C	301C	313C	325C	337C	349C	361C	373C	385C	397C	409C
421C	433C	445C	457C	469C	481C	493C	505C	517C	529C	541C	553C	565C	577C	589C	601C	613C
625C	637C	649C	661C	673C	685C	697C	709C	721C	733C	745C	757C	769C	781C	793C	805C	817C
829C	841C	853C	865C	877C	889C	901C	913C	925C	937C	949C	961C	973C	985C	997C	1009C	1021C

max
83 83

【図 1 2 5】

チャンス目B選択用テーブル(リーチ用)

table BH-7									
1WH選択時									
1B	2B	3B	4B	5B	6B	7B	8B	9B	10B
1C	2C	3C	4C	5C	6C	7C	8C	9C	10C
1D	2D	3D	4D	5D	6D	7D	8D	9D	10D
1E	2E	3E	4E	5E	6E	7E	8E	9E	10E
1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F
1G	2G	3G	4G	5G	6G	7G	8G	9G	10G
1H	2H	3H	4H	5H	6H	7H	8H	9H	10H
1I	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	10I
1J	2J	3J	4J	5J	6J	7J	8J	9J	10J
1K	2K	3K	4K	5K	6K	7K	8K	9K	10K
1L	2L	3L	4L	5L	6L	7L	8L	9L	10L
1M	2M	3M	4M	5M	6M	7M	8M	9M	10M
1N	2N	3N	4N	5N	6N	7N	8N	9N	10N
1O	2O	3O	4O	5O	6O	7O	8O	9O	10O
1P	2P	3P	4P	5P	6P	7P	8P	9P	10P
1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q	9Q	10Q
1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R
1S	2S	3S	4S	5S	6S	7S	8S	9S	10S
1T	2T	3T	4T	5T	6T	7T	8T	9T	10T
1U	2U	3U	4U	5U	6U	7U	8U	9U	10U
1V	2V	3V	4V	5V	6V	7V	8V	9V	10V
1W	2W	3W	4W	5W	6W	7W	8W	9W	10W
1X	2X	3X	4X	5X	6X	7X	8X	9X	10X
1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10Y
1Z	2Z	3Z	4Z	5Z	6Z	7Z	8Z	9Z	10Z
1AA	2AA	3AA	4AA	5AA	6AA	7AA	8AA	9AA	10AA
1AB	2AB	3AB	4AB	5AB	6AB	7AB	8AB	9AB	10AB
1AC	2AC	3AC	4AC	5AC	6AC	7AC	8AC	9AC	10AC
1AD	2AD	3AD	4AD	5AD	6AD	7AD	8AD	9AD	10AD
1AE	2AE	3AE	4AE	5AE	6AE	7AE	8AE	9AE	10AE
1AF	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF	9AF	10AF
1AG	2AG	3AG	4AG	5AG	6AG	7AG	8AG	9AG	10AG
1AH	2AH	3AH	4AH	5AH	6AH	7AH	8AH	9AH	10AH
1AI	2AI	3AI	4AI	5AI	6AI	7AI	8AI	9AI	10AI
1AJ	2AJ	3AJ	4AJ	5AJ	6AJ	7AJ	8AJ	9AJ	10AJ
1AK	2AK	3AK	4AK	5AK	6AK	7AK	8AK	9AK	10AK
1AL	2AL	3AL	4AL	5AL	6AL	7AL	8AL	9AL	10AL
1AM	2AM	3AM	4AM	5AM	6AM	7AM	8AM	9AM	10AM
1AN	2AN	3AN	4AN	5AN	6AN	7AN	8AN	9AN	10AN
1AO	2AO	3AO	4AO	5AO	6AO	7AO	8AO	9AO	10AO
1AP	2AP	3AP	4AP	5AP	6AP	7AP	8AP	9AP	10AP
1AQ	2AQ	3AQ	4AQ	5AQ	6AQ	7AQ	8AQ	9AQ	10AQ
1AR	2AR	3AR	4AR	5AR	6AR	7AR	8AR	9AR	10AR
1AS	2AS	3AS	4AS	5AS	6AS	7AS	8AS	9AS	10AS
1AT	2AT	3AT	4AT	5AT	6AT	7AT	8AT	9AT	10AT
1AU	2AU	3AU	4AU	5AU	6AU	7AU	8AU	9AU	10AU
1AV	2AV	3AV	4AV	5AV	6AV	7AV	8AV	9AV	10AV
1AW	2AW	3AW	4AW	5AW	6AW	7AW	8AW	9AW	10AW
1AX	2AX	3AX	4AX	5AX	6AX	7AX	8AX	9AX	10AX
1AY	2AY	3AY	4AY	5AY	6AY	7AY	8AY	9AY	10AY
1AZ	2AZ	3AZ	4AZ	5AZ	6AZ	7AZ	8AZ	9AZ	10AZ
1BA	2BA	3BA	4BA	5BA	6BA	7BA	8BA	9BA	10BA
1BB	2BB	3BB	4BB	5BB	6BB	7BB	8BB	9BB	10BB
1BC	2BC	3BC	4BC	5BC	6BC	7BC	8BC	9BC	10BC
1BD	2BD	3BD	4BD	5BD	6BD	7BD	8BD	9BD	10BD
1BE	2BE	3BE	4BE	5BE	6BE	7BE	8BE	9BE	10BE
1BF	2BF	3BF	4BF	5BF	6BF	7BF	8BF	9BF	10BF
1BG	2BG	3BG	4BG	5BG	6BG	7BG	8BG	9BG	10BG
1BH	2BH	3BH	4BH	5BH	6BH	7BH	8BH	9BH	10BH
1BI	2BI	3BI	4BI	5BI	6BI	7BI	8BI	9BI	10BI
1BJ	2BJ	3BJ	4BJ	5BJ	6BJ	7BJ	8BJ	9BJ	10BJ
1BK	2BK	3BK	4BK	5BK	6BK	7BK	8BK	9BK	10BK
1BL	2BL	3BL	4BL	5BL	6BL	7BL	8BL	9BL	10BL
1BM	2BM	3BM	4BM	5BM	6BM	7BM	8BM	9BM	10BM
1BN	2BN	3BN	4BN	5BN	6BN	7BN	8BN	9BN	10BN
1BO	2BO	3BO	4BO	5BO	6BO	7BO	8BO	9BO	10BO
1BP	2BP	3BP	4BP	5BP	6BP	7BP	8BP	9BP	10BP
1BQ	2BQ	3BQ	4BQ	5BQ	6BQ	7BQ	8BQ	9BQ	10BQ
1BR	2BR	3BR	4BR	5BR	6BR	7BR	8BR	9BR	10BR
1BS	2BS	3BS	4BS	5BS	6BS	7BS	8BS	9BS	10BS
1BT	2BT	3BT	4BT	5BT	6BT	7BT	8BT	9BT	10BT
1BU	2BU	3BU	4BU	5BU	6BU	7BU	8BU	9BU	10BU
1BV	2BV	3BV	4BV	5BV	6BV	7BV	8BV	9BV	10BV
1BW	2BW	3BW	4BW	5BW	6BW	7BW	8BW	9BW	10BW
1BX	2BX	3BX	4BX	5BX	6BX	7BX	8BX	9BX	10BX
1BY	2BY	3BY	4BY	5BY	6BY	7BY	8BY	9BY	10BY
1BZ	2BZ	3BZ	4BZ	5BZ	6BZ	7BZ	8BZ	9BZ	10BZ
1CA	2CA	3CA	4CA	5CA	6CA	7CA	8CA	9CA	10CA
1CB	2CB	3CB	4CB	5CB	6CB	7CB	8CB	9CB	10CB
1CC	2CC	3CC	4CC	5CC	6CC	7CC	8CC	9CC	10CC
1CD	2CD	3CD	4CD	5CD	6CD	7CD	8CD	9CD	10CD
1CE	2CE	3CE	4CE	5CE	6CE	7CE	8CE	9CE	10CE
1CF	2CF	3CF	4CF	5CF	6CF	7CF	8CF	9CF	10CF
1CG	2CG	3CG	4CG	5CG	6CG	7CG	8CG	9CG	10CG
1CH	2CH	3CH	4CH	5CH	6CH	7CH	8CH	9CH	10CH
1CI	2CI	3CI	4CI	5CI	6CI	7CI	8CI	9CI	10CI
1CJ	2CJ	3CJ	4CJ	5CJ	6CJ	7CJ	8CJ	9CJ	10CJ
1CK	2CK	3CK	4CK	5CK	6CK	7CK	8CK	9CK	10CK
1CL	2CL	3CL	4CL	5CL	6CL	7CL	8CL	9CL	10CL
1CM	2CM	3CM	4CM	5CM	6CM	7CM	8CM	9CM	10CM
1CN	2CN	3CN	4CN	5CN	6CN	7CN	8CN	9CN	10CN
1CO	2CO	3CO	4CO	5CO	6CO	7CO	8CO	9CO	10CO
1CP	2CP	3CP	4CP	5CP	6CP	7CP	8CP	9CP	10CP
1CQ	2CQ	3CQ	4CQ	5CQ	6CQ	7CQ	8CQ	9CQ	10CQ
1CR	2CR	3CR	4CR	5CR	6CR	7CR	8CR	9CR	10CR
1CS	2CS	3CS	4CS	5CS	6CS	7CS	8CS	9CS	10CS
1CT	2CT	3CT	4CT	5CT	6CT	7CT	8CT	9CT	10CT
1CU	2CU	3CU	4CU	5CU	6CU	7CU	8CU	9CU	10CU
1CV	2CV	3CV	4CV	5CV	6CV	7CV	8CV	9CV	10CV
1CW	2CW	3CW	4CW	5CW	6CW	7CW	8CW	9CW	10CW
1CX	2CX	3CX	4CX	5CX	6CX	7CX	8CX	9CX	10CX
1CY	2CY	3CY	4CY	5CY	6CY	7CY	8CY	9CY	10CY
1CZ	2CZ	3CZ	4CZ	5CZ	6CZ	7CZ	8CZ	9CZ	10CZ
1DA	2DA	3DA	4DA	5DA	6DA	7DA	8DA	9DA	10DA
1DB	2DB	3DB	4DB	5DB	6DB	7DB	8DB	9DB	10DB
1DC	2DC	3DC	4DC	5DC	6DC	7DC	8DC	9DC	10DC
1DD	2DD	3DD	4DD	5DD	6DD	7DD	8DD	9DD	10DD
1DE	2DE	3DE	4DE	5DE	6DE	7DE	8DE	9DE	10DE
1DF	2DF	3DF	4DF	5DF	6DF	7DF	8DF	9DF	10DF
1DG	2DG	3DG	4DG	5DG	6DG	7DG	8DG	9DG	10DG
1DH	2DH	3DH	4DH	5DH	6DH	7DH	8DH	9DH	10DH
1DI	2DI	3DI	4DI	5DI	6DI	7DI	8DI	9DI	10DI
1DJ	2DJ	3DJ	4DJ	5DJ	6DJ	7DJ	8DJ	9DJ	10DJ
1DK	2DK	3DK	4DK	5DK	6DK	7DK	8DK	9DK	10DK
1DL	2DL	3DL	4DL	5DL	6DL	7DL	8DL	9DL	10DL
1DM	2DM	3DM	4DM	5DM	6DM	7DM	8DM	9DM	10DM
1DN	2DN	3DN	4DN	5DN	6DN	7DN	8DN	9DN	10DN
1DO	2DO	3DO	4DO	5DO	6DO	7DO	8DO	9DO	10DO
1DP	2DP	3DP	4DP	5DP	6DP	7DP	8DP	9DP	10DP
1DQ	2DQ	3DQ	4DQ	5DQ	6DQ	7DQ	8DQ	9DQ	10DQ
1DR	2DR	3DR	4DR	5DR	6DR	7DR	8DR	9DR	10DR
1DS	2DS	3DS	4DS	5DS	6DS	7DS	8DS	9DS	10DS
1DT	2DT	3DT	4DT	5DT	6DT	7DT	8DT	9DT	10DT
1DU	2DU	3DU	4DU	5DU	6DU	7DU	8DU	9DU	10DU
1DV	2DV	3DV	4DV	5DV	6DV	7DV	8DV	9DV	10DV
1DW	2DW	3DW	4DW	5DW	6DW	7DW	8DW	9DW	10DW
1DX	2DX	3DX	4DX	5DX	6DX	7DX	8DX	9DX	10DX
1DY	2DY	3DY	4DY	5DY	6DY	7DY	8DY	9DY	10DY
1DZ	2DZ	3DZ	4DZ	5DZ	6DZ	7DZ	8DZ	9DZ	10DZ
1EA	2EA	3EA	4EA	5EA	6EA	7EA	8EA	9EA	10EA
1EB	2EB	3EB	4EB	5EB	6EB	7EB	8EB	9EB	10EB
1EC	2EC	3EC	4EC	5EC	6EC	7EC	8EC	9EC	10EC
1ED	2ED	3ED	4ED	5ED	6ED	7ED	8ED	9ED	10ED
1EE	2EE	3EE	4EE	5EE	6EE	7EE	8EE	9EE	10EE
1EF	2EF	3EF	4EF	5EF	6EF	7EF	8EF	9EF	10EF
1EG	2EG	3EG	4EG	5EG	6EG	7EG	8EG	9EG	10EG
1EH	2EH	3EH	4EH	5EH	6EH	7EH	8EH	9EH	10EH
1EI	2EI	3EI	4EI	5EI	6EI	7EI	8EI	9EI	10EI
1EJ	2EJ	3EJ	4EJ	5EJ	6EJ	7EJ	8EJ	9EJ	10EJ
1EK	2EK	3EK	4EK	5EK	6EK	7EK	8EK	9EK	10EK
1EL	2EL	3EL	4EL	5EL	6EL	7EL	8EL	9EL	10EL
1EM	2EM	3EM	4EM	5EM	6EM	7EM	8EM	9EM	10EM
1EN	2EN	3EN	4EN	5EN	6EN	7EN	8EN	9EN	10EN
1EO	2EO	3EO	4EO	5EO	6EO	7EO	8EO	9EO	10EO
1EP	2EP	3EP	4EP	5EP	6EP	7EP	8EP	9EP	10EP
1EQ	2EQ	3EQ	4EQ	5EQ	6EQ	7EQ	8EQ	9EQ	10EQ
1ER	2ER	3ER	4ER	5ER	6ER	7ER	8ER	9ER	10ER
1ES	2ES	3ES	4ES	5ES	6ES	7ES	8ES	9ES	10ES
1ET	2ET	3ET	4ET	5ET	6ET	7ET	8ET	9ET	10ET
1EU	2EU	3EU	4EU	5EU	6EU	7EU	8EU	9EU	10EU
1EV	2EV	3EV	4EV	5EV	6EV	7EV	8EV	9EV	10EV
1EW	2EW	3EW	4EW	5EW	6EW	7EW	8EW	9EW	10EW
1EX	2EX	3EX	4EX	5EX	6EX	7EX	8EX	9EX	10EX
1EY	2EY	3EY	4EY	5EY	6EY	7EY	8EY	9EY	10EY
1EZ	2EZ	3EZ	4EZ	5EZ	6EZ	7EZ	8EZ	9EZ	10EZ
1FA	2FA	3FA	4FA	5FA	6FA	7FA	8FA	9FA	10FA
1FB	2FB	3FB	4FB	5FB	6FB	7FB	8FB	9FB	10FB
1FC	2FC	3FC	4FC	5FC	6FC	7FC	8FC	9FC	10FC
1FD	2FD	3FD	4FD	5FD	6FD	7FD	8FD	9FD	10FD
1FE	2FE	3FE	4FE	5FE	6FE	7FE	8FE	9FE	10FE
1FF	2FF	3FF	4FF	5FF	6FF	7FF	8FF	9FF	10FF

【図 1 3 4】

シングル用大当り図柄選択用テーブル(通常大当り、破変大当り(大当り中昇格)、破変大当り(エンディング昇格))

[illegible]

【图 1 3 5】

シングル用大当り図柄選択用テーブル(確変直当り)

[illegible]

【図 1 3 6】

シングル用大当り図柄選択用テーブル(再抽選昇格)

[illegible]

【図 1 3 7】

シングル用大当り図柄選択用テーブル(救済)

[illegible]

【图 1 3 8】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テابل(通常大当り、確変大当り(大当り中昇格)、確変大当り(エンディング昇格))

[illegible]

【图 139】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル(確変直当り)

table BF-12																																						
1U	2U	3U	4U	5U	6U	7U	8U	9U	10U	11U	12U	13U	14U	15U	16U	17U	18U	19U	20U	21U	22U	23U	24U	25U	26U	27U	28U	29U	30U	31U	32U	33U	34U	35U	36U	37U	38U	
15F	25F	35F	45F	55F	65F	75F	85F	95F	105F	115F	125F	135F	145F	155F	165F	175F	185F	195F	205F	215F	225F	235F	245F	255F	265F	275F	285F	295F	305F	315F	325F	335F	345F	355F	365F	375F	385F	

【図 1 4 0】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル(再抽選昇格)

[illegible][illegible]

1SF	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF
0	44	0	45	0	0	0	0
89							
max							
89							

【图 1 4 1】

ダブル先当り用大当り図柄選択用テーブル(救済)

[illegible][illegible]

%	2SF	3SF	4SF	5SF	6SF	7SF	8SF	%	2AF	3AF	4AF	5AF	6AF	7AF	8AF	
45	22	0	22	0	0	0	0	44	22	0	22	0	0	0	0	
								89								
								max								
								89								
								max								

【图 1 4 6】

チャンス目A選択用テーブル(大当り用)

table BF-19

[illegible]

【图 1 4 7】

チャンス目B選択用テーブル(大当り用)

table BF-20

Year	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	2076	2077	2078	2079	2080	2081	2082	2083	2084	2085	2086	2087	2088	2089	2090	2091	2092	2093	2094	2095	2096	2097	2098	2099	2100
1974	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	2076	2077	2078	2079	2080	2081	2082	2083	2084	2085	2086	2087	2088	2089	2090	2091	2092	2093	2094	2095	2096	2097	2098	2099	2100

※2AF:8CH02H受信時の仮停止図柄

TSF-25 分析年次	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80</
-------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------

【図 1 4 8】

Wリーチ前仮停止図柄選択用デモゲーム

table BF-26

[illegible]

1SF、2AF選択時 ※2AF:8CH02H受信時の仮停止図柄

13F	24F	30F	36F	42F	48F	54F	60F	66F	72F	78F	84F	90F	96F	102F	108F	114F	120F	126F	132F	138F	144F	150F	156F	162F	168F	174F	180F	186F	192F	198F	204F	210F	216F	222F	228F	234F	240F	246F	252F	258F	264F	270F	276F	282F	288F	294F	300F	306F	312F	318F	324F	330F	336F	342F	348F	354F	360F	366F	372F	378F	384F	390F	396F	402F	408F	414F	420F	426F	432F	438F	444F	450F	456F	462F	468F	474F	480F	486F	492F	498F	504F	510F	516F	522F	528F	534F	540F	546F	552F	558F	564F	570F	576F	582F	588F	594F	600F	606F	612F	618F	624F	630F	636F	642F	648F	654F	660F	666F	672F	678F	684F	690F	696F	702F	708F	714F	720F	726F	732F	738F	744F	750F	756F	762F	768F	774F	780F	786F	792F	798F	804F	810F	816F	822F	828F	834F	840F	846F	852F	858F	864F	870F	876F	882F	888F	894F	900F	906F	912F	918F	924F	930F	936F	942F	948F	954F	960F	966F	972F	978F	984F	990F	996F	1002F	1008F	1014F	1020F	1026F	1032F	1038F	1044F	1050F	1056F	1062F	1068F	1074F	1080F	1086F	1092F	1098F	1104F	1110F	1116F	1122F	1128F	1134F	1140F	1146F	1152F	1158F	1164F	1170F	1176F	1182F	1188F	1194F	1200F	1206F	1212F	1218F	1224F	1230F	1236F	1242F	1248F	1254F	1260F	1266F	1272F	1278F	1284F	1290F	1296F	1302F	1308F	1314F	1320F	1326F	1332F	1338F	1344F	1350F	1356F	1362F	1368F	1374F	1380F	1386F	1392F	1398F	1404F	1410F	1416F	1422F	1428F	1434F	1440F	1446F	1452F	1458F	1464F	1470F	1476F	1482F	1488F	1494F	1500F	1506F	1512F	1518F	1524F	1530F	1536F	1542F	1548F	1554F	1560F	1566F	1572F	1578F	1584F	1590F	1596F	1602F	1608F	1614F	1620F	1626F	1632F	1638F	1644F	1650F	1656F	1662F	1668F	1674F	1680F	1686F	1692F	1698F	1704F	1710F	1716F	1722F	1728F	1734F	1740F	1746F	1752F	1758F	1764F	1770F	1776F	1782F	1788F	1794F	1800F	1806F	1812F	1818F	1824F	1830F	1836F	1842F	1848F	1854F	1860F	1866F	1872F	1878F	1884F	1890F	1896F	1902F	1908F	1914F	1920F	1926F	1932F	1938F	1944F	1950F	1956F	1962F	1968F	1974F	1980F	1986F	1992F	1998F	2004F	2010F	2016F	2022F	2028F	2034F	2040F	2046F	2052F	2058F	2064F	2070F	2076F	2082F	2088F	2094F	2100F	2106F	2112F	2118F	2124F	2130F	2136F	2142F	2148F	2154F	2160F	2166F	2172F	2178F	2184F	2190F	2196F	2202F	2208F	2214F	2220F	2226F	2232F	2238F	2244F	2250F	2256F	2262F	2268F	2274F	2280F	2286F	2292F	2298F	2304F	2310F	2316F	2322F	2328F	2334F	234
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----

【図 1 4 9】

突確用図柄選択テーブル

[illegible][illegible]

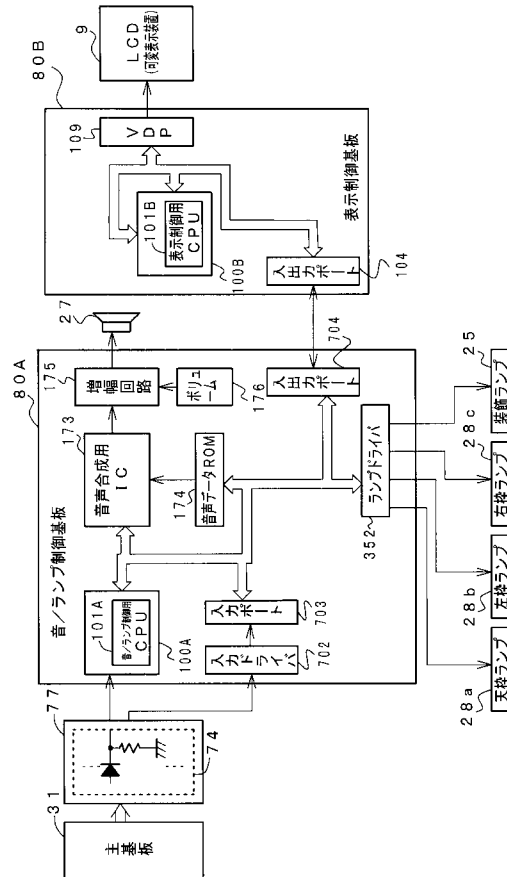
【図 1 5 0】

小当り用図柄選択テーブル

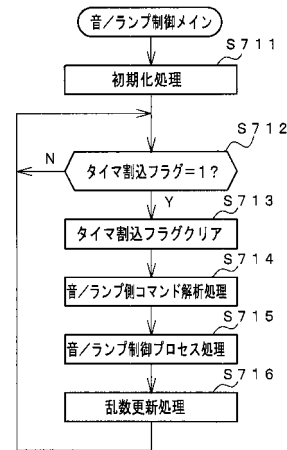
table BK-1	
1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12
13	14
15	16
17	18
19	20
21	22
23	24
25	26
27	28
29	30
31	32
33	34
35	36
37	38
39	40
41	42
43	44
45	46
47	48
49	50
51	52
53	54
55	56
57	58
59	60
61	62
63	64
65	66
67	68
69	70
71	72
73	74
75	76
77	78
79	80
81	82
83	84
85	86
87	88
89	90
91	92
93	94
95	96
97	98
99	100

[illegible]

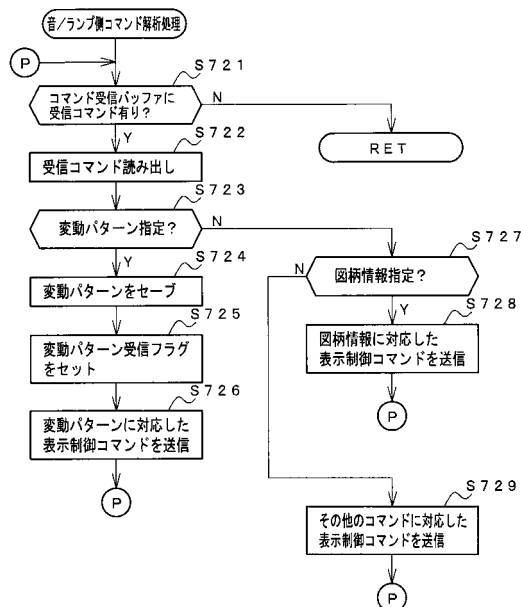
【図 151】



【図 152】



【図 153】



フロントページの続き

審査官 清水 徹

- (56)参考文献 特開平07-213702 (JP, A)
特開2006-122404 (JP, A)
特開2004-313358 (JP, A)
特開2004-222875 (JP, A)
特開2003-164613 (JP, A)
特開2005-253530 (JP, A)
特開2005-103081 (JP, A)
特開2003-126460 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A 6 3 F 7 / 0 2